
■ 日野町 橋梁長寿命化修繕計画（第3期） ■ ■ ■

■ 1、序

- 1.1 インフラ長寿命化計画における本計画の位置付け
- 1.2 第2期計画の実施状況

■ 2、本計画の方針

- 2.1 老朽化対策における基本方針
 - 2.1.1 対策基本方針
 - 2.1.2 対象施設
 - 2.1.3 計画期間
 - 2.1.4 個別施設の状態等
 - 2.1.5 対策の優先順位の考え方
- 2.2 新技術等の活用方針
- 2.3 費用の縮減に関する具体的な方針

■ 3、個別の施設毎の事項

- 3.1 対策費用
- 3.2 対策内容と実施時期

■ 4、予防保全型維持管理の中長期シミュレーション

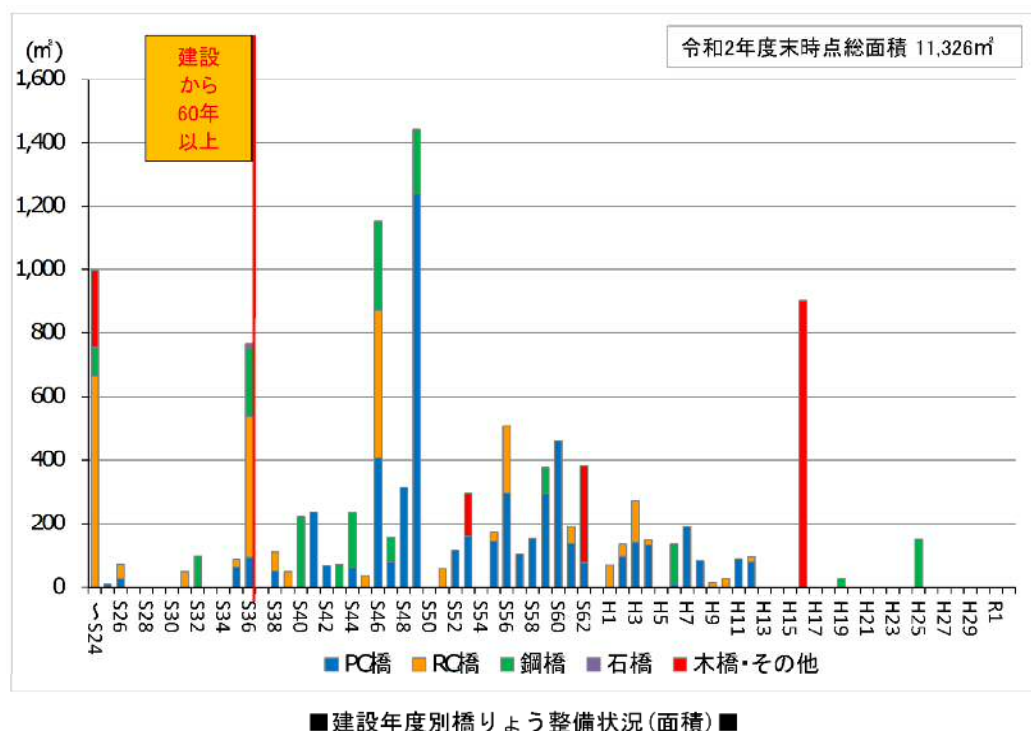


■1、橋梁個別施設計画・序

わが国の橋梁は、昭和 30 年代に始まる高度成長期に集中的に建設されてから 50 年以上が経過しており、これらの老朽化が全国的な課題となっている。

滋賀県日野町は、1889 年（明治 22 年）の町村制施行により 10 町村の区域をもって発足し、その後 1955 年（昭和 30 年）に 6 ヶ村との合併を経て再発足した町である。町内では、戦後の高度成長期から現在にわたって、町内インフラのほとんどを計画的に建設・整備しているが、これらの施設は年月の経過とともに次々と老朽化が進むうえ、将来的には修繕及び更新が避けられないものとなる。

日野町では、町の発足以降、これまでに橋梁を含めた道路整備に取り組んできたことにより、建設後 50 年以上を経過した橋梁の占める割合は、今後大幅に高くなっている。人口減少に伴う厳しい財政状況が継続する現在において、今後老朽化対策を効率的に進めていくことが大きな課題となっている。



日野町公共施設等総合管理計画:平成 29 年 3 月(令和 4 年 3 月改定)より

図 1-1 町内橋梁の年度別整備量

日野町では、老朽化する公共施設の適切な維持管理を行うため、平成 29 年 3 月に「日野町公共施設等総合管理計画」を（その後、令和 4 年 3 月に改定）策定した。この計画では、インフラ施設毎の個別施設計画の 1 つとして、「日野町 橋梁個別施設計画」（：橋梁長寿命化修繕計画）を位置付けた。橋梁個別施設計画では、老朽化が進んでいる町道橋梁の修繕を行うとともに、予防保全型の維持管理による「長寿命化」を目指し、今後の維持管理の考え方を示すものである。また、計画的に点検・修繕を行うことで、費用の縮減・予算の平準化を図ることを目指すものとした。

1.1 インフラ長寿命化計画における本計画の位置付け

(1) 本計画の位置付け

公共施設の長寿命化を図るため、政府において「インフラ長寿命化基本計画」（平成 25 年 11 月 29 日）（以下、基本計画という）を制定した。これを受けて、国土交通省では管理・所管するあらゆるインフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにする計画として、平成 26 年 5 月に「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）」（令和 3 年 6 月改定）を策定した。

この行動計画を受け、本町ではインフラ毎に個別施設計画を策定しているが、策定する指針・内容に関しては上位計画である「日野町公共施設等総合管理計画」（令和 4 年 3 月改定）（以下、管理計画という）及び「第 6 次日野町総合計画／実施計画（令和 5 年度～令和 7 年度）」との整合・連携を図っておくことが必要である。

したがって、本計画（：日野町橋梁長寿命化修繕計画（第 3 期））は、上記の管理計画に基づき、町道橋梁における定期点検及び修繕の具体的な対応方針を定めたものであり、行動計画に基づいた個別施設計画（長寿命化修繕計画）として位置付ける。

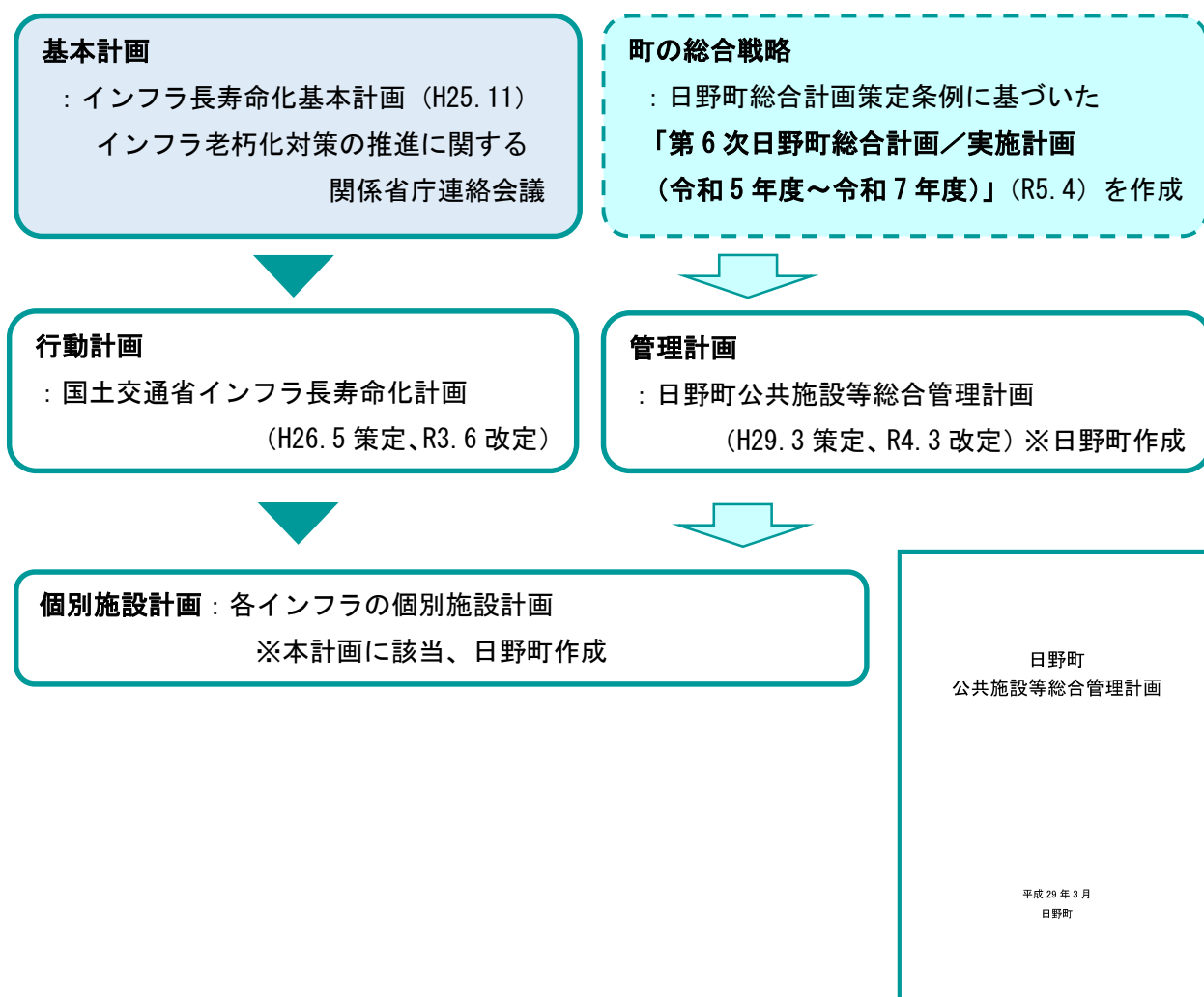
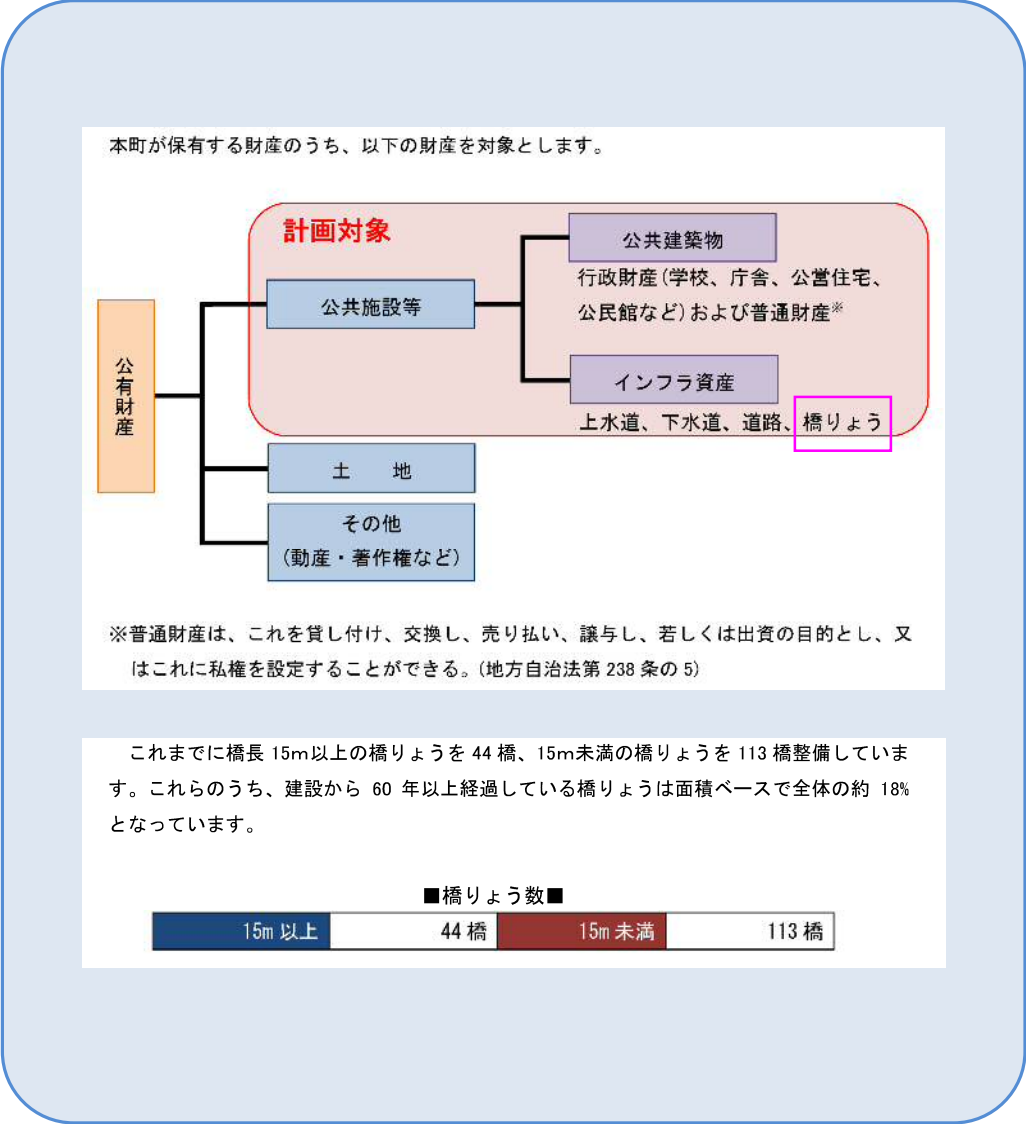


図 1-2 インフラ長寿命化計画の体系

公共施設等総合管理計画における橋梁施設の対象及び位置付けを、図 1-3 に抜粋する。



※「日野町 公共施設等総合管理計画」(H29.3 策定、R4.3 改定)P.2 及び P.11 より抜粋・加筆

図 1-3 公共施設等総合管理計画における橋梁施設の位置付け

(2) 日野町公共施設等総合管理計画に示す基本方針

日野町が定めた「公共施設等総合管理計画」の基本方針と、橋梁施設における個別方針について、以降（図 1-4～1-6）に示す。

まず最初に、公共施設等総合管理計画における基本方針として、「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」を、以降に抜粋する。

基本方針 1 施設の長寿命化	
公共建築物 インフラ資産	●施設の長寿命化を図るため、これまでの標準的な公共施設等のマネジメント手法であった雨漏りなどの施設に問題が発生した後に対処を行う事後保全から、問題が発生する前から計画的に修繕を行う予防保全※への転換を推進します。予防保全への転換によって、より施設の安全性を高めます。また、多数の施設の大規模改修や更新（建替え）が同時期に到来することによる更新費用の集中発生を抑え、更新費用の平準化を目指します。 ※公共建築物のうち予防保全を行う対象は築 30 年未満のものを目安とします。既に築 30 年以上経過している建築物は、予防保全の効果が小さいと考えられることから、点検や日常の使用の中で不具合が見つかった際に対処する事後保全を基本とします。
基本方針 2 施設保有量の適正化	
公共建築物	●今後予測される厳しい財政的制約や人口減少を踏まえ、可能な範囲で施設保有量（総延床面積）の縮減・抑制に努めます。 ●大規模改修や更新（建替え）時期を迎えた施設は、利用状況や今後の利用見通しなど、必要性等を踏まえ、廃止や譲渡、集約化、他用途施設との複合化、建替え時の施設規模の縮小化、転用を検討します。
インフラ資産	●町民の生活や産業活動に不可欠なライフラインであることから、現状維持を基本としつつ、人口減少によって不必要になった箇所から除却を行います。
基本方針 3 施設維持管理費や更新（建替え）費用の財源確保	
公共建築物	●用途廃止した遊休施設・土地については、譲渡・売却・貸付等を検討し、財源の確保に努めます。

※「日野町 公共施設等総合管理計画」(R4.3 改定)P.23 より抜粋・加筆

図 1-4 日野町公共施設等総合管理計画における基本方針(1)

①点検・診断の実施方針

- 公共施設等の点検・診断においては、それぞれの施設の特性及び経過年数等を踏まえた上で、損傷の状況の把握に努めます。
- 点検・診断の記録は、維持管理・修繕・更新(建替え)等の優先順位の決定等に利用します。

②維持管理・修繕・更新(建替え)等の実施方針

- 施設に問題が発生した後に対処を行う事後保全から、問題が発生する前から計画的に修繕を行う予防保全への転換を推進します。予防保全への転換によって、多数の施設の大規模改修や更新(建替え)が同時期に訪れることによる更新費用の集中発生を抑え、更新費用の平準化を目指します。
- 厳しい財政状況の中で公共施設等の維持管理・修繕・更新(建替え)等を実施しなければならないことから、施設の重要性や、築年数、点検・診断結果から明らかになった劣化状況、利用状況や今後の利用見通し等を踏まえて優先順位を付けて維持管理・修繕・更新(建替え)等を実施します。

③安全確保の実施方針

- 点検・診断により危険性が高いと認められた公共施設等について、早急に修繕工事などを実施することによって利用者の安全確保に努めます。
- すでに用途廃止となっている遊休施設で危険性が高いものについて、除却を進めていきます。

④耐震化の実施方針

- 文化財となっている建物等、一部旧耐震基準の施設がありますが、これらの施設については、重要な財産として安全性を確保しながら耐震補強を進めます。

⑤長寿命化の実施方針

- ②「維持管理・修繕・更新(建替え)等の実施方針」で示した通り、事後保全から予防保全への転換を図り、更新費用の平準化を図ります。

⑥ユニバーサルデザイン化の推進方針

- 共生社会の実現に資する公共施設となるよう、「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」(ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定)における、ユニバーサルデザインの街づくりについての考え方を参考に、ユニバーサルデザインの対応が必要な施設について、改修スケジュールや利用状況などから優先度を設定し、積極的に導入を進めるものとします。

⑦地球環境配慮型公共施設の推進方針

- 国の地球温暖化計画等に資するよう、公共施設の脱炭素化を推進するため、太陽光発電の導入、建築物における ZEB の実現、省エネルギー改修や照明の LED 化等について、率先的な導入を進めます。

⑧その他

- 大規模改修や更新(建替え)時期を迎えた施設は、利用状況や今後の利用見通しなど、必要性等を踏まえ、廃止や譲渡、集約化、他用途施設との複合化、建替え時の施設規模の縮小化、転用を検討します。

※「日野町 公共施設等総合管理計画」(R4.3 改定)P.24,25 より抜粋・加筆

図 1-5 日野町公共施設等総合管理計画における基本方針(2)

続いて、公共施設等総合管理計画における橋梁施設の個別方針を、以下に抜粋する。

■ 現況と維持管理方針 ■

a. 施設の現況

- これまでに橋長 15m 以上の橋りょうを 44 橋、15m 未満の橋りょうを 113 橋整備しています。
- 建設から 60 年以上経過している橋りょうは面積ベースで全体の約 18%です。
- 上記の橋りょうの他、農道、林道として整備している橋りょうがあります。

b. 維持管理方針

- 社会的に重要な橋りょうは、「日野町橋梁長寿命化修繕計画（橋長 15m 以上：令和 3 年 11 月改訂、橋長 15m 未満：令和元年 7 月改訂）」に従い、計画的な橋りょうの修繕、及び、日常点検（パトロール、清掃等）・定期点検を実施します。
- 日野町橋梁長寿命化修繕計画の対象外の橋りょうについても、損傷が発生した場合は速やかに修繕を行い、安全に通行できる橋りょうの維持に努めます。
- 農道の橋りょうについては、「日野町農道施設長寿命化計画」に基づき、見回り、点検、診断を実施し、また、その結果に基づいて修繕や更新などの必要な対策を実施します。
- 林道の橋りょうについては、「日野町治山林道施設長寿命化行動計画（平成 28 年 8 月策定）」に従って、見回り、点検、診断を実施し、また、その結果に基づいて修繕や更新などの必要な対策を実施します。

※「日野町 公共施設等総合管理計画」(R4.3 改定)P.46 より抜粋・加筆

図 1-6 日野町公共施設等総合管理計画における橋梁施設の個別方針

1.2 第2期計画の実施状況

日野町では、平成27年度に橋長15m以上の道路橋を、平成30年度に橋長15m未満の道路橋をそれぞれ対象とした「橋梁長寿命化修繕計画」（：第2期計画）を策定し、橋梁の長寿命化へ向けた積極的な取り組みの推進をさらに図るものとした。当計画で策定した短期計画に対し、これまでの8年間（平成28年度～令和5年度）における実施状況を、以下(1)～(3)において確認する。

(1) 達成状況

第2期計画では、橋長15m以上の44橋のうち、優先順位1（：早期の修繕が必要、健全度Ⅲまたは補修設計済）と判断した16橋について、令和4年度（2022年度）までに補修対策を行う計画（：短期修繕計画、計画書P.208参照）としていた。令和6年3月末時点においては、前回計画策定中に対策した1施設（西の口橋）を加え、計15橋の補修対策を完了しており、計画に対して94%の達成率であった。

また、優先順位2（：予防的な修繕が必要、健全度Ⅱ）の該当11橋のうち、高橋と牛飼道橋を除く9橋を10年間で補修を行う計画であったが、優先順位1の橋梁を優先した対策としたため、前回計画策定中に対策した2施設を含む4橋のみの補修実施となっており、計画に対して44%の達成率であった。

優先順位3（修繕等が当面不要）の橋梁についても、10年間で修繕計画に4橋が挙がっていたが、1橋（本宮橋）が補修を行っただけで、計画に対して25%の達成率であった。

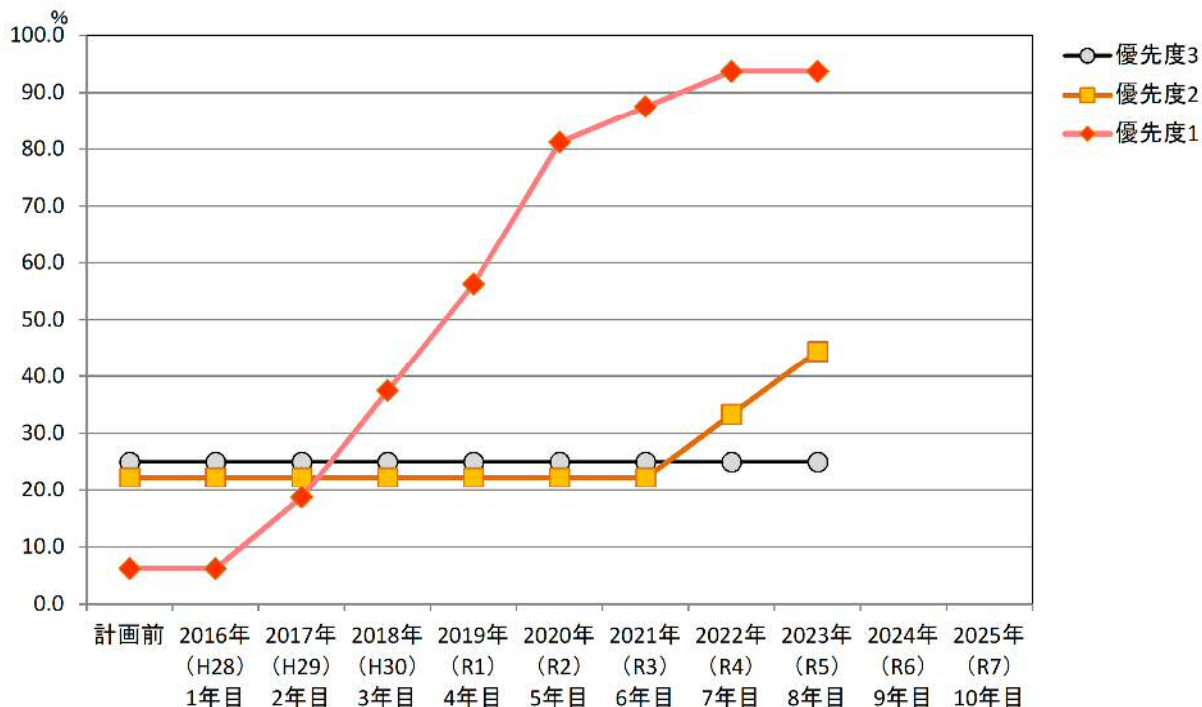


図 1-7 第2期計画（橋長15m以上、H28.3策定）による補修対策の進捗状況

一方、橋長 15m 未満である 112 橋に対しては、優先順位グループ 1（：重要度・高、健全度 E の区分）と判断した 3 橋について、令和 2 年度（2020 年度）までに補修対策を行う計画（：修繕工事計画、計画書 P.68 参照）としていた。令和 6 年 3 月末時点においては、全 3 橋の補修対策を完了しており、計画に対して 100%の達成率であった。

優先順位グループ 2（：重要度・中、健全度 E の区分）の該当 2 橋についても、令和 3 年度（2021 年度）までに補修対策を行う計画としていた。令和 6 年 3 月末時点においては、全 2 橋の補修対策を完了しており、計画に対して 100%の達成率であった。

なお、優先順位グループ 4（：重要度・高、健全度 C, D の区分）の橋梁については、10 年間の修繕計画に 5 橋が挙がっていたが、優先順位グループ 1、2 の橋梁を優先した対策としたため、1 橋（迫橋）の補修設計を実施したのみに留まっている。

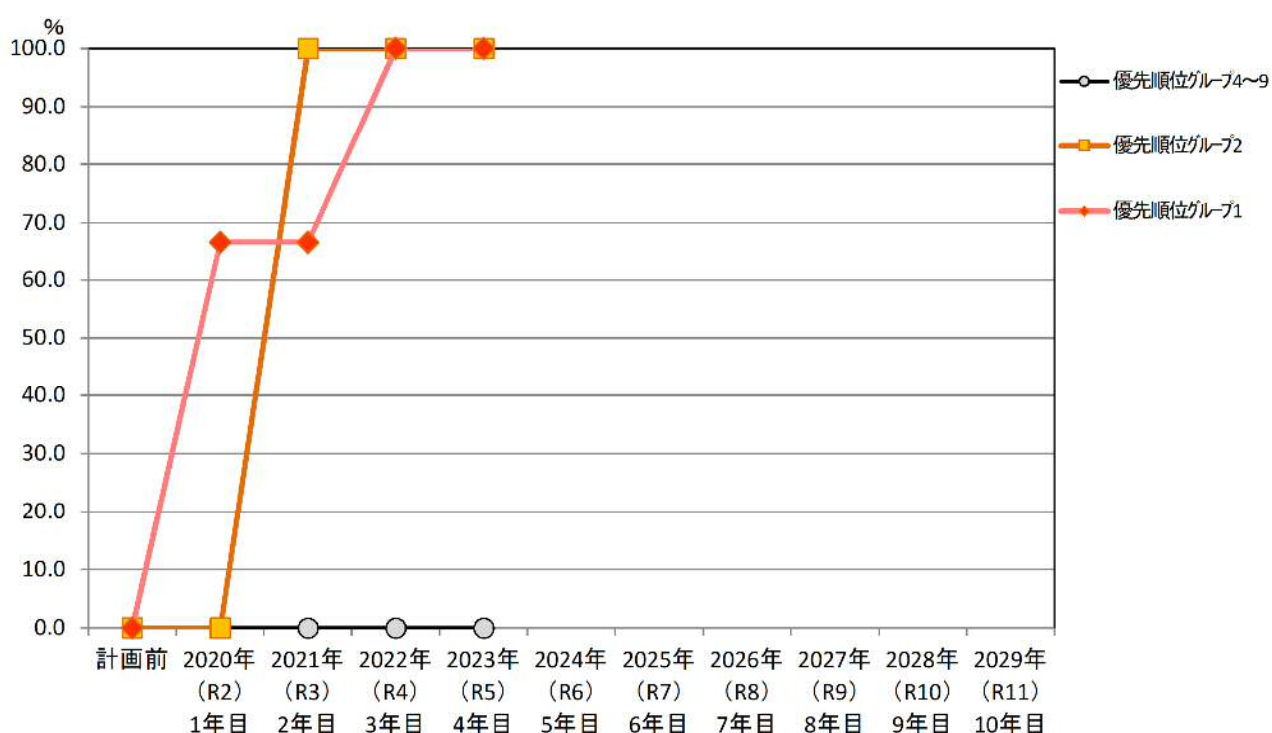


図 1-8 第 2 期計画（橋長 15m 未満、R1.7 策定）による補修対策の進捗状況

表 1-1 第 2 期長寿命化修繕計画（橋長 15m 以上、H27 年度策定）に基づいた橋梁の措置に関する補修実施状況（1）

⇒消費税 10%																			上段：計画(H28.3) 下段：実施(R6.3現在) 数値単位は千円(税込)	
No	橋梁 番号	施設名称	橋長 (m)	架設 年次	使用 材料	健全性 診断区分 (H26-27)	優先度	実施 区分	計画前	2016年 (H28) 1年目	2017年 (H29) 2年目	2018年 (H30) 3年目	2019年 (R1) 4年目	2020年 (R2) 5年目	2021年 (R3) 6年目	2022年 (R4) 7年目	2023年 (R5) 8年目	2024年 (R6) 9年目	2025年 (R7) 10年目	備考
1	0003	西の口橋	18.70	1982	PC橋	Ⅲ	1	計画							3,790					調査設計委託：無 H27対策済(H26点検)
								調査設計												
								工事	25											
2	0004	迫栄橋	27.10	1987	その他 (プレハム)	Ⅱ	2	計画										8,706	調査設計委託：R4 設計費：他2橋と按分	
								調査設計					4,510							
								工事						8,954		4,687				
3	0005	宮前橋	19.70	1985	PC橋	Ⅱ	2	計画												
								調査設計												
								工事												
4	0007	上野田橋	20.20	1973	PC橋	Ⅱ	1	計画					10,370						調査設計委託：H25	
								調査設計												
								工事			8,275									
5	0009	前垣外橋	15.20	1969	鋼橋	Ⅱ	1	計画	7,760										調査設計委託：H25 塗膜調査追加：H30	
								調査設計			216									
								工事				10,021								
6	0012	別所橋	81.90	1930	RC橋	Ⅱ	2	計画					1,217						調査設計委託：H24、H26 ※H27では橋面のみ対策	
								調査設計												
								工事	19,577					9,681						
7	0013	木津橋	81.90	1974	鋼橋	Ⅱ	1	計画		19,901									調査設計委託：H25	
								調査設計												
								工事		22,337										
8	0014	安土橋	45.00	1966	PC橋	Ⅱ	2	計画							5,691				調査設計委託：H24、R5 設計費：他2橋と按分 H25対策済	
								調査設計						4,584						
								工事												
9	0015	南橋	28.60	1985	PC橋	Ⅰ	3	計画										955		
								調査設計												
								工事												
10	0016	大正橋	24.30	1965	鋼橋	Ⅱ	2	計画									3,999		調査設計委託：H25、R4 設計費：他2橋と按分	
								調査設計					4,510							
								工事	3,999						6,850					
11	0017	松尾橋	15.50	1973	PC橋	Ⅱ	1	計画				7,523							調査設計委託：H25、R4 設計費：他2橋と按分	
								調査設計						4,510						
								工事			9,127				2,031					
12	0020	浄光寺橋	17.00	1973	PC橋	Ⅰ	1	計画					2,405						調査設計委託：H25 ※路面の凹凸：区分Ⅱ	
								調査設計												
								工事												
13	0022	西川原橋	24.70	1969	鋼橋	Ⅲ	1	計画				13,339							調査設計委託：H25 ※R2工事より対策完了	
								調査設計												
								工事					14,921							
14	0023	五左衛門橋	20.80	1977	PC橋	Ⅱ	1	計画					9,353						調査設計委託：H25	
								調査設計												
								工事			4,592									
15	0024	多々木橋	19.00	1930	RC橋	Ⅲ	1	計画					1,112						調査設計委託：H25	
								調査設計												
								工事					390							
16	0025	本宮橋	17.40	1971	PC橋	Ⅰ	3	計画										3,417	調査設計委託：H25 ※H27に地覆(、塗替え) を対策済	
								調査設計												
								工事	1,530											
17	0026	毛止野橋	18.70	1971	鋼橋	Ⅱ	2	計画							2,447				調査設計委託：H25 ※H27に主構造の塗替え を対策済(橋面は未了)	
								調査設計												
								工事	3,104											
18	0027	伊佐目橋	17.00	1972	鋼橋	Ⅱ	1	計画				8,053							調査設計委託：H25 塗膜調査追加：H30	
								調査設計			415									
								工事				13,646								
19	0028	前川橋	19.90	1972	PC橋	Ⅲ	1	計画					2,255						調査設計委託：H24	
								調査設計												
								工事					40							
20	0029	野川橋	15.60	1980	PC橋	Ⅰ	3	計画										2,878		
								調査設計												
								工事												
21	0030	野出橋	72.30	1929	混合橋 (RC+PC)	Ⅱ	2	計画								7,053			調査設計委託：H24 H26対策済	
								調査設計												
								工事												
22	0032	野上橋	30.30	1934	RC橋	Ⅱ	1	計画	12,771										調査設計委託：H25	
								調査設計												
								工事			17,484									
23	0033	長沢橋	28.20	1978	その他 (RC、PC)	Ⅲ	1	計画					3,874						調査設計委託：H25、R2 設計費：他2橋と按分 H26対策済	
								調査設計					2,702							
								工事						7,588						
24	0034	小綿向橋	21.20	1984	PC橋	Ⅰ	1	計画				3,416							調査設計委託：H25 ※舗装の異常：区分Ⅱ	
								調査設計												
								工事				1,049								
25	0040	原橋	21.60	1957	鋼橋	Ⅱ	2	計画								6,406			調査設計委託：R5 設計費：他2橋と按分	
								調査設計							4,584					
								工事												
26	0041	青木ヶ原橋	21.70	1985	PC橋	Ⅲ	1	計画						7,604					調査設計委託：無	
								調査設計												
								工事					120							
27	0042	河原橋	15.80	1967 (推定)	PC橋	Ⅰ	3	計画										2,817		
								調査設計												
								工事												
28	0043	無名橋1	36.20	1994	鋼橋	Ⅱ	2	計画									10,408			
								調査設計												
								工事												
29	0044	広域跨線橋 (石原橋)	165.00	1974	PC橋	Ⅲ	1	計画						9,532	20,939				調査設計委託：H24、R3 設計費：他1橋と按分 R1：防護柵(応急)	
								調査設計						6,820						
								工事				1,017		21,191						
定期点検									実施	—	—	—	—	12,371	5,622	—	—	—	—	
修繕計画 費用計									—	20,531	19,901	20,862	20,822	21,233	20,926	20,939	21,597	19,094	18,773	：工事計画
調査設計及び工事実施 費用計									—	0	39,821	22,625	38,104	23,795	14,408	44,402	27,003	0	0	：完了
次年度以降への先送り事業費(累計)									—	20,531	7,760	21,099	13,339	7,496	16,944	6,195	15,695	—	—	

注) 対策事業の対象 29 橋について、10 年間分を示す。

表 1-2 第 2 期長寿命化修繕計画（橋長 15m 未満、H30 年度策定）に基づいた桥梁の措置に関する補修実施状況（2）

消費税 10%																				上段：計画(H31.7) 下段：実施(R6.3現在) 数値単位は千円(税込)	
No	橋梁 番号	施設名称	橋長 (m)	架設 年次	使用 材料	健全性 診断区分 (H28-30)	優先順位 グループ	実施 区分	計画前	2020年 (R2) 1年目	2021年 (R3) 2年目	2022年 (R4) 3年目	2023年 (R5) 4年目	2024年 (R6) 5年目	2025年 (R7) 6年目	2026年 (R8) 7年目	2027年 (R9) 8年目	2028年 (R10) 9年目	2029年 (R11) 10年目	備考	
1	0074	無名橋19	12.40	1975 (推定)	鋼橋	Ⅲ	1	計画		32,300										調査設計委託：R1 設計費：他1橋と按分	
								調査設計	4,235												
								工事		37,058											
2	0167	無名橋91 (五郎津橋)	9.00	1938	鋼橋	Ⅲ	1	計画		13,790										調査設計委託：R3 設計費：他1橋と按分	
								調査設計			6,820										
								工事				12,450	872								
3	0164	日枝橋	9.50	1938	鋼橋	Ⅲ	1	計画		3,810									9,842	調査設計委託：R1 設計費：他1橋と按分	
								調査設計	4,235												
								工事		21,709											
4	0087	落合橋	8.00	1955 (推定)	PC橋	Ⅲ	2	計画			7,235									調査設計委託：R1 設計費：他2橋と按分	
								調査設計	2,702												
								工事			3,645										
5	0066	坂口橋	11.60	1965 (推定)	鋼橋	Ⅲ	2	計画			15,828									調査設計委託：R1 設計費：他2橋と按分	
								調査設計	2,702												
								工事			9,588										
6	0085	西の宮橋	12.70	1963	RC橋	Ⅱ	4	計画			10,255										
								調査設計													
								工事													
7	0081	平熊橋	12.00	1968	PC橋	Ⅱ	4	計画				22,054									
								調査設計													
								工事													
8	0088	迫橋	14.00	1968	鋼橋	Ⅱ	4	計画			14,274									調査設計委託：R5 設計費：他2橋と按分	
								調査設計				4,584									
								工事													
9	0162	前川橋	11.70	1928	RC橋	Ⅱ	4	計画				10,383									
								調査設計													
								工事													
10	0097	御門橋	11.00	1963	PC橋	Ⅱ	4	計画				11,973									
								調査設計													
								工事													
11	0113	無名橋47	9.40	1965 (推定)	鋼橋	Ⅱ	5	計画				5,780									
								調査設計													
								工事													
12	0123	無名橋54	13.00	1965 (推定)	PC橋	Ⅱ	5	計画					14,965								
								調査設計													
								工事													
13	0139	瀬川橋	13.60	1956	RC橋	Ⅱ	5	計画						18,370							
								調査設計													
								工事													
14	0110	菖蒲谷橋	9.20	1971	鋼橋	Ⅱ	5	計画		1,131											
								調査設計													
								工事													
15	0133	無名橋63	9.80	1965 (推定)	RC橋	Ⅱ	5	計画							25,822	25,822	13,724	8,345			
								調査設計													
								工事													
16	0115	無名橋49	9.60	1965 (推定)	鋼橋	Ⅱ	5	計画			1,181										
								調査設計													
								工事													
17	0137	石楠花橋	9.50	1961	RC橋	Ⅱ	5	計画							9,261						
								調査設計													
								工事													
18	0114	無名橋48	10.50	1965 (推定)	鋼橋	Ⅱ	5	計画					7,900								
								調査設計													
								工事													
19	0112	無名橋46	9.10	1965 (推定)	鋼橋	Ⅱ	5	計画						5,493							
								調査設計													
								工事													
20	0122	薬師前橋	14.40	1990	RC橋	Ⅱ	5	計画							13,319						
								調査設計													
								工事													
21	0093	出雲川橋	6.10	1960	RC橋	Ⅱ	5	計画								12,982					
								調査設計													
								工事													
22	0049	無名橋5	7.40	1965 (推定)	PC橋	Ⅱ	5	計画						10,592							
								調査設計													
								工事													
23	0157	無名橋83	1.60	1970 (推定)	RC橋	Ⅱ	5	計画								3,024					
								調査設計													
								工事													
24	0150	無名橋78	5.50	1965 (推定)	PC橋	Ⅱ	5	計画			1,163							1,025			
								調査設計													
								工事													
25	0149	無名橋77	3.40	1985 (推定)	RC橋	Ⅱ	5	計画								7,223					
								調査設計													
								工事													

2) 実施の効果

第2期計画に基づき、予防保全の効果が高いと考える橋長15m以上の橋梁では、令和6年3月末までに計20橋の補修対策が完了した。これらに対しては、今後、計画的かつ予防的な修繕を継続することにより、従来の対症療法的な維持管理と比較して約347百万円（約48%、計画後50年間）のコスト縮減効果を得ている。（表1-4及び図1-9参照）

表 1-4 補修対策を実施完了した20橋のコスト縮減算定

		最適LCCシナリオ(8年実績補正)			事後保全 (C1またはC2)シナリオ	最適LCC シナリオ名
		H27計画書からの 引用額	▲8年間の費用 + 実際の補修費	実際の補修費で 見直した額		
0003	西の口橋	6.6	-3.4	3.2	20.5	A2,B1
0004	迫栄橋	11.4	2.1	13.5	22.7	A2,B1
0007	上野田橋	10.7	4.1	14.8	13.7	B2
0009	前垣外橋	15.3	2.0	17.3	29.0	A2
0012	別所橋	54.2	-11.0	43.2	114.5	A1,A2,B1
0013	木津橋	41.9	4.4	46.3	81.2	B2
0016	大正橋	8.8	6.5	15.3	18.4	A2,B1
0017	松尾橋	8.3	6.5	14.8	19.8	A2,B1
0022	西川原橋	23.2	1.5	24.7	53.1	A2,B1
0023	五左衛門橋	12.4	-1.5	10.9	26.3	A2,B1
0024	多々木橋	7.3	-1.5	5.8	17.4	A2,B1
0025	本宮橋	11.1	-3.1	8.0	23.0	A2
0026	毛止野橋	7.0	1.0	8.0	9.8	B1,B2
0027	伊佐目橋	13.5	5.3	18.8	28.9	A2
0028	前川橋	6.7	-2.4	4.3	9.1	B2
0032	野上橋	27.9	6.5	34.4	56.1	A2
0033	長沢橋	17.6	-1.9	15.7	31.8	A2,B1
0034	小綿向橋	5.8	-1.0	4.8	10.1	A2,B1
0041	青木ヶ原橋	10.4	-6.4	4.0	24.6	A2,B1
0044	広域跨線橋(石原橋)	63.3	-2.3	61.0	105.4	A2,B1
合計		363.4		368.8	715.4	
100年間のコスト縮減率 (%)						48.4

注) 費用単位は百万円(税込)

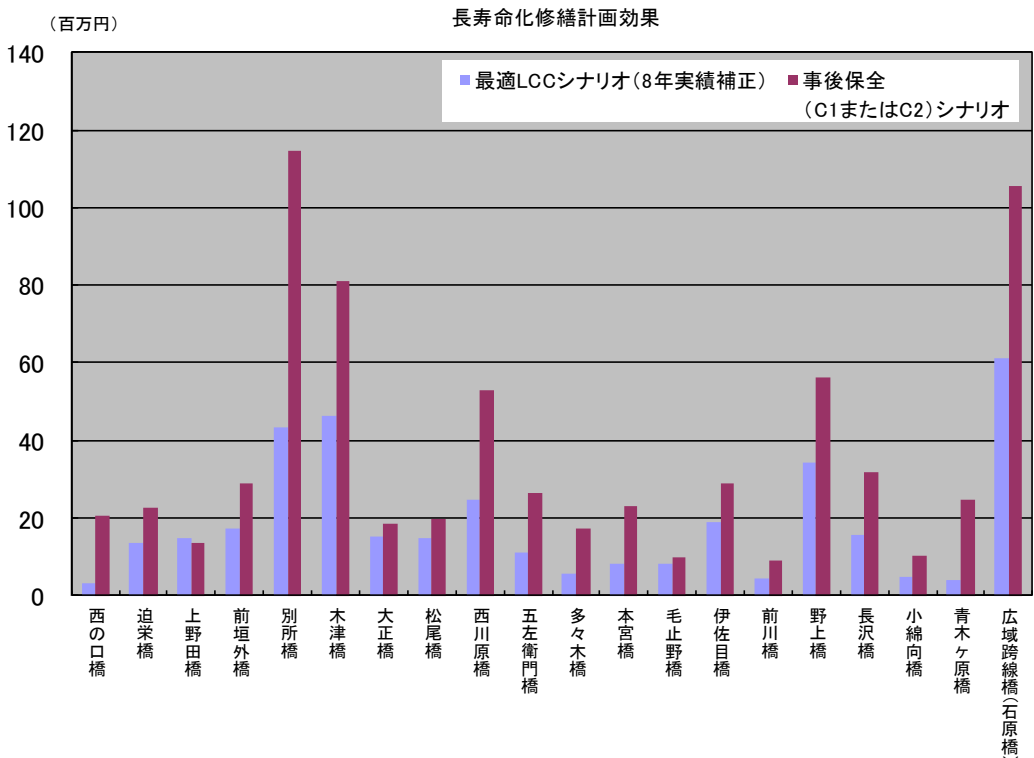


図 1-9 補修対策を実施完了した20橋のコスト縮減効果

3) 課題の整理

橋長 15m 以上の橋梁に関して、定期点検で健全性の低下を確認し、早期補修が必要であると
した橋梁の補修は**計画的に実施**しており、利用者に対して道路網の安全・安心を確保すること
が順調に達成出来た。(優先度 1 の橋梁について、令和 6 年 3 月時点での達成率：94%)

一方、15m 未満の橋梁に関しては、優先順位グループ 1, 2 の橋梁の補修は**計画的に実施**し、達
成率は 100% (令和 6 年 3 月時点) であるが、優先順位グループ 4~9 の橋梁は、上記対策を優
先したため、1 橋の補修設計が行われたのみとなっている。

第 2 期計画で想定した予定事業費に対して、実際に必要とした事業費が大きく予定額より超
過する状況が多く発生しており、厳しい財政状況下における**予算の確保が困難となる**問題点が
生じていた。年次計画に基づき、必要とする維持管理・更新等を適切に行うためには、必要予
算の平準化を図ることに努め、効率的かつ効果的な投資を行うことが重要と考える。第 2 期計
画での中長期における LCC に基づいた年平均予算額は約 27.7 百万円/年であり、この目標を達
成可能とすべき予算の短期計画を必要とする。

定期点検は 2014 年度 (平成 26 年度) から近接目視となり、点検業務での機械経費や安全費
が大幅に増加した。第 2 期計画では近接目視点検の費用を見込んでいなかったため、本計画以
降の策定では点検に要する予算確保のため、確実に費用を把握することが必要である。

トータルコストの縮減を達成する方法としては、予防保全を目指した維持管理への完全移行
を図る一方で、新技術等の活用や集約化・撤去・機能縮小等による維持管理費用の縮減につい
ても、今後継続して検討・実現することが必要と考える。

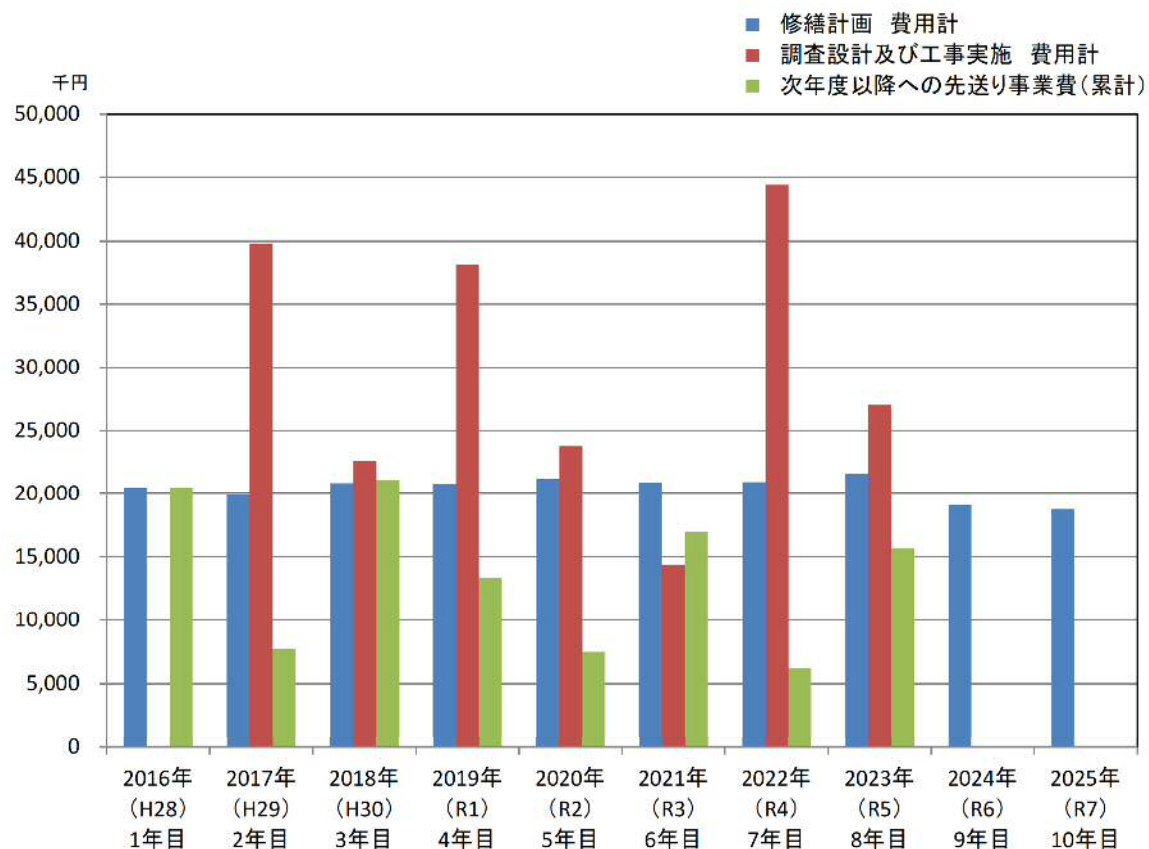


図 1-10 修繕計画における費用と実施費用との対比（橋長 15m 以上、H28 年度以降）

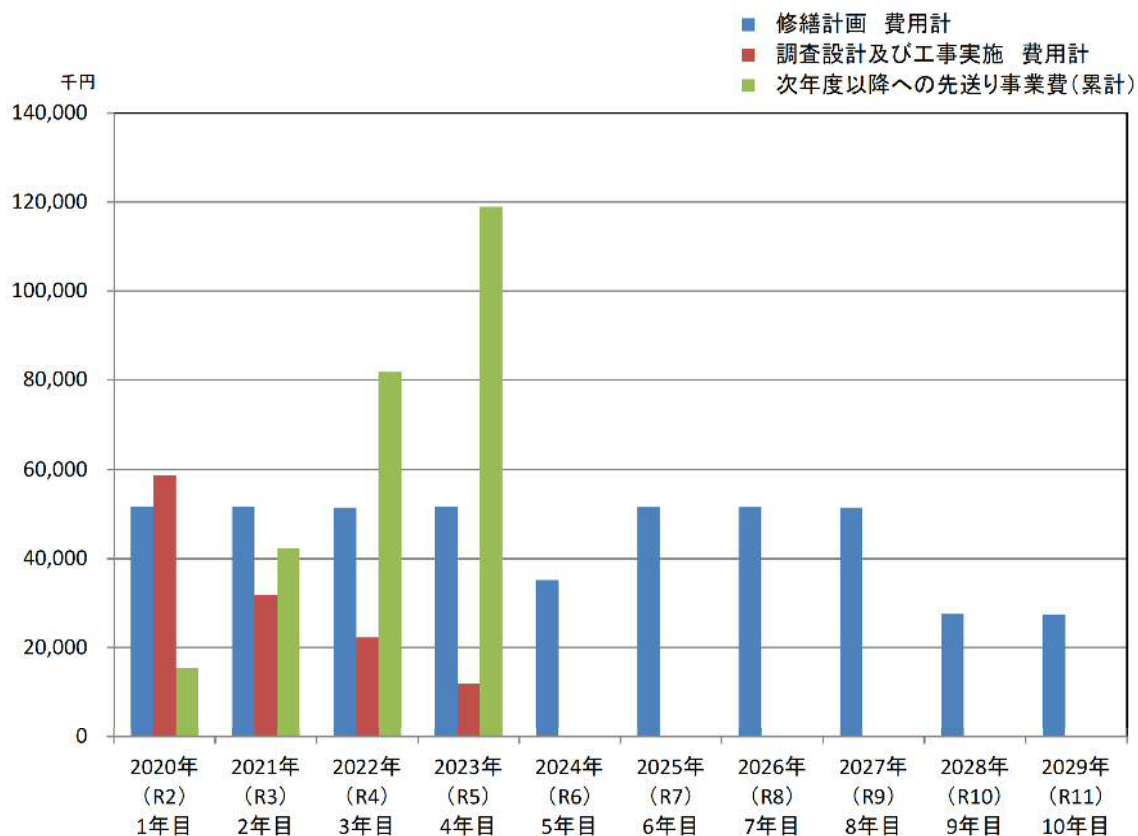


図 1-11 修繕計画における費用と実施費用との対比（橋長 15m 未満、R2 年度以降）

■ 2、本計画の方針

2.1 老朽化対策における基本方針

2.1.1 対策基本方針

日野町が策定する本計画では、「道路橋の老朽化対策」に取り組むための基本方針として、主に下記の3つを挙げる。

- (1) メンテナンスサイクルの構築と持続的な取組み
- (2) 施設の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本方針
- (3) 日常的な維持管理に関する基本方針

(1) メンテナンスサイクルの構築と持続的な取組み

平成24年12月に発生した中央道笹子トンネルにおける天井板落下事故を機に、国土交通省では平成25年を「社会資本メンテナンス元年」と位置付け、省を挙げて老朽化対策に取り組むための体制を整えた。

その一方で、政府は各省庁が横断的に老朽化対策を検討するための「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」を設置し、政府・地方公共団体等におけるあらゆるインフラを対象とした戦略的な維持管理・更新に取り組むものとして、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を取りまとめた。当計画の基本的な考え方の1つとして、「メンテナンスサイクルの構築」を掲げた。これは、「点検・診断の結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施するとともに、これらの取組を通じて得られた施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、次期点検・診断に活用する」ことで、これを継続的に発展させていくものとした。

国土交通省では、所管する橋梁等全ての道路施設に対して「5年に1回、近接目視による点検」を省令で規定するとともに、「各道路管理者の責任による点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルの確立」を実現するための必要な支援を行うものとした。

日野町では、最初に策定した橋梁長寿命化修繕計画（：第1期計画、H22.12）において、計画的維持管理のレベルアップを目的とした「事後評価」（5年毎の中期事業計画の見直しを行う）を定期的に行い、必要に応じて計画を見直す考えを示した。

その後、策定内容を見直した第2期計画（15m以上の橋梁 H28.3、15m未満の橋梁 R1.7）では、今後の課題の1つとして、5年毎の事後評価を基に「計画に基づいた対策・点検の実施及び評価、計画の見直し」を行うこと、いわゆる「マネジメントサイクル」（PDCA サイクル）を確立することの重要性を挙げた。また、上位計画である「日野町公共施設等総合管理計画」（H29.3 策定、R4.3 改定）においても、計画の着実な実行を図るべく PDCA サイクルによる継続的な計画の改善を行うものとしている。

本計画（：第3期計画）では、これまでの日野町の取り組み経緯と前述した国での動向とを踏まえながら、前計画での課題であったマネジメントサイクル（PDCA サイクル）の考え方を具体化した「メンテナンスサイクル」として構築する。次頁以降に、メンテナンスサイクルを構成する4つの要素（点検、診断、措置、記録）について解説する。

これら各要素を確実に実行することにより、本計画でも「メンテナンスサイクル」の継続的な発展を目指すものとした。（図2-1 参照）

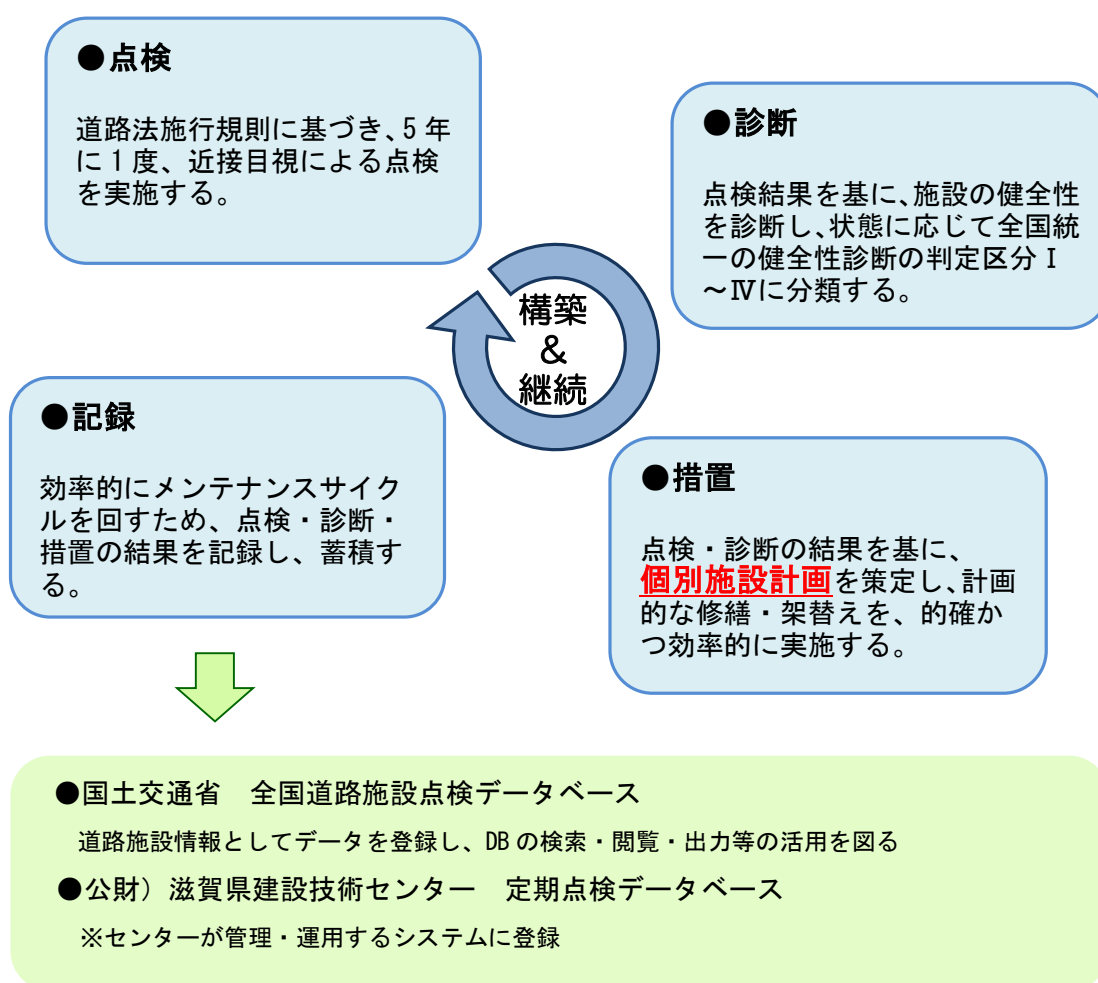


図2-1 メンテナンスサイクル（日野町／橋梁）

●メンテナンスサイクルの各要素について

(1) 点検

1) 定期点検の頻度

定期点検は、5年に1回の頻度で実施することを基本とする。

定期点検は、供用開始後2年以内に初回を行い、2回目以降は、5年に1回の頻度で行うことを基本とする。

※橋梁定期点検要領(国土交通省、H31.3)より

2) 点検の方法

定期点検は、近接目視により行うことを基本とし、全ての部材に近接して部材の状態を評価する。近接目視とは、肉眼により部材の状態を把握し、評価が行える距離まで接近して目視を行うことと定義する。

また、必要に応じて触診や打音調査を含む非破壊検査などを行う。点検時にうき・はく離等があった場合は、道路利用者被害及び第三者被害を予測する橋梁においては、事故防止の観点から、応急的に措置を実施したうえで判定を行う。

(2) 診断

定期点検では、部材単位及び道路橋毎の「健全性の診断」を行い、健全性の診断は「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」の4段階の区分で実施する。

1) 部材単位の健全性の診断

部材単位の健全性の診断は、表2-1に示す判定区分により行うことを基本とする。

表 2-1 健全性の診断 判定区分

区分		状態
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2) 道路橋毎の健全性の診断

道路橋の健全性の診断についても、表2-1の判定区分により行う。道路橋単位の診断は、部材単位の健全性の診断結果を踏まえ、橋梁の主要な構造に着目して、道路橋毎に総合的に判断する。

(3) 措置

定期点検及び健全性の診断結果に基づき、道路の効率的な維持及び修繕が図れるよう、修繕や更新等といった必要な措置を講じる。

1) 個別施設計画の策定

点検・診断の結果に基づき、損傷の原因や橋梁に求められる機能、ライフサイクルコスト等を考慮しながら、橋梁の「個別施設計画」（：橋梁長寿命化修繕計画）を策定する。

2) 緊急対策の速やかな実施

緊急に措置が必要と診断した橋梁について、予算や技術的理由により速やかな修繕・架け替えが出来ない場合は、通行規制や通行止めを実施する。

3) 計画的な修繕の実施

個別施設計画に基づき、修繕・架け替えを、計画的かつ効率的に実施する。

4) 集約化・撤去の実施

社会構造の変化（例：人口減少、土地利用の変化）に伴う橋梁等の利用状況をふまえ、必要に応じて橋梁等の集約化・撤去を実施する。

(4) 記録

定期点検及び健全性の診断の結果、並びに措置（修繕等）の内容を記録し、当該橋梁を供用する期間中は、記録結果を保存する。

(2) 施設の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本方針

これまでの維持管理は、定期的な健全性の判定を行うことなく、何らかの要因で発生した損傷が著しく進行した段階で、大規模な補修または架け替えといった対策を講じる、いわゆる「対症療法的な修繕」による維持管理が主であった。

そこで日野町では、平成 22 年度に策定した第 1 期計画において、従来の「対症療法的な修繕」から「予防的な修繕」へ転換を目指すものとした。損傷が深刻化する前に修繕を実施する「予防的な修繕」を行うことで機能の保持・回復を図り、修繕及び架替えに係る必要予算の平準化及び維持管理コストの縮減が実現出来るものと考えた。この費用縮減を実現するための手段として、日野町では下記 1)～6) の実施に努めている。

【長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減を実現するための基本的な実施方針】

- 1) 全ての計画策定対象橋梁に対して、「道路橋定期点検要領」(H31. 2、国土交通省)、及び「橋梁定期点検要領」(H26. 6、国土交通省 道路局 国道・防災課) に基づいた定期点検 (5 年に一回の近接目視点検) を実施し、部材部位について状況の把握を確実にを行うとともに、健全性を診断する。
- 2) 定期点検を通して、「構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が高い」ことを確認した場合は、緊急または早期に適切な措置を講ずることで、事業費の高コスト化を回避する。
- 3) 「予防的な修繕」の内容は、橋梁の重要性や状態等から設定した管理水準に見合うものとする。対策の優先順位に基づいた修繕の時期を定めながら、計画的に実施する。
- 4) 橋梁の健全度を一定の水準に保つことにより、道路利用者や町民に一定のサービスを提供し、これを継続する。
- 5) 定期点検の結果は、データベースとして継続的に蓄積することにより、劣化予測分析やライフサイクルコスト算定に活用する。
- 6) 必要に応じて学識経験者等から意見を聴取しながら橋梁長寿命化修繕計画を定期的に見直すとともに、策定内容をホームページや閲覧を通して町民へ公表する。

(3) 日常的な維持管理に関する基本方針

日野町では、メンテナンスサイクルの実践に基づいた定期点検（近接目視調査）を5年ごとに行い、橋梁の最新の状態を継続的に把握している。

しかし、維持管理に必要な町の予算には限界があるほか、今後の人口減少・少子高齢化に伴う財政状況の悪化する可能性もあり、現行の方法・仕組みが今後も継続して運用できる保証は100%あるとは限らないと考える。

そこで、日常的な維持管理に関する基本方針として、橋梁を良好な状態に保つため、今後、以下の取組みを継続または構築していくものとする。

- 1) 施設管理者（日野町役場）による定期的な日常パトロールを行いながら、利用性に直結する変状（路面段差、防護柵の変形・欠損、土砂詰まり）に対しては、健全性の回復が図れるよう、積極的に対応する。
- 2) 土砂や植生、その他ゴミに対する清掃等といった、橋梁管理の一部を沿道の住民（自治会等）が担える仕組みを構築し、定期的に取り組んでいく、いわゆる「地域協働」を目指した管理手法を、検討・実践する。

上記2)に関しては、「第6次日野町総合計画」の政策の柱5「みんなではぐくむ地域づくり」における具体的取組として、実現化を提案する。

類似例として、政策の柱3「安心、助け合いのくらしづくり」においても、「地域の道路をまもる道普請の推進」（21_環境共生）を取組として挙げている。道路施設の一部を担う「橋梁」に対してもこれらの取組例を参考としつつ、小規模な橋梁（橋長 5m 未満）や集落への通り道に架かる特定の橋梁等を対象とした事業として、継続可能な仕組みづくりを行うことが重要であると考ええる。

社会インフラ老朽化による維持管理・更新の問題の認知度が高まってきており、これに伴って住民も協力すべきという考えが広まっていることが推察出来る。

1) 社会インフラの維持管理・更新について実施すべき対策」

あなたは、人口減少や財政状態の悪化等から、次の種類の社会インフラの維持管理・更新が現状のままでは困難となったとき、次の各対策をどの程度実施すべきだと思いますか。

	実施すべき	どちらかという と実施すべき	どちらかという と実施すべきでない	実施すべきでない	わからない
利用料金の徴収・引き上げ・増税	3.7%	24.2%	35.9%	18.6%	17.6%
サービス水準の引き下げ	4.9%	25.4%	36.5%	14.2%	18.9%
維持管理・更新における住民協力の拡大	14.2%	50.1%	13.1%	3.0%	19.5%
長寿命化	19.0%	44.9%	12.8%	3.2%	20.1%
廃止・縮小	12.9%	33.7%	24.1%	10.4%	19.0%

注) 「国民意識調査」において、交通インフラ(道路、港湾、空港、鉄道、地下鉄)、生活基盤インフラ(上下水道、都市公園、公営住宅)、文化・健康施設系インフラ(文化・スポーツ施設、学校、保健・医療施設等)、防災・国土基盤系インフラ(治山、治水、海岸施設)それぞれについて、図表中の各対策を「実施すべき」、「どちらかというと実施すべき」、「どちらかというと実施すべきでない」、「実施すべきでない」、「わからない」と回答した者の数を、対策の種類ごとに集計している。

資料) 国土交通省「国民意識調査」

2) 社会インフラの維持管理・更新への協力に関する住民意識

人口減少や財政状況の悪化等の制約のもとでも社会インフラの維持管理・更新の費用をまかない、それを適切に実施していくために、地域住民の協力を求めるとした場合、あなたは次の取組みについてどのように考えますか。

	増税や料金の徴収・ 引き上げ等の経済的 負担	地域住民による 点検・通報への協力	地域住民による 美化・清掃への協力	地域住民による 維持管理・更新工事 への協力
実施すべき	3.1%	15.4%	17.1%	8.2%
どちらかという と実施すべき	22.3%	57.3%	56.9%	49.9%
どちらかという と実施すべきでない	36.6%	10.4%	9.7%	17.2%
実施すべきでない	24.2%	3.0%	2.9%	6.0%
わからない	13.8%	13.9%	13.4%	18.6%

資料) 国土交通省「国民意識調査」

2.1.2 対象施設

(1) 管理橋梁総数の把握

表 2-2 管理橋梁の概要

令和 6 年 3 月 31 日現在

		橋梁数	管理 延長 (m)	点検橋梁数					本計画 点検 橋梁数	備 考
				令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		
道 路 橋	橋長 15m 以上 注1)	44	1,406.7	26	18	0	0	0	44	
	橋長 15m 未満	112	728.7	0	1	43	43	25	112	注2) 注3)
合計		156	2,135.4	26	19	43	43	25	156	

注 1) 橋長の 15m 区分は、実延長 14.5m によるものとした。

注 2) 橋長 15m 未満のうち、北脇杣線_無名橋 64 は、北脇杣線終点変更により対象外とした。

注 3) 圃場整備等の事業により路線の付け替えまたは消失が生じた。しかし台帳補正による認定路線が変更未了であるため、該当路線に架かる橋梁(2 橋～無名橋 11、無名橋 53)については、本計画策定の対象とした。(詳細:後述 2.1.2(3)参照)

○橋長 15m 以上の道路橋 （44 橋：計画対象総数の 28.2%）

No	橋梁 番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	面積 (m2)	架設年	架設 推定年	経過年 橋梁2024時	使用材料	橋種	橋長区分	備考
1	0001	1級町道	西大路鎌掛線	高橋	50.3	3.0	150.90	1965	—	59	鋼橋	道路橋	50～100m	
2	0002	1級町道	内池水口線	内池橋	84.0	10.8	903.00	2004	—	20	その他	道路橋	50～100m	プレビーム桁
3	0003	1級町道	村井奥師線	西の口橋	18.7	5.5	102.85	1982	—	42	PC橋	道路橋	15～20m	補修工事(H27完了)
4	0004	1級町道	深山口水口線	迫栄橋	27.1	11.2	303.52	1987	—	37	その他	道路橋	20～30m	跨線橋(近江鉄道)、プレビーム桁、補修工事(R5完了)
5	0005	1級町道	日野南部線	宮前橋	19.7	7.3	143.81	1985	—	39	PC橋	道路橋	15～20m	跨道橋(神社参道)
6	0006	2級町道	北脇野出線	牛飼渡橋	51.0	2.0	102.00	1966	—	58	PC橋	道路橋	50～100m	
7	0007	2級町道	上野田線	上野田橋	20.2	6.0	121.20	1973	—	51	PC橋	道路橋	20～30m	補修工事(H30完了)
8	0008	2級町道	内池山本線	高橋	15.3	4.8	73.44	1971	—	53	PC橋	道路橋	15～20m	
9	0009	2級町道	鎌掛字内線	前垣外橋	15.2	6.5	98.80	1969	—	55	鋼橋	道路橋	15～20m	補修工事(R1完了)
10	0010	2級町道	蔵王熊野線	藤切橋	30.0	7.0	210.00	1984	—	40	PC橋	道路橋	30～50m	
11	0011	2級町道	原古野線	原古野橋	17.0	5.5	93.50	1983	—	41	PC橋	道路橋	15～20m	
12	0012	町道その他	旧別所橋線	別所橋	81.9	4.5	368.55	1930	—	94	RC橋	道路橋	50～100m	補修工事(R4完了)
13	0013	町道その他	深山口木津線	木津橋	81.9	2.5	204.75	1974	—	50	鋼橋	道路橋	50～100m	補修工事(H29完了)
14	0014	町道その他	安土線	安土橋	45.0	3.0	135.00	1966	—	58	PC橋	道路橋	30～50m	
15	0015	町道その他	南蔵王線	南橋	28.6	5.0	143.00	1985	—	39	PC橋	道路橋	20～30m	
16	0016	町道その他	三十坪駅前線	大正橋	24.3	3.0	72.90	1965	—	59	鋼橋	道路橋	20～30m	補修工事(R5完了)
17	0017	町道その他	横町線	松尾橋	15.5	6.0	93.00	1973	—	51	PC橋	道路橋	15～20m	補修工事(R5完了)
18	0018	町道その他	大谷線	大谷橋	19.3	5.0	96.50	1990	—	34	PC橋	道路橋	15～20m	
19	0019	町道その他	松尾河原線	六枚橋	16.8	2.9	48.72	1973	—	51	PC橋	道路橋	15～20m	
20	0020	町道その他	御舍利町線	浄光寺橋	17.0	3.0	51.00	1973	—	51	PC橋	道路橋	15～20m	
21	0021	町道その他	北脇中在寺線	宮前橋	37.5	4.0	150.00	2013	—	11	鋼橋	道路橋	30～50m	
22	0022	町道その他	中之郷線	西川原橋	24.7	3.1	76.57	1969	—	55	鋼橋	道路橋	20～30m	補修工事(R2完了)
23	0023	町道その他	杣線	五左衛門橋	20.8	5.5	114.40	1977	—	47	PC橋	道路橋	20～30m	補修工事(H30完了)
24	0024	町道その他	音羽蔵王線	多々木橋	19.0	3.7	70.30	1930	—	94	RC橋	道路橋	15～20m	補修工事(R2完了)
25	0025	町道その他	西蔵王線	本宮橋	17.4	2.5	43.50	1971	—	53	鋼橋	道路橋	15～20m	
26	0026	町道その他	北畑蔵王線	毛止野橋	18.7	3.0	56.10	1971	—	53	鋼橋	道路橋	15～20m	
27	0027	町道その他	原線	伊佐目橋	17.0	4.5	76.50	1972	—	52	鋼橋	道路橋	15～20m	補修工事(R1完了)
28	0028	町道その他	清田線	前川橋	19.9	4.0	79.60	1972	—	52	PC橋	道路橋	15～20m	補修工事(R2完了)
29	0029	町道その他	中在寺野出線	野川橋	15.6	5.0	78.00	1980	—	44	PC橋	道路橋	15～20m	
30	0030	町道その他	野出旧県道線	野出橋	72.3	3.3	238.59	1929	—	95	混合橋	道路橋	50～100m	RC6径間+PC1径間
31	0031	町道その他	杣半川原線	杣橋	22.7	4.1	93.07	1986	—	38	PC橋	道路橋	20～30m	
32	0032	町道その他	中在寺野神線	野上橋	30.3	4.1	124.23	1934	—	90	RC橋	道路橋	30～50m	補修工事(H29完了)
33	0033	町道その他	東桜谷旧県道線	長沢橋	28.2	4.8	135.36	1978	—	46	その他	道路橋	20～30m	既設RC+拡幅PC、補修工事(R3完了)
34	0034	町道その他	杣川原線	小綿向橋	21.2	4.0	84.80	1984	—	40	PC橋	道路橋	20～30m	補修工事(R1完了)
35	0035	町道その他	南比都佐小学校線	宮田橋	16.9	4.0	67.60	1985	—	39	PC橋	道路橋	15～20m	
36	0036	町道その他	里之内線	新里之内橋	19.0	10.0	190.00	1995	—	29	PC橋	道路橋	15～20m	
37	0037	町道その他	旧御代参街道線	須原橋	19.7	3.0	59.10	—	1983	41	PC橋	道路橋	15～20m	
38	0038	町道その他	鎌掛深山口線	小嶺橋	17.3	4.5	77.85	1987	—	37	PC橋	道路橋	15～20m	
39	0039	町道その他	萬徳寺線	坪江橋	29.4	3.0	88.20	1999	—	25	PC橋	道路橋	20～30m	
40	0040	町道その他	萬徳寺線	原橋	21.6	4.5	97.20	1957	—	67	鋼橋	道路橋	20～30m	
41	0041	町道その他	平代線	青木ヶ原橋	21.7	5.0	108.50	1985	—	39	PC橋	道路橋	20～30m	補修工事(R2完了)
42	0042	町道その他	河原島居平線	河原橋	15.8	4.2	66.36	—	1967	57	PC橋	道路橋	15～20m	
43	0043	町道その他	娑婆谷線	無名橋1	36.2	3.5	126.70	1994	—	30	鋼橋	道路橋	30～50m	跨道橋(県道泉日野線)
44	0044	町道その他	石原島居平線	広域跨線橋(石原橋)	165.0	7.5	1237.50	1974	—	50	PC橋	道路橋	100m以上	跨線橋(近江鉄道)、補修工事(R4完了)

○橋長 15m 未満の道路橋(1) (112 橋のうち 40 橋、112 橋：計画対象総数の 71.8%)

No	橋梁 番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	面積 (m2)	架設年	架設 推定年	経過年 橋梁2024時	使用材料	橋種	橋長区分	備考
1	0045	1級町道	村井奥師線	無名橋2(出雲川橋)	13.6	5.5	74.80	1978	—	46	PC橋	道路橋	10～15m	
2	0046	1級町道	村井奥師線	宮前橋	6.1	6.1	37.21	1978	—	46	PC橋	道路橋	5～10m	
3	0049	町道その他	山本松尾線	無名橋5	7.4	3.0	22.20	—	1960-1969	59	PC橋	道路橋	5～10m	
4	0050	町道その他	大谷線	無名橋6	4.5	4.6	20.70	—	1980-1989	39	RC橋	道路橋	5m未満	
5	0051	町道その他	里之内線	無名橋7	3.2	9.7	31.04	—	1980-1989	39	RC橋	道路橋	5m未満	
6	0055	町道その他	御舎利町線	無名橋10	3.4	3.0	10.20	—	1980-1989	39	RC橋	道路橋	5m未満	
7	0056	町道その他	上大窪這上り線	無名橋11	2.5	5.8	14.50	—	1980-1989	39	RC橋	道路橋	5m未満	
8	0057	町道その他	大窪木津線	無名橋12	2.5	5.6	14.00	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
9	0058	町道その他	大窪木津線	山王下橋	2.8	3.6	10.08	—	1960-1969	59	その他	道路橋	5m未満	
10	0059	町道その他	木津日田線	野田川橋	3.6	3.0	10.62	1950	—	74	PC橋	道路橋	5m未満	
11	0061	町道その他	善光寺線	無名橋13	2.0	5.0	10.00	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
12	0063	町道その他	杉線	下出橋	4.3	3.0	12.90	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
13	0064	町道その他	杉線	上出橋	4.4	3.0	13.20	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
14	0065	2級町道	奥之池線	昭和橋	12.5	5.5	68.75	1984	—	40	鋼橋	道路橋	10～15m	
15	0066	2級町道	奥之池野村線	坂口橋	11.6	3.4	39.44	—	1955-1964	64	鋼橋	道路橋	10～15m	補修工事(R3完了)
16	0067	1級町道	北脇仙線	無名橋14	4.8	7.1	34.08	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
17	0068	町道その他	奥之池野村線	無名橋15	2.2	4.1	9.02	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
18	0069	2級町道	奥之池野村線	仁之切橋	4.0	2.0	8.00	1963	—	61	RC橋	道路橋	5m未満	
19	0070	町道その他	奥之池野村線	逆川橋	6.0	2.6	15.60	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5～10m	
20	0071	町道その他	北脇線	無名橋16	7.5	4.0	30.00	—	1970-1979	49	PC橋	道路橋	5～10m	
21	0072	町道その他	北脇線	無名橋17	9.3	3.4	31.71	—	1970-1979	49	PC橋	道路橋	5～10m	
22	0073	町道その他	北脇線	無名橋18	9.3	3.6	33.48	—	1970-1979	49	PC橋	道路橋	5～10m	
23	0074	1級町道	中在寺石原線	無名橋19	12.4	10.5	130.20	—	1970-1979	49	鋼橋	道路橋	10～15m	補修工事(R2完了)
24	0075	1級町道	中在寺石原線	無名橋20	6.8	10.5	71.54	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5～10m	跨道橋(路線名未確認)
25	0077	町道その他	中在寺野出線	無名橋22	7.0	5.0	35.00	—	1970-1979	49	PC橋	道路橋	5～10m	
26	0078	2級町道	北脇野出線	無名橋23	13.0	4.0	52.00	—	1970-1979	49	PC橋	道路橋	10～15m	
27	0079	2級町道	北脇野出線	無名橋24	3.1	3.3	10.23	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
28	0080	2級町道	北脇野出線	無名橋25	6.0	5.6	33.30	—	1980-1989	39	その他	道路橋	5～10m	
29	0081	町道その他	平子熊野線	平熊橋	12.0	4.5	54.00	1968	—	56	PC橋	道路橋	10～15m	
30	0082	2級町道	蔵王熊野線	無名橋26	5.8	3.5	20.30	—	1950-1959	69	RC橋	道路橋	5～10m	
31	0084	1級町道	西大路鎌掛線	無名橋28	3.5	3.0	10.50	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
32	0085	町道その他	鎌掛深山口線	西の宮橋	12.6	3.6	45.36	1963	—	61	RC橋	道路橋	10～15m	撤去予定(時期未定)
33	0087	町道その他	上駒月大野線	落合橋	8.0	3.0	24.00	—	1945-1954	74	PC橋	道路橋	5～10m	補修工事(R3完了)
34	0088	2級町道	迫谷線	迫橋	14.0	4.5	63.00	1968	—	56	鋼橋	道路橋	10～15m	
35	0090	1級町道	深山口水口線	茶屋の橋	8.9	6.0	53.40	1969	—	55	PC橋	道路橋	5～10m	
36	0091	1級町道	内池水口線	無名橋31	2.9	10.6	30.86	—	1980-1989	39	RC橋	道路橋	5m未満	
37	0093	町道その他	御代参線	出雲川橋	6.2	3.7	22.94	1960	—	64	RC橋	道路橋	5～10m	
38	0094	2級町道	必佐小学校十禅師線	無名橋33	3.6	14.0	50.89	—	1980-1989	39	RC橋	道路橋	5m未満	
39	0095	2級町道	必佐小学校十禅師線	無名橋34	2.1	4.6	9.66	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
40	0097	町道その他	小御門十禅師線	御門橋	11.0	4.0	44.00	1963	—	61	PC橋	道路橋	10～15m	R7架替え予定

○橋長 15m 未満の道路橋(2) (112 橋のうち 40 橋)

No	橋梁 番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	面積 (m2)	架設年	架設 推定年	経過年 橋梁2024時	使用材料	橋種	橋長区分	備考
41	0098	町道その他	小御門十禅師線	播原橋	2.5	6.3	15.75	1949	—	75	RC橋	道路橋	5m未満	
42	0101	町道その他	三十坪駅前線	無名橋38	2.0	4.0	8.00	—	1960-1969	59	RC橋	道路橋	5m未満	
43	0102	町道その他	朝日野駅線	無名橋39	2.4	5.8	13.92	—	1965-1974	54	RC橋	道路橋	5m未満	
44	0103	町道その他	猿橋線	雁掛橋	10.5	4.0	42.00	1991	—	33	PC橋	道路橋	10～15m	
45	0104	町道その他	杣小野線	無名橋40	7.3	5.5	40.15	—	1985-1988	37	PC橋	道路橋	5～10m	
46	0105	町道その他	鳥居平安部居線	無名橋41	12.0	8.0	96.00	—	1991-2000	29	PC橋	道路橋	10～15m	
47	0107	町道その他	野出綺田線	無名橋43	3.1	4.3	13.33	—	1970-1979	49	RC橋	道路橋	5m未満	
48	0108	町道その他	野出山本線	無名橋44	7.0	3.2	22.40	2007	—	17	鋼橋	道路橋	5～10m	
49	0109	町道その他	鎌掛塗瀬線	無名橋45	3.6	4.3	15.48	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5m未満	
50	0110	町道その他	下出線	菖蒲谷橋	9.2	4.1	37.72	1971	—	53	その他	道路橋	5～10m	
51	0111	町道その他	下出線	馬場橋	9.2	4.0	36.98	1986	—	38	PC橋	道路橋	5～10m	
52	0112	町道その他	堂之谷墓地線	無名橋46	9.3	3.3	30.23	—	1965-1974	54	鋼橋	道路橋	5～10m	
53	0113	町道その他	神前谷中畑線	無名橋47	9.1	2.1	19.11	—	1965-1974	54	鋼橋	道路橋	5～10m	
54	0114	町道その他	中道線	無名橋48	10.5	2.9	30.45	—	1965-1974	54	鋼橋	道路橋	10～15m	
55	0115	町道その他	旧水口線	無名橋49	9.6	2.7	25.92	—	1965-1974	54	鋼橋	道路橋	5～10m	
56	0117	町道その他	頓宮線	無名橋51	2.8	3.6	10.08	—	1965-1974	54	RC橋	道路橋	5m未満	
57	0118	町道その他	石小野線	無名橋52	13.0	4.0	52.00	—	1975-1984	44	PC橋	道路橋	10～15m	
58	0119	町道その他	中禅寺線	市の瀬川橋(坊出橋)	13.8	4.0	55.61	—	1965-1974	54	PC橋	道路橋	10～15m	
59	0120	町道その他	鎌掛深山口線	小竹橋	11.8	3.6	42.48	1964	—	60	RC橋	道路橋	10～15m	
60	0121	町道その他	深山口木津線	無名橋53	3.5	2.9	10.15	—	1965-1974	54	PC橋	道路橋	5m未満	
61	0122	町道その他	鎌掛線	薬師前橋	14.3	4.0	57.20	1990	—	34	PC橋	道路橋	10～15m	
62	0123	町道その他	中在寺線	無名橋54	13.0	3.0	39.00	—	1965-1974	54	PC橋	道路橋	10～15m	
63	0124	町道その他	西明寺原線	無名橋55	5.2	4.1	21.06	—	1965-1974	54	RC橋	道路橋	5～10m	
64	0125	町道その他	松尾河原線	無名橋56	4.3	7.5	32.04	—	1965-1974	54	その他	道路橋	5m未満	
65	0126	町道その他	松尾河原線	無名橋57	3.4	7.0	23.80	—	1965-1974	54	RC橋	道路橋	5m未満	
66	0127	町道その他	鳥居平線	無名橋58	2.9	3.5	9.98	1994	—	30	RC橋	道路橋	5m未満	
67	0128	町道その他	川原徳原線	大橋	2.9	7.6	22.04	1980	—	44	RC橋	道路橋	5m未満	
68	0129	町道その他	上野田線	無名橋59	2.6	7.0	18.20	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5m未満	
69	0131	町道その他	旧別所橋線	無名橋61	4.4	6.0	26.31	—	1965-1974	54	RC橋	道路橋	5m未満	
70	0132	町道その他	大窪音羽線	無名橋62	3.0	8.7	26.10	—	1965-1974	54	その他	道路橋	5m未満	
71	0133	町道その他	北脇杣線	無名橋63	10.5	15.5	162.75	—	1965-1974	54	RC橋	道路橋	10～15m	
72	0135	町道その他	桜谷水源線	無名橋65	13.7	3.0	41.10	—	1985-1988	37	PC橋	道路橋	10～15m	
73	0136	町道その他	しゃくなげ谷線	無名橋66	4.3	11.8	50.87	—	1955-1964	64	RC橋	道路橋	5m未満	
74	0137	町道その他	しゃくなげ谷線	石楠花橋	9.5	4.1	38.48	1961	—	63	RC橋	道路橋	5～10m	
75	0138	町道その他	東山団地3号線	無名橋67	7.6	5.8	44.08	1976	—	48	RC橋	道路橋	5～10m	跨道橋(町道東山団地2号線)
76	0139	町道その他	鎌掛字内線	瀬川橋	13.6	3.0	40.80	1956	—	68	RC橋	道路橋	10～15m	
77	0140	町道その他	川向線	無名橋68	3.8	5.9	22.42	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5m未満	
78	0141	町道その他	木津取付線	無名橋69	2.3	7.7	17.21	—	1965-1974	54	RC橋	道路橋	5m未満	
79	0143	町道その他	石原鳥居平線	無名橋71	3.0	7.8	23.40	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5m未満	
80	0144	町道その他	石原鳥居平線	無名橋72	6.2	8.1	50.22	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5～10m	跨道橋(路線名未確認)

○橋長 15m 未満の道路橋(3) (112 橋のうち 32 橋)

No	橋梁 番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	面積 (m2)	架設年	架設 推定年	経過年 橋梁2024時	使用材料	橋種	橋長区分	備考
81	0145	町道その他	石原鳥居平線	無名橋73	3.6	8.5	30.60	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5m未満	跨道橋(町道松尾鳥居平線)
82	0146	町道その他	北山3号線	無名橋74	11.6	4.0	46.40	—	1975-1984	44	PC橋	道路橋	10～15m	
83	0147	町道その他	出雲川自転車道線	無名橋75	3.5	2.5	8.75	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5m未満	
84	0148	町道その他	山本松尾線	無名橋76	2.8	3.0	8.40	—	1985-1988	37	RC橋	道路橋	5m未満	
85	0149	町道その他	東桜谷旧県道線	無名橋77	3.4	4.5	15.30	—	1985-1988	37	RC橋	道路橋	5m未満	
86	0150	町道その他	南比都佐小学校線	無名橋78	5.5	3.0	16.50	—	1965-1974	54	PC橋	道路橋	5～10m	
87	0151	1級町道	村井奥師線	宮前橋	12.5	5.5	68.75	1996	—	28	PC橋	道路橋	10～15m	
88	0152	町道その他	旧御代参街道線	無名橋79	4.1	3.0	12.30	—	1975-1984	44	RC橋	道路橋	5m未満	
89	0153	町道その他	横町線	無名橋80	2.5	6.0	15.00	—	1975	49	RC橋	道路橋	5m未満	
90	0154	町道その他	徳谷線	徳谷橋	6.8	6.5	44.20	1986	—	38	RC橋	道路橋	5～10m	
91	0155	町道その他	瀬ヶ谷線	無名橋81	3.2	3.5	11.20	—	1992	32	RC橋	道路橋	5m未満	
92	0156	町道その他	北畑野神線	無名橋82	4.1	4.2	17.22	—	1997	27	RC橋	道路橋	5m未満	
93	0157	2級町道	豊田中山線	無名橋83	2.4	7.5	18.00	—	1970	54	RC橋	道路橋	5m未満	
94	0158	2級町道	豊田中山線	無名橋84	2.1	8.3	17.02	—	1975	49	RC橋	道路橋	5m未満	
95	0159	2級町道	豊田中山線	無名橋85	5.3	4.6	24.38	—	1930	94	RC橋	道路橋	5～10m	
96	0160	2級町道	鎌掛字内線	無名橋86	2.7	4.1	11.07	—	1975	49	RC橋	道路橋	5m未満	
97	0161	町道その他	蔵王勝手谷線	無名橋87	8.3	5.6	46.48	—	1985	39	PC橋	道路橋	5～10m	
98	0162	町道その他	鳥居平中央線	前川橋	11.8	6.9	81.42	—	1928	96	RC橋	道路橋	10～15m	
99	0163	町道その他	鳥居平中央線	無名橋88	3.9	7.3	28.47	—	1975	49	RC橋	道路橋	5m未満	
100	0164	町道その他	下駒月中央線	日枝橋	9.5	4.4	41.80	1938	—	86	鋼橋	道路橋	5～10m	補修工事(R2完了)
101	0165	町道その他	中山鑄物師線	無名橋89	3.1	3.4	10.54	—	1990	34	RC橋	道路橋	5m未満	
102	0166	1級町道	大窪内池線	無名橋90	2.5	5.5	13.48	—	1998	26	RC橋	道路橋	5m未満	
103	0167	町道その他	牧野野神線	無名橋91(五郎津橋)	9.3	4.5	41.85	1938	—	86	鋼橋	道路橋	5～10m	補修工事(R5完了)
104	0168	町道その他	下駒月西出線	西出橋	10.0	3.5	35.00	1978	—	46	PC橋	道路橋	10～15m	
105	0169	町道その他	下駒月西出線	棒川橋	12.7	5.0	63.50	2000	—	24	PC橋	道路橋	10～15m	
106	0170	町道その他	城之越線	迫宮前橋	12.0	10.0	120.00	1992	—	32	PC橋	道路橋	10～15m	
107	0171	町道その他	工業団地7号線	無名橋92	4.6	9.3	42.60	—	1995	29	RC橋	道路橋	5m未満	
108	0172	町道その他	河原鳥居平線	無名橋93	3.6	6.3	22.82	—	1985	39	RC橋	道路橋	5m未満	
109	0173	町道その他	河原鳥居平線	無名橋94	4.3	5.7	24.01	—	1970	54	RC橋	道路橋	5m未満	
110	0174	町道その他	日野中部1号線	無名橋95	3.0	6.0	18.00	—	1980	44	RC橋	道路橋	5m未満	
111	0175	町道その他	日野中部22号線	無名橋96	2.5	6.0	15.00	—	2000	24	RC橋	道路橋	5m未満	
112	0176	町道その他	小御門線	無名橋97	2.6	10.8	27.52	—	1985	39	RC橋	道路橋	5m未満	



図 2-2 長寿命化修繕計画対象橋梁 架橋位置

(2) 対象橋梁の現状

1) 架設年区分

計画対象橋梁 156 橋のうち架設年が判明している 72 橋（橋長 15m 以上：42 橋、橋長 15m 未満：30 橋、推定分除く）について、安定成長期（1970～1980 年代）に建設した橋梁が 34 橋（全判明橋梁数比 47%）と約半数を占めている。

現在、建設後 50 年を経過する橋梁は橋長 15m 以上の橋梁で 22 橋（判明橋梁数比 52%）と、第 2 期計画策定時（H28.3）の 9 橋から 13 橋増加している。橋長 15m 未満の橋梁でも同様であり、現在 15 橋（判明橋梁数比 50%）と第 2 期計画策定時（H31.7）の 13 橋から 2 橋増加している。さらに 20 年後、その数は橋長 15m 以上の橋梁で 38 橋（同 90%）、橋長 15m 未満で 27 橋（同 90%）とさらに増大し、橋梁の高齢化が今後急速的に進行する。

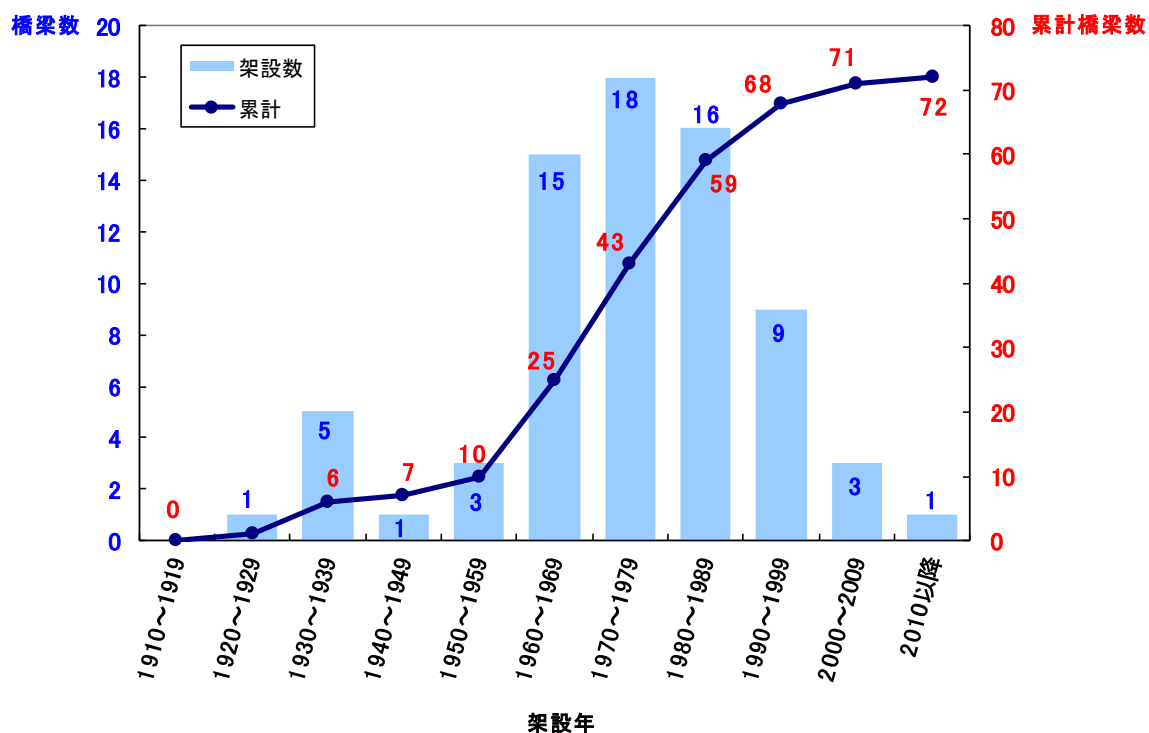


図 2-3 架設年の分布（全 156 橋のうち判明分 71 橋）

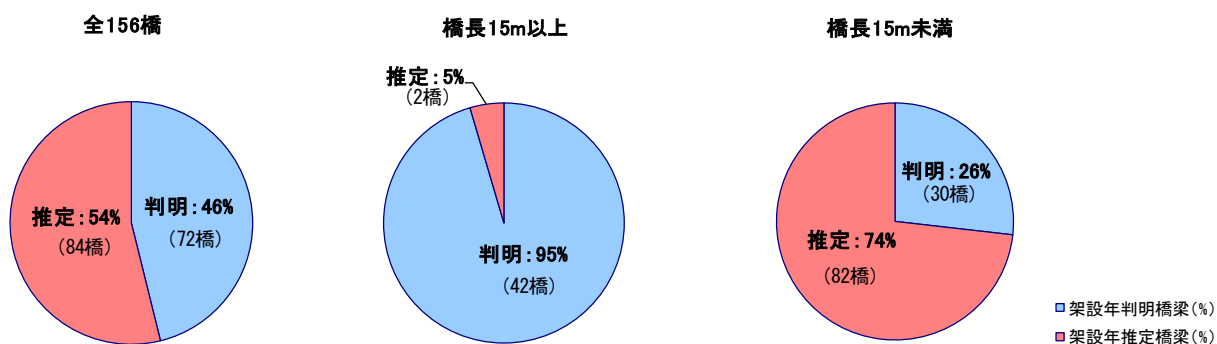


図 2-4 架設年推定橋梁の比率（左：全 156 橋、中：橋長 15m 以上、右：橋長 15m 未満）

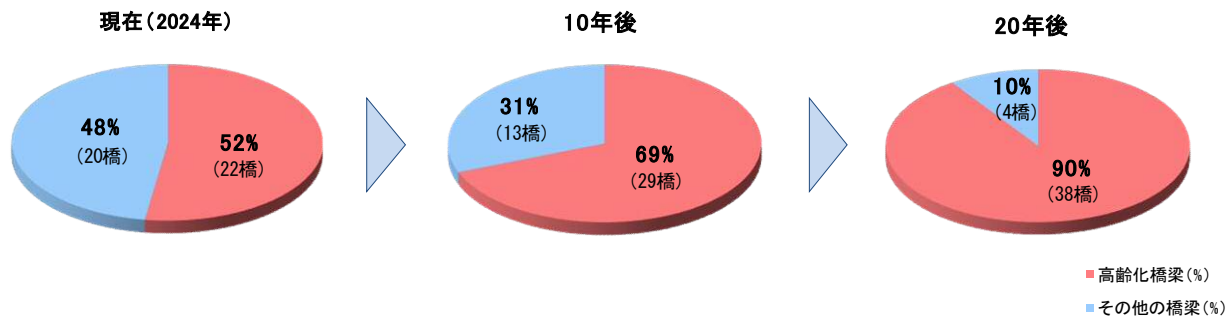


図 2-5 高齢化橋梁（建設後 50 年を経過した橋梁）の割合（橋長 15m 以上）



図 2-6 全国における高齢化橋梁の割合 (1) (国土交通省道路メンテナンス年報、R4 年度版)

表 2-3 現時点 (2024 年) での高齢化橋梁のリスト (橋長 15m 以上) (架設年が判明している橋梁)

No	橋梁番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	架設年	経過年 橋梁2024時	使用 材料	備考
1	0001	1級町道	西大路鎌掛線	高橋	50.3	3.0	1965	59	鋼橋	
2	0006	2級町道	北脇野出線	牛飼道橋	51.0	2.0	1966	58	PC橋	
3	0007	2級町道	上野田線	上野田橋	20.2	6.0	1973	51	PC橋	補修工事(H30)
4	0008	2級町道	内池山本線	高橋	15.3	4.8	1971	53	PC橋	
5	0009	2級町道	鎌掛字内線	前垣外橋	15.2	6.5	1969	55	鋼橋	補修工事(R1)
6	0012	町道その他	旧別所橋線	別所橋	81.9	4.5	1930	94	RC橋	補修工事(R4)
7	0013	町道その他	深山口木津線	木津橋	81.9	2.5	1974	50	鋼橋	補修工事(H29)
8	0014	町道その他	安土線	安土橋	45.0	3.0	1966	58	PC橋	
9	0016	町道その他	三十坪駅前線	大正橋	24.3	3.0	1965	59	鋼橋	補修工事(R5)
10	0017	町道その他	横町線	松尾橋	15.5	6.0	1973	51	PC橋	補修工事(R5)
11	0019	町道その他	松尾河原線	六枚橋	16.8	2.9	1973	51	PC橋	
12	0020	町道その他	御舎利町線	浄光寺橋	17.0	3.0	1973	51	PC橋	
13	0022	町道その他	中之郷線	西川原橋	24.7	3.1	1969	55	鋼橋	補修工事(R2)
14	0024	町道その他	音羽蔵王線	多々木橋	19.0	3.7	1930	94	RC橋	規制8t、補修工事(R2)
15	0025	町道その他	西蔵王線	本宮橋	17.4	2.5	1971	53	鋼橋	
16	0026	町道その他	北畑蔵王線	毛止野橋	18.7	3.0	1971	53	鋼橋	
17	0027	町道その他	原線	伊佐目橋	17.0	4.5	1972	52	鋼橋	補修工事(R1)
18	0028	町道その他	清田線	前川橋	19.9	4.0	1972	52	PC橋	補修工事(R2)
19	0030	町道その他	野出旧県道線	野出橋	72.3	3.3	1929	95	混合橋	RC6径間+PC1径間
20	0032	町道その他	中在寺野神線	野上橋	30.3	4.1	1934	90	RC橋	補修工事(H29)
21	0040	町道その他	萬徳寺線	原橋	21.6	4.5	1957	67	鋼橋	
22	0044	町道その他	石原鳥居平線	広域跨線橋(石原橋)	165.0	7.5	1974	50	PC橋	跨線橋、補修工事(R4)

表 2-4 現時点 (2024 年) での高齢化橋梁のリスト (橋長 15m 以上) (架設年を推定している橋梁)

No	橋梁番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	架設 推定年	経過年 橋梁2024時	使用 材料	備考
1	0042	町道その他	河原鳥居平線	河原橋	15.8	4.2	1967	57	PC橋	



図 2-7 日野町の高齢化橋梁（橋長 15m 以上）

(左：別所橋 (RC) --1930 年架設、中：原橋 (鋼) --1957 年架設、右：牛飼道橋 (PC) --1966 年架設)

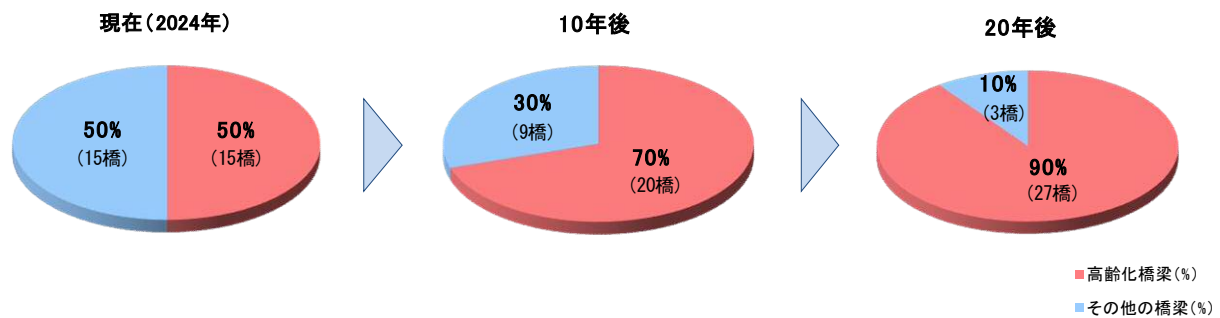


図 2-8 高齢化橋梁（建設後 50 年を経過した橋梁）の割合（橋長 15m 未満）

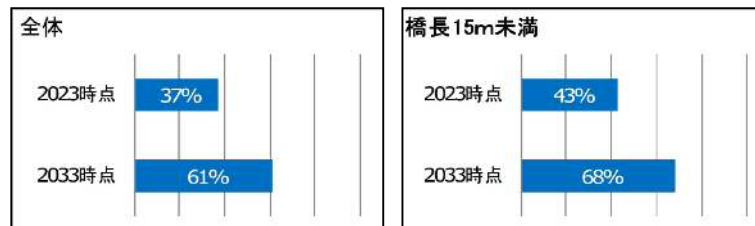


図 2-9 全国における高齢化橋梁の割合(2)（国土交通省道路メンテナンス年報、R4 年度版）

表 2-5 現時点(2024 年)での高齢化橋梁のリスト(橋長 15m 未満)（架設年が判明している橋梁）

No	橋梁番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	架設年	経過年 橋梁2024時	使用 材料	備考
1	0059	町道その他	木津日田線	野田川橋	3.6	3.0	1950	74	PC橋	
2	0069	2級町道	奥之池野村線	仁之切橋	4.0	2.0	1963	61	RC橋	
3	0081	町道その他	平子能野線	平熊橋	12.0	4.5	1968	56	PC橋	
4	0085	町道その他	鎌掛深山口線	西の宮橋	12.6	3.6	1963	61	RC橋	撤去予定(時期未定)
5	0088	2級町道	迫谷線	迫橋	14.0	4.5	1968	56	鋼橋	
6	0090	1級町道	深山口水口線	茶屋の橋	8.9	6.0	1969	55	PC橋	
7	0093	町道その他	御代参線	出雲川橋	6.2	3.7	1960	64	RC橋	
8	0097	町道その他	小御門十禅師線	御門橋	11.0	4.0	1963	61	PC橋	R7架替え予定
9	0098	町道その他	小御門十禅師線	播原橋	2.5	6.3	1949	75	RC橋	
10	0110	町道その他	下出线	菖蒲谷橋	9.2	4.1	1971	53	その他	
11	0120	町道その他	鎌掛深山口線	小竹橋	11.8	3.6	1964	60	RC橋	
12	0137	町道その他	しゃくなげ谷線	石楠花橋	9.5	4.1	1961	63	RC橋	
13	0139	町道その他	鎌掛字内線	瀬川橋	13.6	3.0	1956	68	RC橋	
14	0164	町道その他	下駒月中央線	日枝橋	9.5	4.4	1938	86	鋼橋	補修工事(R2完了)
15	0167	町道その他	牧野野神線	無名橋91(五郎津橋)	9.3	4.5	1938	86	鋼橋	補修工事(R5完了)



図 2-10 日野町の高齢化橋梁（橋長 15m 未満）

（左：日枝橋(鋼)―1938 年架設、中：瀬川橋(RC)―1956 年架設、右：平熊橋(PC)―1968 年架設）

表 2-6 現時点(2024 年)での高齢化橋梁のリスト(橋長 15m 未満)(架設年を推定している橋梁)

No	橋梁番号	道路種別	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	架設 推定年	経過年 橋梁2024時	使用 材料	備考
1	0049	町道その他	山本松尾線	無名橋5	7.4	3.0	1960-1969	59	PC橋	
2	0058	町道その他	大窪木津線	山王下橋	2.8	3.6	1960-1969	59	その他	
3	0066	2級町道	奥之池野村線	坂口橋	11.6	3.4	1955-1964	64	鋼橋	補修工事(R3完了)
4	0082	2級町道	蔵王熊野線	無名橋26	5.8	3.5	1950-1959	69	RC橋	
5	0087	町道その他	上駒月大野線	落合橋	8.0	3.0	1945-1954	74	PC橋	補修工事(R3完了)
6	0101	町道その他	三十坪駅前線	無名橋38	2.0	4.0	1960-1969	59	RC橋	
7	0102	町道その他	朝日野駅線	無名橋39	2.4	5.8	1965-1974	54	RC橋	
8	0112	町道その他	堂之谷墓地線	無名橋46	9.3	3.3	1965-1974	54	鋼橋	
9	0113	町道その他	神前谷中畑線	無名橋47	9.1	2.1	1965-1974	54	鋼橋	
10	0114	町道その他	中道線	無名橋48	10.5	2.9	1965-1974	54	鋼橋	
11	0115	町道その他	旧水口線	無名橋49	9.6	2.7	1965-1974	54	鋼橋	
12	0117	町道その他	頓宮線	無名橋51	2.8	3.6	1965-1974	54	RC橋	
13	0119	町道その他	中禅寺線	市の瀬川橋(坊出橋)	13.8	4.0	1965-1974	54	PC橋	
14	0121	町道その他	深山口木津線	無名橋53	3.5	2.9	1965-1974	54	PC橋	
15	0123	町道その他	中在寺線	無名橋54	13.0	3.0	1965-1974	54	PC橋	
16	0124	町道その他	西明寺原線	無名橋55	5.2	4.1	1965-1974	54	RC橋	
17	0125	町道その他	松尾河原線	無名橋56	4.3	7.5	1965-1974	54	その他	
18	0126	町道その他	松尾河原線	無名橋57	3.4	7.0	1965-1974	54	RC橋	
19	0131	町道その他	旧別所橋線	無名橋61	4.4	6.0	1965-1974	54	RC橋	
20	0132	町道その他	大窪音羽線	無名橋62	3.0	8.7	1965-1974	54	その他	
21	0133	町道その他	北脇杣線	無名橋63	10.5	15.5	1965-1974	54	RC橋	
22	0136	町道その他	しゃくなげ谷線	無名橋66	4.3	11.8	1955-1964	64	RC橋	
23	0141	町道その他	木津取付線	無名橋69	2.3	7.7	1965-1974	54	RC橋	
24	0150	町道その他	南比都佐小学校線	無名橋78	5.5	3.0	1965-1974	54	PC橋	
25	0157	2級町道	豊田中山線	無名橋83	2.4	7.5	1970	54	RC橋	
26	0159	2級町道	豊田中山線	無名橋85	5.3	4.6	1930	94	RC橋	
27	0162	町道その他	鳥居平中央線	前川橋	11.8	6.9	1928	96	RC橋	
28	0173	町道その他	河原鳥居平線	無名橋94	4.3	5.7	1970	54	RC橋	

2) 諸元による分類

本計画の策定対象である 156 橋のうち、橋長 15m 未満の橋梁は 112 橋（全橋梁数比 72%）と中小規模の橋梁が大半を占める。橋長 15m 以上の橋梁は 44 橋（同 28%）と割合は少ないが、橋長区分を橋梁延長及び橋面積に換算した場合、橋長 15m 以上の橋梁はそれぞれで 1,406.70m（全延長比 66%）、橋面積は 7,056.47m²（全面積比 66%）と多くを占めている。つまり、橋長 15m 以上の橋梁の管理についての重要性を改めて確認できる。

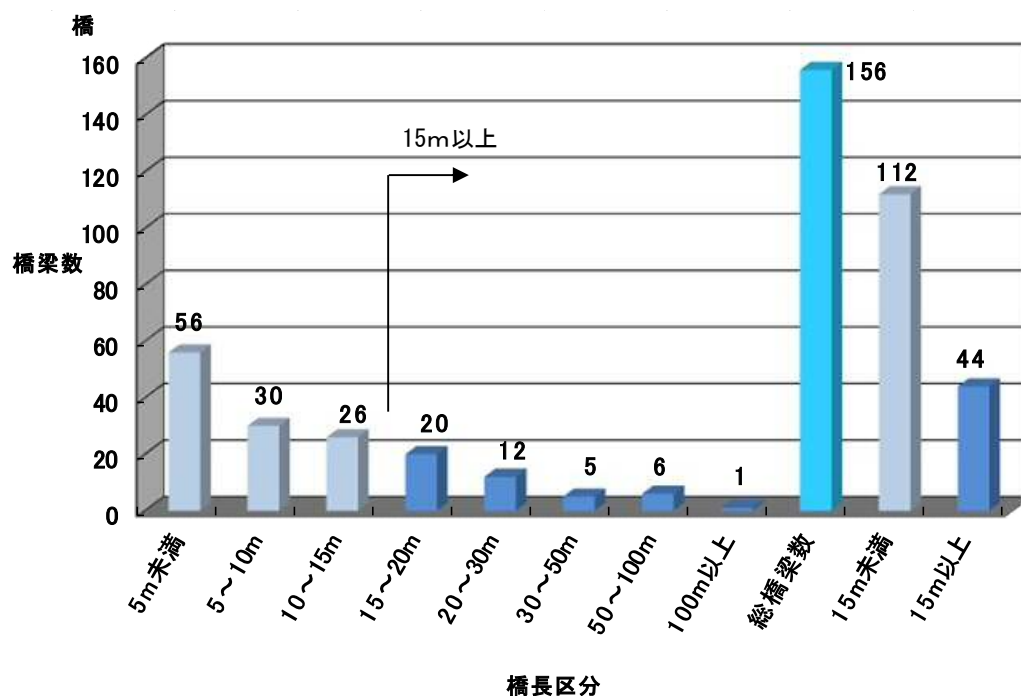


図 2-11 橋長による橋梁数の分布

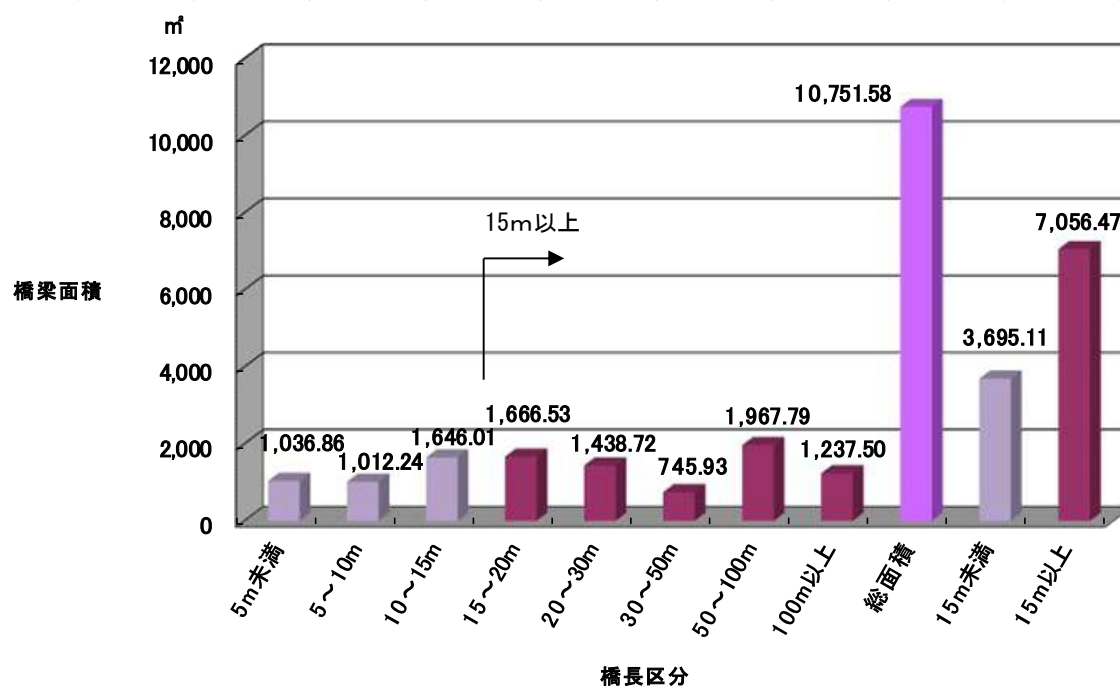


図 2-12 橋長による橋梁面積の分布

3) 材料区分

日野町が管理する町道橋梁 156 橋を構成する主な材料は、鋼材及びコンクリートであり、材料による区分は図 2-13 に示すとおりである。

橋梁は、主として以下の材料が基本で建設されている。

鋼 橋 : 上部構造を形成する主要部材が鋼材からなる橋

R C 橋 : 上部構造を形成する主要部材が鉄筋コンクリートからなる橋

P C 橋 : PC 鋼材で補強された鉄筋コンクリート橋

その他 : 上記以外の橋 (石材、他)

日野町では、主要構成部材の材料により、鋼橋・コンクリート橋 (RC 橋、PC 橋)・その他の材料 (石橋、その他 異種構造の材料で構成する橋) に分類する。本計画の対象橋梁 156 橋のうち、橋長 15m 以上の 44 橋では、鋼橋が 11 橋 (橋梁数比 25%)、コンクリート橋が 29 橋 (同 66%) であり、コンクリート橋の占める割合が大きい。これに対し、橋長 15m 未満の 112 橋では、鋼橋が 11 橋 (同 10%)、コンクリート橋が 96 橋 (同 86%) とその比率は顕著なものとなっている。

また、コンクリート橋の内訳については、橋長 15m 以上の 44 橋のうち PC 橋が 26 橋 (橋梁数比 59%)、RC 橋が 3 橋 (同 7%) と PC 橋の占める割合が大きいのに対し、橋長 15m 未満の 112 橋では RC 橋が 66 橋 (同 59%)、PC 橋が 30 橋 (同 27%) と逆に RC 橋の占める割合が大きい状況となっており、日野町が管理する橋梁施設の構造特性が確認出来る。

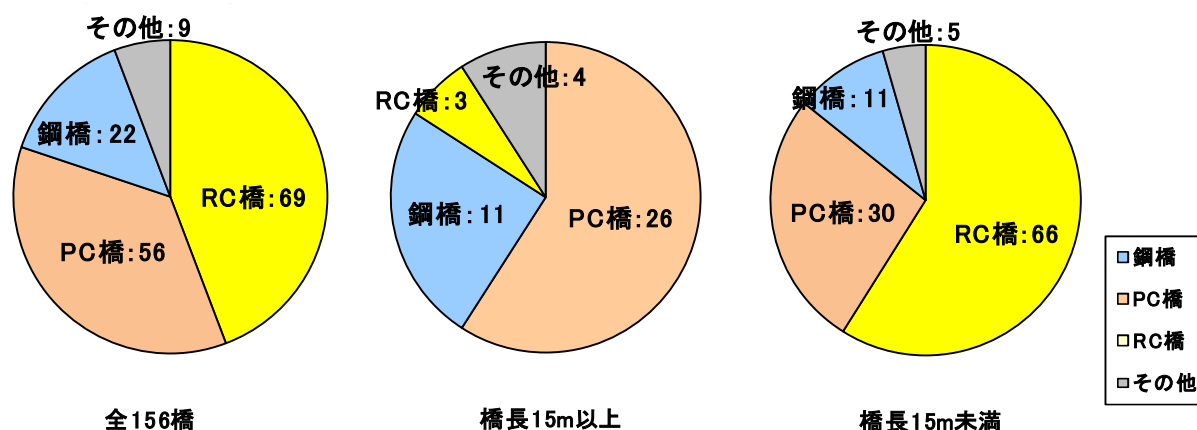


図 2-13 材料区分 (橋数)

(3) 次計画における策定対象施設の留意点

「0056_無名橋 11」（上大窪這上り線）と「0121_無名橋 53」（深山口木津線）では、路線周囲での圃場整備等により一部路線の付け替えまたは消失が生じている。しかし、現行の道路台帳（R5.3 補正）では認定内容の変更が未了となっている。

したがって、該当の路線区間に架かる上記の 2 橋については本計画策定の対象としたが、5 年後に予定する次回計画の策定時には、道路台帳補正の内容に合わせて対象施設とするかを確認することが必要である。



図 2-14 次回計画の際に確認する対象施設（無名橋 11）

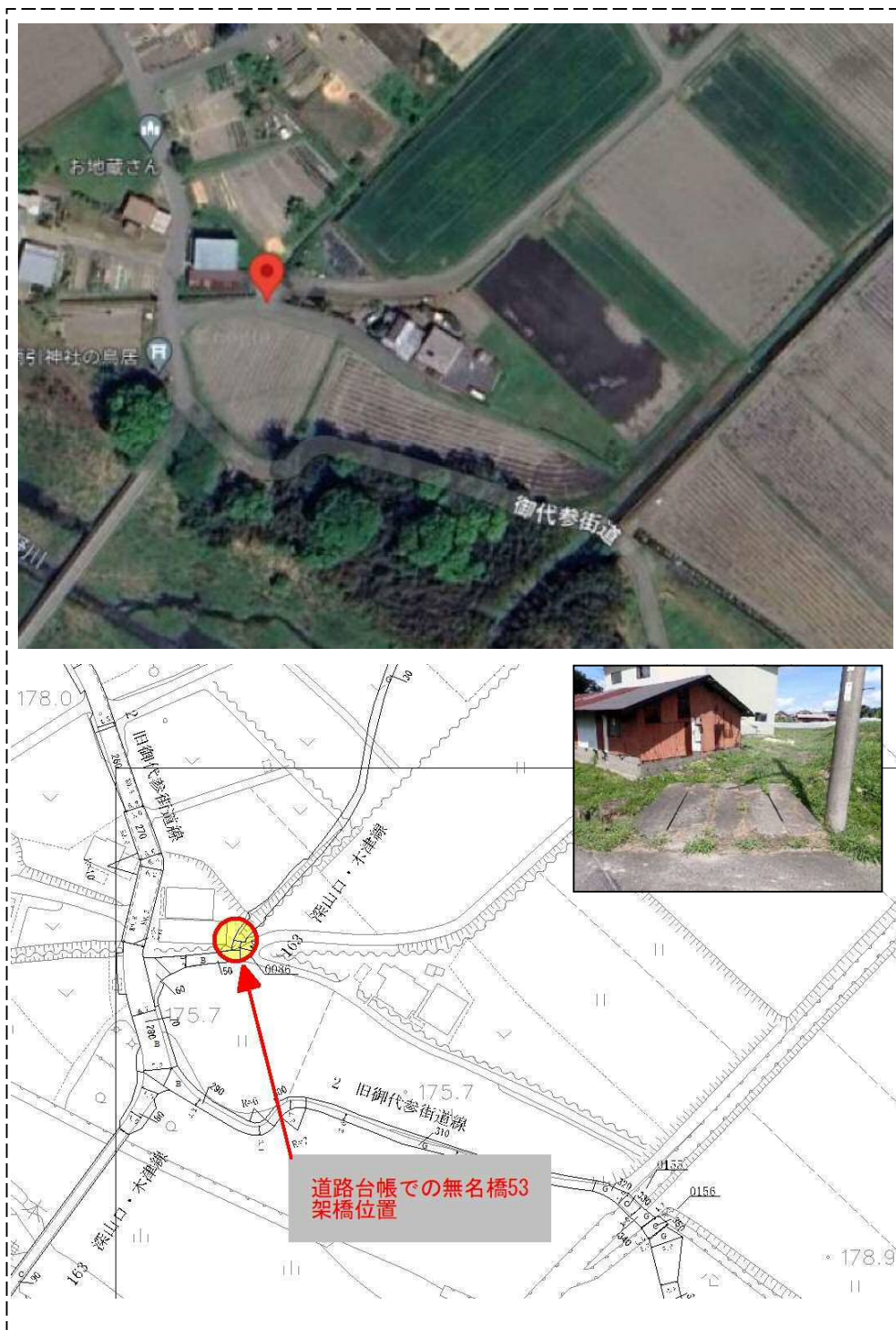


図 2-15 次回計画の際に確認する対象施設（無名橋 53）

2.1.3 計画期間

橋梁長寿命化修繕計画（橋梁個別施設計画）は、メンテナンスサイクル（2.1.1 前述）を構成する4要素の1つである「措置」に含まれる。点検・診断の結果に基づき、橋梁毎に対策内容と実施時期、対策費用を検討する。

本計画の計画期間（対策時期の検討対象期間、検討見直しを行うサイクル）については、下記に示す上位計画の計画期間や社会的背景の状況をふまえながら、検討する考えとした。

- ① 「第6次日野町総合計画」（R5.4）では基本構想を10年間と定め、基本計画を5年毎に見直しを図る方針としていること。
- ② 「日野町公共施設等総合管理計画」（H29.3 策定、R4.3 改定）では、中長期的な視点から大規模な更新需要の増大が生じるまでの計画として、計画期間を20年間（2017年～2036年）と設定していること。
- ③ 橋梁の定期点検を5年に一回の頻度で行う必要があること。

日野町が管理する道路橋は、経年劣化や使用状況によって時々刻々と変化していく。したがって、定期点検の実施間隔を基に「メンテナンスサイクル」を回す期間を設定することが最も適切である。

定期点検は5年に1回の頻度で行うことを道路法で定めており、最新の状態把握の結果を基にメンテナンスサイクルを回していくためには、計画見直しのサイクルを定期点検と同じ「5年周期」に合わせ、短期計画の定期的な見直しを行うことが望ましい。よって、本計画策定を更新する基本サイクルは5年間とする。

また、次期サイクル期間を含めた将来の見通しを継続的に確認出来る目的から、対策時期の検討対象期間（：短期計画）は5年より長く設ける（目安：10～20年間）ものとした。さらに、上位計画（第6次日野町総合計画）での計画期間も5年単位での設定を基本としていることから、且つメンテナンスサイクルに合わせた5年単位で検討対象期間を設定する。

以上より、個別施設計画（橋梁施設）における計画期間は、下記の設定とする。

【日野町橋梁個別施設計画 計画期間の設定】

- ① 定期点検の実施間隔に合わせることから、橋梁個別施設計画（橋梁長寿命化修繕計画）は5年をサイクルとした更新を行う。
- ② 将来の見直しを確認する目的から、措置（対策）の検討対象期間（：短期計画）は5年超 且つ 5年単位とする。

※但し、計画期間中に社会経済状況や関連法制度の変化など、本計画を取り巻く状況の変化を踏まえた上で、必要に応じた見直しを行う。

2.1.4 個別施設の状態等（定期点検の結果概要）

日野町では、本計画の対象橋梁 156 橋に対して、令和元年度～令和 5 年度に「道路橋定期点検要領」（H31. 2、国土交通省 道路局）及び「橋梁定期点検要領」（H26. 6、国土交通省 道路局 国道・防災課）に基づいた 3 回目の橋梁点検（近接目視は 2 回目）を実施した。点検結果より対象橋梁の状態を把握するにあたり、対象とした定期点検の実施状況は、表 2-7 に示すとおりである。

表 2-7 対象とした橋梁定期点検の実施一覧

点検年度	対象 橋数	点検期間	点検者	備考
令和元年度	24 橋	R1. 9. 2～R1. 10. 18	近畿設計測量株式会社	橋長 15m 以上 ※1
令和元年度	2 橋	R2. 3. 3～R2. 3. 11	株式会社新洲	橋長 15m 以上 跨線橋 2 橋
令和 2 年度	19 橋	R2. 9. 28～R2. 10. 27	株式会社滋賀測量設計事務所	橋長 15m 以上 (1 橋 15m 未満) ※1
令和 3 年度	43 橋	R3. 9. 24～R3. 12. 13	株式会社新明	橋長 15m 未満 ※1
令和 4 年度	43 橋	R4. 9. 5～R4. 11. 18	株式会社新洲	橋長 15m 未満 ※1
令和 5 年度	25 橋	R5. 8. 22～R5. 11. 14	正和設計株式会社	橋長 15m 未満 ※1

※1：受託した公益財団法人 滋賀県建設技術センターからの発注業務とした

(1) 点検実績による損傷評価区分

日野町では管理する全ての町道橋梁に対し、主に近接目視による状態の把握を行い、健全性を判定した。

表 2-7 に示す時期に実施した定期点検では、「橋梁定期点検要領」(H26. 6、国土交通省)に基づき、径間毎及び部材毎に損傷変状の状況を確認し、損傷程度区分(a～e)で段階的に評価・記録した。

次頁以降の表 2-8～2-14 に、委託業務を通して点検した全 156 橋について、損傷程度の記録を集計した一覧を示す。

表 2-8 損傷程度一覧(1)（令和元年度実施）

No	橋梁 番号	橋梁名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年	材料	鋼部材の損傷								コンクリート部材の損傷														その他の損傷			
							①腐食		②亀裂		③ゆるみ・脱落		④破断		⑥ひびわれ			⑦剥離・鉄筋露出				⑪床版 ひびわれ	⑧漏水・遊離石灰		⑨抜け落ち	⑬定着部 の異常	⑮支承部 の 機能障害	⑭路面 の凹凸	⑯沈下・ 移動・傾斜	⑰洗掘		
							主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	横桁	下部工	主桁	横桁	床版	下部工	床版	上部工	下部工	床版	全体						
1	0001	高橋(西大路鎌掛線)	50.30	3.40	1965	鋼橋	d	a	a	a	a	a	a	-	-	c	-	-	e	a	d	e	a	a	-	a	a	a	a			
2	0002	内池橋	84.00	11.75	2004	その他	a	b	a	a	a	a	a	d	-	d	a	-	a	a	d	d	d	a	-	a	a	a	a			
3	0003	西の口橋	18.70	6.70	1982	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a			
4	0004	迫米橋	27.10	12.20	1987	その他	a	a	a	a	a	a	a	e	e	d	a	a	a	a	e	d	d	a	-	a	c	a	a			
5	0005	宮前橋(日野南部線)	19.70	8.50	1985	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	d	a	a	a	a	a	e	a	a		
6	0006	牛飼道橋	51.00	2.40	1966	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	e	d	a	d	a	a	a	a	a	a	e	a	a		
7	0007	上野田橋	20.20	6.80	1973	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a	a	a		
8	0008	高橋(内池山本線)	15.30	5.50	1971	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a		
9	0010	藤切橋	30.00	8.20	1984	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	d	a	a	a	a	d	e	a	a	a	a	c	a	a		
10	0011	原古野橋	17.00	6.70	1983	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	d	a	a	c	a	a	a	a	a		
11	0012	別所橋	81.90	5.20	1930	RC橋	-	e	-	a	-	a	-	a	d	-	d	e	-	e	e	d	e	d	a	-	a	a	a	a		
12	0013	木津橋	81.90	3.10	1974	鋼橋	a	d	a	a	a	a	a	-	-	a	-	-	a	d	a	a	a	a	-	a	a	a	a	a		
13	0014	安土橋	45.00	3.80	1966	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	d	a	a	a	d	a	a	e	e	a	a	a	a	a	a	a		
14	0015	南橋	28.60	6.00	1985	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	d	a	a	c	a	a	e	a	a	a		
15	0016	大正橋	24.30	3.70	1965	鋼橋	a	e	a	a	a	a	a	-	-	a	-	-	-	d	-	-	a	-	-	e	a	a	a	a		
16	0017	松尾橋	15.50	6.80	1973	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	e	-	a	a	-	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a	a		
17	0018	大谷橋	19.30	6.20	1990	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a		
18	0019	六枚橋	16.80	3.70	1973	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a	a		
19	0020	浄光寺橋	17.00	3.80	1973	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	e	a	a		
20	0021	宮前橋(北脇中在寺線)	37.50	5.20	2013	鋼橋	a	a	a	a	a	a	a	-	-	a	-	-	a	a	d	d	a	a	-	a	a	a	a	a		
21	0022	西川原橋	24.70	3.60	1969	鋼橋	e	e	a	a	a	a	a	-	-	d	-	-	e	e	a	a	a	a	-	e	a	a	a	a		
22	0023	五左衛門橋	20.80	6.50	1977	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a	a		
23	0030	野出橋	72.30	3.60	1929	混合橋	a	e	a	a	a	a	a	c	c	a	e	e	e	e	d	e	e	a	a	a	a	c	a	a		
24	0032	野上橋	30.30	4.80	1934	RC橋	d	e	a	a	a	a	a	a	a	a	e	a	e	a	a	d	d	a	-	e	a	a	a	a		
25	0043	無名橋1	36.20	4.50	1994	鋼橋	c	c	a	a	a	a	a	-	-	c	-	-	a	a	d	e	d	a	-	a	e	a	a	a		
26	0044	広域跨線橋(石原橋)	165.00	8.30	1974	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	e	e	e	a	e	a	d	e	a	c	a	e	a	a	a		

表 2-9 損傷程度一覧(2) (令和 2 年度実施)

No	橋梁 番号	橋梁名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年	材料	鋼部材の損傷								コンクリート部材の損傷												その他の損傷				
							①腐食		②亀裂		③ゆるみ・脱落		④破断		⑥ひびわれ			⑦剥離・鉄筋露出				⑪床版 ひびわれ	⑧漏水・遊離石灰		⑨抜け落ち	⑬定着部 の異常	⑮支承部 の 機能障害	⑭路面 の凹凸	⑯沈下・ 移動・傾斜	⑰洗掘	
							主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	横桁	下部工	主桁	横桁	床版	下部工	床版	上部工	下部工	床版	全体					
1	0009	前垣外橋	15.20	7.20	1969	鋼橋	a	a	a	a	a	a	a	a	-	-	a	-	-	a	a	c	a	d	a	a	a	a	e	a	e
2	0024	多々木橋	19.00	4.16	1930	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	c	a	a	c	d	a	d	d	a	-	a	a	a	a	
3	0025	本宮橋	17.40	3.02	1971	鋼橋	a	a	a	a	a	c	a	a	-	-	d	-	-	d	a	d	a	d	a	-	a	a	a	c	
4	0026	毛止野橋	18.70	3.60	1971	鋼橋	a	c	a	a	a	a	a	a	-	-	a	-	-	a	a	a	a	a	a	-	a	a	a	a	
5	0027	伊佐目橋	17.00	5.30	1972	鋼橋	a	a	a	a	a	a	a	a	-	-	d	-	-	a	a	a	d	d	a	-	a	a	e	a	
6	0028	前川橋	19.90	4.70	1972	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a	
7	0029	野川橋	15.60	6.00	1980	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	
8	0031	杣橋	22.70	5.30	1986	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	c	a	a	a	a	a	d	a	a	a	a	a	a	a	
9	0033	長沢橋	28.20	5.80	1978	その他	-	e	-	a	-	a	-	a	d	b	d	d	a	d	d	a	e	d	a	a	e	a	a	e	
10	0034	小綿向橋	21.20	5.20	1984	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	
11	0035	宮田橋	16.90	5.00	1985	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	d	a	a	a	a	a	e	a	a	
12	0036	新里之内橋	19.00	11.00	1995	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	d	a	a	a	a	e	d	a	a	a	a	e	a	a	
13	0037	須原橋	19.70	4.00	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	
14	0038	小嶽橋	17.30	5.30	1987	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	d	a	a	a	a	a	a	a	a	
15	0039	坪江橋	29.40	4.20	1999	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	a	b	a	a	a	e	a	a	
16	0040	原橋	21.60	5.00	1957	鋼橋	b	d	a	a	a	a	a	a	-	-	d	-	-	a	a	c	d	e	a	-	a	a	a	a	
17	0041	青木ヶ原橋	21.70	6.20	1985	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	
18	0042	河原橋	15.80	5.00	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	e	a	a	a	a	a	c	a	a	
19	0105	無名橋41	12.00	8.68	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	a	a	a	d	d	a	a	a	e	a	a	

表 2-10 損傷程度一覧(3) (令和 3 年度実施 1/2)

No	橋梁 番号	橋梁名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年	材料	鋼部材の損傷								コンクリート部材の損傷												その他の損傷			
							①腐食		②亀裂		③ゆるみ・脱落		④破断		⑥ひびわれ			⑦剥離・鉄筋露出				⑪床版 ひびわれ	⑧漏水・遊離石灰		⑨抜け落ち	⑬定着部 の異常	⑮支承部 の 機能障害	⑭路面 の凹凸	⑯沈下・ 移動・傾斜	⑰洗掘
							主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	横桁	下部工	主桁	横桁	床版	下部工	床版	上部工	下部工	床版	全体				
1	0045	無名橋2(出雲川橋)	13.60	6.30	1978	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	a	e	a	a	d	a	c	a	a	a	a	a	e	a	a
2	0046	宮前橋(村井奥師線)	6.10	6.70	1978	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	e	a	a	a	a	e	a	a
3	0049	無名橋5	7.40	3.80	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	a	c	a	e	a	a	a	a	a	a	a
4	0050	無名橋6	4.50	5.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	c	-	-	a	-	a	a	-	-	a	a	a	a
5	0051	無名橋7	3.20	10.30	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	-	-	-	c	-	a	d	-	-	-	a	a	a
6	0055	無名橋10	3.40	6.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	e	-	d	a	-	-	a	-	d	a	-	-	-	a	a	a
7	0056	無名橋11	2.50	5.80	—	RC橋	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	a	a	-	-	a	-	d	e	-	-	-	a	a	a
8	0057	無名橋12	2.50	5.90	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	c	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a
9	0058	山王下橋	2.80	3.60	—	その他	-	a	-	a	-	a	-	a	c	-	a	e	-	-	a	-	a	a	-	a	a	a	a	a
10	0059	野田川橋	3.60	3.35	1950	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	a	a	a	a	a
11	0061	無名橋13	2.00	5.90	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	c	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a
12	0063	下出橋	4.30	4.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	-	a	-	a	c	-	-	a	e	a	a
13	0064	上出橋	4.40	4.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	-	a	-	a	a	-	-	a	e	a	a
14	0065	昭和橋	12.50	6.50	1984	鋼橋	c	c	a	a	a	a	a	a	-	-	d	-	-	c	a	d	a	a	a	-	a	a	a	a
15	0067	無名橋14	4.80	7.90	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	c	d	-	-	a	-	a	d	-	-	-	a	a	a
16	0068	無名橋15	2.20	4.50	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	c	-	d	c	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a
17	0069	仁之切橋	4.00	2.40	1963	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	a	a	a	a
18	0070	逆川橋	6.00	2.90	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	a	a	a	a
19	0071	無名橋16	7.50	4.70	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	-	d	-	a	a	-	a	a	e	a	a
20	0072	無名橋17	9.30	4.11	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	c	a	-	-	c	-	a	a	-	a	a	e	a	a
21	0073	無名橋18	9.30	4.30	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	-	a	-	a	a	-	a	a	a	a	a
22	0074	無名橋19	12.40	11.30	—	鋼橋	a	a	a	a	a	a	a	a	-	-	b	-	-	a	d	d	a	a	a	-	a	a	a	a
23	0075	無名橋20	6.80	11.52	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	c	d	-	-	d	-	d	a	-	-	-	a	a	a
24	0077	無名橋22	7.00	5.70	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	a	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a
25	0078	無名橋23	13.00	4.70	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
26	0079	無名橋24	3.10	5.50	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a
27	0080	無名橋25	6.00	5.80	—	その他	-	a	-	a	-	a	-	a	d	-	d	d	-	d	a	a	d	e	a	a	a	a	a	a
28	0081	平熊橋	12.00	5.20	1968	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	e	e	a	a	a	a	a	a
29	0082	無名橋26	5.80	4.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	-	a	-	a	a	-	-	a	a	a	a
30	0084	無名橋28	3.50	3.40	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a

表 2-11 損傷程度一覧(4)（令和 3 年度実施 2/2）

No	橋梁 番号	橋梁名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年	材料	鋼部材の損傷								コンクリート部材の損傷												その他の損傷			
							①腐食		②亀裂		③ゆるみ・脱落		④破断		⑥ひびわれ			⑦剥離・鉄筋露出				⑪床版 ひびわれ	⑧漏水・遊離石灰		⑨抜け落ち	⑬定着部 の異常	⑮支承部 の 機能障害	⑭路面 の凹凸	⑳沈下・ 移動・傾斜	㉑洗掘
							主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	横桁	下部工	主桁	横桁	床版	下部工	床版	上部工	下部工	床版	全体				
31	0085	西の宮橋	12.60	4.20	1963	RC橋	－	e	－	a	－	a	－	a	c	a	a	c	a	d	a	a	a	a	a	－	e	e	a	a
32	0088	迫橋	14.00	5.10	1968	鋼橋	c	c	a	a	a	a	a	a	－	－	a	－	－	d	a	d	a	a	a	－	e	e	a	a
33	0090	茶屋の橋	8.90	6.80	1969	PC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	a	a	－	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a	a
34	0091	無名橋31	2.90	11.04	—	RC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	a	a	－	－	a	－	d	d	－	－	－	a	a	a
35	0093	出雲川橋	6.20	4.00	1960	RC橋	－	b	－	a	－	a	－	a	a	a	d	a	a	a	a	d	d	a	－	e	a	a	a	a
36	0094	無名橋33	3.64	14.18	—	RC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	d	－	e	a	－	－	a	－	d	a	－	a	a	a	a	a
37	0095	無名橋34	2.10	5.20	—	RC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	a	a	－	－	d	－	a	a	－	－	－	a	a	a
38	0097	御門橋	11.00	4.60	1963	PC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	a	c	－	a	a	a	e	d	a	a	a	e	a	a
39	0098	播原橋	2.50	6.30	1949	RC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	a	a	－	－	a	－	a	d	－	a	a	a	a	a
40	0101	無名橋38	2.00	4.55	—	RC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	a	a	－	－	a	－	d	d	－	a	a	a	a	a
41	0107	無名橋43	3.10	5.45	—	RC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	a	c	－	－	a	－	c	a	－	－	－	a	a	a
42	0108	無名橋44	7.00	3.80	2007	鋼橋	c	c	a	a	a	a	a	a	－	－	a	－	－	a	a	a	a	a	a	－	a	a	a	a
43	0127	無名橋58	2.85	6.00	1994	RC橋	－	a	－	a	－	a	－	a	a	－	c	a	－	－	a	－	d	d	－	－	－	a	a	a

表 2-12 損傷程度一覧(5) (令和 4 年度実施 1/2)

No	橋梁 番号	橋梁名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年	材料	鋼部材の損傷								コンクリート部材の損傷												その他の損傷			
							①腐食		②亀裂		③ゆるみ・脱落		④破断		⑥ひびわれ			⑦剥離・鉄筋露出				⑪床版 ひびわれ	⑧漏水・遊離石灰		⑨抜け落ち	⑬定着部 の異常	⑮支承部 の 機能障害	⑭路面 の凹凸	⑳沈下・ 移動・傾斜	㉑洗掘
							主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	横桁	下部工	主桁	横桁	床版	下部工	床版	上部工	下部工	床版	全体				
1	0066	坂口橋	11.60	4.00	—	鋼橋	a	a	a	a	a	a	a	a	—	—	a	—	—	a	a	a	a	a	a	—	a	a	a	a
2	0087	落合橋	8.00	3.52	—	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	a	—	a	a	a	c	a	a	a	a	a	a	a
3	0102	無名橋39	2.40	6.20	—	RC橋	—	—	—	—	—	—	—	—	d	—	a	a	—	—	a	—	d	d	—	—	a	a	a	a
4	0103	雁掛橋	10.50	5.20	1991	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	a	—	a	a	a	d	d	a	a	a	a	a	a
5	0104	無名橋40	7.30	6.70	—	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	d	—	a	c	a	a	d	a	a	a	a	a	a
6	0109	無名橋45	3.60	4.70	—	RC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	a	—	—	a	—	a	a	—	—	a	a	a	a
7	0110	菖蒲谷橋	9.20	4.80	1971	その他	c	c	a	a	a	a	a	a	a	—	a	a	—	d	a	d	d	a	a	a	a	a	a	a
8	0111	馬場橋	9.20	4.82	1986	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	d	a	—	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
9	0112	無名橋46	9.30	3.85	—	鋼橋	c	d	a	a	a	e	a	a	—	—	a	—	—	d	a	d	d	a	a	—	a	a	a	a
10	0113	無名橋47	9.10	2.70	—	鋼橋	d	e	a	a	a	a	a	a	—	—	a	—	—	d	d	d	d	a	a	—	a	a	a	a
11	0114	無名橋48	10.50	3.50	—	鋼橋	c	d	a	a	a	a	a	a	—	—	a	—	—	d	a	d	d	a	a	—	a	a	a	a
12	0115	無名橋49	9.60	3.30	—	鋼橋	c	c	a	a	a	a	a	a	—	—	a	—	—	d	a	a	d	d	a	—	a	a	a	a
13	0117	無名橋51	2.80	3.84	—	RC橋	—	—	—	—	—	—	—	—	a	—	a	d	—	—	a	—	a	a	—	—	a	a	a	a
14	0118	無名橋52	13.00	4.70	—	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	a	—	a	a	a	d	d	a	a	a	e	a	a
15	0119	市の瀬川橋(坊出橋)	13.80	4.73	—	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	a	—	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
16	0120	小竹橋	11.80	4.20	1964	RC橋	—	e	—	a	—	a	—	a	a	a	a	a	a	d	a	a	d	d	a	—	a	a	a	a
17	0121	無名橋53	3.50	2.90	—	PC橋	—	—	—	—	—	—	—	—	a	—	a	a	—	—	a	—	d	a	—	a	a	a	e	a
18	0122	薬師前橋	14.30	4.80	1990	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	a	a	c	a	a	a	a	e	a	a	c	a	a	a	a
19	0123	無名橋54	13.00	3.80	—	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	d	a	—	a	c	a	e	d	a	a	a	a	a	a
20	0124	無名橋55	5.20	4.35	—	RC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	d	—	—	a	—	a	d	—	—	a	a	a	a
21	0125	無名橋56	4.30	8.45	—	その他	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	c	a	—	—	a	—	a	d	—	a	a	a	a	a
22	0126	無名橋57	3.40	7.80	—	RC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	d	a	—	—	a	—	e	d	—	—	—	e	a	a
23	0128	大橋	2.90	8.40	1980	RC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	d	—	d	a	—	—	a	—	d	d	—	—	—	a	a	a
24	0129	無名橋59	2.60	7.20	—	RC橋	—	—	—	—	—	—	—	—	c	—	d	d	—	—	a	—	d	a	—	—	a	a	a	a
25	0131	無名橋61	4.40	6.78	—	RC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	d	—	—	a	—	d	a	—	—	a	a	a	a
26	0132	無名橋62	3.00	9.05	—	その他	e	a	a	a	a	a	a	a	a	—	a	d	—	a	a	a	a	a	a	—	a	a	a	a
27	0133	無名橋63	10.50	25.00	—	RC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	d	—	d	a	—	—	d	—	d	d	—	—	—	a	a	a
28	0135	無名橋65	13.70	3.80	—	PC橋	—	a	—	a	—	a	—	a	a	—	a	a	—	a	c	a	d	a	a	a	a	a	a	a
29	0136	無名橋66	4.30	12.83	—	RC橋	—	e	—	a	—	a	—	a	a	—	a	d	—	—	a	—	a	d	—	—	a	e	a	e
30	0137	石楠花橋	9.50	4.65	1961	RC橋	—	e	—	a	—	a	—	a	a	a	a	d	d	d	a	a	d	a	a	—	a	e	a	a

表 2-13 損傷程度一覧(6) (令和 4 年度実施 2/2)

No	橋梁 番号	橋梁名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年	材料	鋼部材の損傷								コンクリート部材の損傷												その他の損傷			
							①腐食		②亀裂		③ゆるみ・脱落		④破断		⑥ひびわれ			⑦剥離・鉄筋露出				⑪床版 ひびわれ	⑧漏水・遊離石灰		⑨抜け落ち	⑬定着部 の異常	⑮支承部 の 機能障害	⑭路面 の凹凸	⑳沈下・ 移動・傾斜	㉔洗掘
							主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	横桁	下部工	主桁	横桁	床版	下部工	床版	上部工	下部工	床版	全体				
31	0138	無名橋67	7.60	7.90	1976	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	e	-	d	a	-	-	c	-	d	d	-	-	-	a	a	a
32	0139	瀬川橋	13.60	3.60	1956	RC橋	-	c	-	a	-	a	-	a	d	a	a	d	d	d	a	d	d	a	a	-	a	a	a	a
33	0140	無名橋68	3.80	6.50	—	RC橋	-	-	-	-	-	-	-	-	d	-	d	a	-	-	a	-	d	d	-	-	a	a	a	a
34	0141	無名橋69	2.25	7.65	—	RC橋	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-	a	c	-	-	a	-	d	d	-	-	-	a	a	a
35	0143	無名橋71	3.00	8.40	—	RC橋	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-	d	a	-	-	d	-	d	a	-	-	-	a	a	a
36	0144	無名橋72	6.20	8.70	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	e	-	d	d	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a
37	0145	無名橋73	3.60	9.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	c	-	d	d	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a
38	0146	無名橋74	11.60	5.20	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	e	-	c	c	-	a	a	a	d	a	a	a	a	e	a	a
39	0147	無名橋75	3.50	4.34	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	c	-	e	a	-	-	c	-	c	c	-	-	-	e	a	a
40	0148	無名橋76	2.80	5.50	—	RC橋	-	-	-	-	-	-	-	-	d	-	d	d	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a
41	0149	無名橋77	3.40	9.00	—	RC橋	-	-	-	-	-	-	-	-	d	-	d	a	-	-	a	-	d	a	-	-	-	e	a	a
42	0150	無名橋78	5.50	3.00	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	a	a	a	a	e
43	0152	無名橋79	4.10	5.20	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	b	-	a	a	-	-	d	-	d	a	-	-	-	a	a	a

表 2-14 損傷程度一覧(7) (令和 5 年度実施)

No	橋梁 番号	橋梁名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	架設年	材料	鋼部材の損傷								コンクリート部材の損傷														その他の損傷			
							①腐食		②亀裂		③ゆるみ・脱落		④破断		⑥ひびわれ			⑦剥離・鉄筋露出				⑪床版 ひびわれ	⑧漏水・遊離石灰		⑨抜け落ち	⑫定着部 の異常	⑬支承部 の 機能障害	⑭路面 の凹凸	⑮沈下・ 移動・傾斜	⑯洗掘		
							主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	その他	主桁	横桁	下部工	主桁	横桁	床版	下部工	床版	上部工	下部工	床版	全体						
1	0151	宮前橋(村井奥師線)	12.50	6.70	1996	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	a	a	a	d	a	a	a	a	a	a	a	a	
2	0153	無名橋80	2.50	6.60	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	c	-	c	a	-	-	d	-	a	d	-	-	-	e	a	a		
3	0154	徳谷橋	6.80	7.70	1986	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	-	a	-	a	a	-	-	a	e	a	a		
4	0155	無名橋81	3.20	6.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a		
5	0156	無名橋82	4.10	5.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	d	-	c	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a		
6	0157	無名橋83	2.40	9.86	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	e	-	-	a	-	e	d	-	-	-	e	a	a		
7	0158	無名橋84	2.05	9.82	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	-	d	-	a	a	-	-	-	a	a	a		
8	0159	無名橋85	5.30	5.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	b	-	a	e	-	-	a	-	e	a	-	-	a	a	a	a		
9	0160	無名橋86	2.70	4.10	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a		
10	0161	無名橋87	8.30	6.40	—	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	a	a	a	d	d	a	a	a	e	a	a		
11	0162	前川橋(鳥居平中央線)	11.80	7.40	—	RC橋	-	e	-	a	-	a	-	a	d	a	d	e	a	d	c	a	d	d	a	-	a	a	a	a		
12	0163	無名橋88	3.90	7.30	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	d	-	b	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	e	a	a		
13	0164	日枝橋	9.50	5.00	1938	鋼橋	a	b	a	a	a	a	a	a	-	-	b	-	-	a	a	a	a	d	a	-	a	a	a	a		
14	0165	無名橋89	3.10	6.95	—	RC橋	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a		
15	0166	無名橋90	2.45	5.50	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	a	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a		
16	0167	無名橋91(五郎津橋)	9.30	5.00	1938	鋼橋	a	a	a	a	a	e	a	a	-	-	b	-	-	a	a	d	d	d	a	-	a	a	a	a		
17	0168	西出橋	10.00	4.30	1978	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	d	-	d	d	-	d	a	a	d	d	a	a	a	e	a	a		
18	0169	棒川橋	12.70	6.20	2000	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	a	a	a	e	a	a	a	a	a	a	a		
19	0170	迫宮前橋	12.00	11.00	1992	PC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	d	a	-	a	a	a	d	a	a	a	a	e	a	a		
20	0171	無名橋92	4.60	10.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	d	-	d	a	-	-	a	-	a	d	-	-	-	a	a	a		
21	0172	無名橋93	3.60	8.51	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	e	-	e	a	-	-	a	-	d	a	-	-	-	a	a	a		
22	0173	無名橋94	4.25	6.15	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	a	-	a	d	-	-	a	-	a	a	-	-	-	a	a	a		
23	0174	無名橋95	3.00	6.60	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	d	-	d	a	-	-	d	-	a	d	-	-	-	a	a	a		
24	0175	無名橋96	2.50	6.60	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	d	-	d	a	-	-	a	-	a	d	-	-	-	e	a	a		
25	0176	無名橋97	2.56	20.00	—	RC橋	-	a	-	a	-	a	-	a	c	-	b	a	-	-	a	-	d	a	-	-	-	a	a	a		

(2) 健全性の診断による判定区分

平成 26 年度より実施する定期点検では、「道路橋定期点検要領」（最新版：H31. 2、国土交通省）に拠り、部材単位または道路橋毎に健全性の診断を行う必要がある。日野町では、「橋梁定期点検要領」（H26. 6、国土交通省 道路局 国道・防災課）に基づき近接目視点検で確認した損傷程度を基に、4 種類の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）で診断した。

健全性の診断では、指標値・算定値といった客観的な評価とは違い、機能や役割の異なる多くの部材毎の特徴、または橋梁の架橋条件といった、個々の状況をふまえて行うことが重要である。したがって、判定要領といったマニュアルは無く、健全性を診断する者の判定能力に係るものが非常に大きい。

日野町では、「橋梁定期点検要領」P. 19-26^{※1} に示す記述内容（：要約～表 2-15 参照、詳細～次頁の参考資料参照）を参考として、健全性の診断に関する判定を行った。ただし、これらはあくまでも診断に取り掛かるための相関の目安を示す資料であり、部材の持つ機能の重要度や橋梁の架橋条件を最大に考慮することを優先し、必ずしもこれら資料に従うことは無い考えとした。

※1 H26. 6 版の掲載頁を示しているが、最新版（H31. 3、国土交通省 道路局 国道・技術課）の P. 21-28 にも同様の記述はある。

表 2-15 健全性診断判定と対策区分との相関（参考）

健全性の診断区分（部材単位）			対策区分の判定区分		備 考
判定区分		判定の定義	判定区分	判定内容	
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態	A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。	
			B	状況に応じて補修を行う必要がある。	
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	C1	予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。	
			M	維持工事に対応する必要がある。	
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	道路利用者及び第三者の被害
			E2	その他、緊急対応の必要がある。	
			S1	詳細調査の必要がある。	
			S2	追跡調査の必要がある。	

●参考資料 … 「橋梁定期点検要領」(H26. 6、国土交通省道路局国道・防災課)では、損傷程度の区分(：a～e)を基に判定した対策区分の判定区分(：A～S)から、健全性の診断の判定区分(：判定Ⅰ～Ⅳ)への対応として、一般的に以下の記述(橋梁定期点検要領 P. 19～26 参照)がある。

●対策区分と健全性判定区分の関係

表－6. 1. 1 対策区分の判定区分

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に忘れて補修を行う必要がある。
C 1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C 2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E 1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E 2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応する必要がある。
S 1	詳細調査の必要がある。
S 2	追跡調査の必要がある。

表－7. 1 判定区分

区分		定義
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

「Ⅰ」：A, B
「Ⅱ」：C 1, M
「Ⅲ」：C 2
「Ⅳ」：E 1, E 2

●対策区分と対策時期

対策区分 B (健全性判定Ⅰ)	② 判定区分Bとは、損傷があり補修の必要があるものの、損傷の原因、規模が明確であり、直ちに補修するほどの緊急性はなく、放置しても少なくとも次回の定期点検まで(＝5年程度以内)に構造物の安全性が著しく損なわれることはないと判断できる状態をいう。	対策区分 C2 (健全性判定Ⅲ)	判定区分C 2とは、損傷が相当程度進行し、当該部位、部材の機能や安全性の低下が著しく、橋梁構造の安全性の観点から、少なくとも次回の定期点検まで(＝5年程度以内)には補修等される必要があると判断できる状態をいう。
対策区分 C1 (健全性判定Ⅱ)	③ 判定区分C 1とは、損傷が進行しており、耐久性確保(予防保全)の観点から、少なくとも次回の定期点検まで(＝5年程度以内)には補修等される必要があると判断できる状態をいう。なお、橋梁構造の安全性の観点からは直ちに補修するほどの緊急性はないものである。	対策区分 E1・E2 (健全性判定Ⅳ)	④ 判定区分E 1とは、橋梁構造の安全性が著しく損なわれており、緊急に処置されることが必要と判断できる状態をいう。 判定区分E 2とは、自動車、歩行者の交通障害や第三者等への被害のおそれが懸念され、緊急に処置されることが必要と判断できる状態をいう。

本計画対象橋梁 156 橋について、日野町が実施した近接目視点検に基づいた健全性の診断結果（判定区分Ⅰ～Ⅳ）の内訳は、図 2-16 のとおりであった。また、橋梁毎の部材単位・橋単位での診断結果を、後頁の表 2-17～2-23 に整理した。

対象の 156 橋に対して、緊急措置段階である「判定区分：Ⅳ」の橋梁は無かったが、早期措置段階である「判定区分：Ⅲ」の橋梁は 5 橋（表 2-16、次頁図 2-17）であった。判定Ⅲとした橋梁については、点検後 5 年以内を目標に対策（修繕・架替え等）を優先的に取り組む必要があった。日野町では、これら 5 橋全ての補修工事を令和 6 年 3 月末迄に完了しており、安全・安心の確保を速やかに対処出来ている。

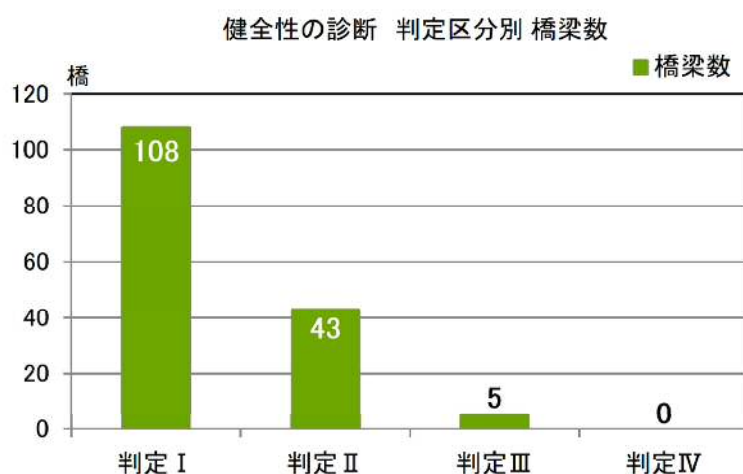


図 2-16 健全性の診断結果（判定区分毎の橋梁数）

表 2-16 判定区分：Ⅲと診断した橋梁一覧

No	点検年度	橋梁番号	路線名称	施設名称	橋長(m)	架設年	使用材料	主な該当損傷	備考
1	2019	0012	旧別所橋線	別所橋	81.9	1930	RC橋	主桁・変形欠損	R4年度:補修工事完了
2	2019	0017	横町線	松尾橋	15.5	1973	PC橋	主桁・ひびわれ	ASRの可能性有 R5年度:補修工事完了
3	2019	0022	中之郷線	西川原橋	24.7	1969	鋼橋	上部構造及び支承部・腐食	R2年度:補修工事完了
4	2020	0033	東桜谷旧県道線	長沢橋	28.2	1978	RC橋 PC橋	主桁(RC)・鉄筋露出	R3年度:補修工事完了
5	2019	0044	石原鳥居平線	広域跨線橋(石原橋)	165.0	1974	PC橋	橋脚・ひびわれ	ASRの可能性有 R4年度:補修工事完了



主桁端部の変形・欠損（左）と、主桁端部下面のうき（右、判定Ⅱ）【 0012_別所橋 】



主桁下面の軸方向ひびわれ【 0017_松尾橋 】

桁端部鋼材の腐食【 0022_西川原橋 】



旧橋主桁でのうき（左）と剥離・鉄筋露出（右、判定Ⅱ～Ⅰ）【 0033_長沢橋 】



橋脚梁部（左）及び橋脚柱部（右）の亀甲状ひびわれ【 0044_広域跨線橋（石原橋）】

図 2-17 健全性診断で判定区分：Ⅲとした橋梁での主要な損傷（該当 5 橋）補修対策完了済

表 2-17 健全性の診断 判定一覧 (1) (令和元年度実施)

No	橋梁 管理 番号	橋梁名	路線名	主桁		横桁		床版		下部工		支承部		その他		橋単位判定		備考
				判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	点検時	措置後	
1	0001	高橋(西大路鎌掛線)	西大路鎌掛線	I		I		II	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	I		I		II	その他(地覆)	II	—	
2	0002	内池橋	内池水口線	I		I		I		II	その他(落書き)	I		II	土砂詰まり、舗装の異常(舗装)	I	—	
3	0003	西の口橋	村井奥師線	II	その他(鳥の巣)	—		II	漏水・遊離石灰	I		I		II	土砂詰まり(排水管)	II	—	
4	0004	迫栄橋	深山水口線	II	ひびわれ	II	ひびわれ	II	床版ひびわれ	I		I		II	路面の凸凹、土砂詰まり(伸縮装置)	II	—	R5年度対策完了
5	0005	宮前橋(日野南部線)	日野南部線	I		I		II	その他(鳥の巣)	I		I		II	腐食(排水管)、路面の凸凹(舗装)	I	—	
6	0006	牛飼道橋	北脇野出線	I		I		I		I		II	土砂詰まり	II	土砂詰まり、舗装の異常(舗装)	I	—	
7	0007	上野田橋	上野田線	I		I		I		I		I		I		I	—	
8	0008	高橋(内池山本線)	内池山本線	I		—		I		I		I		II	土砂詰まり(舗装)	I	—	
9	0010	藤切橋	蔵王熊野線	I		I		I		I		I		II	土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
10	0011	原古野橋	原古野線	I		II	その他(鳥の巣)	I		I		I		II	土砂詰まり(排水管)	I	—	
11	0012	別所橋	旧別所橋線	III	変形・欠損	—		II	剥離・鉄筋露出	II	ひびわれ、変形・欠損	II	腐食	II	土砂詰まり(舗装)	III	—	R4年度対策完了
12	0013	木津橋	深山口木津線	I		I		II	その他(鳥の巣)	II	腐食	I		II	土砂詰まり(排水管)	II	—	
13	0014	安土橋	安土線	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰	II	その他(鳥の巣)	I		I		II	土砂詰まり	II	土砂詰まり(排水管)	II	—	
14	0015	南橋	南蔵王線	I		I		I		I		I		II	路面の凹凸	I	—	
15	0016	大正橋	三十坪駅前線	II	遊間の異常	I		II	腐食、変形・欠損	I		II	支承部の機能障害	II	土砂詰まり(舗装)	II	—	R5年度対策完了
16	0017	松尾橋	横町線	III	ひびわれ	—		I		I		I		II	変形・欠損(添架物)	III	—	R5年度対策完了
17	0018	大谷橋	大谷線	I		II	その他(鳥の巣)	I		I		I		II	舗装の異常、土砂詰まり(舗装)	I	—	
18	0019	六枚橋	松尾河原線	I		—		I		I		I		II	舗装の異常、土砂詰まり(舗装)	I	—	
19	0020	浄光寺橋	御舎利町線	I		—		I		I		I		II	路面の凹凸	I	—	
20	0021	宮前橋(北脇中在寺線)	北脇中在寺線	I		I		I		II	その他(不法占用)	I		I		I	—	
21	0022	西川原橋	中之郷線	III	腐食、変形・欠損	—		I		II	剥離・鉄筋露出	III	腐食、支承部の機能障害	II	路面の凹凸、変形・欠損(防護柵)	III	—	R2年度対策完了
22	0023	五左衛門橋	杣線	I		I		I		I		I		II	舗装の異常	I	—	
23	0030	野出橋	野出旧県道線	II	鉄筋露出、遊離石灰	II	その他(鳥の巣)	II	漏水・遊離石灰	I		II	腐食	II	腐食、ゆるみ・脱落(防護柵)	II	—	
24	0032	野上橋	中在寺野神線	II	腐食、その他(鳥の巣)	I		II	その他(鳥の巣)	I		II	腐食、支承部の機能障害、変形・欠損	I		II	—	
25	0043	無名橋1	娑婆谷線	I		II	その他(落書き)	I		I		I		II	路面の凹凸、土砂詰まり(舗装)	I	—	
26	0044	広域跨線橋(石原橋)	石原鳥居平線	I		I		I		III	ひびわれ	I		II	路面の凸凹、土砂詰まり	III	—	R4年度対策完了

「道路橋毎の健全性の診断」結果総括表(令和元年度)

I	14 橋	II	8 橋	III	4 橋	IV	0 橋
	53.9 %		30.8 %		15.4 %		0.0 %

表 2-18 健全性の診断 判定一覧 (2) (令和2年度実施)

No	橋梁 管理 番号	橋梁名	路線名	主桁		横桁		床版		下部工		支承部		その他		橋単位判定		備考
				判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	点検時	措置後	
1	0009	前垣外橋	鎌掛字内線	I		I		I		I		I		II	路面の凸凹、洗掘(護岸工)	I	—	
2	0024	多々木橋	音羽蔵王線	I		I		II	剥離・鉄筋露出	II	うき	II	土砂詰まり	II	腐食、その他	II	—	R2年度対策完了
3	0025	本宮橋	西蔵王線	I		I		I		I		II	土砂詰まり	II	変形・欠損、土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
4	0026	毛止野橋	北畑蔵王線	I		I		I		I		I		II	変形・欠損、土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
5	0027	伊佐目橋	原線	I		I		I		I		I		II	腐食	I	—	
6	0028	前川橋	清田線	II	その他(落書き)	—		II	漏水・遊離石灰	I		I		I		II	—	R2年度対策完了
7	0029	野川橋	中在寺野出線	I		I	その他(鳥の巣)	I		I		II	土砂詰まり	II	土砂詰まり(舗装、伸縮装置)	I	—	
8	0031	杣橋	杣半川原線	II	その他(鳥の巣)	II	その他(鳥の巣)	I		I		I		I		I	—	
9	0033	長沢橋	東桜谷旧県道線	III	うき	I		II	剥離・鉄筋露出	II	剥離・鉄筋露出、洗掘	II	腐食、支承部の機能障害	I		III	—	R3年度対策完了
10	0034	小綿向橋	杣川原線	II	その他(鳥の巣)	II	その他(鳥の巣)	I		I		I		II	土砂詰まり	I	—	
11	0035	宮田橋	南比都佐小学校線	II	その他(鳥の巣)	II	その他(鳥の巣)	I		I		I		II	路面の凸凹、ゆるみ・脱落(防護柵)	I	—	
12	0036	新里之内橋	里之内線	II	その他(落書き)	II	その他(鳥の巣)	II	その他(落書き)	I		I		II	路面の凸凹	I	—	
13	0037	須原橋	旧御代参街道線	I		II	その他(鳥の巣)	I		I		II	土砂詰まり	I		I	—	
14	0038	小嶽橋	鎌掛深山口線	I		II	その他(鳥の巣)	I		I		I		II	土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
15	0039	坪江橋	萬徳寺線	I		—		I		I		I		II	路面の凸凹	I	—	
16	0040	原橋	萬徳寺線	I		II	腐食	I		II	その他(草木の繁茂)	II	腐食	II	腐食	II	—	
17	0041	青木ヶ原橋	平代線	I		I		I		I		II	土砂詰まり	II	ゆるみ・脱落(防護柵)	I	—	
18	0042	河原橋	河原鳥居平線	II	その他(落書き)	I		II	漏水・遊離石灰	I		I		I		II	—	
19	0105	無名橋41	鳥居平安部居線	I		—		I		II	その他	I		II	腐食(防護柵、排水管)、路面の凹凸、他	I	—	

「道路橋毎の健全性の診断」結果総括表(令和2年度)

I	14 橋	II	4 橋	III	1 橋	IV	0 橋
	73.8 %		21.1 %		5.3 %		0.0 %

表 2-19 健全性の診断 判定一覧 (3) (令和3年度実施 1/2)

No	橋梁 管理 番号	橋梁名	路線名	主桁		横桁		床版		下部工		支承部		その他		橋単位判定		備考
				判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	点検時	措置後	
1	0045	無名橋2(出雲川橋)	村井奥師線	I		I		I		I		I		II	路面の凸凹、 舗装の異常	I	—	
2	0046	宮前橋	村井奥師線	I		—		I		I		I		II	路面の凸凹、 舗装の異常	I	—	
3	0049	無名橋5	山本松尾線	I		—		I		I		I		I		I	—	
4	0050	無名橋6	大谷線	I		—		—		I		I		I		I	—	
5	0051	無名橋7	里之内線	I		I		—		I		—		I		I	—	
6	0055	無名橋10	御舎利町線	I		I		—		—		—		II	ゆるみ・脱落(防護柵)	I	—	
7	0056	無名橋11	上大窪這上り線	I		I		—		I		—		I		I	—	
8	0057	無名橋12	大窪木津線	I		I		—		I		—		I		I	—	
9	0058	山王下橋	大窪木津線	II	剥離・鉄筋露出	—		—		I		I		I		II	—	
10	0059	野田川橋	木津日田線	I		—		—		I		I		II	路面の凸凹、 舗装の異常	I	—	
11	0061	無名橋13	善光寺線	I		I		—		I		—		I		I	—	
12	0063	下出橋	杉線	I		—		—		I		I		II	路面の凸凹、破断、変 形・欠損、ひびわれ	I	—	
13	0064	上出橋	杉線	I		—		—		I		I		II	路面の凸凹	I	—	
14	0065	昭和橋	奥之池線	I		I		I		I		I		I		I	—	
15	0067	無名橋14	北脇柚線	I		I		—		I		—		I		I	—	
16	0068	無名橋15	奥之池野村線	I		I		—		I		—		I		I	—	
17	0069	仁之切橋	奥之池野村線	I		—		—		I		I		I		I	—	
18	0070	逆川橋	奥之池野村線	I		—		—		I		I		II	土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
19	0071	無名橋16	北脇線	I		—		I		II	剥離・鉄筋露出	I		II	路面の凸凹	II	—	
20	0072	無名橋17	北脇線	I		—		I		I		I		II	路面の凸凹	I	—	
21	0073	無名橋18	北脇線	I		—		I		I		I		I		I	—	
22	0074	無名橋19	中在寺石原線	I		I		I		I		I		II	変形・欠損(縁石)	I	—	R2年度対策完了
23	0075	無名橋20	中在寺石原線	I		I		—		—		—		I		I	—	

表 2-20 健全性の診断 判定一覧 (4) (令和3年度実施 2/2)

No	橋梁 管理 番号	橋梁名	路線名	主桁		横桁		床版		下部工		支承部		その他		橋単位判定		備考
				判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	点検時	措置後	
24	0077	無名橋22	中在寺野出線	I	-			I		I		I		II	変形・欠損(地覆)、その他	I	—	
25	0078	無名橋23	北脇野出線	I	-			I		I		I		II	土砂詰まり(舗装)	I	—	
26	0079	無名橋24	北脇野出線	I		I		-		-		-		I		I	—	
27	0080	無名橋25	北脇野出線	I	-			I		I		I		II	拡幅・ゆるみ・脱落(防護柵)、変形・欠損(地覆)	I	—	
28	0081	平熊橋	平子熊野線	I	-			II	漏水・遊離石灰	I		I		II	変形・欠損(防護柵)、土砂詰まり(排水管)	II	—	
29	0082	無名橋26	蔵王熊野線	II	剥離・鉄筋露出	-		-		I		I		II	舗装の異常	II	—	
30	0084	無名橋28	西大路鎌掛線	I		I		-		I		-		II	剥離・鉄筋露出、変形・欠損(地覆)	I	—	
31	0085	西の宮橋	鎌掛深山口線	I		I		I		I		II	腐食、支承部の機能障害、土砂詰まり	II	路面の凸凹、舗装の異常、ずれ・脱落(伸縮装置)	II	—	
32	0088	迫橋	迫谷線	II	遊間の異常	I		I		I		II	支承部の機能障害	II	路面の凸凹、舗装の異常、破断(添架物)	II	—	
33	0090	茶屋の橋	深山口水口線	I	-			I		I		I		I		I	—	
34	0091	無名橋31	内池水口線	I		I		-		I		-		I		I	—	
35	0093	出雲川橋	御代参線	I		I		I		II	ひびわれ	II	腐食、支承部の機能障害	I		II	—	
36	0094	無名橋33	必佐小学校十禅師線	I		I		-		-		-		I		I	—	
37	0095	無名橋34	必佐小学校十禅師線	I		I		-		I		-		I		I	—	
38	0097	御門橋	小御門十禅師線	I	-			II	漏水・遊離石灰	II	変形・欠損	I		II	剥離・鉄筋露出、変形・欠損(防護柵)、路面の凸凹、舗装の異常	II	—	
39	0098	播原橋	小御門十禅師線	I		I		-		I		-		I		I	—	
40	0101	無名橋38	三十坪駅前線	I		I		-		-		-		II	ゆるみ・脱落(防護柵)	I	—	
41	0107	無名橋43	野出綺田線	I		I		-		-		-		I		I	—	
42	0108	無名橋44	野出山本線	I	-			I		I		I		I		I	—	
43	0127	無名橋58	鳥居平線	I		I		-		I		-		I		I	—	

「道路橋毎の健全性の診断」結果総括表(令和3年度)							
I	35 橋	II	8 橋	III	0 橋	IV	0 橋
	81.4 %		18.6 %		0.0 %		0.0 %

表 2-21 健全性の診断 判定一覧 (5) (令和 4 年度実施 1/2)

No	橋梁 管理 番号	橋梁名	路線名	主桁		横桁		床版		下部工		支承部		その他		橋単位判定		備考
				判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	点検時	措置後	
1	0066	坂口橋	奥之池野村線	I		I		I		I		I		II	変形・欠損(添架物)	I	—	R3年度対策完了
2	0087	落合橋	上駒月大野線	I		-		I		I		I		I		I	—	R3年度対策完了
3	0102	無名橋39	朝日野駅線	I		-		-		I		I		I		I	—	
4	0103	雁掛橋	猿橋線	I		-		I		I		I		I		I	—	
5	0104	無名橋40	袖小野線	I		-		I		I		I		II	土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
6	0109	無名橋45	鎌掛塗瀬線	I		-		-		I		I		II	土砂詰まり(舗装)	I	—	
7	0110	菖蒲谷橋	下出線	II	腐食	II	腐食	I		I		II	腐食	II	舗装の異常、土砂詰まり(伸縮装置)、変形・欠損(防護柵)	II	—	
8	0111	馬場橋	下出線	I		-		I		I		I		I		I	—	
9	0112	無名橋46	堂之谷墓地線	II	腐食	II	腐食	II	剥離・鉄筋露出	I		II	腐食、ゆるみ・脱落	I		II	—	
10	0113	無名橋47	神前谷中畑線	II	腐食	II	腐食	II	剥離・鉄筋露出	I		II	腐食	II	土砂詰まり(舗装)	II	—	
11	0114	無名橋48	中道線	II	腐食	II	腐食	II	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	I		II	腐食	II	変形・欠損(防護柵)、土砂詰まり(伸縮装置)	II	—	
12	0115	無名橋49	旧水口線	II	腐食	II	腐食	I		I		II	腐食	II	剥離・鉄筋露出(地覆)、土砂詰まり(伸縮装置)	II	—	
13	0117	無名橋51	頓宮線	I		-		-		I		I		I		I	—	
14	0118	無名橋52	石小野線	I		-		I		I		I		II	路面の凸凹	I	—	
15	0119	市の瀬川橋	中禅寺線	I		-		I		I		I		II	変形・欠損(防護柵)	I	—	
16	0120	小竹橋	鎌掛深山口線	I		I		I		I		II	腐食	I		I	—	
17	0121	無名橋53	深山口木津線	II	沈下・移動・傾斜	-		-		I		I		I		II	—	
18	0122	薬師前橋	鎌掛線	I		II	漏水・遊離石灰、定着部の異常	I		I		I		II	舗装の異常、土砂詰まり(伸縮装置)	II	—	
19	0123	無名橋54	中在寺線	I		-		II	漏水・遊離石灰	I		I		II	舗装の異常、土砂詰まり(伸縮装置)	II	—	
20	0124	無名橋55	西明寺原線	I		-		-		I		I		I		I	—	
21	0125	無名橋56	松尾河原線	I		I		-		I		I		II	その他(コケ)(地覆)、土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
22	0126	無名橋57	松尾河原線	I		I		-		-		-		II	路面の凸凹	I	—	
23	0128	大橋	川原徳原線	I		I		-		-		-		II	舗装の異常、変形・欠損(防護柵)	I	—	

表 2-22 健全性の診断 判定一覧 (6) (令和4年度実施 2/2)

No	橋梁 管理 番号	橋梁名	路線名	主桁		横桁		床版		下部工		支承部		その他		橋単位判定		備考
				判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	点検時	措置後	
24	0129	無名橋59	上野田線	I		-		-		I		I		II	舗装の異常	I	—	
25	0131	無名橋61	旧別所橋線	I		-		-		I		I		I		I	—	
26	0132	無名橋62	大窪音羽線	II	腐食、剥離・鉄筋露出	-		I		I		-		I		II	—	
27	0133	無名橋63	北脇杣線	II	ひびわれ	I		-		-		-		II	舗装の異常	II	—	
28	0135	無名橋65	桜谷水源地線	I		-		I		I		I		II	土砂詰まり(伸縮装置)	I	—	
29	0136	無名橋66	しゃくなげ谷線	I		-		-		II	洗掘	I		II	路面の凹凸	II	—	
30	0137	石楠花橋	しゃくなげ谷線	II	変形・欠損、剥離・鉄筋露出、その他	I		I		I		II	腐食	II	路面の凹凸、舗装の異常、土砂詰まり(伸縮装置)	II	—	
31	0138	無名橋67	東山団地3号線	II	ひびわれ	II	ひびわれ	-		-		-		II	舗装の異常	II	—	
32	0139	瀬川橋	鎌掛字内線	II	ひびわれ、剥離・鉄筋露出	I		II	剥離・鉄筋露出、床版ひびわれ	I		I		II	土砂詰まり(排水管)	II	—	
33	0140	無名橋68	川向線	I		-		-		II	ひびわれ	I		II	舗装の異常	II	—	
34	0141	無名橋69	木津取付線	I		-		-		I		I		I		I	—	
35	0143	無名橋71	石原鳥居平線	I		I		-		I		-		I		I	—	
36	0144	無名橋72	石原鳥居平線	I		I		-		-		-		II	舗装の異常	I	—	
37	0145	無名橋73	石原鳥居平線	I		I		-		-		-		II	舗装の異常	I	—	
38	0146	無名橋74	北山3号線	I		-		I		I		I		II	路面の凹凸、舗装の異常	I	—	
39	0147	無名橋75	出雲川自転車道線	I		II	ひびわれ	-		I		-		II	路面の凹凸	II	—	
40	0148	無名橋76	山本松尾線	II	ひびわれ	II	ひびわれ	-		-		-		II	舗装の異常	II	—	
41	0149	無名橋77	東桜谷旧県道線	II	ひびわれ	II	ひびわれ	-		-		-		I		II	—	
42	0150	無名橋78	南比都佐小学校線	I		-		-		II	洗掘	I		II	土砂詰まり(伸縮装置)	II	—	
43	0152	無名橋79	旧御代参街道線	I		I		-		-		-		I		I	—	

「道路橋毎の健全性の診断」結果総括表(令和4年度)

I	24 橋	II	19 橋	III	0 橋	IV	0 橋
	55.8 %		44.2 %		0.0 %		0.0 %

表 2-23 健全性の診断 判定一覧 (7) (令和5年度実施)

No	橋梁 管理 番号	橋梁名	路線名	主桁		横桁		床版		下部工		支承部		その他		橋単位判定		備考
				判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	判定 区分	主要変状種類	点検時	措置後	
1	0151	宮前橋	村井奥師線	I	-	-	-	I	-	I	-	I	-	II	舗装の異常	I	—	
2	0153	無名橋80	横町線	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	II	路面の凹凸、舗装の異常	I	—	
3	0154	徳谷橋	徳谷線	I	-	-	-	-	-	II	その他	I	-	II	路面の凹凸、舗装の異常	I	—	
4	0155	無名橋81	瀬ヶ谷線	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	I	-	I	—	
5	0156	無名橋82	北畑野神線	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	I	-	I	—	
6	0157	無名橋83	豊田中山線	II	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰	I	-	-	-	II	ひびわれ	-	-	II	路面の凹凸、舗装の異常	II	—	
7	0158	無名橋84	豊田中山線	I	-	I	-	-	-	I	-	-	-	I	-	I	—	
8	0159	無名橋85	豊田中山線	II	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰	-	-	-	-	I	-	I	-	II	腐食(防護柵)、舗装の異常	II	—	
9	0160	無名橋86	鎌掛字内線	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	II	変形・欠損(防護柵)	I	—	
10	0161	無名橋87	蔵王勝手谷線	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	II	路面の凹凸	I	—	
11	0162	前川橋	鳥居平中央線	II	ひびわれ、剥離・鉄筋露出	I	-	I	-	II	ひびわれ、うき	II	腐食、漏水・滞水	II	腐食(防護柵)、舗装の異常	II	—	
12	0163	無名橋88	鳥居平中央線	I	-	I	-	-	-	I	-	-	-	II	路面の凹凸、舗装の異常	I	—	
13	0164	日枝橋	下駒月中央線	I	-	I	-	I	-	I	-	I	-	I	-	I	—	R2年度対策完了
14	0165	無名橋89	中山錆物師線	I	-	-	-	-	-	I	-	-	-	I	-	I	—	
15	0166	無名橋90	大窪内池線	I	-	I	-	-	-	I	-	-	-	II	その他(舗装)	I	—	
16	0167	無名橋91(五郎津橋)	牧野野神線	I	-	I	-	I	-	I	-	II	ゆるみ・脱落(アンカーボルト)	I	-	I	—	R4年度対策完了
17	0168	西出橋	下駒月西出線	I	-	-	-	I	-	I	-	I	-	II	路面の凹凸	I	—	
18	0169	棒川橋	下駒月西出線	I	-	-	-	I	-	I	-	I	-	I	-	I	—	
19	0170	迫宮前橋	城之越線	I	-	-	-	I	-	I	-	I	-	II	路面の凹凸	I	—	
20	0171	無名橋92	工業団地7号線	I	-	I	-	-	-	I	-	-	-	II	ゆるみ・脱落(防護柵)、舗装の異常	I	—	
21	0172	無名橋93	河原鳥居平線	II	ひびわれ	II	ひびわれ	-	-	I	-	-	-	II	舗装の異常	II	—	
22	0173	無名橋94	河原鳥居平線	I	-	-	-	-	-	I	-	-	-	I	-	I	—	
23	0174	無名橋95	日野中部1号線	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	I	-	I	—	
24	0175	無名橋96	日野中部22号線	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	II	路面の凹凸、舗装の異常	I	—	
25	0176	無名橋97	小御門線	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	II	その他(防護柵)	I	—	

「道路橋毎の健全性の診断」結果総括表(令和5年度)							
I	21 橋	II	4 橋	III	0 橋	IV	0 橋
	84.0 %		16.0 %		0.0 %		0.0 %

(3) 定期点検結果をふまえた健全性の考察・再評価

令和元年度～令和5年度に実施した定期点検における健全性診断の判定内容（前述2））に対して、「橋梁定期点検要領」に基づいた点検調書（その1～その6、その9、その10）の記録内容を基に、健全性に関する考察と再評価を本計画で行った。

健全性の考察・再評価を行うにあたっては、a) 損傷変状が発生している部材・部位、b) 損傷変状による耐荷力低下への影響、c) 損傷変状の進行性、等に着目しながら、定期点検での健全性診断区分の 카테고리毎に、措置（監視または対策等）の必要性とその程度を判断した。

これらのうち、対策の必要性については、「橋梁定期点検要領」（H26.6、国土交通省）の「6. 対策区分の判定」を参考にしながら、再評価（大・中・小）の考え方について、表2-24に示すとおりとした。

表 2-24 健全性の考察・再評価（対策の必要性）の内容

No	対策の必要性に関する 考察の内容	橋梁定期点検要領 P. 19-24 での対策区分	本計画での 再評価
1	損傷が認められないか、損傷が軽微で対策（補修）を行う必要がない。	判定区分 A	対策必要性：小
	状況に応じて対策（補修）を行う必要がある。 ※次回の定期点検までに構造物の安全性が著しく損なわれることはない	判定区分 B	
2	予防保全の観点から、速やかに対策（補修）等を行う必要がある。 ※構造の安全性から直ちに補修するほどの緊急性はない	判定区分 C1	対策必要性：中
3	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに対策（補修）等を行う必要がある。 ※当該部位・部材の機能や安全性の低下が著しく次回の点検までには補修等される必要がある	判定区分 C2	対策必要性：大

橋梁毎に実施した考察及び再評価の結果を、次頁以降の表2-25～2-38に示す。

橋長 15m 以上の橋梁	全 44 橋	／	表 2-25～2-32
橋長 15m 未満の橋梁	健全性診断の判定 I を除く 31 橋	／	表 2-33～2-38

表2-25 主要な損傷概要の一覧(1/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
1	0001	高橋		①路線名 西大路鎌掛線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 3径間 ④橋長(m) 50.3 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 鋼3径間単純H形鋼 ⑦下部工形式 重力式橋台2基, 壁式橋脚2基 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 1965	断面修復工(床版・橋脚) 親柱傾き修正 高欄塗替え(RC-3) 高欄修復工(取替え、再加熱) 排水管補修工 塗装工(主桁RC-1) 橋面舗装・橋面防水 伸縮装置取替え(SJ-M型) (対策期間:H24.11～H25.3)	Ⅱ	床版 漏水・遊離石灰-e 地覆 その他 (凍結融解による損傷)-e	 	床版下面のひびわれからつらら状の遊離石灰が生じている。 2012年に橋面防水工が施工されているものの、ひびわれからの劣化因子の浸入を踏まえ、予防保全の観点から行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 地覆の剥離・ポップアウト等の劣化が生じている。これは、橋の構造に支障はきたさないと考え、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中	床版では無く、地覆から遊離石灰	
2	0002	内池橋		①路線名 内池水口線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 3径間 ④橋長(m) 84.0 ⑤有効幅員(m) 10.8 ⑥上部工形式 3径間連続プレート梁桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基, 壁式橋脚2基 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 2004	補修履歴無し	Ⅰ	舗装 舗装の異常-e 土砂詰まり-e	 	舗装に幅6mmのひびわれが生じている。 輪荷重の繰り返し載荷による引張応力で舗装にひびわれが生じたと考えられる。 床版下面に漏水等は報告されていないため、水の床版上面への水の浸入は無いと推測する。 今後の床版下面の変状を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小	損傷なし	
3	0003	西の口橋		①路線名 村井奥師線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 18.7 ⑤有効幅員(m) 5.5 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空桁(床版橋) ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 前川 ⑨架設年 1982	高欄修繕工 (対策期間:H27.4)	Ⅱ	主桁 その他(鳥の巣)-e 床版 漏水・遊離石灰-e	 	主桁-床版下面につららを伴う遊離石灰が生じている。 橋面防水が未施工により、橋面からの雨水が浸入していると考ええる。 今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小	中? 上との整合性	
4	0004	迫栄橋		①路線名 深山口水口線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 27.1 ⑤有効幅員(m) 11.2 ⑥上部工形式 単純プレート梁桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 近江鉄道 ⑨架設年 1987	ひびわれ補修工 塗装塗替工(防護柵RC-Ⅲ) 表面含浸工 橋面防水工、舗装工、区画線工 (対策期間: R5.9～R5.12)	Ⅱ	主桁 ひびわれ-e 伸縮装置 変色・劣化-e	 	主桁に橋軸直角方向の乾燥収縮性ひびわれが生じている。 ひびわれは端部であり、構造的弱部では無いため、今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 伸縮装置に変色・劣化が生じている。経年劣化によるものであると推測する。劣化部からの漏水で支承部の腐食につながるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中	R5: 補修工事済	
5	0005	宮前橋		①路線名 日野南部線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 19.7 ⑤有効幅員(m) 7.3 ⑥上部工形式 PC単純プレテンT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 雨引神社参道 ⑨架設年 1985	補修履歴無し	Ⅰ	舗装 路面の凹凸-e 排水管 腐食-e	 	考察・再評価は無し	遊離石灰 主桁・床版・横桁の接合部	
6	0006	牛飼道橋		①路線名 北脇野出線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 5径間 ④橋長(m) 51.0 ⑤有効幅員(m) 2.0 ⑥上部工形式 PC5径間単純プレート桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基, 壁式橋脚4基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1966	断面修復工(床版・橋脚) 高覧取替え(袖レールのみ) 伸縮装置取替え(簡易鋼製ジョイント) (対策期間: H26.9～H27.3)	Ⅰ	支承本体 土砂詰まり-e 舗装 路面の凹凸-e	 	考察・再評価は無し	主桁端部の鉄筋露出-e 現地踏査で問題ないと判断	

表2-26 主要な損傷概要の一覧(2/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
7	0007	上野田橋		①路線名 上野田線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 20.2 ⑤有効幅員(m) 6.0 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1973	断面修復工(地覆) 伸縮装置工(IJ型) 塗装工(主桁RC-3) 橋面防水工 (対策期間: H30.11～H31.3)	I	床版 漏水・遊離石灰-e		—	間詰床版につらら状の遊離石灰が生じている。これは、橋面から雨水が浸入し、部材間に滲み出たと考える。平成30年に橋面防水が施工されているため、今後の進行は無いと推測する。 今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小	損傷なし
8	0008	高橋		①路線名 内池山本線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 15.3 ⑤有効幅員(m) 4.8 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1971	断面修復工(床版) 高欄取替え(Gr) 伸縮装置取替え(SJ-M型) (対策期間: H25.1～H25.3)	I	舗装 土砂詰まり-e 地覆 剝離・鉄筋露出-d (点検記録様式外から引用)			考察・再評価は無し	損傷なし
9	0009	前垣外橋		①路線名 鎌掛字内線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 15.2 ⑤有効幅員(m) 6.5 ⑥上部工形式 鋼単純H形鋼 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 南砂川 ⑨架設年 1969	塗装工RC-Ⅱ(主桁)、RC-Ⅲ(高欄) 断面修復工(地覆) 表面被覆工(地覆) (対策期間: R1.10～R2.3)	I	舗装 路面の凹凸-e 護岸工 洗堀-e			左岸側の路面-橋梁背面部に段差が生じている。変状は部分的であり、背面土砂の沈下は起こっていないと推測する。 今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 左岸護岸工において、洗堀が生じている。橋梁の構造に支障はきたさないと考えるが、 河川管理者に報告し、今後の対策を実施する必要があると考える。 ⇒対策必要性: 小	
10	0010	藤切橋		①路線名 蔵王熊野線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 30.0 ⑤有効幅員(m) 7.0 ⑥上部工形式 PC単純ホーステンT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 水無川 ⑨架設年 1984	補修履歴無し	I	主桁 その他(ジャンカ)-e (点検記録様式外から引用) 下部工(堅壁) 漏水・遊離石灰-e (点検記録様式外から引用)			主桁に局所的なジャンカが生じている。損傷範囲は狭いため、今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 A2橋台堅壁下部に遊離石灰を伴うひびわれが生じている。錆汁は生じていないため、今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小	
11	0011	原古野橋		①路線名 原古野線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 17.0 ⑤有効幅員(m) 5.5 ⑥上部工形式 PC単純プレテンT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 北砂川 ⑨架設年 1983	補修履歴無し 伸縮装置取替え(SJ-M型) 排水管設置工 橋面舗装・橋面防水 (対策期間: H27.6～H27.11)	I	横桁 その他(鳥の巣)-e 地覆 剝離・鉄筋露出-e (点検記録様式外から引用)			考察・再評価は無し	遊離石灰 横桁・主桁・床版 接合部
12	0012	別所橋		①路線名 旧別所橋線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 9径間 ④橋長(m) 81.9 ⑤有効幅員(m) 4.5 ⑥上部工形式 RC9径間単純T桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基、ラーメン橋脚8基 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 1930	伸縮装置取替え(SJ-M型) 排水管設置工 橋面舗装・橋面防水 (対策期間: H27.6～H27.11) 断面修復工(橋台・橋脚・主桁) ひびわれ補修工(橋台・橋脚・主桁) 塗装工RC-Ⅱ(支承部) (対策期間: R4.11～R5.3)	Ⅲ	主桁 変形・欠損-e 主桁 その他(ジャンカ)-e			主桁端部に、変形・欠損が生じている。この損傷は、複数の主桁端部に発生しているため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大。 主桁にジャンカが生じている。ジャンカにより、劣化因子の浸入で鉄筋腐食等の損傷が生じる可能性がある。よって、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大	中性化のは無しは必要? R4: 補修工事済

表2-27 主要な損傷概要の一覧(3/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
13	0013	木津橋		①路線名 深山口木津線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 4径間 ④橋長(m) 81.9 ⑤有効幅員(m) 2.5 ⑥上部工形式 鋼4径間単純H形鋼 ⑦下部工形式 重力式橋台2基、バイルベント橋脚3基 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 1974	断面修復工(橋脚・床版・地覆) 塗装工RC-Ⅲ(主桁・支承・高欄) 表面被覆工(橋脚・床版・地覆) 伸縮装置工(SJ-M型) (対策期間:H29.10～H30.3)	Ⅱ	下部工(柱部) 腐食-d 防食機能の劣化-e 床版 その他(ジャンカ)-e	 	橋脚柱部基部に腐食が生じている。基部内部はコンクリートで中詰めされていることから、内部にて湿度による腐食は生じないと考える。 今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小 床版下面にジャンカが生じている。ジャンカの報告は部分的であるため、今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小		
14	0014	安土橋		①路線名 安土線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 2径間 ④橋長(m) 45.0 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 PC2径間単純ホーステンT桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基、壁式橋脚 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 1966	断面修復工(床版) 表面保護工(高欄・地覆) 伸縮装置取替え(SJ-M型) (対策期間:H25.7～H25.10)	Ⅱ	主桁 漏水・遊離石灰-e ひびわれ-d	 	主桁の下フランジ側面に遊離石灰を伴う橋軸方向ひびわれが生じている。錆汁は無く、内部鋼材の腐食は生じていないと推測するが、PC鋼材に沿った漏水が生じている。したがって、変状の進行次第では主桁の耐力が急激に低下する可能性があるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:大		
15	0015	南橋		①路線名 南蔵王線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 28.6 ⑤有効幅員(m) 5.0 ⑥上部工形式 PC単純ホーステンT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 1985	補修履歴無し	Ⅰ	舗装 路面の凹凸-c 主桁 その他(異物混入)-e	 	考察・再評価は無し	遊離石灰 排水管と床版 接合部	
16	0016	大正橋		①路線名 三十坪駅前線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 24.3 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 鋼単純H形鋼 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1965	舗装版修復工 塗装工(主桁・横桁RC-2) 塗装工(床版RC-3)、排水管塗替え工 (対策期間:H27.12～H28.3) 当て板修繕工 断面修復工 既設支承調整工 塗装工(ガードレール塗装) (対策期間:R5.10～R6.3)	Ⅱ	床版 腐食-e 支承本体 支承部の機能障害-e	 	張出床版のUリブ部に孔食を伴う腐食が生じている。橋面の雨水が浸入し、Uリブ部に滞水した結果、生じたと考えられる。今後も別箇所にも孔食等が発生する可能性がある。よって、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:大 A2橋台支点部(可動部)にピンチプレートのずれが生じている。主桁は、橋台胸壁に接触しており、橋の構造に支障をきたす可能性がある。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中	R5:補修工事済	
17	0017	松尾橋		①路線名 横町線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 15.5 ⑤有効幅員(m) 6.0 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1973	断面修復工(橋台・高欄) 表面保護工(床版) 塗装工RC-Ⅲ(高欄) 橋面防水工 伸縮装置工(IJ型) (対策期間:H30.11～H31.3) ひびわれ補修工(床版) (対策期間:R5.10～R6.3)	Ⅲ	主桁 ひびわれ-e 床版 漏水・遊離石灰-e	 	主桁下面に橋軸方向のひびわれが生じている。ASR(アルカリシリカ反応)の可能性があるが、主桁下面において表面保護工により、劣化因子の浸入は抑制されていると考える。よって、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小 間詰床版につららを伴う遊離石灰は生じている。また、橋面防水工が実施されているため、水の浸入は抑制されていると考える。よって、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小	R5:補修工事済	
18	0018	大谷橋		①路線名 大谷線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 19.3 ⑤有効幅員(m) 5.0 ⑥上部工形式 PC単純プレテンT桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1990	補修履歴無し	Ⅰ	舗装 舗装の異常-e 横桁 その他(鳥の巣)-e	 	舗装中央部に打継目と推定する橋軸方向ひびわれが生じている。雨水の浸入が危惧されるが、床版下面において漏水・遊離石灰の報告は無い。今後、定期点検を通しつつ、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小 なお、本橋の上下流に上水道・用水が添架されている。必要に応じて、管理者に死荷重等を確認することが望ましい。	伸縮装置からの伝い水 橋台橋座面の滞水 ゴム支承だから問題なし	

表2-28 主要な損傷概要の一覧(4/14)

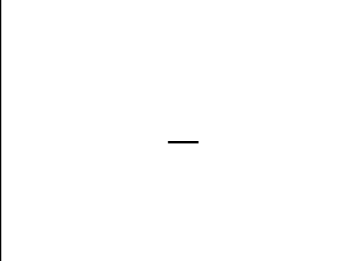
No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
19	0019	六枚橋		①路線名 松尾河原線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 16.8 ⑤有効幅員(m) 2.9 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1973	高欄塗替え(RC-3) (対策期間: H25.7～H25.10)	I	舗装 舗装の異常-e 地覆 変形・欠損-c	 	考察・再評価は無し	間詰床版に 遊離石灰 橋面防水の施工不良? 橋台縦壁にひびわれ ゴム支承でアンカーは 無いので、問題なし	
20	0020	浄光寺橋		①路線名 御舎利町線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 17.0 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1973	補修履歴無し	I	舗装 路面の凹凸-e	 	考察・再評価は無し	路面の凸凹 伝い水の話 ゴム支承で問題なし	
21	0021	宮前橋		①路線名 北脇中在寺線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 37.5 ⑤有効幅員(m) 4.0 ⑥上部工形式 鋼単純鉋桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 2013	補修履歴無し	I	床版 漏水・遊離石灰-d 下部工(縦壁) その他(不法占用)-e	 	張出床版下面に遊離石灰を伴う橋軸直 角方向ひびわれが生じている。遊離石灰 は、地覆からの伝い水がひびわれ内に浸 入し、生じたと考える。今後の変状の進行 を観察し、必要に応じて対策を実施するこ とが望ましい。 ⇒対策必要性: 小		
22	0022	西川原橋		①路線名 中之郷線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 3径間 ④橋長(m) 24.7 ⑤有効幅員(m) 3.1 ⑥上部工形式 鋼3径間単純H形鋼 ⑦下部工形式 小橋台、重力式橋台、ラーメン橋脚2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1969	塗装工RC-Ⅱ(主桁・支承)、RC-Ⅲ(高欄) 伸縮継手工(IJ型) 表面被覆工(地覆・鏡台・橋脚) 断面修復工(地覆・高欄・橋脚・橋台) 表面含浸工(橋台・橋脚) (対策期間: R2.8～R2.12)	Ⅲ	主桁・支承 腐食-e 支承部の機能障害-e 下部工(梁部) 剝離・鉄筋露出-e	 	主桁桁端部および支承部に著しい腐食が 生じている。桁端継目部からの漏水が主 な原因であると推測する。主桁ウェブの一 部で孔食も生じており、変状の拡がりによ る耐力低下が懸念されるため、対策は 優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大 橋脚梁部の広範囲で顕著な鉄筋露出が 生じている。RC断面下縁部の欠損によ り、梁部材の耐力低下が生じており、対 策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大		
23	0023	五左衛門橋		①路線名 柚線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 20.8 ⑤有効幅員(m) 5.5 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1977	表面保護工(橋台) 塗装工RC-Ⅲ(高欄) 伸縮装置工(IJ型) (対策期間: H30.11～H31.3)	I	舗装 舗装の異常-e 床版 漏水・遊離石灰-e	 	舗装に橋軸直角方向のひびわれが生じ ている。乾燥収縮によるひびわれであると 推測する。よって、今後の変状の進行を 観察し、必要に応じて対策を実施するこ とが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 間詰床版につらら状の遊離石灰が生じて いる。橋面防水の施工不良が原因である と考える。よって、今後の変状の進行を 観察し、必要に応じて対策を実施するこ とが望ましい。 ⇒対策必要性: 小		
24	0024	多々木橋		①路線名 音羽蔵王線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 2径間 ④橋長(m) 19.0 ⑤有効幅員(m) 3.7 ⑥上部工形式 RC2径間単純T桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基、ラーメン橋脚 ⑧交差物件 西明寺川 ⑨架設年 1930	断面修復工(床版・橋脚) 伸縮装置取替え(SJ-M型) 橋面舗装・橋面防水 調整コンクリート工(床版上) (対策期間: H26.9～H27.3) 断面修復工(主桁・橋脚) (対策期間: R2.4～R2.5)	Ⅱ	下部工(梁部) うき-e 添架物 腐食-e 防食機能の劣化-e	 	橋脚梁部にうきが生じている。断面修復 工近辺のうきであり、鉄筋の被り不足によ るうきが進行していると考え。現状、断 面減少は生じていないものの、今後、剥 離・鉄筋露出につながる可能性があるた め、予防保全の観点から補修を行うこと が望ましい。 ⇒対策必要性: 中 添架物に腐食が生じている。必要に応じ て、管理者に報告することが望ましい。	橋台縦壁の遊離石灰 逆T式橋台 今後の進行での 錆汁の有無	

表2-29 主要な損傷概要の一覧(5/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元		対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
25	0025	本宮橋		①路線名 ②道路種別 ③径間数 ④橋長(m) ⑤有効幅員(m) ⑥上部工形式 ⑦下部工形式 ⑧交差物件 ⑨架設年	西藏王線 1級町道 1径間 17.4 2.5 鋼単純H形鋼 重力式橋台2基 西明寺川 1971	断面修復工(地覆) 地覆打替え工(一部) 塗装工(主桁・横桁RC-2) 排水管塗替え工 (対策期間:H27.12～H28.3)	I	伸縮装置 変形・欠損-c 下部工(堅壁) 漏水・滞水-e	 	伸縮装置に変形・欠損が生じている。橋台堅壁に伝い水が生じていることから、現状、伸縮装置から雨水が浸入している可能性がある。支承部の腐食につながる可推測する。今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小	橋台胸壁のひびわれ 小?	
26	0026	毛止野橋		①路線名 ②道路種別 ③径間数 ④橋長(m) ⑤有効幅員(m) ⑥上部工形式 ⑦下部工形式 ⑧交差物件 ⑨架設年	北畑蔵王線 1級町道 1径間 18.7 3.0 鋼単純H形鋼 重力式橋台2基 西明寺川 1971	舗装版補修工 塗装工(主桁・横桁RC-2) 塗装工(床版RC-3) 排水管塗替え工 (対策期間:H27.12～H28.3)	I	伸縮装置 変形・欠損-c 土砂詰まり-e 支承 腐食-c (点検記録様式外から引用)	 	伸縮装置に変形・欠損が生じている。橋台堅壁に伝い水が生じていることから、現状、伸縮装置から雨水が浸入している可能性がある。支承部の腐食につながる可推測する。今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小	損傷なし	
27	0027	伊佐目橋		①路線名 ②道路種別 ③径間数 ④橋長(m) ⑤有効幅員(m) ⑥上部工形式 ⑦下部工形式 ⑧交差物件 ⑨架設年	原線 1級町道 1径間 17.0 4.5 鋼単純H形鋼 重力式橋台2基 佐久良川 1972	塗装工RC-Ⅱ(主桁)、RC-Ⅲ(高欄) 伸縮装置(IJ型) 表面被覆工(地覆・橋台) (対策期間:R1.10～R2.3)	I	下部工(堅壁天端部) ひびわれ-d 添架物(被覆管) 腐食-e 防食機能の劣化-e	 	橋台橋座面に、ひびわれが生じている。乾燥収縮によるひびわれであると推測する。現状、橋座面において滞水は確認できないため、劣化因子の浸入は無いと考える。よって、今後の変状の進行を観察し、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性:小 添架物に腐食が生じている。必要に応じて、管理者に報告することが望ましい。	橋台側面と袖擁壁の 離隔 遊離石灰 床版と主桁の 接合部	
28	0028	前川橋		①路線名 ②道路種別 ③径間数 ④橋長(m) ⑤有効幅員(m) ⑥上部工形式 ⑦下部工形式 ⑧交差物件 ⑨架設年	清田線 1級町道 1径間 19.9 4.0 PC単純プレテン中空床版 重力式橋台2基 砂川 1972	高欄取替え(Gr) (対策期間:H25.7～H25.10) 目地補修工(床版) (対策期間:R2.4～R2.5)	Ⅱ	床版 漏水・遊離石灰-e		間詰床版につららを伴う遊離石灰が生じている。部分的に錆汁を伴っている。橋面防水の施工不良により、橋面からの雨水が浸入していると考え。横締めPC鋼線が腐食している可能性があり、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中		
29	0029	野川橋		①路線名 ②道路種別 ③径間数 ④橋長(m) ⑤有効幅員(m) ⑥上部工形式 ⑦下部工形式 ⑧交差物件 ⑨架設年	中在寺野出線 1級町道 1径間 15.6 5.0 PC単純プレテンT桁 重力式橋台2基 野川 1980	補修履歴無し	I	横桁 その他(鳥の巣)-e 支承本体 土砂詰まり-e	 	考察・再評価は無し		
30	0030	野出橋		①路線名 ②道路種別 ③径間数 ④橋長(m) ⑤有効幅員(m) ⑥上部工形式 ⑦下部工形式 ⑧交差物件 ⑨架設年	野出旧県道線 1級町道 7径間 72.3 3.3 RC6径間単純T桁+PC単純ホーステンT桁 重力式橋台2基、ラーメン橋脚5基、壁式橋脚 佐久良川 1929	断面修復工(床版・橋脚) 高欄塗替え工(RC-3) 表面含浸工(橋脚・地覆・高欄) 伸縮装置取替え(SJ-M型) (対策期間:H26.1～H26.6)	Ⅱ	主桁 剝離・鉄筋露出-e 支承本体 腐食-e 防食機能の劣化-e	 	主桁側面に剝離・鉄筋露出が生じている。被り不足が原因であると推測する。よって、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中 支承に著しい腐食が生じている。伸縮装置からの伝い水が原因であると推測する。伸縮装置取替工が実施されており、今後進行する可能性は低いと推測するが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中		

表2-30 主要な損傷概要の一覧(6/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
31	0031	杣橋		①路線名 杣半川原線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 22.7 ⑤有効幅員(m) 4.1 ⑥上部工形式 PC単純プレテンT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1986	補修履歴無し	I	主桁 その他(鳥の巣)-e		—	考察・再評価は無し	床版と横桁の接合部 遊離石灰 錆汁無し
32	0032	野上橋		①路線名 中在寺野神線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 3径間 ④橋長(m) 30.3 ⑤有効幅員(m) 4.1 ⑥上部工形式 RC3径間単純T桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基, 壁式橋脚2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1934	断面修復工(橋台・床版・地覆・高欄) 表面被覆工(地覆・高欄) 伸縮装置補修工(SJ-M型) 塗装工(RCⅢ 高欄) 橋面舗装工 (対策期間: H29.10～H30.3)	II	主桁 腐食-e 防食機能の劣化-e 支承本体 腐食-e 防食機能の劣化-e 支承部の機能障害-e			拡幅部の主桁下フランジ端部および支承部に著しい腐食が生じている。伸縮装置からの伝い水が原因であると推測する。平成29年に伸縮装置の取替工事が実施されており、今後進行する可能性は低いと推測するが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中	沓座モルタルの変形 支承の振動 床版の鉄筋露出 被り不足
33	0033	長沢橋		①路線名 東桜谷旧県道線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 3径間 ④橋長(m) 28.2 ⑤有効幅員(m) 4.8 ⑥上部工形式 RC3径間単純T桁、PC3径間単純プレテン床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基, 壁式橋脚2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1978	断面修復工(床版)、高欄取替え(笠レールのみ) 伸縮装置取替え(SJ-M型) 橋面舗装・橋面防水、調整コンクリート工(床版上) (対策期間: H26.9～H27.3) 断面修復工(主桁・地覆・橋台・橋脚) ひびわれ補修工(橋台・橋脚) 支承防錆工RC-Ⅱ(橋脚) 防護柵補修工(高欄) (対策期間: R3.10～R4.2)	III	主桁 剝離・鉄筋露出-d うき-e 床版 剝離・鉄筋露出-d			RC桁(当初施工側)において、剝離・鉄筋露出が生じている。施工不良(ジャンク)が原因であると推測する。変状が広範囲に点在しているため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大 RC橋と地覆下方のコンクリートが接合されており、そのアンカーボルトが露出し、腐食が生じている。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中	支承部の腐食 支承: プレート支承 R3: 補修工事済
34	0034	小綿向橋		①路線名 杣川原線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 21.2 ⑤有効幅員(m) 4.0 ⑥上部工形式 PC単純プレテンT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1984	塗装工RC-Ⅲ(高欄) 目地補修工(床版) 排水管修繕工 (対策期間: R1.10～R2.3)	I	主桁 その他(鳥の巣)-e		—	考察・再評価は無し	損傷なし
35	0035	宮田橋		①路線名 南比都佐小学校線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 16.9 ⑤有効幅員(m) 4.0 ⑥上部工形式 PC単純プレテンT桁 ⑦下部工形式 重力式橋台 ⑧交差物件 砂川 ⑨架設年 1985	補修履歴無し	I	舗装 路面の凹凸-e 防護柵 ゆるみ・脱落-e			考察・再評価は無し	遊離石灰は、床版とT桁上フランジの接合部 錆汁無し 路面の凹凸 橋台/パラペット天端の コンクリート欠損
36	0036	新里之内橋		①路線名 里之内線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 19.0 ⑤有効幅員(m) 10.0 ⑥上部工形式 PC単純プレテンT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1995	補修履歴無し	I	舗装 路面の凹凸-e 下部工(堅壁) ひびわれ-d			考察・再評価は無し	つらら状の遊離石灰は 床版と排水管の接合部 錆汁無し 橋台背面の舗装が低い 背面土砂の沈下? 本橋は逆T式で問題ない

表2-31 主要な損傷概要の一覧(7/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
37	0037	須原橋		①路線名 旧御代参街道線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 19.7 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 PC単純プレント桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 北砂川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	I	横桁 その他(鳥の巣)-e 支承本体 土砂詰まり-e			考察・再評価は無し	損傷なし
38	0038	小嶽橋		①路線名 鎌掛深山口線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 17.3 ⑤有効幅員(m) 4.5 ⑥上部工形式 PC単純プレント桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 南砂川 ⑨架設年 1987	補修履歴無し	I	伸縮装置 土砂詰まり-e 下部工(堅壁) 漏水・滞水-e			橋台に漏水・滞水が生じている。これは伸縮装置からの伝い水が原因であると推測する。現時点では、必要に応じて対策を実施することが望ましいと考える。 ⇒対策必要性:小	遊離石灰 床版と排水管の接合部 錆汁無し
39	0039	坪江橋		①路線名 萬徳寺線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 2径間 ④橋長(m) 29.3 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 PC2径間単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基、壁式橋脚 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1999	補修履歴無し	I	舗装 路面の凹凸-e 伸縮装置 ひびわれ-d			伸縮措置に橋軸方向のひびわれが生じている。乾燥収縮によるものであると推測する。今後経年劣化等により伝い水が発生する可能性があるため、必要に応じて対策を実施することが望ましいと考える。 ⇒対策必要性:小	路面の凸凹 背面土砂の沈下？ 逆T式橋台
40	0040	原橋		①路線名 萬徳寺線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 21.6 ⑤有効幅員(m) 4.5 ⑥上部工形式 鋼単純鉄桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 佐久良川 ⑨架設年 1957	補修履歴無し	II	主桁 腐食-d 防食機能の劣化-e 支承本体 腐食-d 防食機能の劣化-e			主桁端部における対傾構および支承部に腐食が生じている。現時点では断面減少は生じていないが、伸縮装置からの伝い水が原因であると推測し、今後も劣化が進行していくと考える。よって、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中	橋台堅壁の打ち継ぎ目から 遊離石灰 重力式橋台 床版に橋軸直角方向の ひびわれ・遊離石灰 錆汁無し
41	0041	青木ヶ原橋		①路線名 平代線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 21.7 ⑤有効幅員(m) 5.0 ⑥上部工形式 PC単純プレント桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 南砂川 ⑨架設年 1985	断面修復工(主桁) (対策期間:R2.4～R2.5)	I	支承本体 土砂詰まり-e 防護柵 ゆるみ・脱落-e			考察・再評価は無し	補修工事で健全度 I 前回はIII
42	0042	河原橋		①路線名 河原鳥居平線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 15.8 ⑤有効幅員(m) 4.2 ⑥上部工形式 PC単純プレテン中空床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	床版 剥離・鉄筋露出-e 地覆 剥離・鉄筋露出-e			間詰床版に遊離石灰が生じている。橋面防水の施工不良により生じていると考えるが、今後進行していき、鉄筋の腐食が生じる可能性があるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中 主桁側面部の地覆に鉄筋露出が生じている。被り不足が原因であると推測する。主構造の耐力が低下する直接の要因とならないが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中	

表2-32 主要な損傷概要の一覧(8/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
43	0043 無名橋1			①路線名 娑婆谷線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 3径間 ④橋長(m) 36.2 ⑤有効幅員(m) 3.5 ⑥上部工形式 鋼3径間単純H形鋼 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基, 壁式橋脚2基 ⑧交差物件 一般県道泉日野線 ⑨架設年 1994	補修履歴無し	I	舗装 路面の凹凸-e 排水管 腐食-b 防食機能の劣化-e	 	考察・再評価は無し	床版と主桁上フランジの 接合部 遊離石灰 張出床版・主桁の 乾燥収縮ひびわれ	
44	0044 広域跨線橋(石原橋)			①路線名 石原鳥居平線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 8径間 ④橋長(m) 165.0 ⑤有効幅員(m) 7.5 ⑥上部工形式 PC8径間単純木+ステンT桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基, T型橋脚柱円型7基 ⑧交差物件 近江鉄道 ⑨架設年 1974	防護柵修繕工(高欄) (対策期間: R1.12~R2.3) 断面修復工(橋台・橋脚) ひびわれ補修工(橋台・橋脚) 表面保護工(橋台・橋脚) (対策期間: R4.8~R5.1)	Ⅲ	下部工 ひびわれ-o 漏水・遊離石灰-d 伸縮装置 変色・劣化-e	 	橋脚面に、亀甲状のひび割れが生じている。ASR(アルカリシリカ反応)によるものと推測する。さらに、配筋に沿ったひびわれを部分的に確認しており、錆汁が生じている。外部からの劣化因子浸入により、鋼材腐食による膨張性ひびわれが生じている。よって、対策は優先して行うことが望ましい。⇒対策必要性:大 伸縮装置に変色・劣化が生じている。下部工への伝い水の原因の一部であると推測し、対策を優先して行うことが望ましい。⇒対策必要性:大	R4:補修工事済	

表2-33 主要な損傷概要の一覧(9/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
53	0058	山王下橋		①路線名 大窪木津線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 2.8 ⑤有効幅員(m) 3.6 ⑥上部工形式 石橋・RC床版 ⑦下部工形式 その他(橋台)2基 ⑧交差物件 小河川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	主桁 剥離・鉄筋露出-e			主桁下面に主鉄筋の鉄筋露出が生じている。 鋼材腐食が著しく、腐食進行がある。伝い水も確認でき、今後も進行する可能性があるため、対策を優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大	
64	0071	無名橋16		①路線名 北脇線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 7.5 ⑤有効幅員(m) 4.0 ⑥上部工形式 PCプレテン床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 法光寺川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	下部工 剥離・鉄筋露出-d 舗装 路面の凹凸-e			橋台胸壁上に鉄筋露出が生じている。 損傷の進行はなく、直ちに構造物の機能に支障が生じる可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 路面の凹凸が生じている。 損傷の進行はなく、直ちに構造物の機能に支障が生じる可能性は低いため、必要に応じて対策を実施することが望ましいと考える。 ⇒対策必要性: 小	
73	0081	平熊橋		①路線名 平子熊野線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 12 ⑤有効幅員(m) 4.5 ⑥上部工形式 PCプレテン床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 1968	補修履歴無し	II	床版 漏水・遊離石灰-e 排水管 土砂詰まり-e			間詰床版全体に一部錆汁が混入した遊離石灰が生じている。橋面からの水の浸入による損傷と推測される。今後進行了した場合、耐荷力が低下する可能性があるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 排水管に土砂詰まりが生じている。橋面の排水機能に支障が生じる可能性があるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中	
74	0082	無名橋26		①路線名 蔵王熊野線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 5.8 ⑤有効幅員(m) 3.5 ⑥上部工形式 RC床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 日野川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	主桁 剥離・鉄筋露出-d 舗装 舗装の異常-e			主桁下面に鉄筋露出が生じている。 被り不足による損傷と推測される。損傷範囲の進行は小さく、直ちに主桁の耐荷力に影響を及ぼす損傷ではないと推測されるが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 舗装コンクリートがあばた状に剥がれている。経年劣化や橋面の排水不良によって生じた損傷と推測される。新規損傷であるが、直ちに構造物の機能に支障が生じる可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 小	
76	0085	西の宮橋		①路線名 鎌掛深山口線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 12.6 ⑤有効幅員(m) 3.6 ⑥上部工形式 RCT桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 南砂川 ⑨架設年 1963	補修履歴無し	II	支承本体 腐食-e 防食機能の劣化-e 支承部の機能障害-e 舗装 路面の凹凸-e			支承部(鋼製スライド査)に著しい腐食が生じている。伸縮装置からの伝い水が原因であると推測する。直ちに耐荷力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 路面の凹凸が生じている。 舗装擦付け不良による損傷と推測される。直ちに構造物の機能に支障が生じる可能性は低いため、必要に応じて対策を実施することが望ましいと考える。 ⇒対策必要性: 小	
78	0088	迫橋		①路線名 迫谷線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 14 ⑤有効幅員(m) 4.5 ⑥上部工形式 鋼H形鋼 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 迫谷川 ⑨架設年 1968	補修履歴無し	II	主桁 遊間の異常-c 支承本体 支承部の機能障害-e			可動側主桁端部と胸壁の遊間が狭くなっている。 前回点検からの進行は無く、現時点で主桁及び橋台の耐荷力が低下する可能性は低いが、次回点検での経過観察が必要である。必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 線支承のピンチプレートにずれが生じている。前回点検からの進行は無く、機能に支障が生じる可能性は低いため、次回点検での経過観察とし、必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小	

表2-34 主要な損傷概要の一覧(10/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
81	0093	出雲川橋		①路線名 御代参線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 6.2 ⑤有効幅員(m) 3.7 ⑥上部工形式 RCT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1960	補修履歴無し	Ⅱ	下部工(翼壁) ひびわれ-d 支承本体 腐食-e 防食機能の劣化-e 支承部の機能障害-e	 	翼壁に鉛直ひびわれが生じている。外力の作用又は施工不良による損傷と推測される。直ちに耐力力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 支承本体に層状剥離を伴う腐食が生じている。直ちに耐力力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中		
84	0097	御門橋		①路線名 小御門十禅師線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 11 ⑤有効幅員(m) 4.0 ⑥上部工形式 PCプレテン床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 出雲川 ⑨架設年 1963	補修履歴無し	Ⅱ	床版 漏水・遊離石灰-e 下部工(胸壁) 変形・欠損-e	 	間詰床版に錆汁が混入したつらら状の遊離石灰が生じている。橋面からの水の浸入による損傷と推測される。今後進行し、耐力力が低下する可能性があるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 胸壁(親柱基部)に欠損が生じている。外力の作用による損傷と推測される。直ちに耐力力が低下する可能性は低いいため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 小		
94	0110	菰蒲谷橋		①路線名 下出線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 9.2 ⑤有効幅員(m) 4.1 ⑥上部工形式 鋼桁PC床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 迫谷川 ⑨架設年 1971	補修履歴無し	Ⅱ	主桁 腐食-c 防食機能の劣化-e アンカーボルト 腐食-c 防食機能の劣化-e	 	主桁の広範囲に表面的な腐食が生じている。経年劣化や漏水・滞水による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐力力が低下する可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 アンカーボルトの広範囲に表面的な腐食が生じている。経年劣化や漏水・滞水による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐力力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中		
96	0112	無名橋46		①路線名 堂之谷墓地線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 9.3 ⑤有効幅員(m) 3.3 ⑥上部工形式 鋼桁、H形鋼 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 普通河川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	Ⅱ	主桁 腐食-c 防食機能の劣化-e 支承本体 腐食-d 防食機能の劣化-e	 	主桁の広範囲に表面的な腐食が生じている。経年劣化や漏水・滞水による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐力力が低下する可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 支承本体に局部的な板厚減少を伴う腐食が生じている。経年劣化や漏水・滞水による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐力力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中		
97	0113	無名橋47		①路線名 神前谷中畑線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 9.1 ⑤有効幅員(m) 2.1 ⑥上部工形式 鋼桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 迫谷川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	Ⅱ	主桁 腐食-d 防食機能の劣化-e アンカーボルト 腐食-e 防食機能の劣化-e	 	主桁に局部的な板厚減少を伴う腐食が生じている。漏水・滞水による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐力力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 アンカーボルトの広範囲に板厚減少を伴う腐食が生じている。漏水・滞水による損傷と推測される。前回からの進行は無いが、今後進行した場合、機能に支障が生じる可能性があるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大		
98	0114	無名橋48		①路線名 中道線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 10.5 ⑤有効幅員(m) 2.9 ⑥上部工形式 鋼桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 迫谷川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	Ⅱ	主桁 腐食-c 防食機能の劣化-e 防護柵 変形・欠損-e	 	主桁の広範囲に表面的な腐食が生じている。漏水・滞水による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐力力が低下する可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 防護柵に局部的な欠損が生じている。外力の作用による損傷と推測される。利用安全面の観点から、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大		

表2-35 主要な損傷概要の一覧(11/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
99	0115 無名橋49		①路線名 旧水口線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 9.6 ⑤有効幅員(m) 2.7 ⑥上部工形式 鋼桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 迫谷川 ⑨架設年 —	補修履歴無し		Ⅱ	主桁 腐食-c 防食機能の劣化-e アンカーボルト 腐食-c 防食機能の劣化-e			主桁の広範囲に表面的な腐食が生じている。経年劣化や漏水・滞水による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:小 アンカーボルトの広範囲に表面的な腐食が生じている。経年劣化や漏水・滞水による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中	
104	0121 無名橋53		①路線名 深山口木津線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 3.5 ⑤有効幅員(m) 2.9 ⑥上部工形式 PC床版 ⑦下部工形式 その他(橋台)2基 ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し		Ⅱ	主桁 沈下・移動・傾斜-e			主桁に隙間が生じている。施工不良による損傷と推測される。進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:小	利用者:少
105	0122 薬師前橋		①路線名 鎌掛線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 14.3 ⑤有効幅員(m) 4.0 ⑥上部工形式 PCプレテンT桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 南砂川 ⑨架設年 1990	補修履歴無し		Ⅱ	横桁 漏水・遊離石灰-e 定着部の異常-c 舗装 舗装の異常-e			横桁、PC横締め定着部に錆汁を伴う遊離石灰が生じている。橋面からの水の浸入による損傷と推測される。新規損傷である。さらに進行した場合、耐荷力が低下する可能性があるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:大 舗装に幅の大きなひびわれが生じている。経年劣化や輪荷重の繰り返し載荷による損傷と推測される。ひびわれ幅の進行がある。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中	
106	0123 無名橋54		①路線名 中在寺線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 13 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 PCプレテン床版 ⑦下部工形式 控え壁式橋台2基 ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し		Ⅱ	床版 漏水・遊離石灰-e 舗装 舗装の異常-c			床版につらら状の遊離石灰が生じている。橋面からの水の浸入による損傷と推測される。損傷箇所の増加がある。直ちに耐荷力が低下する可能性は低いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中 舗装に亀甲状のひびわれが生じている。経年劣化や輪荷重の繰り返し載荷による損傷と推測される。損傷進行は無いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中	
114	0132 無名橋62		①路線名 大窪音羽線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 3 ⑤有効幅員(m) 8.7 ⑥上部工形式 RC床版、I桁鋼桁 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し		Ⅱ	主桁 腐食-e 防食機能の劣化-e 主桁 剥離・鉄筋露出-d			主桁の広範囲に板厚減少を伴う腐食が生じている。経年劣化や漏水・滞水による損傷と推測される。新規損傷であり、進行性があると推測されるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:大 主桁に鉄筋露出が生じている。経年劣化による損傷と推測される。進行性があるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:大	
115	0133 無名橋63		①路線名 北脇仙線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 10.5 ⑤有効幅員(m) 15.5 ⑥上部工形式 RC溝橋 ⑦下部工形式 (同上) ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し		Ⅱ	主桁 ひびわれ-d 舗装 舗装の異常-e			主桁の広範囲にひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:小 舗装に亀甲状のひびわれが生じている。ひびわれ幅も大きく、前回からの幅の進行があり、今後も進行すると推測される。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中	

表2-36 主要な損傷概要の一覧(12/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
117	0136	無名橋66		①路線名 しゃくなげ谷線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 4.3 ⑤有効幅員(m) 11.8 ⑥上部工形式 RC床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 普通河川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	下部工(基礎) 洗掘-e 舗装 路面の凹凸-e	 	下部工(基礎)に洗掘が生じている。流水による損傷と推測される。範囲が拡大しており、今後の進行が懸念されるが、直ちに機能に支障が生じる可能性は低い。よって、次回点検での経過観察とし、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:小 路面の凹凸が生じている。損傷の進行はなく、直ちに構造物の機能に支障が生じる可能性は低いため、必要に応じて対策を実施することが望ましいと考える。 ⇒対策必要性:小		
118	0137	石楠花橋		①路線名 しゃくなげ谷線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 9.5 ⑤有効幅員(m) 4.1 ⑥上部工形式 RCT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 耶斧岨川 ⑨架設年 1961	補修履歴無し	II	主桁 剥離・鉄筋露出-d 支承本体 腐食-e 防食機能の劣化-e	 	主桁に鉄筋露出が生じている。経年劣化による損傷と推測される。新規損傷である。直ちに主桁の耐力に影響を及ぼす損傷ではないと推測されるが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中 支承本体の広範囲に板厚減少を伴う腐食が生じている。橋面からの水の浸入、滞水による損傷と推測される。前回からの進行は無いが、損傷が進行した場合、構造物の機能に支障が生じる可能性があるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中		
119	0138	無名橋67		①路線名 東山団地3号線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 7.6 ⑤有効幅員(m) 5.8 ⑥上部工形式 RC溝橋 ⑦下部工形式 (同上) ⑧交差物件 その他:一般道 ⑨架設年 1976	補修履歴無し	II	主桁(頂版) ひびわれ-e 下部工(側壁) ひびわれ-d	 	主桁(頂版)にひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回から損傷箇所が増加している。進行性があるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。(一部遊離石灰あり) ⇒対策必要性:中 側壁に一部遊離石灰を伴う幅の大きなひびわれが生じている。今後進行した場合、耐力が低下する可能性があるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中		
120	0139	瀬川橋		①路線名 鎌掛字内線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 13.6 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 RCT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 北砂川 ⑨架設年 1956	補修履歴無し	II	主桁 ひびわれ-d 主桁 剥離・鉄筋露出-d	 	主桁橋軸方向に幅の大きなひびわれが生じている。乾燥収縮、輪荷重の繰返し載荷による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐力が低下する可能性は低い。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中 主桁に鉄筋露出が生じている。経年劣化による損傷と推測される。進行性があるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:大	凍結防止剤散布	
121	0140	無名橋68		①路線名 川向線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 3.8 ⑤有効幅員(m) 5.9 ⑥上部工形式 RC床版 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	下部工(堅壁) ひびわれ-d 舗装 舗装の異常-e	 	堅壁鉛直方向に幅の大きなひびわれが生じている。施工不良による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐力が低下する可能性は低いため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:小 舗装に幅の大きなひびわれが生じている。経年劣化、輪荷重の繰返し載荷による損傷と推測される。進行はないため、必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:小		
127	0147	無名橋75		①路線名 出雲川自転車道線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 3.5 ⑤有効幅員(m) 2.5 ⑥上部工形式 RC溝橋 ⑦下部工形式 (同上) ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	側壁 ひびわれ-e 舗装 路面の凹凸-e	 	側壁に幅の大きな亀甲状のひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐力が低下する可能性は低い。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性:中 路面の凹凸が生じている。損傷の進行はなく、直ちに構造物の機能に支障が生じる可能性は低いため、必要に応じて対策を実施することが望ましいと考える。 ⇒対策必要性:小	ひびわれe	

表2-37 主要な損傷概要の一覧(13/14)

No.	橋梁番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
128	0148	無名橋76		①路線名 山本松尾線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 2.8 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 RC溝橋 ⑦下部工形式 (同上) ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	主桁(頂版) ひびわれ-d 下部工(側壁) ひびわれ-d	 	主桁(頂版)にひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低い。必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 小 側壁にひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低い。必要に応じて対策を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 小		
129	0149	無名橋77		①路線名 東桜谷旧県道線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 3.4 ⑤有効幅員(m) 4.5 ⑥上部工形式 RC溝橋 ⑦下部工形式 (同上) ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	主桁(頂版) 漏水・遊離石灰-d 下部工(側壁) ひびわれ-d	 	主桁(頂版)に遊離石灰が生じている。橋面からの水の浸入による損傷と推測される。新規損傷である。錆汁の混入は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低い。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 側壁に亀甲状のひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低い。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中	左写真: 調書より	
130	0150	無名橋78		①路線名 南比都佐小学校線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 5.5 ⑤有効幅員(m) 3.0 ⑥上部工形式 PC床版 ⑦下部工形式 重力式橋台2基 ⑧交差物件 開水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	下部工(基礎) 洗掘-e 伸縮装置 土砂詰まり-e	 	下部工(基礎)に洗掘が生じている。流水による損傷と推測される。範囲が拡大している。基礎地盤が軟弱であり、さらに進行した場合、機能に支障が生じる可能性があるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大 伸縮装置に土砂詰りが生じている。損傷の進行はなく、直ちに構造物の機能に支障が生じる可能性は低い。必要に応じて対策を実施することが望ましいと考える。 ⇒対策必要性: 小		
137	0157	無名橋83		①路線名 豊田中山線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 2.4 ⑤有効幅員(m) 7.5 ⑥上部工形式 RC床版、溝橋 ⑦下部工形式 重力式橋台2基、その他(橋台)2基 ⑧交差物件 水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	主桁 剥離・鉄筋露出-e 漏水・遊離石灰-e 舗装 路面の凹凸-e	 	主桁に鉄筋露出が生じている。経年劣化による損傷と推測される。鋼材の減肉も生じている。また、元橋部と拡幅部の境界から錆汁を伴う遊離石灰が生じている。今後、損傷進行の可能性があるので、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 路面の凹凸が生じている。経年劣化や輪荷重の繰返し載荷による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低い。必要に応じて対策を実施することが望ましい。 ⇒対策必要性: 小		
139	0159	無名橋85		①路線名 豊田中山線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 5.3 ⑤有効幅員(m) 4.6 ⑥上部工形式 RC床版 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 太平川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	主桁 剥離・鉄筋露出-e 漏水・遊離石灰-e	 	主桁に鉄筋露出が生じている。経年劣化による損傷と推測される。鋼材の減肉も生じている。露出部より、つららの遊離石灰も生じている。損傷箇所が増加もあるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大 主桁下面全体につららの遊離石灰が生じており、一部で錆汁が混入している。橋面からの水の浸入による損傷と推測される。前回からの進行は無いが、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中	交通量: 少	
142	0162	前川橋		①路線名 鳥居平中央線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 11.8 ⑤有効幅員(m) 6.9 ⑥上部工形式 RCT桁 ⑦下部工形式 逆T式橋台2基 ⑧交差物件 前川 ⑨架設年 —	補修履歴無し	II	主桁 剥離・鉄筋露出-e 下部工(縦壁) ひびわれ-d	 	主桁に鉄筋露出が生じている。経年劣化による損傷と推測される。鋼材の腐食が進行しており、減肉を伴っている。周辺部の広範囲で、うきが生じており、同様の損傷となる可能性がある。対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大 縦壁側面に幅の大きなひびわれが生じている。外力の作用による損傷と推測される。ひびわれの延長により、新規のうきが生じている。今後、損傷が進行した場合、機能に支障が生じる可能性があるため、対策は優先して行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 大		

表2-38 主要な損傷概要の一覧(14/14)

No.	橋梁 番号	施設名	全景写真	橋梁緒元	対策履歴	健全性 の診断	主な損傷と程度区分	損傷写真(定期点検の国報告様式から引用)		健全性に対する考察(再評価)	備考
152	0172 無名橋93			①路線名 河原島居平線 ②道路種別 1級町道 ③径間数 1径間 ④橋長(m) 3.6 ⑤有効幅員(m) 6.3 ⑥上部工形式 RC溝橋 ⑦下部工形式 (同上) ⑧交差物件 水路 ⑨架設年 —	補修履歴無し	Ⅱ	主桁(頂版) ひびわれ-e 下部工(側壁) ひびわれ-e	 	主桁(頂版)に幅の大きなひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低い。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中 側壁に幅の大きな亀甲状のひびわれが生じている。乾燥収縮による損傷と推測される。前回からの進行は無く、直ちに耐荷力が低下する可能性は低い。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ⇒対策必要性: 中		

(4) 劣化予測の検討

令和元年度～令和5年度で実施した定期点検では、「橋梁定期点検要領」(H26.6、国土交通省)に基づき評価した「損傷程度区分(a～e)」は、公財)滋賀県建設技術センターが管理・運用する「定期点検データベース」※2を用い、径間毎及び部材毎に記録している。

本計画ではこれらのデータベースを活用し、回帰分析による健全度の劣化曲線を作成することにより、下記を使用目的とした「劣化予測の検討」を行うものとした。

本計画における劣化予測の使用目的

1. 主材料及び変状要因毎に、経年劣化の進行程度を予測する
2. 上記1の結果を基に、中長期における劣化予測からの補修時期を設定する

※2 当センターが管理・運用する「長寿郎/BG」(JIPテクノサイエンス製品)を使用

劣化予測検討を行うにあたっての各種検討条件と、予測結果(劣化曲線)を次頁以降に示す。また、予測結果を用いて橋梁／部材毎に行った健全度判定(点検後一定期間における予測値)の結果については、報告書の巻末資料(添付資料-2)を参照のこと。

本計画の対象橋梁数は156橋と少ないうえ、補修済橋梁の点検結果を使用しないとなれば、検討に使用する橋梁数は更に少数となる。したがって、作成した劣化曲線が十分な予測精度を有しているとは言い難い。よって、本計画での劣化予測結果(劣化曲線)の取扱いに関しては、中長期シミュレーション(中長期計画)における損傷変状の劣化速度設定に暫定的に使用する方針とした。(下記参照)

計画毎の健全度適用方法

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 中長期計画 | ：劣化予測結果（：劣化曲線）を使用して中長期シミュレーションを行う。 |
| 短期計画 | ：定期点検で実施する健全性の診断結果（Ⅰ～Ⅳ）を基に、健全度判定を行う。 |

劣化予測条件

健全度の考え方について

部材の健全度は1～5の5段階で判定する（1：e相当、5：a相当）。

この部材健全度の**最悪値**を、橋梁単位の健全度とし、1～5で判定する。

■部材健全度の考え方

部材名		損傷種類	a	b	c	d	e
鋼橋	鋼部材	腐食	5	4	3	2	1
		亀裂	5	—	3	—	1
		ゆるみ・脱落	5	—	3	—	1
	床版	床版ひびわれ	5	5	4	4	3
		剥離・鉄筋露出	5	—	5	4	2
		漏水・遊離石灰	5	—	5	5	5
		抜け落ち	5	—	—	—	1
コンクリート橋	主桁	ひびわれ	5	4	3	3	3
		剥離・鉄筋露出	5	—	5	4	2
		漏水・遊離石灰	5	5	5	5	5
		定着部の異常	5	—	4	—	1
	床版	床版ひびわれ	5	5	4	3	3
		剥離・鉄筋露出	5	5	5	4	2
		漏水・遊離石灰	5	—	5	3	2
コンクリート	下部工	抜け落ち	5	—	—	—	1
		ひびわれ	5	4	4	4	4
		剥離・鉄筋露出	5	—	5	4	2
		漏水・遊離石灰	5	—	4	4	4
		沈下・移動・傾斜	5	—	—	—	5
		洗堀	5	—	5	—	5
	鋼	腐食	5	4	3	2	1
		亀裂	5	—	3	—	1
		ゆるみ・脱落	5	—	3	—	1
		沈下・移動・傾斜	5	—	—	—	5
鋼		洗堀	5	—	5	—	5

※「a～e」は橋梁定期点検要領の損傷評価区分である。

※ 支承・伸縮装置は、「②経年劣化の年数」を参考にするため、劣化予測は実施しない。

損傷評価区分	健全度
4～5	A
3～4	B
2～3	C
1～2	D
0～1	E

<各種分析条件>

① 劣化予測は下記の部材をもとに決定する。

	部材	劣化予測	劣化機構
鋼橋	上部工	○	経年劣化
	コンクリート床版	○	中性化
	鋼床版	○	経年劣化
コンクリート橋	主桁	○	中性化、塩害※1
	床版	○	中性化
共通	下部工(RC)	○	中性化、塩害
	下部工(鋼)	○	経年劣化
	支承	－	経年劣化
	伸縮装置	－	経年劣化
	高欄	－	経年劣化
	地覆	－	経年劣化
	舗装	－	経年劣化

※1塩害は、凍結防止剤が散布されているコンクリート橋を対象とする。

塩害（凍結防止剤）対象橋梁

- ・広域跨線橋（石原橋）（PC橋）
- ・原橋（鋼橋）
- ・五左衛門橋（PC橋）
- ・藤切橋（PC橋）
- ・内池橋（その他：プレビーム）
- ・別所橋（RC橋）
- ・無名橋43（RC橋）
- ・薬師前橋（PC橋）
- ・無名橋65（PC橋）
- ・無名橋66（RC橋）
- ・無名橋67（RC橋）
- ・瀬川橋（RC橋）
- ・無名橋68（RC橋）
- ・無名橋88（RC橋）

② 回帰分析の対象外

- ・経過年が10年未満で、健全度C～Eのもの
- ・経過年が50年以上でAのもの
- ・供用年推定の橋梁
- ・補修した橋

※分析対象数が少なくなった場合は対象とする場合もある。

③ 分析対象が少ない部材

分析対象が少ない場合、分析ができないため、他部材の劣化曲線を使用する。

④ 下記個別橋梁に関する設定条件

・プレビーム橋梁（迫栄橋、内池橋）

プレビーム橋梁は、鋼材のウェブとコンクリートのフランジからなる橋梁である。そのため、鋼材とコンクリート（PC）のそれぞれで、劣化曲線・対策時期を推測する。その場合、鋼材・プレストレスコンクリートで設定されている値を使用する。

・木津橋

パイルベント橋脚は脚柱の鋼部材とみなす。

・野出橋

1～6径間がRC橋、7径間目がPC橋の混合橋

・長沢橋

RCT桁で計算する。拡幅部は、検討対象外とする。

⑤ 経年劣化の年数

支承、伸縮装置、高欄、地覆の経年劣化は、下記の耐用年数をもとにする。

支承	
部材種別	耐用年数
鋼製	30
ゴム製	100

伸縮装置	
部材種別	耐用年数
鋼製	30
ゴム製	15

高欄	
部材種別	耐用年数
鋼製	30
アルミ製	60
コンクリート	100

地覆	
部材種別	耐用年数
コンクリート	100

【橋長15m以上】

劣化予測結果:上部工

■劣化予測結果：上部工

鋼橋およびコンクリート橋の劣化予測を検討した。結果、分析対象橋梁の最大はN=21橋（PC橋-床版-中性化）であったが、「鋼床版」や「コンクリート橋：RC橋-主桁-塩害」等、分析対象橋梁が少ない劣化予測結果もあった。

劣化予測に対する分析橋梁が少ないため、劣化予測の参考値という位置づけを推奨する。

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

■劣化予測結果：上部工

鋼橋	r	判定
主桁-経年劣化	0.89	◎
Con床版-中性化	0.64	○
鋼床版-経年劣化	-	-

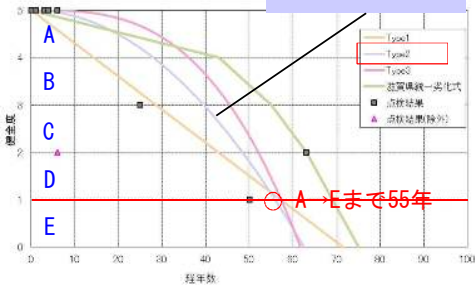
回帰曲線選択方法

$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ
 $y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

鋼橋

■主桁-経年劣化（N=8橋）

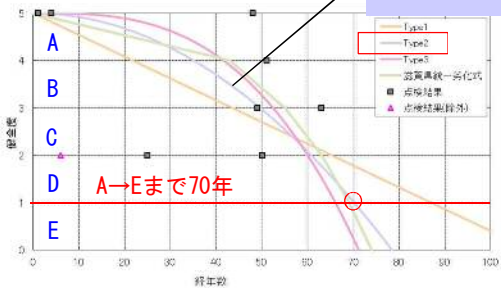
採用回帰曲線
Type2 : $y=at^2+5$



N=8橋
内訳（健全度別）
5：N=5橋
4：N=0橋
3：N=1橋
2：N=1橋

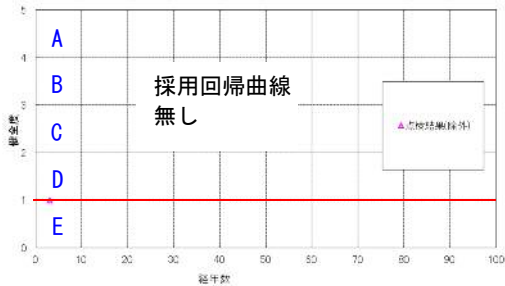
■コンクリート床版-中性化（N=8橋）

採用回帰曲線
Type2 : $y=at^2+5$



N=8橋
内訳（健全度別）
5：N=3橋
4：N=1橋
3：N=2橋
2：N=2橋

■鋼床版-経年劣化（N=0橋）



< 凡例 >

回帰式	
Type1	$(y=at+5)$
Type2	$(y=at^2+5)$
Type3	$(y=at^3+5)$
滋賀県統一劣化式 (滋賀県独自の曲線)	

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

回帰線選択方法

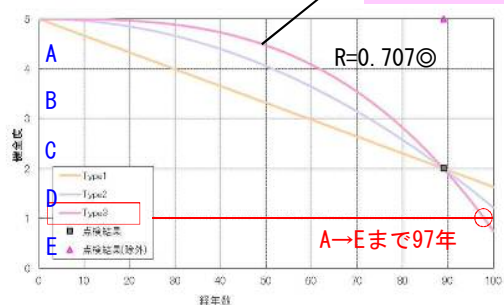
$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ

$y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

コンクリート橋

RC橋-主桁-塩害 (N=1橋)

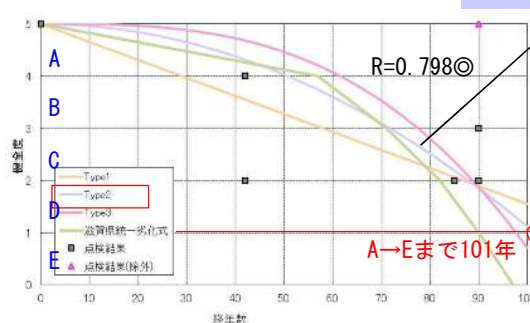
採用回帰曲線
Type3: $y=at^3+5$



※分析対象が少ないため、PC橋(塩害)の劣化曲線を使用する。

RC橋-主桁-中性化 (N=6橋)

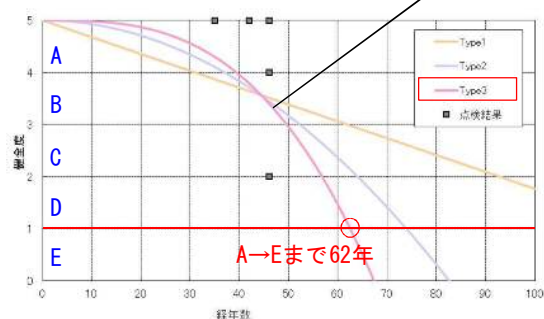
採用回帰曲線
Type2: $y=at^2+5$



N=6橋
内訳(健全度別)
5: N=1橋
4: N=1橋
3: N=1橋
2: N=3橋

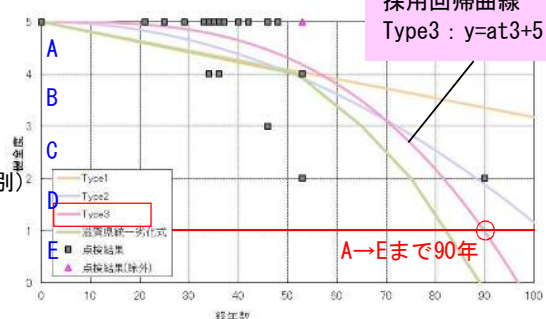
PC橋-主桁-塩害 (N=5橋)

採用回帰曲線
Type3: $y=at^3+5$



PC橋-主桁-中性化 (N=19橋)

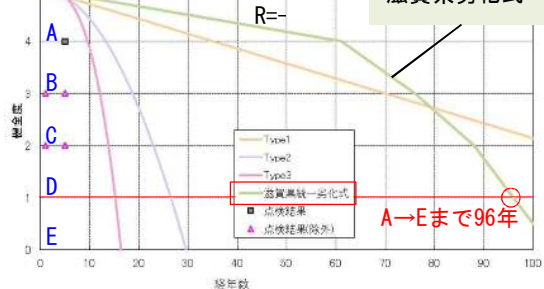
採用回帰曲線
Type3: $y=at^3+5$



N=19橋
内訳(健全度別)
5: N=13橋
4: N=3橋
3: N=1橋
2: N=2橋

RC橋-床版-中性化 (N=2橋)

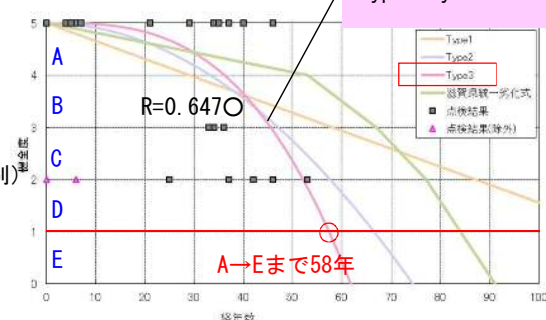
採用回帰曲線
滋賀県劣化式



N=2橋
内訳(健全度別)
5: N=1橋
4: N=1橋
3: N=0橋
2: N=0橋

PC橋-床版-中性化 (N=21橋)

採用回帰曲線
Type3: $y=at^3+5$



N=20橋
内訳(健全度別)
5: N=12橋
4: N=0橋
3: N=3橋
2: N=5橋

劣化予測結果: 上部工

コンクリート橋	r	判定
RC橋-主桁-塩害	0.707	◎
PC橋-主桁-塩害	0.224	△
RC橋-主桁-中性化	0.798	◎
PC橋-主桁-中性化	0.640	○
RC橋-床版-中性化	-	-
PC橋-床版-中性化	0.647	○

<凡例>

回帰式
Type1 ($y=at+5$)
Type2 ($y=at^2+5$)
Type3 ($y=at^3+5$)
滋賀県統一劣化式 (滋賀県独自の曲線)

【橋長15m以上】

劣化予測結果:下部工

■劣化予測結果

・下部工

下部工（コンクリート）および下部工（鋼）の劣化予測を検討した。結果、分析対象橋梁の最大はN=32橋（コンクリート-中性化）であったが、「下部工（鋼）」のように、分析対象橋梁が少ない劣化予測結果もあった。

劣化予測に対する分析橋梁が少ないため、劣化予測の参考値という位置づけを推奨する。

・コンクリート橋：上部工（参考）

参考として、RC橋およびPC橋の上部工をまとめて、塩害・中性化の劣化予測を検討した。PC、RC橋を分けたパターンに比べ、劣化曲線が変化しているが、これは分析対象数が少ないことが原因になっていると考えられる。

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

■劣化予測結果：下部工（参考）

鋼橋	r	判定
下部工(RC)-塩害	0.629	○
下部工(RC)-中性化	0.420	○
下部工(鋼)-経年劣化	-	-

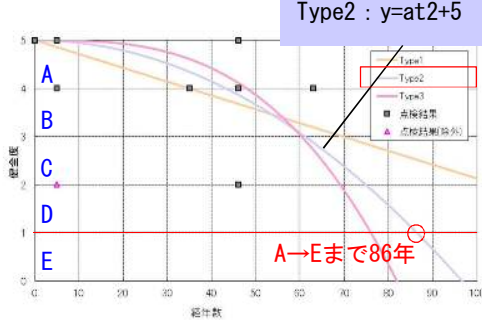
回帰曲線選択方法

$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ

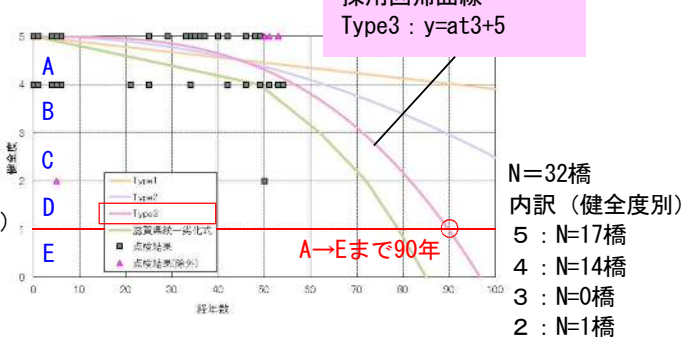
$y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

下部工(コンクリート:RC)

■塩害（N=8橋）

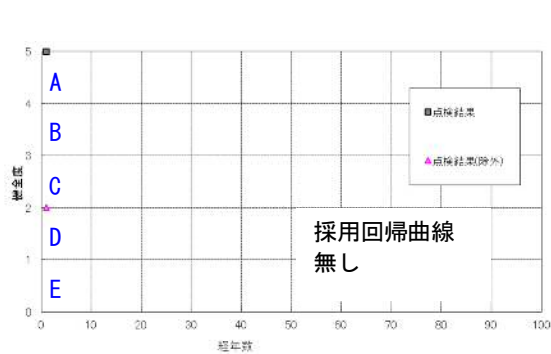


■中性化（N=32橋）



下部工(鋼)

■経年劣化（N=1橋）



<凡例>

回帰式	
Type1	$(y=at+5)$
Type2	$(y=at^2+5)$
Type3	$(y=at^3+5)$
滋賀県統一劣化式 (滋賀県独自の曲線)	

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

■劣化予測結果：コンクリート橋上部工（参考）

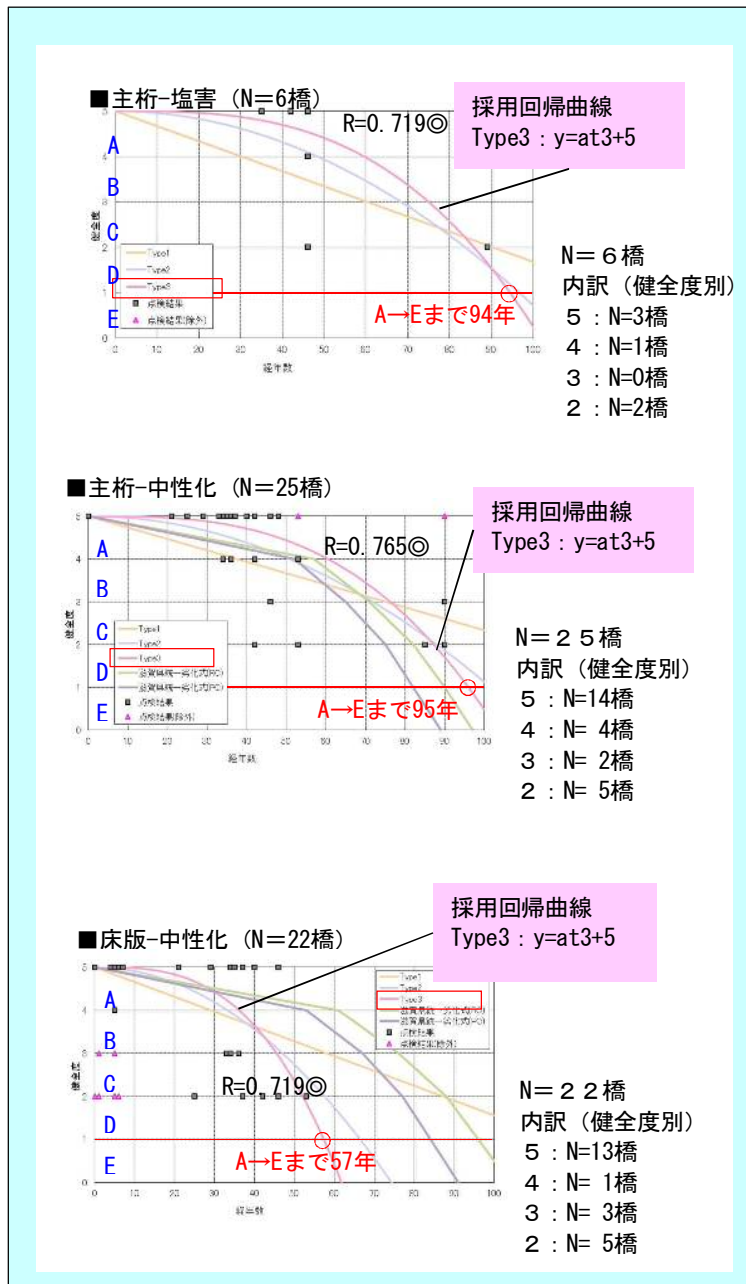
コンクリート橋	r	判定
主桁-塩害	0.719	◎
主桁-中性化	0.765	◎
床版-中性化	0.660	○

回帰曲線選択方法

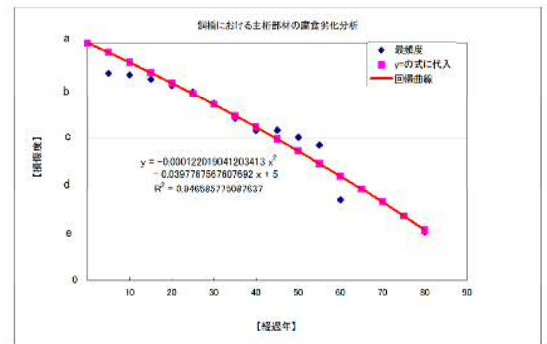
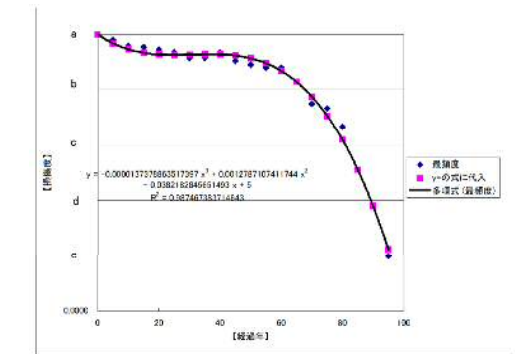
$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ

$y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

参考：コンクリート橋（上部工）



<参考>多数の点検データを使用した場合の検討結果



<凡例>

回帰式	
Type1	$(y=at+5)$
Type2	$(y=at^2+5)$
Type3	$(y=at^3+5)$
滋賀県統一劣化式 (滋賀県独自の曲線)	

【橋長15m未満】

劣化予測結果:上部工

■劣化予測結果：上部工
鋼橋およびコンクリート橋の劣化予測を検討した。結果、分析対象数の最大はN=21（PC橋-床版-中性化）であったが、「RC橋-主桁-塩害」「鋼橋-主桁-経年劣化」等、分析対象数が少ない劣化予測結果もあった。

劣化予測に対する分析橋梁が少ないため、劣化予測の参考値という位置づけを推奨する。

※各グラフのポイント:分析橋梁が橋長15m以上の橋梁と比較して少ないことから、橋長15m未満の橋梁では、回帰分析の精度を高めるため、同橋において複数年次の点検データを分析対象とする。

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

■劣化予測結果：上部工

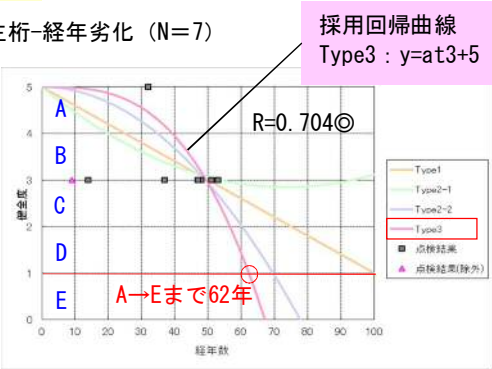
鋼橋	r	判定
主桁-経年劣化	0.704	◎
Con床版-中性化	0.876	◎
鋼床版-経年劣化	-	-

回帰曲線選択方法

$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ
 $y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

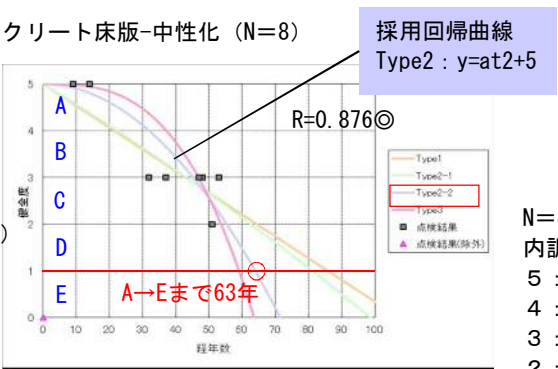
鋼橋

■主桁-経年劣化（N=7）



N=7
内訳（健全度別）
5 : N=1
4 : N=0
3 : N=6
2 : N=0

■コンクリート床版-中性化（N=8）



N=8
内訳（健全度別）
5 : N=2
4 : N=0
3 : N=5
2 : N=1

■鋼床版-経年劣化（N=0）

対象無し

< 凡例 >

回帰式	
Type1	$(y=at+5)$
Type2	$(y=at^2+5)$
Type3	$(y=at^3+5)$

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

回帰曲線選択方法

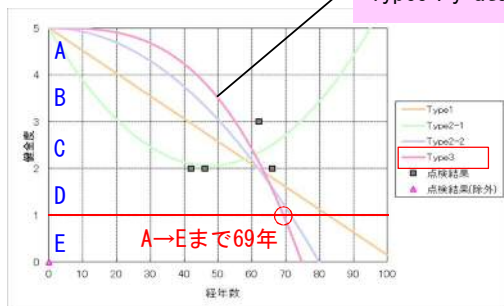
$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ

$y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

コンクリート橋

RC橋-主桁-塩害 (N=4)

採用回帰曲線
Type3 : $y=at^3+5$



N=4
内訳 (健全度別)
5 : N=0
4 : N=0
3 : N=1
2 : N=3

※分析対象が少ないため、PC橋(塩害)の劣化曲線を使用する。

■劣化予測結果：上部工

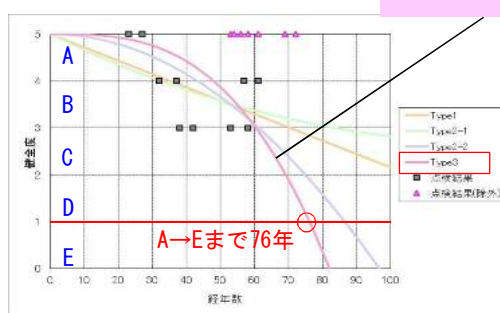
コンクリート橋	r	判定
RC橋-主桁-塩害	0.652	○
PC橋-主桁-塩害	-	-
RC橋-主桁-中性化	0.672	○
PC橋-主桁-中性化	0.244	△
RC橋-床版-中性化	0.473	○
PC橋-床版-中性化	0.743	◎

<凡例>

回帰式
Type1 ($y=at+5$)
Type2 ($y=at^2+5$)
Type3 ($y=at^3+5$)

RC橋-主桁-中性化 (N=10)

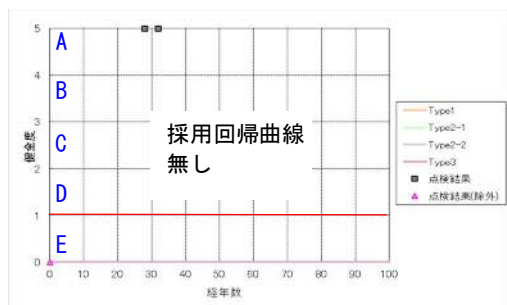
採用回帰曲線
Type3 : $y=at^3+5$



N=10
内訳 (健全度別)
5 : N=2
4 : N=4
3 : N=4
2 : N=0

PC橋-主桁-塩害 (N=2)

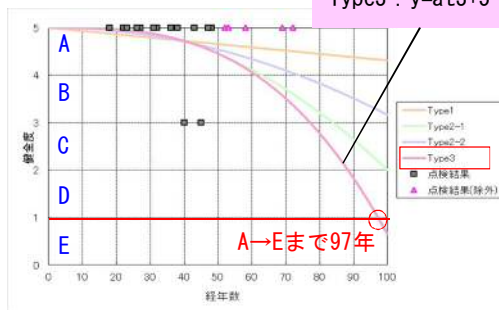
採用回帰曲線
無し



N=2
内訳 (健全度別)
5 : N=2
4 : N=0
3 : N=0
2 : N=0

PC橋-主桁-中性化 (N=19)

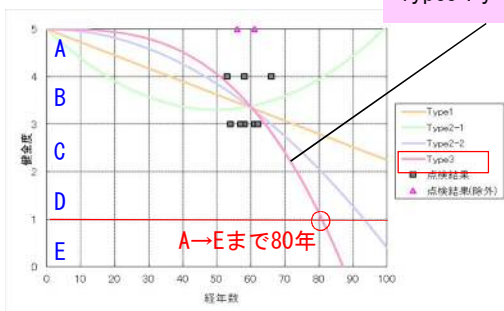
採用回帰曲線
Type3 : $y=at^3+5$



N=19
内訳 (健全度別)
5 : N=17
4 : N=0
3 : N=2
2 : N=0

RC橋-床版-中性化 (N=8)

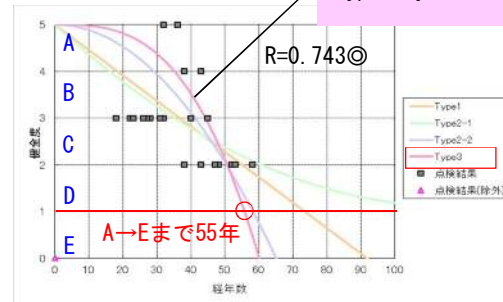
採用回帰曲線
Type3 : $y=at^3+5$



N=8
内訳 (健全度別)
5 : N=0
4 : N=3
3 : N=5
2 : N=0

PC橋-床版-中性化 (N=21)

採用回帰曲線
Type3 : $y=at^3+5$



N=21
内訳 (健全度別)
5 : N=2
4 : N=2
3 : N=10
2 : N=7

【橋長15m未満】

劣化予測結果:下部工

■劣化予測結果

- ・下部工

下部工（コンクリート）および下部工（鋼）の劣化予測を検討した。結果、分析対象数の最大はN=40（コンクリート-中性化）であったが、「コンクリート-塩害」のように、分析対象数が少ない劣化予測結果もあった。

劣化予測に対する分析橋梁が少ないため、劣化予測の参考値という位置づけを推奨する。

- ・コンクリート橋：上部工（参考）

参考として、RC橋およびPC橋の上部工をまとめて、塩害・中性化の劣化予測を検討した。PC、RC橋を分けたパターンに比べ、劣化曲線が変化しているが、これは分析対象数の変化が原因と考えられる。

※各グラフのポイント:分析橋梁が橋長15m以上の橋梁と比較して少ないことから、橋長15m未満の

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

■劣化予測結果：下部工（参考）

鋼橋	r	判定
下部工(RC)-塩害	0.813	◎
下部工(RC)-中性化	0.609	○
下部工(鋼)-経年劣化	-	-

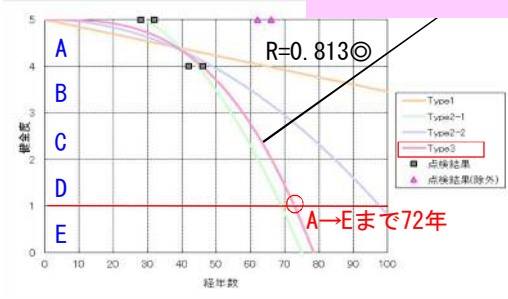
回帰曲線選択方法

$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ
 $y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

下部工(コンクリート:RC)

■塩害（N=4）

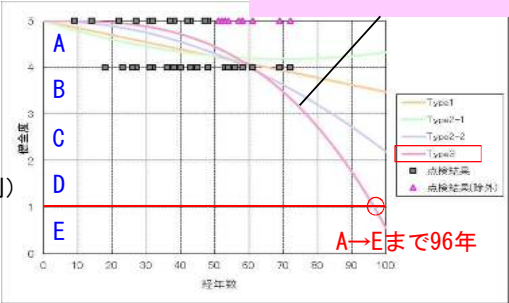
採用回帰曲線
Type3: $y=at^3+5$



N=4
内訳（健全度別）
5 : N=2
4 : N=2
3 : N=0
2 : N=0

■中性化（N=40）

採用回帰曲線
Type3: $y=at^3+5$



N=40
内訳（健全度別）
5 : N=14
4 : N=26
3 : N= 0
2 : N= 0

下部工(鋼)

■経年劣化（N=0）

対象無し

<凡例>

回帰式	
Type1	$(y=at+5)$
Type2	$(y=at^2+5)$
Type3	$(y=at^3+5)$

相関係数の見方

相関係数 r の値	相関	
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない	×
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関	△
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関	○
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	◎

■劣化予測結果：コンクリート橋上部工（参考）

コンクリート橋	r	判定
主桁-塩害	0.716	◎
主桁-中性化	0.527	○
床版-中性化	0.651	○

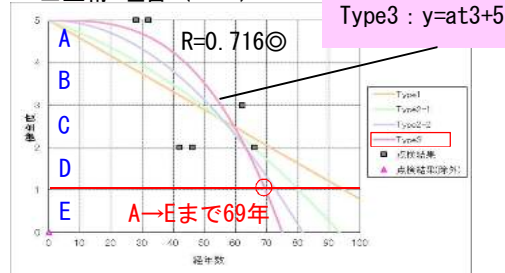
回帰曲線選択方法

$y=at^2+5$ を基準に、相関性が高いものを選ぶ

$y=at^2+5$ は、部材の一般的な劣化曲線

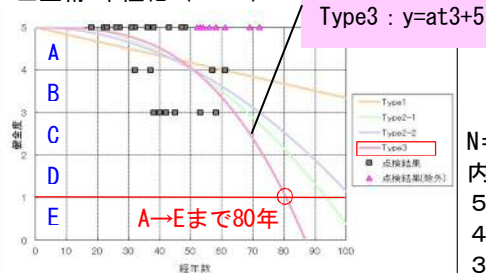
参考：コンクリート橋（上部工）

■主桁-塩害（N=6）



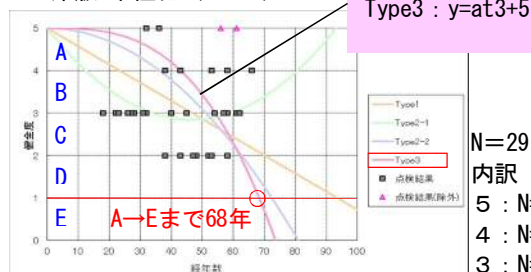
N=6
内訳（健全度別）
5 : N=2
4 : N=0
3 : N=1
2 : N=3

■主桁-中性化（N=29）



N=29
内訳（健全度別）
5 : N=19
4 : N=4
3 : N=6
2 : N=0

■床版-中性化（N=29）



N=29
内訳（健全度別）
5 : N=2
4 : N=5
3 : N=15
2 : N=7

<参考>多数の点検データを使用した場合の検討結果

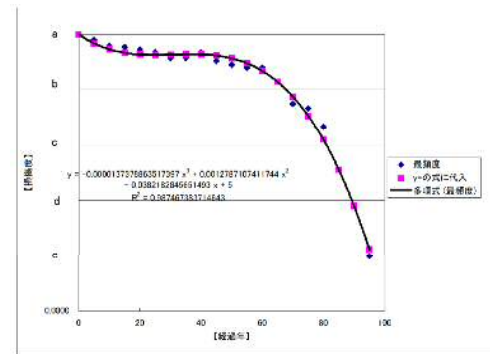


図 3 鋼橋の床版ひびわれ結果

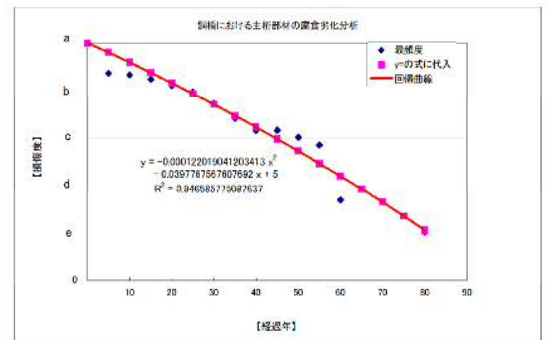


図 2 鋼橋の床版ひびわれ結果

<凡例>

回帰式	
Type1	$(y=at+5)$
Type2	$(y=at^2+5)$
Type3	$(y=at^3+5)$

劣化予測による健全度毎の滞留年数

橋長15m以上

橋種	部材	劣化機構	健全度毎の滞留年数					健全度Aからの遷移年数				
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
鋼橋	主桁	経年劣化	27	12	9	7	7	—	27	39	48	55
鋼橋	鋼床版	経年劣化	対象無し									
鋼橋	コンクリート床版	中性化	35	14	11	10	8	—	35	49	60	70
コンクリート橋	主桁	塩害	59	15	11	9	7	—	59	74	85	94
(RC橋)	主桁	塩害	61	16	11	9	8	—	61	77	88	97
(PC橋)	主桁	塩害	39	10	7	6	5	—	39	49	56	62
コンクリート橋	主桁	中性化	60	16	11	8	8	—	60	76	87	95
(RC橋)	主桁	中性化	50	21	16	14	12	—	50	71	87	101
(PC橋)	主桁	中性化	56	15	10	8	7	—	56	71	81	89
コンクリート橋	床版	中性化	36	9	7	5	4	—	36	45	52	57
(RC橋)	床版	中性化	61	15	12	8	8	—	61	76	88	96
(PC橋)	床版	中性化	36	9	7	5	4	—	36	45	52	57
共通	下部工 (RC)	塩害	43	18	13	12	10	—	43	61	74	86
共通	下部工 (RC)	中性化	56	15	10	8	7	—	56	71	81	89
共通	下部工 (鋼)	経年劣化	対象無し									

橋長15m未満

橋種	部材	劣化機構	健全度毎の滞留年数					健全度Aからの遷移年数				
			A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
鋼橋	主桁	経年劣化	39	10	7	6	5	—	39	49	56	62
鋼橋	鋼床版	経年劣化	対象無し									
鋼橋	コンクリート床版	中性化	31	14	10	8	8	—	31	45	55	63
コンクリート橋	主桁	塩害	43	12	8	6	5	—	43	55	63	69
(RC橋)	主桁	塩害	43	12	7	7	5	—	43	55	62	69
(PC橋)	主桁	塩害	分析不可									
コンクリート橋	主桁	中性化	50	14	9	7	6	—	50	64	73	80
(RC橋)	主桁	中性化	47	13	9	7	5	—	47	60	69	76
(PC橋)	主桁	中性化	61	16	11	9	7	—	61	77	88	97
コンクリート橋	床版	中性化	43	11	8	6	5	—	43	54	62	68
(RC橋)	床版	中性化	50	14	9	7	7	—	50	64	73	80
(PC橋)	床版	中性化	35	9	6	5	5	—	35	44	50	55
共通	下部工 (RC)	塩害	45	12	9	6	6	—	45	57	66	72
共通	下部工 (RC)	中性化	60	16	11	9	7	—	60	76	87	96
共通	下部工 (鋼)	経年劣化	対象無し									

2.1.5 対策の優先順位の考え方

日野町が管理する橋梁は、大規模な橋梁から小規模な橋梁、車両の通行頻度が多い橋梁から集落内の生活に密接した橋梁と、多種多様である。限られた町の財政予算で、措置が必要な全ての橋梁を一斉に修繕することは困難であり、どの橋梁の修繕を優先的に実施するかを評価する必要がある。

対策の優先順位は、橋長 15m 以上・橋長 15m 未満の隔て無く全ての橋梁に対して、1つの考え方で統一することが維持管理を行う上で効率性が高いものとする。

(1) メンテナンスサイクル構築に伴う対策内容の確認

橋梁個別施設計画の管理区分（、優先順位の検討）に際しては、これまでの社会的背景の動きに対応しながら、第1期計画及び第2期計画での考え方を基に、メンテナンスサイクルの取組・推進を念頭においた見直しを、令和3年度策定の第3期計画（橋長15m以上の橋梁を対象）で行っている。

① 第1期計画（橋長15m以上の橋梁を対象、平成22年12月策定）

- ・地形的または技術的な理由により架替えが困難な橋梁や、道路ネットワーク形成上で重要路線上に架かる橋梁に対し、予算シミュレーションにおける戦略的または早期対策のシナリオを設定。
- ・予算シミュレーションの結果に基づいた対策時期の設定を基本としており、上記で挙げた特殊橋梁・重要路線に応じた優先順位の設定は特に行っていない。

② 社会的背景の整理（H26年度）

- ・道路法の改定 > 定期点検を5年に1回の頻度で継続的に実施
> 健全性の診断を行い、Ⅰ～Ⅳに分類する。

③ 第2期計画（橋長15m以上の橋梁を対象、平成28年3月策定）

- ・予算シミュレーションのシナリオ設定条件（4つの管理区分）は、第1期計画と同様。
- ・効率的な補修時期の方向性を設定
 - > **損傷度の大きな橋梁から補修工事を行う。**（健全性診断Ⅳ→Ⅲ→Ⅱ→Ⅰの順）
- ・短期計画（10年間）では、橋梁の現状の健全度から優先度を3つのグループに選別。

優先度1）早期の修繕が必要

- ・健全性の診断において判定Ⅲとした橋梁
- ・計画策定時（H28.3）にて補修設計が完了している橋梁

優先度2）予防的な修繕が必要

- ・健全性の診断において判定Ⅱとした橋梁

優先度3）修繕等が当面不要

- ・健全性の診断において判定Ⅰとした橋梁

④ 第2期計画 追加（橋長15m未満の橋梁を対象、令和元年7月策定）

- ・中長期の維持管理における管理区分（管理水準目標）は、健全度区分（対策区分A, B, C1, C2, E1, E2, S）を基に、「**対策区分C1以上を維持する**」ことを設定
- ・維持管理区分として、「橋梁の健全度」と「橋梁の重要度」で区分した9つのグループに分類して、優先順位を設定する。

橋梁の健全度「健全度E」「健全度C,D」「健全度A,B」の3区分

橋梁の重要度「重要度 高」「重要度 中」「重要度 低」の3区分

※3区分×3区分=9グループに優先順位を設定

⑤ 第3期計画 1回目（橋長15m以上の橋梁を対象、令和3年11月策定）

第3期計画（R3.11）で行った見直しのポイント

- ⇒ 計画期間を5年周期としたマネジメントサイクル（点検、診断、措置、記録）を構築する。（前述2.1.3参照）
- ⇒ 橋梁の重要度や用途に見合った管理水準の見直しを行い、これら毎に管理目標を設定する。
- ⇒ 5年毎の定期点検で橋梁の状態を把握し、都度、健全性診断の結果に応じた措置を講じる。
- ⇒ 健全性の悪い橋梁から優先して対策する。5年毎の定期点検の結果を基に、定期的な優先順位の見直しを行う。
- ⇒ 健全性診断の判定区分が同じである橋梁については、橋梁の役割・機能・利用状況・重要度等を考慮するものとし、従来（第2期計画）の考え方を継承する。

⑥ 本計画（第3期計画2回目、全156橋を対象）

- ・前計画（令和3年11月）の検討方針を、橋長15m未満の橋梁にも適用する。

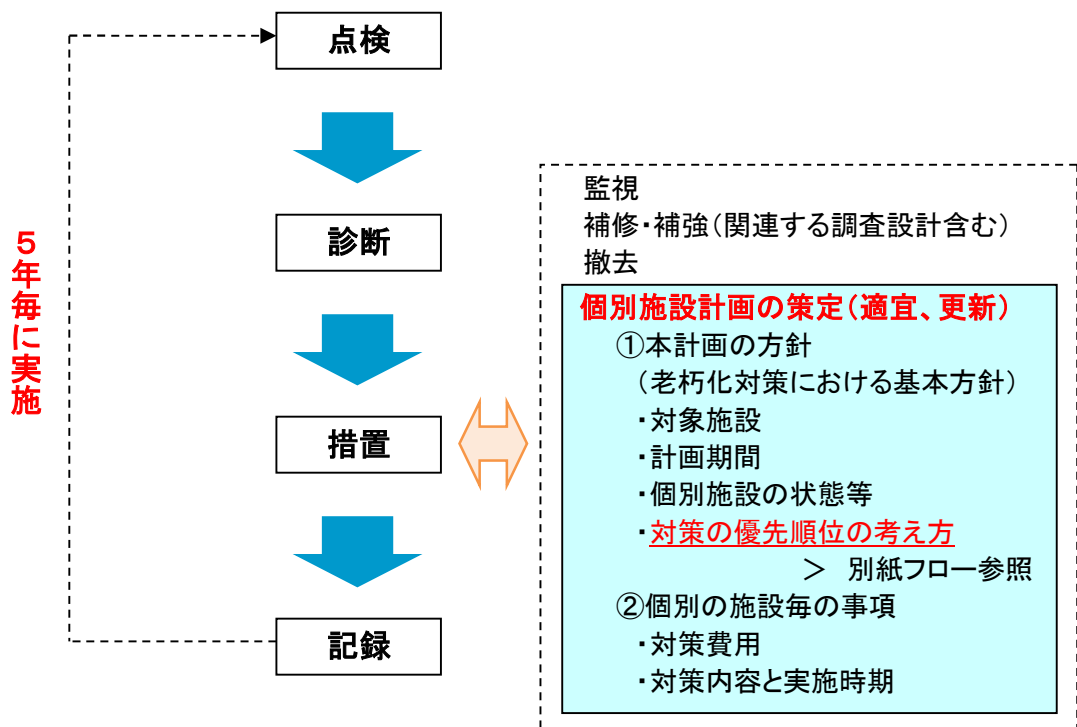


図2-18 メンテナンスサイクルにおける対策優先順位の設定及び更新

対策優先順位は、図 2-19 に示すフローにより定める。定期点検を実施した橋梁を対象に、健全性診断の判定結果が悪いものから優先するが、判定Ⅲまたは判定Ⅱどうしの橋梁については、日野町が定めた判断要素で順位を決定する。

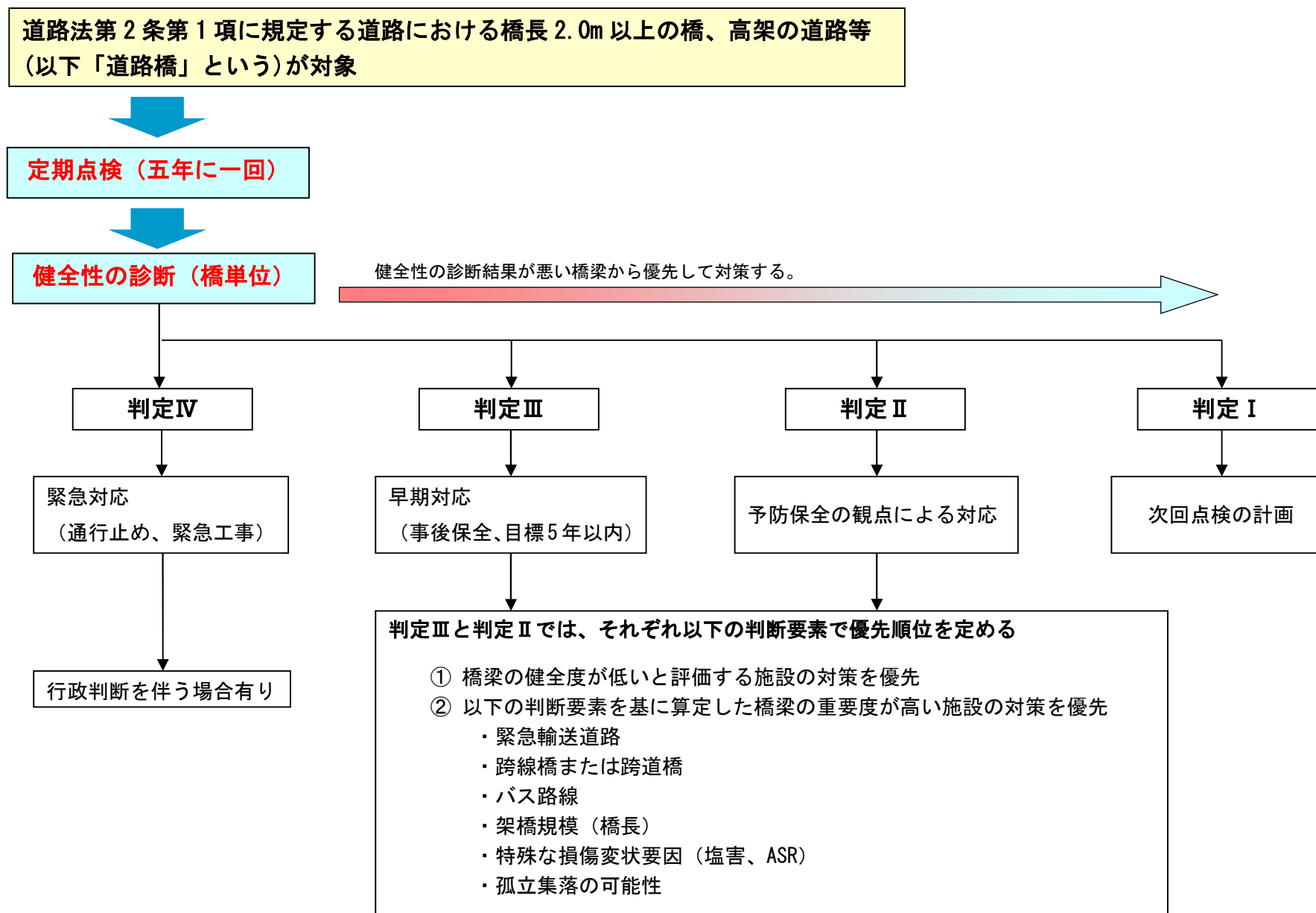


図 2-19 事業対策の優先順位決定の流れ

(2) 判定Ⅲまたは判定Ⅱにおける対策の優先順位

定期点検における健全性の診断にて、判定Ⅲまたは判定Ⅱとした橋梁が複数ある場合、事業の対策優先順位は、ある一定の考え方の基で設定するルールを設けることが重要である。

第3期計画では、第2期計画（R1.7、橋長15m未満の橋梁を対象）における優先順位設定の考え方を引き継ぐものとして、個別施設（橋梁）の状態や、当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性、等を考慮しながら、主に「橋梁の健全度」と「橋梁の重要度」で区分したグループに分類して優先順位を設定した。なお、次回以降の計画更新までに損傷変状が進行または回復した場合や路線環境・構造諸元が変更した場合には、適宜、優先順位の見直しを行うものとした。

事業対策の優先順位を決定するにあたっての、基本的な考え方を以下に定める。

●修繕対策の優先度の考え方

- ① 定期点検の結果を基に「橋梁の健全度」が低い橋梁を優先
- ② 健全度が同じ場合は「橋梁の重要度」が高い橋梁を優先
- ※ ①と②が同じ評価となる場合は、短期計画における予算の平準化を優先

表 2-39 優先順位検討のためのグルーピング（基本形）

		橋梁の重要度		
		高	中	低
橋梁の健全度	高 (good)	7	8	9
	中	4	5	6
	低 (bad)	1	2	3

注) 表中の数値は、事業対策の優先順位を検討するグルーピング毎の順番を示す。

(3)各グルーピングへの分類状況

前述のとおり、計画策定対象橋梁に対し、個別施設の状態や当該施設が果たしている役割や有する機能、利用状況、重要性等を考慮しながら、下記のとおりグルーピングを行った。

1) 健全度における区分毎の設定（短期修繕計画での場合）

短期修繕計画の策定を行うにあたり、優先順位検討における健全度の区分毎の設定は、直近で実施した定期点検で行った健全性の診断結果を使用する。橋梁毎に現地点検を行い、「状態の把握」の結果を基に、総合的な評価として道路橋単位での健全性を診断し、4段階で判定（判定Ⅰ～Ⅳ）している。（～判定の結果は前述 2.1.4 の 2）を参照）

健全性の診断で「判定Ⅳ」の場合は点検後速やかに緊急措置を要することから優先順位の検討対象外とする。また「判定Ⅰ」の場合でも基本的に補修対策を行わないことから同様に対象外とする。

表 2-39 に示したとおり、健全度を 3 段階に区分するにあたっては、健全性診断の判定区分Ⅱの橋梁が多数生じることを想定し、対策区分 C1 の主要部材^{※1}の有無で「高・中」の 2 段階に分ける考えとした（表 2-40 参照）。

※1 「橋梁定期点検要領」（H26.6）P.8～10 の「表-4.2.1」で、*印のある部位部材を指す。

表 2-40 優先順位検討のためのグルーピング（短期計画）

		橋梁の重要度		
		高	中	低
橋梁の健全度	健全性診断__判定Ⅰ		—	—
	高	健全性診断__判定Ⅱ (対策区分 C1 の主要部材無)	G-7	G-8
	中	健全性診断__判定Ⅱ (対策区分 C1 の主要部材有)	G-4	G-5
	低	健全性診断__判定Ⅲ	G-1	G-2
	健全性診断__判定Ⅳ		(点検後速やかに緊急措置を講じる)	

注) 表中の数値は、事業対策の優先順位を検討するグルーピング毎の順番を示す。

さらに本計画（第3期計画）に限り、健全性の再評価の結果を橋梁の健全度に反映する考えとした。

定期点検での診断内容に対し、損傷変状が発生した部材・部位、構造物の耐荷性、損傷変状の進行性等に着目しながら健全性に関する考察を行い、対策の必要性を「大・中・小」の3段階で再評価した。（～評価結果は前述2.1.4の3）を参照）

3段階の対策必要性に応じて、健全性の再診断区分と優先順位検討での橋梁の健全度は、それぞれ表2-41に示すとおりとした。

健全度に関する施設毎の検討結果を、次頁表2-42に示す。

表 2-41 健全性の再評価に伴う優先順位設定での健全度区分の見直し

定期点検での 健全性診断区分	本計画での再評価	本計画での 健全性再診断区分	優先順位検討での 橋梁の健全度
判定Ⅰ	対策必要性：小	Ⅰ-1	（検討対象外）
	対策必要性：中	Ⅰ-2	G-7～9
	対策必要性：大	【 該当無 】	—
判定Ⅱ	対策必要性：小	Ⅱ-1	G-7～9
	対策必要性：中	Ⅱ-2	G-4～6
	対策必要性：大	Ⅱ-3	G-1～3
判定Ⅲ	対策必要性：小	Ⅲ-1	G-4～6
	対策必要性：中	Ⅲ-2	G-1～3
	対策必要性：大	Ⅲ-3	G-1～3

表 2-42 施設毎の健全性に関する再評価の結果

No	橋梁番号	路線名称	施設名称	橋長(m)	健全性 診断	本計画での損傷変状の主な所見	健全性診断 再評価結果	備考
1	0001	西大路鎌掛線	高橋	50.30	Ⅱ	床版に遊離石灰	Ⅱ-2	
2	0003	村井奥師線	西の口橋	18.70	Ⅱ	間詰床版からの遊離石灰	Ⅱ-1	対策済
3	0004	深山口水口線	迫米橋	27.10	Ⅱ	伸縮継手の経年劣化	Ⅱ-2	
4	0012	旧別所橋線	別所橋	81.90	Ⅲ	主桁に端部欠損・ジャンカ	Ⅲ-3	本計画で現地踏査
5	0013	深山口木津線	木津橋	81.90	Ⅱ	橋脚柱に腐食	Ⅱ-1	本計画で現地踏査
6	0014	安土線	安土橋	45.00	Ⅱ	主桁にひびわれ・遊離石灰	Ⅱ-3	PCボステン桁
7	0016	三十坪駅前線	大正橋	24.30	Ⅱ	床版面に孔食含む腐食	Ⅱ-3	本計画で現地踏査
8	0017	横町線	松尾橋	15.50	Ⅲ	主桁にひびわれ	Ⅲ-1	本計画で現地踏査
9	0022	中之郷線	西川原橋	24.70	Ⅲ	主桁及び支承部の腐食等	Ⅲ-1	R2年度補修工事完了
10	0024	音羽蔵王線	多々木橋	19.00	Ⅱ	橋脚梁にうき	Ⅱ-2	
11	0028	清田線	前川橋	19.90	Ⅱ	間詰床版からの遊離石灰	Ⅱ-2	錆汁有
12	0030	野出旧県道線	野出橋	72.30	Ⅱ	主桁に鉄筋露出、支承に腐食	Ⅱ-2	支承鋼板沓
13	0032	中在寺野神線	野上橋	30.30	Ⅱ	主桁及び支承部の腐食等	Ⅱ-2	漏水対策済
14	0033	東桜谷旧県道線	長沢橋	28.20	Ⅲ	主桁の鉄筋露出	Ⅲ-3	本計画で現地踏査
15	0040	萬徳寺線	原橋	21.60	Ⅱ	主桁及び支承部の腐食等	Ⅱ-2	
16	0042	河原島居平線	河原橋	15.80	Ⅱ	間詰床版からの遊離石灰	Ⅱ-2	
17	0044	石原島居平線	広域跨線橋(石原橋)	165.00	Ⅲ	橋脚にひびわれ(ASR)	Ⅲ-3	本計画で現地踏査
18	0058	大窪木津線	山王下橋	2.80	Ⅱ	主桁の鉄筋露出	Ⅱ-3	主鉄筋
19	0071	北脇線	無名橋16	7.50	Ⅱ	橋台胸壁上に鉄筋露出、路面の凹凸	Ⅱ-2	
20	0081	平子熊野線	平熊橋	12.00	Ⅱ	間詰床版からの遊離石灰	Ⅱ-2	一部錆汁有
21	0082	蔵王熊野線	無名橋26	5.80	Ⅱ	主桁に鉄筋露出、舗装にへこみ	Ⅱ-2	
22	0085	鎌掛深山口線	西の宮橋	12.60	Ⅱ	支承部の腐食等	Ⅱ-2	支承鋼製沓
23	0088	迫谷線	迫橋	14.00	Ⅱ	遊間の異常、線支承のずれ	Ⅱ-1	線支承(ピンチプレート)
24	0093	御代参線	出雲川橋	6.20	Ⅱ	支承部の腐食、翼壁鉛直ひびわれ	Ⅱ-2	支承部(層状剥離)
25	0097	小御門十禅師線	御門橋	11.00	Ⅱ	間詰床版からの遊離石灰等	Ⅱ-2	錆汁有、つらら状
26	0110	下出線	菖蒲谷橋	9.20	Ⅱ	主桁及び支承アンカーボルトの腐食等	Ⅱ-2	表面的
27	0112	堂之谷墓地線	無名橋46	9.30	Ⅱ	主桁及び支承部の腐食等	Ⅱ-2	支承部(局部板厚減少)
28	0113	神前谷中畑線	無名橋47	9.10	Ⅱ	主桁及び支承アンカーボルトの腐食等	Ⅱ-3	支承部(広範囲板厚減少)
29	0114	中道線	無名橋48	10.50	Ⅱ	主桁の腐食、防護柵の一部欠損	Ⅱ-3	表面的(腐食)
30	0115	旧水口線	無名橋49	9.60	Ⅱ	主桁及び支承アンカーボルトの腐食等	Ⅱ-2	表面的
31	0121	深山口木津線	無名橋53	3.50	Ⅱ	主桁に隙間	Ⅱ-1	スピロール板
32	0122	鎌掛線	薬師前橋	14.30	Ⅱ	横桁及びPC定着部に遊離石灰	Ⅱ-3	PC横締め部、錆汁有
33	0123	中在寺線	無名橋54	13.00	Ⅱ	間詰床版からの遊離石灰等	Ⅱ-2	つらら状
34	0132	大窪音羽線	無名橋62	3.00	Ⅱ	主桁の腐食、鉄筋露出	Ⅱ-3	広範囲板厚減少(腐食)
35	0133	北脇仙線	無名橋63	10.50	Ⅱ	主桁のひびわれ等	Ⅱ-2	
36	0136	しゃくなげ谷線	無名橋66	4.30	Ⅱ	下部工基礎に洗掘	Ⅱ-1	
37	0137	しゃくなげ谷線	石楠花橋	9.50	Ⅱ	主桁の鉄筋露出、支承部の腐食	Ⅱ-2	広範囲板厚減少(腐食)
38	0138	東山団地3号線	無名橋67	7.60	Ⅱ	頂版及び側壁のひびわれ	Ⅱ-2	一部遊離石灰(側壁)
39	0139	鎌掛字内線	瀬川橋	13.60	Ⅱ	主桁の鉄筋露出、ひびわれ	Ⅱ-3	橋軸方向(ひびわれ)
40	0140	川向線	無名橋68	3.80	Ⅱ	縦壁、舗装のひびわれ等	Ⅱ-1	鉛直方向(縦壁)
41	0147	出雲川自転車道線	無名橋75	3.50	Ⅱ	側壁のひびわれ等	Ⅱ-2	亀甲状
42	0148	山本松尾線	無名橋76	2.80	Ⅱ	頂版及び側壁のひびわれ	Ⅱ-1	
43	0149	東桜谷旧県道線	無名橋77	3.40	Ⅱ	頂版及び側壁のひびわれ	Ⅱ-2	頂版(遊離石灰)側壁(亀甲状)
44	0150	南比都佐小学校線	無名橋78	5.50	Ⅱ	下部工基礎に洗掘	Ⅱ-3	
45	0157	豊田中山線	無名橋83	2.40	Ⅱ	主桁の鉄筋露出、遊離石灰	Ⅱ-2	錆汁有
46	0159	豊田中山線	無名橋85	5.30	Ⅱ	主桁の鉄筋露出、遊離石灰	Ⅱ-3	つらら状、一部錆汁有
47	0162	鳥居平中央線	前川橋	11.80	Ⅱ	主桁の鉄筋露出、縦壁側面のひびわれ	Ⅱ-3	鋼材腐食、ひびわれ大
48	0172	河原島居平線	無名橋93	3.60	Ⅱ	頂版及び側壁のひびわれ	Ⅱ-2	側壁(亀甲状)

健全性の考察・再診断 凡例

Ⅲ-3	対策必要性が大きい
Ⅲ-2	対策必要性は中程度
Ⅲ-1	対策必要性は小さい
Ⅱ-3	対策必要性が大きい
Ⅱ-2	対策必要性は中程度
Ⅱ-1	対策必要性は小さい
I-2	対策必要性は小さい
I-1	—

※赤文字は必要性の程度を見直している

2) 健全度の区分毎の設定（中長期シミュレーションでの場合）

劣化予測の検討結果を用いて中長期シミュレーションを行う場合、優先順位を設定するための健全度の区分毎の設定は、劣化予測検討結果から部材毎に設定した健全度（A～E、5段階）を基に算定した評点（総合評価値※2）の値で、3段階の健全度を設定する。

※2 中長期シミュレーション使用ソフト「長寿郎/BG」（JIP テクノサイエンス製品）で算定する橋梁毎の健全度評価手法であるが、当該値は国土交通省国土技術政策総合研究所が提案している「道路橋の総合評価指標」（平成 30 年度道路橋に関する基本データ集__付録 P. 71～109、H31. 3）の考え方の一部を参考とした独自指標であり、国総研のそれとは同一の指標値では無い。

表 2-43 優先順位検討のためのグルーピング（中長期シミュレーション）

			橋梁の重要度		
			高	中	低
橋梁の健全度	高	健全度 A、B 相応 (総合評価値 60 超)	G-7	G-8	G-9
	中	健全度 C、D 相応 (総合評価値 30 超 60 以下)	G-4	G-5	G-6
	低	健全度 E 相応 (総合評価値 30 以下)	G-1	G-2	G-3

注) 表中の数値は、事業対策の優先順位を検討するグルーピング毎の順番を示す。

3) 重要度の区分毎の設定

橋梁の重要度については、当該施設（道路橋）が果たしている役割や有する機能、利用状況、重要性等として日野町が定めた以下の判断要素を基に区分毎の設定を行い、橋梁の重要度を3段階に分ける手法とした。

重要度の評価項目は、令和3年度1回目策定時での5項目に1項目を追加した計6項目とする。

重要度評価項目（6項目）

1. 緊急輸送道路上にある
2. 重大な第三者被害の可能性（跨線橋または跨道橋）
3. 重要なライフライン（バス路線）
4. 架橋規模（橋長）
5. 特殊な損傷変状の発生要因を抱える（塩害、ASR）
6. 孤立集落が生じる可能性（追加項目）

●重要度評価項目の整理

日野町が管理する橋梁における重要度の評価区分については、対象施設が果たしている役割や機能、利用状況、重要性等に基づくものとして、表 2-44 に示す評価項目を設定した。

表 2-44 橋梁重要度の評価項目と重要度区分への設定

評価項目	概要	評価の方法		重要度区分
緊急輸送道路上にある	緊急輸送道路は、地域防災計画で町が指定する路線を含めるものとし、防災活動拠点（公共施設・消防施設等）と指定避難所を結ぶ。	指定有り		高
		指定無し		中 or 低
重大な第三者被害発生の可能性	道路や他の重要施設の上方を交差する構造の場合、落橋に伴う被害損失が大きくなる。特に、緊急輸送道路を跨ぐ橋梁では、落橋時での通行止めの影響が大きい。	跨線橋または跨道橋である		高
		上記以外		中 or 低
重要なライフライン	沿線住民の重要なライフラインとして、公共交通機関である路線バス（近江鉄道、町営）は、町民の生活に不可欠な存在である。	バス路線上に架かる		中
		上記以外		低
架橋規模	橋長が長いほど、大規模修繕や架替えに多くの費用と時間が浪費され、周辺への影響が大きい。	橋長 15m 以上		中
		橋長 15m 未満		低
特殊な損傷変状の発生要因を抱える	損傷変状の発生要因が特殊（主に塩害、ASR）である場合、または凍結防止剤を散布する場合には、致命的損傷へ至る前に優先的に補修を行うことで、将来的な大規模修繕を回避する。	コンクリート変状要因で塩害または ASR の可能性有、または凍結防止剤を散布する	健全性診断区分Ⅲ	高
			上記以外	中
		上記以外		低
孤立集落が生じる可能性 (追加項目)	大規模補修により長期の通行止めを行うと、迂回路の無い区域で孤立集落が生じる。	迂回路無し		高
		迂回路有り		低

4) 本計画における対策優先順位

前述した考え方を基に、本計画対象橋梁のうち健全性診断の判定区分Ⅱ及びⅢであった48橋について、短期修繕計画を行うにあたっての優先順位検討の結果を、表2-45に示す。

表 2-45 日野町管理橋梁 対策優先順位の検討結果（検討対象48橋）

No	橋梁 番号	施設名称	路線名称	橋梁の健全度				橋梁の優先度							対策優先 順位の グルーピング	本計画での 優先順位 (案)	備 考
				定期点検 結果 (健全性)	対策区分 C1&C2の 主要部材	健全性 の 再評価	健全度 による グルーピング	緊急 輸送 道路	第三者 被害想定	バス路線	橋長 (m)	特殊な損傷変状の 発生要因を抱える	孤立集落 の可能性	重要度 区分			
1	0001	高橋	西大路鎌掛線	Ⅱ	(床版)	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	50.3	該当無	無	中	G-5	23	
2	0003	西の口橋	村井奥師線	Ⅱ	床版	Ⅱ-1	G-7~9	該当無	該当無	運行路線有	18.7	該当無	無	中	G-8	42	
3	0004	迫栄橋	深山口水口線	Ⅱ	主桁・横桁・床版	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	跨線橋	27.1	該当無	無	高	G-4	16	R5補修済
4	0012	別所橋	旧別所橋線	Ⅲ	主桁	Ⅲ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	81.9	凍結防止剤散布	無	高	G-1	1	R4補修済
5	0013	木津橋	深山口木津線	Ⅱ	橋脚	Ⅱ-1	G-7~9	該当無	該当無	該当無	81.9	該当無	無	中	G-8	42	
6	0014	安土橋	安土線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	45.0	該当無	無	中	G-2	5	R5補修設計済
7	0016	大正橋	三十坪駅前線	Ⅱ	主桁・床版	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	24.3	該当無	無	中	G-2	5	R5補修済
8	0017	松尾橋	横町線	Ⅲ	主桁	Ⅲ-1	G-4~6	該当無	該当無	該当無	15.5	ASR	無	高	G-4	16	R5補修済
9	0022	西川原橋	中之郷線	Ⅲ	主桁	Ⅲ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	24.7	該当無	無	中	G-2	5	R2補修済
10	0024	多々木橋	音羽蔵王線	Ⅱ	床版	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	19.0	該当無	無	中	G-5	23	R2補修済
11	0028	前川橋	清田線	Ⅱ	床版	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	19.9	該当無	無	中	G-5	23	R2補修済
12	0030	野出橋	野出旧県道線	Ⅱ	主桁・床版	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	72.3	該当無	無	中	G-5	23	
13	0032	野上橋	中在寺野神線	Ⅱ	主桁・支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	30.3	該当無	無	中	G-5	23	
14	0033	長沢橋	東桜谷旧県道線	Ⅲ	主桁	Ⅲ-3	G-1~3	該当無	該当無	運行路線有	28.2	該当無	無	中	G-2	5	R3補修済
15	0040	原橋	萬徳寺線	Ⅱ	横桁・支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	21.6	凍結防止剤散布	無	中	G-5	23	R5補修設計済
16	0042	河原橋	河原島居平線	Ⅱ	床版	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	15.8	該当無	無	中	G-5	23	
17	0044	広域跨線橋(石原橋)	石原島居平線	Ⅲ	橋脚	Ⅲ-3	G-1~3	三次路線	跨線橋	該当無	165.0	ASR、凍結防止剤散布	無	高	G-1	1	R4補修済
18	0058	山王下橋	大窪木津線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	2.8	該当無	無	低	G-3	12	
19	0071	無名橋16	北脇線	Ⅱ	橋台	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	7.5	該当無	無	低	G-6	34	
20	0081	平熊橋	平子熊野線	Ⅱ	床版	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	12.0	該当無	無	中	G-5	23	
21	0082	無名橋26	蔵王熊野線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	5.8	該当無	有(迂回路無)	高	G-4	16	
22	0085	西の宮橋	鎌掛深山口線	Ⅱ	支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	12.6	該当無	無	低	G-6	34	
23	0088	迫橋	迫谷線	Ⅱ	主桁・支承	Ⅱ-1	G-7~9	該当無	該当無	該当無	14.0	該当無	無	低	G-9	46	R5補修設計済
24	0093	出雲川橋	御代参線	Ⅱ	支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	6.2	該当無	無	低	G-6	34	
25	0097	御門橋	小御門十禅師線	Ⅱ	床版	Ⅱ-2	G-4~6	三次路線	該当無	該当無	11.0	該当無	無	高	G-4	16	
26	0110	菖蒲谷橋	下出線	Ⅱ	主桁・支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	9.2	該当無	無	低	G-6	34	
27	0112	無名橋46	堂之谷墓地線	Ⅱ	主桁・支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	9.3	該当無	有(迂回路無)	高	G-4	16	
28	0113	無名橋47	神前谷中畑線	Ⅱ	主桁・支承	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	9.1	該当無	有(迂回路無)	高	G-1	1	
29	0114	無名橋48	中道線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	10.5	該当無	無	低	G-3	12	
30	0115	無名橋49	旧水口線	Ⅱ	主桁・支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	9.6	該当無	無	低	G-6	34	
31	0121	無名橋53	深山口木津線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-1	G-7~9	該当無	該当無	該当無	3.5	該当無	無	低	G-9	46	
32	0122	薬師前橋	鎌掛線	Ⅱ	横桁・PC定着部	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	14.3	凍結防止剤散布	無	中	G-2	5	
33	0123	無名橋54	中在寺線	Ⅱ	床版	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	13.0	該当無	無	低	G-6	34	
34	0132	無名橋62	大窪音羽線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-3	G-1~3	三次路線	該当無	運行路線有	3.0	該当無	無	高	G-1	1	
35	0133	無名橋63	北脇杣線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	10.5	該当無	無	低	G-6	34	
36	0136	無名橋66	しゃくなげ谷線	Ⅱ	橋台(基礎)	Ⅱ-1	G-7~9	該当無	該当無	該当無	4.3	凍結防止剤散布	無	中	G-8	42	
37	0137	石楠花橋	しゃくなげ谷線	Ⅱ	主桁・支承	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	9.5	該当無	有(迂回路無)	高	G-4	16	
38	0138	無名橋67	東山団地3号線	Ⅱ	頂版・側壁	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	跨道橋	7.6	凍結防止剤散布	無	高	G-4	16	
39	0139	瀬川橋	鎌掛字内線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	13.6	凍結防止剤散布	無	中	G-2	5	
40	0140	無名橋68	川向線	Ⅱ	橋台	Ⅱ-1	G-7~9	該当無	該当無	該当無	3.8	凍結防止剤散布	無	中	G-8	42	
41	0147	無名橋75	出雲川自転車道線	Ⅱ	側壁	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	該当無	3.5	該当無	無	低	G-6	34	
42	0148	無名橋76	山本松尾線	Ⅱ	頂版・側壁	Ⅱ-1	G-7~9	該当無	該当無	該当無	2.8	該当無	無	低	G-9	46	
43	0149	無名橋77	東桜谷旧県道線	Ⅱ	頂版・側壁	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	3.4	該当無	無	中	G-5	23	
44	0150	無名橋78	南比都佐小学校線	Ⅱ	橋台(基礎)	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	5.5	該当無	無	低	G-3	12	
45	0157	無名橋83	豊田中山線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	2.4	該当無	無	中	G-5	23	
46	0159	無名橋85	豊田中山線	Ⅱ	主桁	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	該当無	5.3	該当無	無	低	G-3	12	
47	0162	前川橋	島居平中央線	Ⅱ	主桁・橋台	Ⅱ-3	G-1~3	該当無	該当無	運行路線有	11.8	該当無	無	中	G-2	5	
48	0172	無名橋93	河原島居平線	Ⅱ	頂版・側壁	Ⅱ-2	G-4~6	該当無	該当無	運行路線有	3.6	該当無	無	中	G-5	23	

対策優先順位のグルーピング 凡例				
橋梁の 健全度		橋梁の重要度		
		高	中	低
		高 G-7	中 G-8	低 G-9

●管理水準の見直しについて

管理水準とは、施設の状態が道路管理者、利用者および第三者にどのような安全に対する影響またはサービスを与えるかという観点から設定した管理上目指すべき目標である。

橋長 15m 以上の橋梁を対象とした第 1 期計画（H22.12）及び第 2 期計画（H28.3）では、橋梁の置かれている状況（環境・道路ネットワーク上の重要性）や劣化・損傷の状況（橋梁健全度）に応じながら、橋梁毎に適用可能な維持管理シナリオを柔軟に選定する（：様々な管理水準を選定する）方針としており、日野町として、橋梁維持管理における管理目標（管理水準）の設定は特に行っていなかった。

その後、橋長 15m 未満の橋梁を対象とした橋梁長寿命化修繕計画（第 2 期への追加計画、R1.7）では、日野町全体の橋梁を効率的・効果的に維持管理するための手法として、橋梁定期点検要領（H26.6、国土交通省）における「対策区分 C1」以上とすることを管理目標（管理水準）として定めた。（表 2-46 参照）

表 2-46 第 2 期計画（追加計画、橋長 15m 未満）での管理水準の考え方

長寿命化 修繕計画の 健全度区分	橋梁定期点検要領	
	対策区分	判定内容
	E1	緊急対応の必要あり(橋梁構造の安全性)
	E2	緊急対応の必要あり(その他: 第三者被害等)
	C2	5年程度以内に補修等を行う必要あり(橋梁構造の安全性)
	C1	5年程度以内に補修等を行う必要あり(予防保全)
	B	5年程度以内に補修を行う緊急性はない
	A	損傷なし、軽微な損傷で補修は不要

日野町の管理水準目標

※橋梁長寿命化修繕計画策定委託業務(15m 未満)報告書（R1.7、(株)新洲）より抜粋

表 2-46 で定めた管理目標では、橋梁の健全度のみに着目した設定を行っており、重要度や用途に見合った水準（：管理水準）は考慮していなかった。また、管理目標の適用範囲は全ての橋梁が対象であり、橋梁の架橋規模にかかわらず、同じ管理水準（対策区分 C1 以上）と定めている。

ここで、現行の管理水準の設定について、再度、問題点を以下に整理する。

- 1) 健全度のみに着目して管理水準を設定しており、施設が有する重要度または用途に見合った水準としていない。
- 2) 管理水準の適用範囲は、日野町が管理する全ての道路橋であり、これら全てに同一の管理基準を適用している。

前頁で挙げた 2 つの問題点をふまえ、第 3 期計画での取り組みとして、管理水準の見直し内容を以下のとおりとした。

橋梁施設は、住民の日常生活を支える重要なインフラ施設（道路）の 1 つである。

したがって、安全・安心の確保を実現するためにも、施設利用上における明確な重要性和機能復旧の迅速性（更新の容易性）に着目した管理水準（表 2-47）を、管理する全ての道路橋に設ける考えとした。

第 3 期計画（R3.11 策定）で実施した管理水準見直しのポイント

第三者被害防止への取組 ⇒ 跨道橋と跨線橋は、「**管理水準**」にて格上の扱いとする。

道路啓開への取組 ⇒ 緊急輸送道路上に架かる橋梁は、「**管理水準**」にて格上の扱いとする。

人道橋への対応 ⇒ 人道橋（跨道橋、跨線橋を除く）は、「**管理水準**」にて格下の扱いとする。

※本計画策定時点で、日野町が管理する人道橋は無いが、今後管理対象として追加した場合を想定する。

積極的な予防保全への取組

⇒ 架橋規模が大きく、大規模修繕や架替えに多額の費用と長期間の通行止め規制が生じる可能性が高い橋梁には、より積極的な予防保全の実行へ移行するものとして、上位の「**管理水準**」とする。

表 2-47 本計画での管理水準（案）

管理水準	管理目標	対象施設
Level A	軽微な損傷の発生直後に低コストの予防対策を頻繁に繰り返す。	緊急輸送道路上に架かる道路橋 またはそれ以外の路線にある跨道橋、跨線橋
Level B	劣化した機能の回復を計画的に図る。 軽微な損傷に対して低コストの 予防的対策 を繰り返す。	橋長が15m以上である道路橋 ※Level A 対象施設外
Level C	劣化した機能の回復を計画的に図る。 レベル2よりも、大規模な損傷に対して高コストの対策を実施する。	橋長が5m以上15m未満である道路橋 ※Level A 対象施設外
Level D	更新限界まで放置して、危険になれば更新を実施する。	橋長5m未満の道路橋 人道橋 ※Level A 対象施設外

本計画（橋長 15m 未満の橋梁）においても、上記の管理水準の見直し内容を適用した。

管理水準毎に、管理目標に見合った対策を実施する基準を、表 2-48 に設定する。前述の見直しのポイントでも挙げた、「5 年毎の定期点検で橋梁の状態を把握し、都度、健全性診断の結果に応じた措置を講じる」ことから、管理水準毎の対策目標は「健全性の回復」を定めた。

表 2-48 管理水準毎の対策レベルの設定と管理目標

橋梁の状態	管理水準			
	予防保全型維持管理		観察保全型維持管理	
	Level A	Level B	Level C	Level D
構造物の機能に支障が生じていない状態 (判定Ⅰ)	5 年後に次回点検を計画	5 年後に次回点検を計画	5 年後に次回点検を計画	5 年後に次回点検を計画
	↓ 管理目標(対策区分B以上) ↓			
構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい状態 (判定Ⅱ)	小規模な補修を定期的に行う。 ※対策を優先する ※施設に応じた補修間隔を設定する	小規模な補修を定期的に行う。	小規模な補修が必要に応じて行う。 ※観察保全を行うことで、積極的な予防保全を見送る	5 年後に次回点検を計画
			↓ 管理目標(対策区分C1 以上) ↓	
構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態 (判定Ⅲ)	判定Ⅲを解消するための補修を、5 年後の次回点検までに行う。 ※対策を最優先する	判定Ⅲを解消するための補修を、5 年後の次回点検までに行う。	判定Ⅲを解消するための補修を、5 年後の次回点検までに行う。	判定Ⅲを解消するための補修を、5 年後の次回点検までに行う。 ※更新及び撤去を合わせて検討する
構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急の措置を講ずべき状態 (判定Ⅳ)	点検・診断後、通行止め、架替え、撤去、大規模補修を、緊急に対応する。 ※対策を最優先する	点検・診断後、通行止め、架替え、撤去、大規模補修を、緊急に対応する。	点検・診断後、通行止め、架替え、撤去、大規模補修を、緊急に対応する。	点検・診断後、通行止め、架替え、撤去、大規模補修を、緊急に対応する。

前頁の表 2-48 に示した橋梁の状態毎（健全性診断での判定区分毎）での対策内容は、具体的には下記のとおりである。

- 1) 全ての管理基準で、点検・診断結果に基づいて診断した判定区分（Ⅰ～Ⅳ）に応じて、対策を講じることを基本とする。
- 2) 緊急対策の必要がある橋梁（健全性の診断：判定Ⅳ）では、全ての管理基準で、通行規制等の緊急対策を講じたうえで、本対策（撤去、架替え、大規模補修）を行う。
- 3) 早期に措置（修繕等）を講じる必要のある橋梁（健全性の診断：判定Ⅲ）では、要求性能に対する信頼性を回復するための補修を、管理水準に応じて設定した優先順位で速やかに行う。ただし、Level-D では施設の架替え（例：プレキャスト製品や函渠構造への更新）や撤去（廃止）を含めて実施内容を検討する。
- 4) 予防保全の観点による措置（予防的修繕）を講じることが望ましい橋梁（健全性の診断：判定Ⅱ）は、本計画の最も望ましい管理目標であり、予防的修繕を適切に行う。Level-C では観察保全の観点から積極的な修繕を見合わせることも検討する。Level-D では次回点検までの経過観察とする。なお、三大損傷（塩害、ASR 等）を有する場合は、これらに拠らず積極的に対策を講じる。
- 5) 構造物の機能に支障が生じていない橋梁（健全性の診断：判定Ⅰ）は、健全な評価性能を得ているものとして、次回の定期点検までの経過観察とする。
- 6) 損傷変状を十分に把握したうえで、対策の範囲・規模については、これを満足する範囲で経済性を考慮しながら決定する。

補修工事においては、健全性が悪い橋梁（主に判定Ⅲ）の橋梁を解消することを優先的に実施し、予算状況等を勘案しながら早期に措置を講じるよう計画する。

判定Ⅲの橋梁への対策が完了した後、判定Ⅱの橋梁に対して予防的修繕対策としての措置を目指す。将来的に目指すべき管理において、判定Ⅱの橋梁での対策が主となる可能性は大きい。限りある町の財政下で予防保全型維持管理の投資効果が高いものとして、第三者被害の有無や橋梁規模（橋長 15m 以上・未満）、使用区分（人道橋等であるか否か）を考慮しながら、効果的な対策を講じる。

● 予防保全型維持管理と観察保全型維持管理について

日野町では、管理目標毎に4つの管理基準（Level A～D）を設定（表2-47～2-48）した。

橋梁規模における修繕工事の特性やライフサイクルコストによる効果の観点から、管理上特に重要な橋梁（重要路線、鉄道や道路を跨ぐ構造、橋長15m以上）とそれ以外の橋梁（橋長15m未満の小橋梁、人道橋）とに分けると、表2-49の内容で大別出来る。

表2-49 管理水準の大別設定

区分	緊急輸送道路上にある道路橋 跨道橋、跨線橋 一般橋梁（橋長15m以上の道路橋）	小橋梁（橋長15m未満の道路橋） 人道橋
維持 管理 手法	●予防保全型維持管理 点検に基づき損傷が軽微な段階で、小規模な補修工事を短いサイクルで行うなど、橋梁が致命的な損傷を受ける前に適切な対策を実施する管理手法。 大規模補修や架替えとなる場合、多額の費用と長期間の通行止め規制が生じる可能性がある。	●観察保全型維持管理 損傷がある程度進行した段階で補修工事を行うなど、橋梁が要求される機能を喪失した時点、あるいは、喪失する直前に対策を実施する管理手法。 施設数が多く架橋規模も小さいので、短期的な予防的修繕を行うよりも、LCC費用や通行規制の面で、総合的に抑制出来る。
Level	Level-A、Level-B	Level-C、Level-D
事例	 ↑ 広域跨線橋(石原橋)（緊急路、跨線橋等）  ↑ 無名橋1（跨道橋）  ↑ 内池橋（橋長15m以上）	 ↑ 石楠花橋（橋長15m未満）  ↑ 無名橋75（橋長5m未満）（溝橋）  ↑ 人道橋の橋梁例（現在対象無）

●対策優先順位の設定

本計画の策定対象 156 橋について、事業対策の優先順位設定に関わる考え方については、下記のとおりとする。

優先順位の設定の考え方

Step-1 健全度が悪い橋梁を優先する。(診断区分：Ⅳ→Ⅲ→Ⅱの順)

Step-2 健全度の他に、橋梁の役割・機能・利用状況・重要度等に着目した「橋梁の重要度」が高い順に対策する。

※ 原則として、優先事項を越えた予算の平準化は行わないが、予算平準化の検討条件によっては、実施順番が前後する場合がある。

2.2 新技術等の活用方針

(1) 新技術等の活用に関する取組み方針

国土交通省では戦略的に新技術の開発に取り組んでおり、インフラの点検・診断を中心にこれらを活用した効率的・高度化された点検手法等が広まり始めている一方、新たに開発された有用な技術が維持管理の現場における問題解決に活かされていない場合が多い。

国土交通省が策定した「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）／令和3年度～令和7年度」（R3.6、以下「行動計画」）では、重点的に実施すべき取組の1つとして、新技術・官民連携手法の導入促進等の推進を挙げている。

Ⅱ. 新技術・官民連携手法の普及促進等によるメンテナンスの生産性向上の加速化

多くのインフラを管理する一方、メンテナンスに携わる人的資源が不足している地方公共団体等適切かつ効率的なインフラメンテナンスを実施していくため、新技術や官民連携手法の導入促進など、メンテナンスの生産性向上に資する取組の推進を加速化する。

「国土交通省インフラ長寿命化基本計画（行動計画）」（R3.6）P.28より抜粋

また、政府が制定した「基本計画」（H25.11）では、将来的に戦略的な維持管理・更新等を行うべく、以下3つの目標設定とその達成に向けたロードマップを明示した。

1. 未成熟の維持管理・更新に係る技術（メンテナンス技術）の基盤強化を図るとともに、将来にわたって安全で強靱なインフラを維持・確保するためのシステムを構築することで、国土脆弱性に対応した「安全で強靱なインフラシステムを構築」する。
2. 時代とともに変化する社会の要請に的確に対応し、かつ将来必要な人材の確保・育成も含めた戦略的な維持管理・更新等を行うべく、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ることで持続可能で活力ある未来を実現する「総合的かつ一体的なインフラマネジメント」を行う。
3. 世界最先端の技術に支えられた安全で強靱なインフラを維持・確保するシステムを、我が国はメンテナンス産業として発展していくことが重要である。研究開発の推進によるイノベーションの創出や市場の整備、国際展開等の取組を通じ、「メンテナンス産業によるインフラビジネスの競争力強化」を実現する。

「インフラ長寿命化基本計画」（H25.11）P.2～3より部分抜粋、適宜要約

日野町では、道路橋の管理における上記1～3.の目標実現に向けた取組の1つとして、定期点検や修繕等での「新技術等の導入」を積極的に推進する。新技術等の活用の効果として、維持管理・更新等に係る費用の低減を図りつつ、目視等のこれまでの手法で確認困難であった損傷箇所等へ対しても的確に点検・診断・対処が可能となる。

日野町の橋梁維持管理事業で、新技術等の活用に関する検討にあたっての基本方針を、以下に整理する。

- 1) 検討を行う対象施設は、日野町が管理する全ての橋梁とする。
- 2) 「点検・診断」で活用する新技術等は、主に「点検支援技術性能カタログ(案)」に掲載している技術（画像計測技術、非破壊検査技術、計測・モニタリング技術等）を対象とする。近接目視と同等以上の効率化・高度化・コスト縮減等の観点から、対象施設への適用性を判定する。
- 3) 直近の定期点検で採用した点検手法を新技術等に代えた場合での活用効果が、品質面やコスト面等で従来手法を上回ることが明らかに困難である場合は、上記 2) の判定を行う対象施設とはしない。この場合の従来手法は、「地上からの作業、梯子・脚立等の使用、汎用タイプの高所作業車（例：リフト車、積載質量 200kg までの橋梁点検車）の使用」による点検・診断を指す。
- 4) 「措置（：主に監視、修繕）」で活用する新技術等は、主に「NETIS 新技術情報提供システム」及び「点検支援技術性能カタログ(案)」に登録・掲載している工法・材料を対象とする。性能向上や措置の省力化、コスト縮減等の観点から、従来工法・材料と比べて上回った採用効果が期待出来る新技術等を抽出して、対象施設への適用性を判定する。
- 5) 上記 4) の判定を行う対象施設は、直近の定期点検の結果より修繕等を必要と判断した（健全性診断の判定区分がⅢまたはⅡである）橋梁とし、これらに対して優先して検討する。
- 6) 上記 2)～5) の検討では、本計画での数値目標として、今後 5 年間（令和 6 年度～令和 10 年度）でのコスト縮減率（＝新技術等活用による縮減総額／従来方法での総費用）を設定する。
- 7) 本計画で提案した新技術等の採用にあたっては、経済・施工・品質等の観点から従来方法や策定後に発出した技術等との詳細な比較検討を行う。

(2) 対象施設での適用性

本計画の対象橋梁 156 橋に対し、「点検・診断」「措置（監視、修繕）」における新技術等の活用について、検討を行った。検討結果を下記に示す。

1) 点検・診断業務

No	橋梁番号	路線名称	施設名称	橋長(m)	面積(m2)	UAV	橋梁点検ロボット	コスト削減の可能性
1	0001	西大路鎌掛線	高橋	50.3	171.02	×	×	無
2	0021	北脇中在寺線	宮前橋	37.5	195.00	△	○	無
3	0024	音羽蔵王線	多々木橋	19.0	79.04	×	×	無
4	0027	原線	伊佐目橋	17.0	90.10	○	○	無
5	0030	野出旧県道線	野出橋	72.3	260.28	×	×	無
6	0032	中在寺野神線	野上橋	30.3	145.44	×	×	無
7	0039	萬徳寺線	坪江橋	29.4	123.48	△	×	無
8	0040	萬徳寺線	原橋	21.6	108.00	△	○	無
9	0081	平子熊野線	平熊橋	12.0	62.40	○	○	無
10	0119	中禅寺線	市の瀬川橋(坊出橋)	13.8	65.27	○	○	無
11	0135	桜谷水源地線	無名橋65	13.7	52.06	○	×	無
12	0139	鎌掛字内線	瀬川橋	13.6	48.96	×	×	無
13	0146	北山3号線	無名橋74	11.6	60.32	○	○	無
14	0167	牧野野神線	無名橋91(五郎津橋)	9.3	46.50	○	○	無

記号凡例 「○:適」「△:条件付で適」「×:不適」

目標の設定（点検）

- ・主に効率化及び高度化を目指し、上記 14 橋を新技術活用の検討対象とする。(156 橋中 14 橋、9.0%)
- ・上記 14 橋のうち 9 橋で適用可能であったが、コスト削減を実現可能な橋梁は無かった。
- ・次回点検は、令和 6 年度から令和 10 年度にかけて実施する。

2) 措置（監視・修繕業務等）

No	橋梁 番号	施設名	橋長 (m)	補修計画（短期計画R6-R10より）			
				詳細 調査 年度	補修 工事 年度	主要な対策工 工種名	新技術 適用検討 の必要性
1	0020	原橋	21.6	(R5)	R6	塗装塗替え工	有り
2	0113	無名橋47	9.1	R7	R8	塗装塗替え工	有り
3	0139	瀬川橋	13.6	R8	R10	ひびわれ補修工	有り
						断面修復工	有り
4	0162	前川橋(鳥居平中央線)	11.8	R8	R9	ひびわれ補修工	有り
						断面修復工	有り

目標の設定（修繕等）

- ・上記4橋を検討対象とする。(156橋中4橋、2.6%)
- ・検討工種における縮減額を、10,803千円（～直接費3,508千円）と試算。
- ・上記修繕は、短期計画により令和6年度から令和10年度にかけて実施予定。

次頁以降に、検討結果の根拠資料（表2-32～2-37）を示す。

(3) 数値目標

新技術等の活用に関して、前述で掲げた取り組み方針に基づいて実行するにあたって、短期的に掲げる数値目標は下記のとおりとする。

令和 10 年度までに、日野町が管理する橋梁 156 橋を対象として、定期点検（点検・診断）や修繕等（監視を含めた「措置」全体を指す）での「新技術等の導入」を積極的に推進するための検討を行い、1 割程度（16 橋、全橋数比 10.3%）の橋梁で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用の検討を行うとともに、費用を 4%程度（点検診断及び措置での合計額 10,803 千円^{※1}、R6 年度～R10 年度の予算総額^{※2}に対して 4.3%）縮減することを目標とする。

※1) 点検診断でのコスト縮減は見込めなかったため、修繕等での縮減額のみを計上

※2) R6 年度～R10 年度の予算総額：251,143 千円 ～ 後述（3.2 対策内容と実施時期）を参照

新技術等の活用に係るコスト縮減検討 根拠資料

表2-50 点検・診断業務における新技術等の活用／施設毎の検討要否判定（1/3）

No	橋梁 番号	施設名	検討要否の判定								備考
			上部工構造形式	交差物件	前回点検				新技術 適用検討 の必要性	左記判定の主要な理由	
					部材への近接方法	左記 方法の 適性	左記方法での課題	健全性 診断 区分			
1	0001	高橋（西大路鎌掛線）	鋼3径間単純H形鋼	日野川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	Ⅱ	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員3m
2	0002	内池橋	3径間連続プレーム桁	日野川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（片交）	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
3	0003	西の口橋	PC単純プレテン中空桁（床版橋）	前川	地上・梯子	○		Ⅱ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
4	0004	迫栄橋	単純プレーム桁	近江鉄道	（軌陸車）	○	夜間作業、支障物（架線）	Ⅱ	見送り	夜間及び鉄道近接作業でありコスト高であるが、鉄道管理者との技術連携が必要	
5	0005	宮前橋（日野南部線）	PC単純プレテンT桁	雨引神社参道	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
6	0006	牛飼道橋	PC5径間単純プレテンI桁	佐久良川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
7	0007	上野田橋	PC単純プレテン中空床版	出雲川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
8	0008	高橋（内池山本線）	PC単純プレテン中空床版	出雲川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
9	0009	前垣外橋	鋼単純H形鋼	南砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
10	0010	藤切橋	PC単純ボーステンT桁	水無川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（片交）	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
11	0011	原古野橋	PC単純プレテンT桁	北砂川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（片交）	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
12	0012	別所橋	RC9径間単純T桁	日野川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（片交）	Ⅲ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
13	0013	木津橋	鋼4径間単純H形鋼	日野川	地上・梯子	○		Ⅱ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
14	0014	安土橋	PC2径間単純ボーステンT桁	日野川	地上・梯子	○		Ⅱ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
15	0015	南橋	PC単純ボーステンT桁	日野川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
16	0016	大正橋	鋼単純H形鋼	出雲川	地上・梯子	○		Ⅱ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
17	0017	松尾橋	PC単純プレテン中空床版	出雲川	地上・梯子	○		Ⅲ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	主桁ASR
18	0018	大谷橋	PC単純プレテンT桁	出雲川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
19	0019	六枚橋	PC単純プレテン中空床版	出雲川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
20	0020	浄光寺橋	PC単純プレテン中空床版	出雲川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
21	0021	宮前橋（北脇中在寺線）	鋼単純鉄桁	佐久良川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	I	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4m
22	0022	西川原橋	鋼3径間単純H形鋼	佐久良川	地上・梯子	○		Ⅲ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
23	0023	五左衛門橋	PC単純プレテン中空床版	佐久良川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
24	0024	多々木橋	RC2径間単純T桁	西明寺川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	Ⅱ	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員3.7m
25	0025	本宮橋	鋼単純H形鋼	西明寺川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
26	0026	毛止野橋	鋼単純H形鋼	西明寺川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
27	0027	伊佐目橋	鋼単純H形鋼	佐久良川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	I	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4.5m
28	0028	前川橋（清田線）	PC単純プレテン中空床版	砂川	地上・梯子	○		Ⅱ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
29	0029	野川橋	PC単純プレテンT桁	野川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
30	0030	野上橋	RC6径間単純T桁、PC単純ボーステンT桁	佐久良川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	Ⅱ	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員3.3m、近くに迂回路有
31	0031	杣橋	PC単純プレテンT桁	佐久良川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
32	0032	野上橋	RC3径間単純T桁	佐久良川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	Ⅱ	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4.1m、水深有
33	0033	長沢橋	RC3径間単純T桁+PC3径間単純プレテン床版	佐久良川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（片交）	Ⅲ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	水深有
34	0034	小綿向橋	PC単純プレテンT桁	佐久良川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
35	0035	宮田橋	PC単純プレテンT桁	砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
36	0036	新里之内橋	PC単純プレテンT桁	出雲川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
37	0037	須原橋	PC単純プレテンT桁	北砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
38	0038	小嶽橋	PC単純プレテンT桁	南砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
39	0039	坪江橋	PC2径間単純プレテン中空床版	佐久良川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	I	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員3m
40	0040	原橋	鋼単純鉄桁	佐久良川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（通行止）	Ⅱ	有り	交通規制（通行止）を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4.5m
41	0041	青木ヶ原橋	PC単純プレテンT桁	南砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
42	0042	河原橋	PC単純プレテン中空床版	出雲川	地上・梯子	○		Ⅱ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
43	0043	無名橋1	鋼3径間単純H形鋼	一般県道泉日野線	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制（片交）	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
44	0044	広域跨線橋（石原橋）	PC8径間単純ボーステンT桁	近江鉄道	中型橋梁点検車（軌陸車）	○	点検車使用時の交通規制（片交） 夜間作業、支障物（架線）	Ⅲ	見送り	跨線径間の点検作業においては、夜間及び鉄道近接作業でありコスト高であるが、鉄道管理者との技術連携が必要	橋脚ASR
45	0045	無名橋2（出雲川橋）	桁橋（I桁）	出雲川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
46	0046	宮前橋（村井奥師線-1）	床版橋	宮川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
47	0049	無名橋5	床版橋	（河川・水路）	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
48	0050	無名橋6	床版橋	日野中部都市下水路	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
49	0051	無名橋7	溝橋（カルバート）	日野中部都市下水路	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
50	0055	無名橋10	溝橋（カルバート）	（河川・水路）	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
51	0056	無名橋11	溝橋（カルバート）	（河川・水路）	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
52	0057	無名橋12	溝橋（カルバート）	野田川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
53	0058	山下下橋	床版橋	（河川・水路）	地上・梯子	○		Ⅱ	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
54	0059	野田川橋	床版橋	野田川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
55	0061	無名橋13	溝橋（カルバート）	（河川・水路）	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	

表2-51 点検・診断業務における新技術等の活用／施設毎の検討要否判定（2/3）

No	橋梁 番号	施設名	検討要否の判定								備考
			上部工構造形式	交差物件	前回点検				新技術 適用検討 の必要性	左記判定の主要な理由	
					部材への近接方法	左記 方法の 適性	左記方法での課題	健全性 診断 区分			
56	0063	下出橋	床版橋	猿川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
57	0064	上出橋	床版橋	猿川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
58	0065	昭和橋	桁橋(H桁)	池川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
59	0066	坂口橋	桁橋(H桁)	池川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
60	0067	無名橋14	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
61	0068	無名橋15	溝橋(カルバート)	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
62	0069	仁之切橋	床版橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
63	0070	逆川橋	床版橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
64	0071	無名橋16	床版橋	法光寺川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
65	0072	無名橋17	床版橋	法光寺川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
66	0073	無名橋18	床版橋	法光寺川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
67	0074	無名橋19	桁橋(H桁)	野川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(片交)	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
68	0075	無名橋20	溝橋(カルバート)	農業用道路	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	跨道橋(規制無)
69	0077	無名橋22	桁橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
70	0078	無名橋23	床版橋	法光寺川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
71	0079	無名橋24	溝橋(カルバート)	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
72	0080	無名橋25	溝橋(カルバート)+PC桁橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
73	0081	平熊橋	床版橋	日野川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(通行止)	II	有り	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4.5m
74	0082	無名橋26	床版橋	日野川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
75	0084	無名橋28	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
76	0085	西の宮橋	桁橋(T桁)	南砂川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
77	0087	落合橋	床版橋	砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
78	0088	迫橋	桁橋(H桁)	迫谷川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
79	0090	茶屋の橋	床版橋	迫谷川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
80	0091	無名橋31	溝橋(カルバート)	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
81	0093	出雲川橋	桁橋(T桁)	出雲川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
82	0094	無名橋33	溝橋(カルバート)+RC床版橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
83	0095	無名橋34	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
84	0097	御門橋	床版橋	出雲川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
85	0098	播原橋	溝橋(カルバート)+RC床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
86	0101	無名橋38	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
87	0102	無名橋39	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
88	0103	雁掛橋	桁橋	宮川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
89	0104	無名橋40	桁橋	大池川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
90	0105	無名橋41	床版橋	野川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(片交)	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
91	0107	無名橋43	溝橋(カルバート)	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
92	0108	無名橋44	桁橋(H桁)	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
93	0109	無名橋45	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
94	0110	菰蒲谷橋	鋼桁橋(I桁)+PCプレテン床版橋	迫谷川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
95	0111	馬場橋	桁橋	迫谷川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
96	0112	無名橋46	桁橋(I桁)	(河川・水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
97	0113	無名橋47	桁橋(I桁)	迫谷川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
98	0114	無名橋48	桁橋(I桁)	迫谷川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
99	0115	無名橋49	桁橋(I桁)	迫谷川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
100	0117	無名橋51	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
101	0118	無名橋52	床版橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
102	0119	市の瀬川橋(坊出橋)	桁橋	北砂川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(通行止)	I	有り	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4m
103	0120	小竹橋	桁橋(T桁)	砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
104	0121	無名橋53	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
105	0122	薬師前橋	桁橋(T桁)	南砂川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
106	0123	無名橋54	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
107	0124	無名橋55	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
108	0125	無名橋56	溝橋(カルバート)+PCプレテン床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
109	0126	無名橋57	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
110	0127	無名橋58	溝橋(カルバート)	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
111	0128	大橋	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
112	0129	無名橋59	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	

表2-52 点検・診断業務における新技術等の活用／施設毎の検討要否判定 (3/3)

No	橋梁 番号	施設名	検討要否の判定								備考
			上部工構造形式	交差物件	前回点検				新技術 適用検討 の必要性	左記判定の主要な理由	
					部材への近接方法	左記 方法の 適性	左記方法での課題	健全性 診断 区分			
113	0131	無名橋61	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
114	0132	無名橋62	RC桁橋+合成床版橋+RC床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
115	0133	無名橋63	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
116	0135	無名橋65	床版橋	宮川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(通行止)	I	有り	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員3m
117	0136	無名橋66	床版橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
118	0137	石楠花橋	桁橋(T桁)	耶斧岨川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
119	0138	無名橋67	溝橋(カルバート)	町道東山団地2号線	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	跨道橋(規制無)
120	0139	瀬川橋	桁橋(T桁)	北砂川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(通行止)	II	有り	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員3m
121	0140	無名橋68	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
122	0141	無名橋69	床版橋	(河川・水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
123	0143	無名橋71	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
124	0144	無名橋72	溝橋(カルバート)	道路(未確認)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	跨道橋(規制無)
125	0145	無名橋73	溝橋(カルバート)	町道松尾鳥居平線	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	跨道橋(規制無)
126	0146	無名橋74	床版橋	出雲川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(通行止)	I	有り	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4m
127	0147	無名橋75	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
128	0148	無名橋76	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
129	0149	無名橋77	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
130	0150	無名橋78	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
131	0151	宮前橋(村井奥師線-2)	床版橋	宮川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(片交)	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	前回点検でUAV使用
132	0152	無名橋79	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
133	0153	無名橋80	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
134	0154	徳谷橋	床版橋	浄光寺川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
135	0155	無名橋81	溝橋(カルバート)	迫谷川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
136	0156	無名橋82	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
137	0157	無名橋83	溝橋(カルバート)+RC床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
138	0158	無名橋84	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
139	0159	無名橋85	床版橋	太平川	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
140	0160	無名橋86	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
141	0161	無名橋87	床版橋	勝手谷川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(片交)	I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	前回点検でUAV使用
142	0162	前川橋(鳥居平中央線)	桁橋(T桁)	前川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(片交)	II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
143	0163	無名橋88	溝橋(カルバート)+RC床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
144	0164	日枝橋	桁橋(H桁)	砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
145	0165	無名橋89	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
146	0166	無名橋90	溝橋(カルバート)	内池川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
147	0167	無名橋91(五郎津橋)	桁橋(H桁)	西明寺川	中型橋梁点検車	○	点検車使用時の交通規制(通行止)	I	有り	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接費の縮減を実現化する	有効幅員4.5m、前回点検でUAV使用
148	0168	西出橋	床版橋	砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
149	0169	棒川橋	床版橋	砂川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
150	0170	迫宮前橋	床版橋	迫谷川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
151	0171	無名橋92	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
152	0172	無名橋93	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		II	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
153	0173	無名橋94	床版橋	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
154	0174	無名橋95	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
155	0175	無名橋96	溝橋(カルバート)	(開水路)	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	
156	0176	無名橋97	溝橋(カルバート)	黒道川	地上・梯子	○		I	無し	汎用手法のため経済性・速効性に優れ、打音触診含む近接目視を点検員が行える	

表2-53 点検・診断業務における新技術等の活用／個別選定比較（参考）

技術区分の適性判断（参考） 検討対象施設_表2-50～2-52で抽出した14橋
定期点検 新技術

No	技術区分	技術番号 （該当）	適用性の判断										備考
			使用目的 （近接目視点 検）	部材 部位	作業ヤード	作業性 （技術）	作業性 （迅速）	気象 条件	第三者 への 影響	室内 解析	経済性 （価格は参考程度）	総合 判定	
1	UAV（ドローン）	BR010003－V0323 BR010009－V0323 BR010012－V0323 BR010015－V0423 BR010016－V0423 BR010017－V0423	近接する飛行体 から撮影した画 像を解析して変 状の有無・発生 規模を把握	鋼部材、コンク リート部材共に対 応可能 ※一部、鋼部材 不適合有り	空中 ※飛行体離発着 のヤードが必要	飛行体の 運転免許 が必要	構造形式 が単純であ る場合、 撮影時間 は総じて短 い	風雨の影 響を受けや すい	飛行体に 接近しない よう、桁下 周囲の立 入規制が 必要	高画質また は高技術 の解析にな るほど時間 を要する	飛行体及び撮影 機材の性能によ る較差有り 50～150万円/日	●	
2	ロボット点検 （カメラ画像による近接 目視）	BR010018－V0423 BR010019－V0423 BR010020－V0423	路上または地上 から近接したカメ ラから撮影した画 像を解析して変 状の有無・発生 規模を把握	鋼部材、コンク リート部材共に対 応可能 ※一部、鋼部材 不適合有り	路面または地上 ※路面からの差 込の場合、大き な桁下空間は不 要	免許等の 特殊技術 は不要	移動速度 が遅いの で、点検時 間は総じて 長い	作業に対す る風雨の影 響は少ない	路上からの アプローチ では、幅 1.5m程度 の道路占 用が生じる	同上	現地作業 ：20-30万円/日 室内解析 ：30万円/橋	○	
3	上記技術の補足技術 （うき・剥離の検出技 術）	BR020006－V0423 BR020007－V0423	画像解析による 点検のデメリット である、コンク リート部材のうき または剥離・鉄筋 露出を、飛行体 またはロボットで 打音する	主に コンクリート部材 ※一部制限有り	空中 路面または地上 ※上記参考	—	特定箇所を 抽出するた め総じて短 いが、作業 自身は迅 速ではない	—	—	局所的な調 査箇所の 整理程度で あり、高難 度作業とな らない	現地作業 ：20-30万円/日	△	単独での適用技 術ではなく、目 視点検の補助 技術である

表2-54 点検診断技術 検討比較(1)

新技術の活用検討-1(UAV(ドローン))

橋 梁 諸 元											UAV(ドローン)活用検討				
橋梁 番号	施設名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	面積 (m2)	使用 材料	上部工構造形式	点検時 作業足場	点検時 通行規制	交差物件	添架物	近接した 打音触診 を要する	床版下面 接近に 障害あり	民家等 の有無	UAV(ドローン)活用の可否	
0001	高橋(西大路鎌掛線)	50.30	3.40	171.02	鋼橋	鋼3径間単純H形鋼	点検車	全面通行止	日野川	上水道	必要	桁間隔1.3m	無し	×	近接による打音触診が必要で使用不可能 (※床版)
0021	宮前橋(北脇中在寺線)	37.50	5.20	195.00	鋼橋	鋼単純鈑桁	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道、検査路	—	桁間隔3m	民家	△	張出床版に限定して適用(桁間:検査路)。近隣に民家があり、許可を得る必要有り
0024	多々木橋	19.00	4.16	79.04	RC橋	RC2径間単純T桁	点検車	全面通行止	西明寺川	上水道	必要	桁間隔0.98m	無し	×	草木繁茂等の障害有り。近接による打音触診が必要で使用不可能 (※床版、橋脚)
0027	伊佐目橋	17.00	5.30	90.10	鋼橋	鋼単純H形鋼	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道	—	桁間隔2.7m	無し	○	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接経費の縮減を実現化する
0030	野出橋	72.30	3.60	260.28	混合橋	RC6径間単純T桁、PC単純ボーステンT桁	点検車	全面通行止	佐久良川	通信管	必要	桁間隔0.85m	無し	×	近接による打音触診が必要で使用不可能 (※上部構造全般、橋脚)
0032	野上橋	30.30	4.80	145.44	RC橋	RC3径間単純T桁	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道	必要	桁間隔1m程度	無し	×	近接による打音触診が必要で使用不可能 (※主桁、床版、橋脚)
0039	坪江橋	29.40	4.20	123.48	PC橋	PC2径間単純プレテン中空床版	点検車	全面通行止	佐久良川	—	—	—	民家	△	近隣に民家があり、許可を得る必要有り
0040	原橋	21.60	5.00	108.00	鋼橋	鋼単純鈑桁	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道、下水道	—	桁間隔2.6m	民家	△	近隣に民家があり、許可を得る必要有り
0081	平熊橋	12.00	5.20	62.40	PC橋	床版橋	点検車	全面通行止	日野川	上水道	—	—	無し	○	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接経費の縮減を実現化する
0119	市の瀬川橋(坊出橋)	13.80	4.73	65.27	PC橋	桁橋	点検車	全面通行止	北砂川	—	—	—	無し	○	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接経費の縮減を実現化する
0135	無名橋65	13.70	3.80	52.06	PC橋	PCプレテン中空床版	点検車	全面通行止	宮川	—	—	—	無し	○	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接経費の縮減を実現化する
0139	瀬川橋	13.60	3.60	48.96	RC橋	RC単純T桁	点検車	全面通行止	北砂川	上水道	必要	桁間隔1.2m	民家	×	近接による打音触診が必要で使用不可能 (※上部構造全般)
0146	無名橋74	11.60	5.20	60.32	PC橋	PCプレテン床版	点検車	全面通行止	出雲川	—	—	—	無し	○	交通規制(通行止)を無くすとともに、直接経費の縮減を実現化する ※主桁:接触跡有
0167	無名橋91(五郎津橋)	9.30	5.00	41.85	鋼橋	鋼単純H形鋼	点検車	全面通行止	西明寺川	—	—	桁間隔0.73m	無し	○	主桁間隔狭いが、桁高小さいので近接可能 ※前回点検でUAVを使用

※活用の可否について、影響を及ぼす施設(民家等)が近隣にある場合、「△」とした。

1. 日野町が管理する橋梁のうち、地上・梯子にて点検を行う橋梁は検討対象から除外した。
2. 新技術活用が可能な橋梁を抽出するため、以下の条件を設定した。

・著しい変状へ進行する恐れがあり、近接した打音・触診が必要。

・桁構造で桁間隔が1m未満の場合、障害物のため床版下面へ容易に接近出来ない。

・近隣に住居等がある場合、騒音やプライバシーの観点から、住民の許可が必要。

上記条件より、UAV(ドローン)による点検が可能な橋梁として、以下の9橋を抽出した。
伊佐目橋、平熊橋、市の瀬川橋(坊出橋)、無名橋65、無名橋74、無名橋91(五郎津橋)
宮前橋(北脇中在寺線)、坪江橋、原橋 (近隣民家からの許可が必要)

3. 経済性を比較した結果、従来技術(:橋梁点検車)が優位と想定する。

◆経済性の比較

	【新技術】 UAV(ドローン)	【従来技術】	経済比較 による推奨	摘要
点検車⇒UAV	421,600 円	273,400 円	従来技術	下記以外

表2-55 点検診断技術 検討比較(2)

新技術の活用検討-2(橋梁点検ロボット／BR010018－V0423 ※国土交通省点検支援技術性能カタログ)

橋 梁 諸 元											橋梁点検ロボットの活用検討				
橋梁 番号	施設名称	橋長 (m)	全幅員 (m)	面積 (m2)	使用 材料	上部工構造形式	点検時 作業足場	点検時 通行規制	交差物件	添架物	近接した 打音触診 を要する	ロボット 使用時での 残存幅員 (m)	橋面積が 300m2以下	橋梁点検ロボット活用の可否	
0001	高橋(西大路鎌掛線)	50.30	3.40	171.02	鋼橋	鋼3径間単純H形鋼	点検車	全面通行止	日野川	上水道	必要	1.5	該当	×	通行幅を確保出来ない(通行止必要)ため、適用困難
0021	宮前橋(北脇中在寺線)	37.50	5.20	195.00	鋼橋	鋼単純鈑桁	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道、検査路	—	2.5	該当	○	間接目視の効率化を図り、直接経費の縮減を実現化する
0024	多々木橋	19.00	4.16	79.04	RC橋	RC2径間単純T桁	点検車	全面通行止	西明寺川	上水道	必要	2.2	該当	×	草木繁茂等の障害有り。近接による打音触診が必要で使用不可能 (※床版、橋脚)
0027	伊佐目橋	17.00	5.30	90.10	鋼橋	鋼単純H形鋼	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道	—	3.0	該当	○	間接目視の効率化を図り、直接経費の縮減を実現化する
0030	野出橋	72.30	3.60	260.28	混合橋	RC6径間単純T桁、PC単純ボーステンT桁	点検車	全面通行止	佐久良川	通信管	必要	1.8	該当	×	通行幅を確保出来ない(通行止必要)ため、適用困難
0032	野上橋	30.30	4.80	145.44	RC橋	RC3径間単純T桁	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道	必要	2.6	該当	×	近接による打音触診が必要で使用不可能 (※主桁、床版、橋脚)
0039	坪江橋	29.40	4.20	123.48	PC橋	PC2径間単純プレテン中空床版	点検車	全面通行止	佐久良川	—	—	1.5	該当	×	通行幅を確保出来ない(通行止必要)ため、適用困難
0040	原橋	21.60	5.00	108.00	鋼橋	鋼単純鈑桁	点検車	全面通行止	佐久良川	上水道、下水道	—	3.0	該当	○	間接目視の効率化を図り、直接経費の縮減を実現化する
0081	平熊橋	12.00	5.20	62.40	PC橋	床版橋	点検車	全面通行止	日野川	上水道	—	3.0	該当	○	間接目視の効率化を図り、直接経費の縮減を実現化する
0119	市の瀬川橋(坊出橋)	13.80	4.73	65.27	PC橋	桁橋	点検車	全面通行止	北砂川	—	—	2.5	該当	○	間接目視の効率化を図り、直接経費の縮減を実現化する
0135	無名橋65	13.70	3.80	52.06	PC橋	PCプレテン中空床版	点検車	全面通行止	宮川	—	—	1.5	該当	×	通行幅を確保出来ない(通行止必要)ため、適用困難
0139	瀬川橋	13.60	3.60	48.96	RC橋	RC単純T桁	点検車	全面通行止	北砂川	上水道	必要	1.5	該当	×	通行幅を確保出来ない(通行止必要)ため、適用困難
0146	無名橋74	11.60	5.20	60.32	PC橋	PCプレテン床版	点検車	全面通行止	出雲川	—	—	2.5	該当	○	間接目視の効率化を図り、直接経費の縮減を実現化する
0167	無名橋91(五郎津橋)	9.30	5.00	41.85	鋼橋	鋼単純H形鋼	点検車	全面通行止	西明寺川	—	—	3.0	該当	○	間接目視の効率化を図り、直接経費の縮減を実現化する

1. 日野町が管理する橋梁のうち、地上・梯子にて点検を行う橋梁は検討対象から除外した。
2. 新技術活用が可能な橋梁を抽出するため、以下の条件を設定した。

・著しい変状へ進行する恐れがあり、近接した打音・触診が必要。

・橋面上での必要な幅として1.5m程度(橋梁点検ロボット本体幅0.95m＋余裕幅)が必要。

※車道を使用する場合、交通規制が必要。

・橋梁点検ロボットの1日当り作業面積として、300m2(NETIS)を設定する。

※橋面積A＞300m2の場合、作業が2日以上となり、施工性が劣る。

上記条件より、橋梁点検ロボットによる点検が可能な橋梁として、以下の7橋を抽出した。

宮前橋(北脇中在寺線)、伊佐目橋、原橋、平熊橋、市の瀬川橋(坊出橋)、無名橋74、無名橋91(五郎津橋)

3. 経済性を比較した結果、従来技術(:橋梁点検車)が優位と想定する。

◆経済性の比較

	【新技術】 橋梁点検ロボット	【従来技術】	経済比較 による推奨	摘要
case-1 点検車 ⇒点検ロボット	433,600 円	273,400 円	従来技術	

新技術と従来技術の面積あたり費用(直接費)の内訳は下表のとおり。

UAV(新技術)と従来技術との比較

従来技術 橋梁点検車との比較(1日あたり)

UAV(ドローン) ※1日作業

項 目	仕 様	単価	数量	単位	金額
橋梁点検作業	主任技師相当	62,200	2	人	124,400
橋梁点検作業	技師A相当	55,200	3	人	165,600
飛行型点検ロボット	賃料	100,000	1	日	100,000
損傷写真台帳作成	技術員	31,600	1	日	31,600
合計					421,600

中型橋梁点検車(+諸車通行止規制) ※1日作業

項 目	仕 様	単価	数量	単位	金額
橋梁点検作業	技師B	45,300	1	人	45,300
橋梁点検作業	技術員	31,600	2	人	63,200
点検車	BT200	85,000	1.4	日	119,000
点検車運転	運転手(一般)	21,100	1	人	21,100
交通整理(通行止)	交通誘導員(B)	12,400	2	人	24,800
合計					273,400

※R5年度労務単価(滋賀県)を使用

※データ整理を除く

※1日当りの点検面積は、UAV:1,000m²、橋梁点検車:800m²とする。

橋梁点検ロボット(新技術)と従来技術との比較

従来技術 橋梁点検車との比較(1日あたり)

橋梁点検ロボット

項 目	仕 様	単価	数量	単位	金額
橋梁点検作業	技師B	45,300	1	人	45,300
橋梁点検作業	技師C	35,600	1	人	35,600
橋梁点検ロボットカメラ	賃料	150,000	1	日	150,000
	回送費	171,100	1	往復	171,100
損傷写真台帳作成	技術員	31,600	1	日	31,600
合計					433,600

※回送想定距離:片道約150km

中型橋梁点検車(+諸車通行止規制)

項 目	仕 様	単価	数量	単位	金額
橋梁点検作業	技師B	45,300	1	人	45,300
橋梁点検作業	技術員	31,600	2	人	63,200
点検車	BT200	85,000	1.4	日	119,000
点検車運転	運転手(一般)	21,100	1	人	21,100
交通整理(通行止)	交通誘導員(B)	12,400	2	人	24,800
合計					273,400

※R5年度労務単価(奈良県)を使用

※データ整理を除く

※1日当りの点検面積は、橋梁点検ロボット:300m²(NETIS)、橋梁点検車:800m²とする。

表2-56 修繕業務等における新技術等の適用／施設毎の検討要否判定

No	橋梁 番号	施設名	橋長 (m)	橋面積 (m2)	上部工構造形式	交差物件	補修計画（短期計画より、令和6年度から令和10年度までの対策予定橋梁を抽出）							備考
							詳細 調査 年度	補修 工事 年度	健全 性 診断 区分	主要な対策工		新技術 適用検討 の必要性	左記判定の主要な理由	
										工種名	概算費用 (直工費、千円)			
1	0014	安土橋	45.0	135.0	PC2径間単純ホーステンT桁	日野川	(R5)	R6	Ⅱ	ひびわれ補修工	1,844	無し	発生要因を確認することが重要であり、本計画では従来工法での対応とした	断面修復含む、再劣化
									—	橋面防水工	1,541	無し	確実な橋面防水を講じる新技術は多いが、イニシャルコスト縮減の実現が困難	
									—	伸縮装置取替工	1,174	無し	NETIS掲載製品との比較検討によりコスト縮減は生じない。従来工法で対応する。	
2	0020	原橋	21.6	97.2	鋼単純鉄桁	佐久良川	(R5)	R7	Ⅱ	塗装塗替え工	4,910	有り	安全や環境保全を重視した工法選定を行いつつコスト縮減が実現可能な工種である	安全対策費(鉛対応)を除く
									—	ひびわれ補修工	242	無し	健全体回復を目的した局所的な補修であり、従来工法で確実に対応することを優先とした	
									—	断面修復工	429	無し	局所的な補修であり、従来工法で確実に対応することを優先とした	
3	0113	無名橋47	9.1	19.1	鋼単純鉄桁	迫谷川	R7	R8	Ⅱ	塗装塗替え工	476	有り	安全や環境保全を重視した工法選定を行いつつコスト縮減が実現可能な工種である	
									Ⅱ	断面修復工	134	無し	鋼材被り不足による変状の補修であり、従来工法で確実に対応することを優先とした	
4	0122	薬師前橋	14.3	57.2	PC単純プレテンT桁	南砂川	R8	R10	Ⅱ	断面修復工(定着部)	123	無し	局所的な補修であり、従来工法で確実に対応することを優先とした	
									—	橋面防水工	522	無し	確実な橋面防水を講じる新技術は多いが、イニシャルコスト縮減の実現が困難	
5	0132	無名橋62	3.0	26.1	RC桁+合成床版+RC床版	(開水路)	R7	R8	Ⅱ	塗装塗替え工	26	無し	局所的な補修であり、従来工法で確実に対応することを優先とした	
									Ⅱ	断面修復工	150	無し	局所的な補修であり、従来工法で確実に対応することを優先とした	
6	0139	瀬川橋	13.6	40.8	RC単純T桁	北砂川	R8	R10	Ⅱ	ひびわれ補修工	1,019	有り	上部コンクリートの延命効果を得るとともに、コスト縮減が必要	
									Ⅱ	断面修復工	1,066	有り	上部コンクリートの延命効果を得るとともに、コスト縮減が必要	
7	0150	無名橋78	5.5	16.5	PC単純プレキャスト床版	(開水路)	R8	R10	Ⅱ	洗掘対策工	149	無し	現状復旧と再発防止を目的した補修であるが、従来工法で確実に対応することを優先とした	
8	0159	無名橋85	5.3	24.4	RC単純床版	太平川	R9	R10	Ⅱ	断面修復工	747	無し	進行性のある変状の補修であるが、従来工法で確実に対応することを優先とした	
									—	橋面防水工	222	無し	確実な橋面防水を講じる新技術は多いが、イニシャルコスト縮減の実現が困難	
9	0162	前川橋(鳥居平中央線)	11.8	81.4	RC単純T桁	前川	R8	R9	Ⅱ	ひびわれ補修工	1,287	有り	上部コンクリートの延命効果を得るとともに、コスト縮減が必要	
									Ⅱ	断面修復工	2,719	有り	上部コンクリートの延命効果を得るとともに、コスト縮減が必要	
									Ⅱ	地覆打換工(Gr取付)	1,358	無し	防護柵更新(RC柵⇒Gr)を目的とした補修であり、従来工法で確実に対応することを優先とした	

表2-57 修繕業務等における新技術等の適用／個別選定比較（参考）（1/2）

個別工法材料の提案(参考)

修繕等 新技術

検討対象施設_原橋、無名橋47、瀬川橋、前川橋(鳥居平中央線)

No	橋梁名	対策部位／工種	対策工法・材料名	NETIS登録番号 (登録年)	適用性の判断				備考
					技術概要(NETIS掲載)	従来技術の 工法・材料	推奨理由	経済性 (従来技術に対するコスト縮減)	
1	原橋 無名橋47	主桁・横桁 ／塗装塗替え工	ダブルブラスト工法	SK-200008-A (2020年)	本技術は湿潤ブラストによる塗膜除去と乾式ブラストによる除錆を組み合わせた工法である。従来は剥離剤を主体とした塗膜除去で対応しており、複数回施工や残存塗膜へのブラスト処理が必要となる。本技術の活用により鉛等有害物質を含む塗膜除去が安全かつ確実に実施できる。	剥離剤による 既存塗膜除去 及びブラストによる 残存塗膜 除去工法	・湿式ブラストにより湿潤状態を確保した塗膜除去を行うことで有害物質との接触が無くなり、作業員の安全性と施工面での品質が向上する。	・初期工費縮減率:10.6% (対剥離剤による素地調整)	・工程:2/5短縮 (同左)
			アースコート防錆 -塗装システム	KK-110056-VR (2022年3月 掲載終了)	本技術は鋼構造物の塗装工程についてシステム化した技術である。従来の防食方法(Rc-1)は素地調整1種ケレンとし、機械設備の設置エリアや施工可能業者の確保が困難なうえ、塗装の各工程は工数を要するため高コストであった。本技術では、表面処理と防錆塗装とを併用して鋼材面を安定化させ、長期間に渡って防錆する。塗装塗替え工事で素地調整を簡略化し、コスト削減及び環境配慮を図れる。	鋼道路橋塗装・防食便覧 (一般外面の 塗替えRc- I)	・素地調整の簡略化(3種ケレンB以上)により作業性の効率化とコストの低減化を図る。 ・表面処理と防錆塗料の相乗効果で鋼板と防錆塗料との密着性を安定的向上し、長期間の防錆効果を確保する。	・初期工費縮減率:21.4%	・工程:2/5短縮
2	瀬川橋 前川橋(鳥居平 中央線)	主桁、床版、函渠面 ／ひびわれ補修工	鉄筋腐食抑制型 シラン系表面含浸材 「アクアシール1400AR」	KK-230014-A (2023年)	本技術は、コンクリート構造物の鉄筋腐食抑制効果を高めたい際に用いるシラン系表面含浸材で、従来は鉄筋腐食抑制効果を付与する亜硝酸リチウム水溶液とシラン系表面含浸材で対応していた。本技術の活用により、材料費や工程数が減少し、経済性の向上が図れる。	亜硝酸リチウム水溶液とシラン系表面含浸材の組み合わせ ※縮減額はシラン系含浸材(ひびわれb)を行う	・鉄筋腐食抑制効果を付与したシラン系表面含浸材を使用することで、使用材料を1材料とし、塗装間隔を不要とした。 ・経済性が向上し、工程が短縮する。	・初期工費縮減率:37.7% (NETIS記載) ※本計画算定費用(プロテクトシルCIT同等品使用)からの縮減率:25.8%(1-5,669円/7,646円)	・工程:1/2短縮
			高性能シラン系含浸工法「エルシーセイバー工法」 (RSⅡ/SFⅡ)	QS-180010-A (2018年)	本技術は、従来のシラン系含浸材より浸透性が高く、施工時にダレにくい材料を使用する工法であるため、所定量を1回で塗布できるとともに、施工が容易で工期短縮によりコスト縮減が期待できる。	シラン系表面含浸材	・チクソ性を有する材料を使用するため、従来のシラン系含浸工法よりもダレ難く、1回で所定量が塗布できる。 ・従来のシラン系含浸工法よりも施工し易い粘度の材料であるため、工期短縮による工費低減が期待できる。	・初期工費縮減率:14.6%	・工程:1/4短縮
			CS-21ビルダー	CG-170009-A (2017年)	2液混合型の反応型けい酸塩系表面含浸材。混合液塗布のみで、散水を伴う工程不要。水酸化カルシウムを補給した上で、微細空隙の継続的な充填性を保持。中性化したコンクリート表層部を緻密化し、水や劣化因子の侵入を長期間抑制。構造物を長寿命化させる表面保護工法。	けい酸塩系表面含浸材+補助材	・2液混合が不要 ・低粘度で浸透性に優れる ・ゲル化による滞留性向上 ・緻密化が図れ、長寿命化に寄与	・初期工費縮減率:37.0%	・工程:1/6短縮
			コンクリートキーパース リーズ	KT-120118-VE (2012年、掲載終了)	本技術は、コンクリートの表面に塗布し保護を行う無機リチウム系ミックスタイプ含浸材で、従来は、けい酸ナトリウム系表面含浸材で対応していた。本技術の活用により、一度塗りで効果を発揮するため塗布工程が簡素化でき工程短縮が期待できる。	けい酸ナトリウム系表面含浸材	・一度塗りで効果を発揮し、塗布工程の短縮化 ・塗布工程及び塗布量減少による経済性の向上 ・シール効果による透水抑制率の上昇により、品質向上を図る	・初期工費縮減率:40.9%	・工程:1/5短縮

表2-58 修繕業務等における新技術等の適用／個別選定比較（参考）（2/2）

個別工法材料の提案(参考)

修繕等 新技術

検討対象施設_原橋、無名橋47、瀬川橋、前川橋(鳥居平中央線)

No	橋梁名	対策部位／工種	対策工法・材料名	NETIS登録番号 (登録年)	適用性の判断				備考
					技術概要(NETIS掲載)	従来技術の 工法・材料	推奨理由	経済性 (従来技術に対するコスト縮減)	
3	瀬川橋 前川橋(鳥居平 中央線)	主桁、床版、橋台 ／断面修復工	セルガード	KT-180077-A (2018年)	本業務は、コンクリート構造物を補修する技術で、従来はポリマーセメントモルタルにより補修を行ってきたが、残存錆や塩分の侵入で、再劣化が起こり易かった。本技術の活用により、再劣化を防止できるようになり、コンクリート構造物の耐久性の向上が図れる。	ポリマーセメントモルタル	・不動態皮膜を長期間生成 ・マクロセル腐食を防止 ・鉄筋ケレン:3種 ・フライアッシュによる緻密化が図れる	・初期工費縮減率:2.3% ・10年LCC:3,800円/m3	・工程短縮:無
			ゴムラテシリーズ	QS-150017-VR (2015年)	超速硬ポリマーセメントモルタルまたはコンクリートにより、劣化損傷したコンクリート構造物の断面修復を行う技術で、従来は、超速硬コンクリートで対応していた。本技術の活用により、乾燥収縮が小さく、付着性・耐久性に優れた断面修復が可能である。	超速硬コンクリート	・乾燥収縮が小さく、ひびわれが発生しにくい ・付着性能に優れる ・中性化や塩害等の劣化因子に対する耐久性に優れる	・初期工費縮減率:37.3%	・工程:1/3短縮
			リハビリ断面修復工法	CG-220003-A (2022年)	本技術は、塩害・中性化によって劣化したコンクリートを亜硝酸リチウムを混入した断面修復材を用いて補修する工法である。断面修復材に用いる亜硝酸リチウムがコンクリート中へ浸透拡散し、鉄筋の不動態皮膜を再生することで高い防錆環境を構築する。	ポリマーセメントモルタル断面修復工法(左官工法)	・亜硝酸リチウムによる鉄筋腐食抑制効果 ・補修部と未補修の間に生じる鉄筋のマクロセル腐食の抑制	・初期工費縮減率:28.2%	・工程:1/3短縮
			U-リペアパッチCT	CG-200019-A (2022年)	塩化物イオンが拡散しにくいポリマーセメントモルタルであり、周辺環境の塩分濃度が高いコンクリート構造物の補修工事においても、鉄筋腐食を抑制して長寿命化できる断面修復材である。	普通セメントまたは早強セメントを結合材としたポリマーセメントモルタル	・遮塩性を向上させ、コンクリート構造物の再劣化を抑制し、ライフサイクルコストを低減 ・コンクリート構造物の鋼材腐食を抑制 ・厚付け可能であり、工期短縮が可能	・初期工費縮減率:5.5%	・工程:1/5短縮

コスト縮減額の試算

… NETIS記載内容(従来技術に対するコスト縮減率)を基に、本計画の直接工事費から5年間の目標額を算定

表2-59 修繕業務等における新技術等の適用／コスト縮減額の試算

橋梁 番号	路線名称	施設名称	対策部位／工種	対策工法・材料名	コスト 縮減率 ①	計画書記載 概算直接工事費 ②(千円)	縮減額 ②×① (千円)
0040	萬徳寺線	原橋	主桁・横桁 ／塗装塗替え工	ダブルブラスト工法	10.6%	4,910	520
				アースコート防錆-塗装システム	21.4%	4,910	1,051
0113	神前谷中畑線	無名橋47	主桁・横桁 ／塗装塗替え工	ダブルブラスト工法	10.6%	476	50
				アースコート防錆-塗装システム	21.4%	476	102
0139	鎌掛字内線	瀬川橋	主桁、床版 ／ひびわれ補修工	鉄筋腐食抑制型シラン系表面含 浸材「アクアシール1400AR」	25.8%	1,019	354
				高性能シラン系含浸工法 「エルシーセイバー工法」(RSⅡ /SFⅡ)	14.6%	1,019	149
				CS-21ビルダー	37.0%	1,019	377
				コンクリートキーパーシリーズ	40.9%	1,019	417
			主桁、床版、橋台 ／断面修復工	セルガード	2.3%	1,066	25
				ゴムラテシリーズ	37.3%	1,066	398
				リハビリ断面修復工法	28.2%	1,066	301
				U-リペアパッチCT	5.5%	1,066	59
0162	鳥居平中央線	前川橋	主桁、床版 ／ひびわれ補修工	鉄筋腐食抑制型シラン系表面含 浸材「アクアシール1400AR」	25.8%	1,287	448
				高性能シラン系含浸工法 「エルシーセイバー工法」(RSⅡ /SFⅡ)	14.6%	1,287	188
				CS-21ビルダー	37.0%	1,287	476
				コンクリートキーパーシリーズ	40.9%	1,287	526
			主桁、床版、橋台 ／断面修復工	セルガード	2.3%	2,719	64
				ゴムラテシリーズ	37.3%	2,719	1,014
				リハビリ断面修復工法	28.2%	2,719	767
				U-リペアパッチCT	5.5%	2,719	150
						Σ =	3,508
						諸経費込(×2.8)	9,821
						税込(×1.1)	10,803

2.3 費用の縮減に関する具体的な方針

(1) 中長期的視点に立ったトータルコストの縮減を図るための基本方針

市町村を主とする地方自治体では、厳しい財政状況下で必要なインフラの機能を維持していくために、中長期的なトータルコストの縮減や予算の平準化を図る必要がある。

国土交通省が策定した「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）／令和3年度～令和7年度」（R3.6、以下「行動計画」）では、重点的に実施すべき取組の1つとして、インフラの集約・再編等の推進を挙げている。

Ⅲ. 集約・再編やパラダイムシフト型更新等のインフラストック適正化の推進

社会情勢の変化や利用者ニーズ、将来のまちづくり計画等を踏まえたインフラの集約・再編や、機械設備の耐用年数の到来など来るべき大更新時代に備えた更新時のパラダイムシフトの検討など、インフラストックの適正化に向けた取組を推進する。

「国土交通省インフラ長寿命化基本計画（行動計画）」（R3.6）P.28より抜粋

また、具体的な実行策として、政府が制定した「基本計画」（H25.11）では、以下の3つを挙げている。

1. インフラ（本計画では「橋梁」）の長寿命化を図り、大規模な修繕や更新を出来るだけ回避することが重要であることから、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の導入を推進する。
※ 日野町では第1期長寿命化修繕計画（H22）にて、予防保全型維持管理への転換を行った。
2. インフラの新設・更新時には、維持管理が容易かつ確実に実施可能な構造を採用するほか、修繕時には利用条件や設置環境等の各施設の特性を考慮するなど、合理的な対策を選択する。
※ 日野町では橋長15m未満の第2期長寿命化修繕計画（H30）にて、小橋梁（橋長5m未満）の事後保全における構造が簡易かつ単純なボックスカルバートへの更新を提案している。
3. 今後、グローバルな都市間競争や、人口減少、少子高齢化、地球温暖化等の進展を見込んでいく中で、インフラに求める役割や機能も変化していくものとする。このため、老朽化の対策の検討にあたっては、その時点で各施設（橋梁）が果たしている役割や機能を再確認したうえで、その施設の必要性自体を再検討する。検討の結果、必要性を認めることができる施設については、更新等の機会を捉えて社会経済情勢の変化に応じた質的向上や機能転換、用途変更や複合化・集約化を図る一方、必要性を認めることができない施設については、廃止・撤去を進めるなど、戦略的な取組を推進する。

「インフラ長寿命化基本計画」（H25.11）P.4より部分抜粋、適宜要約

日野町では、上記のうち「3. 社会構造の変化や新たなニーズへの対応」の可能性について、管理橋梁に対する検証を本計画で行う。

検証に際しては、「近傍に迂回路がある、周囲環境から利用性が皆無」等、一定の条件を満足する橋梁を抽出して、主に「橋梁撤去に伴う機能の集約化または廃止」（以下、「集約化・撤去」）の適用性をコスト面から検討する。

検討の結果、中長期的なコスト縮減が実現可能と判断した橋梁に対しては、集約化・撤去の実現に向けた次のステップとして、住民との合意形成を図りながら取組を進めていく。

(2) 集約化・撤去の対象施設の抽出

日野町が管理する町道橋梁 156 橋について、集約化・撤去の検討対象とする抽出を行った。抽出条件については、下記のとおりとした。

抽出条件

Case-1 当該箇所に橋梁に代わる構造・機能を設けない場合（架橋箇所の路線区間を廃止）

- ・ 近傍に迂回路がある
（※目安として概ね上下流 100m 以内に同等以上の路線機能を有した橋梁が架かることが条件）
- ・ 架橋の両端近辺に集落（多くの人家の集まり）が無い
（※ 橋梁を利用した集落間の行き来が基本生じない）
- ・ バス路線で無い
- ・ 迂回路が無い場合で、橋梁を渡る先にある土地等に利用性が無い
- ・ 補修等の必要性がある（健全性の診断区分：Ⅱ～Ⅳ）

Case-2 当該箇所に橋梁に代わる構造・機能を設ける場合（架橋箇所の路線区間を廃止しない）

- ・ 橋梁と交差する物件について、機能廃止が可能である
（※ 流れの無い旧河川・水路、廃止している道路、避溢機能が無い平地 等）
- ・ 桁下空間が大きい（高さ 2m 程度以下）
（※ 代替構造として、盛土・埋土・小型暗渠・小型擁壁 等で対応可能）

橋梁抽出の詳細については、次頁の表 2-61～2-62 を参照のこと。抽出した 5 橋について、縮減コストの試算を行うものとした。

表2-61 集約化・撤去の対象施設抽出(1/2)

No	橋梁 番号	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	面積 (m2)	材料 種別	交差物件	健全性 診断	迂回路 代替路	バス 路線	迂回路が 近傍にあり 両岸に 集落等無し	交差物件の 機能廃止が 可能	桁下空間 が 大きくない	集約化 撤去 検討抽出
1	0001	西大路鎌掛線	高橋	50.30	3.00	150.90	鋼橋	日野川	Ⅱ	有	●				
2	0002	内池水口線	内池橋	84.00	10.75	903.00	その他	日野川	I	有					
3	0003	村井奥師線	西の口橋	18.70	5.50	102.85	PC橋	前川	Ⅱ	有	●				
4	0004	深山口水口線	迫米橋	27.10	11.20	303.52	その他	近江鉄道	Ⅱ	有					
5	0005	日野南部線	宮前橋	19.70	7.30	143.81	PC橋	雨引神社参道	I	有					
6	0006	北脇野出線	牛飼道橋	51.00	2.00	102.00	PC橋	佐久良川	I	有					
7	0007	上野田線	上野田橋	20.20	6.00	121.20	PC橋	出雲川	I	有					
8	0008	内池山本線	高橋	15.30	4.80	73.44	PC橋	出雲川	I	有					
9	0009	鎌掛字内線	前垣外橋	15.20	6.50	98.80	鋼橋	南砂川	I	有					
10	0010	蔵王熊野線	藤切橋	30.00	7.00	210.00	PC橋	水無川	I	有	●				
11	0011	原古野線	原古野橋	17.00	5.50	93.50	PC橋	北砂川	I	有					
12	0012	旧別所橋線	別所橋	81.90	4.50	368.55	RC橋	日野川	Ⅲ	有		●			● case1
13	0013	深山口木津線	木津橋	81.90	2.50	204.75	鋼橋	日野川	Ⅱ	有		●			● case1
14	0014	安土線	安土橋	45.00	3.00	135.00	PC橋	日野川	Ⅱ	有					
15	0015	南蔵王線	南橋	28.60	5.00	143.00	PC橋	日野川	I	有					
16	0016	三十坪駅前線	大正橋	24.30	3.00	72.90	鋼橋	出雲川	Ⅱ	有					
17	0017	横町線	松尾橋	15.50	6.00	93.00	PC橋	出雲川	Ⅲ	有					
18	0018	大谷線	大谷橋	19.30	5.00	96.50	PC橋	出雲川	I	有					
19	0019	松尾河原線	六枚橋	16.80	2.90	48.72	PC橋	出雲川	I	有					
20	0020	御舍利町線	浄光寺橋	17.00	3.00	51.00	PC橋	出雲川	I	有					
21	0021	北脇中在寺線	宮前橋	37.50	4.00	150.00	鋼橋	佐久良川	I	有	●				
22	0022	中之郷線	西川原橋	24.70	3.10	76.57	鋼橋	佐久良川	Ⅲ	有					
23	0023	杣線	五左衛門橋	20.80	5.50	114.40	PC橋	佐久良川	I	有					
24	0024	音羽蔵王線	多々木橋	19.00	3.70	70.30	RC橋	西明寺川	Ⅱ	有	●	●			
25	0025	西蔵王線	本宮橋	17.40	2.50	43.50	鋼橋	西明寺川	I	有					
26	0026	北畑蔵王線	毛止野橋	18.70	3.00	56.10	鋼橋	西明寺川	I	有					
27	0027	原線	伊佐目橋	17.00	4.50	76.50	鋼橋	佐久良川	I	有					
28	0028	清田線	前川橋	19.90	4.00	79.60	PC橋	砂川	Ⅱ	有					
29	0029	中在寺野出線	野川橋	15.60	5.00	78.00	PC橋	野川	I	有					
30	0030	野出旧県道線	野出橋	72.30	3.30	238.59	混合橋	佐久良川	Ⅱ	有		●			● case1
31	0031	杣半川原線	杣橋	22.70	4.10	93.07	PC橋	佐久良川	I	有		●			
32	0032	中在寺野神線	野上橋	30.30	4.10	124.23	RC橋	佐久良川	Ⅱ	有	●				
33	0033	東桜谷旧県道線	長沢橋	28.20	4.80	135.36	その他	佐久良川	Ⅲ	有	●				
34	0034	杣川原線	小綿向橋	21.20	4.00	84.80	PC橋	佐久良川	I	有					
35	0035	南比都佐小学校線	宮田橋	16.90	4.00	67.60	PC橋	砂川	I	有					
36	0036	里之内線	新里之内橋	19.00	10.00	190.00	PC橋	出雲川	I	有					
37	0037	旧御代参街道線	須原橋	19.70	3.00	59.10	PC橋	北砂川	I	有					
38	0038	鎌掛深山口線	小嶽橋	17.30	4.50	77.85	PC橋	南砂川	I	有					
39	0039	萬徳寺線	坪江橋	29.40	3.00	88.20	PC橋	佐久良川	I	有					
40	0040	萬徳寺線	原橋	21.60	4.50	97.20	鋼橋	佐久良川	Ⅱ	有	●				
41	0041	平代線	青木ヶ原橋	21.70	5.00	108.50	PC橋	南砂川	I	有					
42	0042	河原鳥居平線	河原橋	15.80	4.20	66.36	PC橋	出雲川	Ⅱ	有	●				
43	0043	釜婆谷線	無名橋1	36.20	3.50	126.70	鋼橋	一般県道泉日野線	I	有					
44	0044	石原鳥居平線	広域跨線橋(石原橋)	165.00	7.50	1,237.50	PC橋	近江鉄道	Ⅲ	有					
45	0045	村井奥師線	無名橋2(出雲川橋)	13.60	5.50	74.80	PC橋	出雲川	I	有					
46	0046	村井奥師線	宮前橋	6.10	6.10	37.21	PC橋	宮川	I	有			●	●	● case2
47	0049	山本松尾線	無名橋5	7.40	3.00	22.20	PC橋	河川	I	有					
48	0050	大谷線	無名橋6	4.50	4.60	20.70	RC橋	日野中郡都市下水路	I	有				●	
49	0051	里之内線	無名橋7	3.20	9.70	31.04	RC橋	日野中郡都市下水路	I	有				●	
50	0055	御舍利町線	無名橋10	3.40	3.00	10.20	RC橋	河川	I	有					
51	0056	上大窪這上り線	無名橋11	2.50	5.80	14.50	RC橋	河川	I	有		▲		●	▲ case1
52	0057	大窪木津線	無名橋12	2.50	5.60	14.00	RC橋	野田川	I	有				●	
53	0058	大窪木津線	山王下橋	2.80	3.60	10.08	その他	小河川	Ⅱ	有				●	
54	0059	木津日田線	野田川橋	3.60	2.95	10.62	PC橋	野田川	I	有				●	
55	0061	善光寺線	無名橋13	2.00	5.00	10.00	RC橋	河川	I	有				●	
56	0063	杉線	下出橋	4.30	3.00	12.90	RC橋	猿川	I	有					
57	0064	杉線	上出橋	4.40	3.00	13.20	RC橋	猿川	I	有					
58	0065	奥之池線	昭和橋	12.50	5.50	68.75	鋼橋	池川	I	有					
59	0066	奥之池野村線	坂口橋	11.60	3.40	39.44	鋼橋	池川	I	有					
60	0067	北脇杣線	無名橋14	4.80	7.10	34.08	RC橋	開水路	I	有					
61	0068	奥之池野村線	無名橋15	2.20	4.10	9.02	RC橋	河川	I	有				●	
62	0069	奥之池野村線	仁之切橋	4.00	2.00	8.00	RC橋	河川	I	有					
63	0070	奥之池野村線	逆川橋	6.00	2.60	15.60	RC橋	河川	I	有					
64	0071	北脇線	無名橋16	7.50	4.00	30.00	PC橋	法光寺川	Ⅱ	有					
65	0072	北脇線	無名橋17	9.30	3.41	31.71	PC橋	法光寺川	I	有					
66	0073	北脇線	無名橋18	9.30	3.60	33.48	PC橋	法光寺川	I	有					
67	0074	中在寺石原線	無名橋19	12.40	10.50	130.20	鋼橋	野川	I	有					
68	0075	中在寺石原線	無名橋20	6.80	10.52	71.54	RC橋	農業用道路	I	有					
69	0077	中在寺野出線	無名橋22	7.00	5.00	35.00	PC橋	河川	I	有					
70	0078	北脇野出線	無名橋23	13.00	4.00	52.00	PC橋	法光寺川	I	有					
71	0079	北脇野出線	無名橋24	3.10	3.30	10.23	RC橋	河川	I	有				●	
72	0080	北脇野出線	無名橋25	6.00	5.55	33.30	その他	小河川	I	有				●	
73	0081	平子熊野線	平熊橋	12.00	4.50	54.00	PC橋	日野川	Ⅱ	有	●				
74	0082	蔵王熊野線	無名橋26	5.80	3.50	20.30	RC橋	日野川	Ⅱ	有					
75	0084	西大路鎌掛線	無名橋28	3.50	3.00	10.50	RC橋	開水路	I	有					
76	0085	鎌掛深山口線	西の宮橋	12.60	3.60	45.36	RC橋	南砂川	Ⅱ	有		●	●	●	● case2
77	0087	上駒月大野線	落合橋	8.00	3.00	24.00	PC橋	砂川	I	有					
78	0088	迫谷線	迫橋	14.00	4.50	63.00	鋼橋	迫谷川	Ⅱ	有					
79	0090	深山口水口線	茶屋の橋	8.90	6.00	53.40	PC橋	迫谷川	I	有					
80	0091	内池水口線	無名橋31	2.90	10.64	30.86	RC橋	河川	I	有				●	
81	0093	御代参線	出雲川橋	6.20	3.70	22.94	RC橋	出雲川	Ⅱ	有					
82	0094	必佐小学校十禅師線	無名橋33	3.64	13.98	50.89	RC橋	小河川	I	有				●	
83	0095	必佐小学校十禅師線	無名橋34	2.10	4.60	9.66	RC橋	開水路	I	有				●	
84	0097	小御門十禅師線	御門橋	11.00	4.00	44.00	PC橋	出雲川	Ⅱ	有				●	
85	0098	小御門十禅師線	播原橋	2.50	6.30	15.75	RC橋	開水路	I	有				●	
86	0101	三十坪駅前線	無名橋38	2.00	4.00	8.00	RC橋	開水路	I	有				●	
87	0102	朝日野駅線	無名橋39	2.40	5.80	13.92	RC橋	開水路	I	有				●	
88	0103	猿橋線	雁掛橋	10.50	4.00	42.00	PC橋	宮川	I	有					
89	0104	杣小野線	無名橋40	7.30	5.50	40.15	PC橋	大池川	I	有	●				
90	0105	鳥居平安部居線	無名橋41	12.00	8.00	96.00	PC橋	野川	I	有					

表2-62 集約化・撤去の対象施設抽出(2/2)

No	橋梁 番号	路線名称	施設名称	橋長 (m)	有効幅員 (m)	面積 (m2)	材料 種別	交差物件	健全性 診断	迂回路 代替路	バス 路線	迂回路が 近傍にあり 両岸に 集落等無し	交差物件の 機能廃止が 可能	桁下空間 が 大きくない	集約化 撤去 検討抽出
91	0107	野出綺田線	無名橋43	3.10	4.30	13.33	RC橋	河川	I	有				●	
92	0108	野出山本線	無名橋44	7.00	3.20	22.40	鋼橋	河川	I						
93	0109	鎌掛塗瀬線	無名橋45	3.60	4.30	15.48	RC橋	開水路	I	有				●	
94	0110	下出線	菖蒲谷橋	9.20	4.10	37.72	その他	追谷川	II	有					
95	0111	下出線	馬場橋	9.20	4.02	36.98	PC橋	追谷川	I	有					
96	0112	堂之谷墓地線	無名橋46	9.30	3.25	30.23	鋼橋	河川	II						
97	0113	神前谷中畑線	無名橋47	9.10	2.10	19.11	鋼橋	追谷川	II						
98	0114	中道線	無名橋48	10.50	2.90	30.45	鋼橋	追谷川	II	有					
99	0115	旧水口線	無名橋49	9.60	2.70	25.92	鋼橋	追谷川	II	有					
100	0117	頓宮線	無名橋51	2.80	3.60	10.08	RC橋	開水路	I	有					
101	0118	石小野線	無名橋52	13.00	4.00	52.00	PC橋	河川	I	有					
102	0119	中禅寺線	市の瀬川橋(坊出橋)	13.80	4.03	55.61	PC橋	北砂川	I	有					
103	0120	鎌掛深山口線	小竹橋	11.80	3.60	42.48	RC橋	砂川	I	有					
104	0121	深山口木津線	無名橋53	3.50	2.90	10.15	PC橋	開水路	II	有				●	
105	0122	鎌掛線	薬師前橋	14.30	4.00	57.20	PC橋	南砂川	II	有					
106	0123	中在寺線	無名橋54	13.00	3.00	39.00	PC橋	開水路	II	有					
107	0124	西明寺原線	無名橋55	5.20	4.05	21.06	RC橋	開水路	I	有					
108	0125	松尾河原線	無名橋56	4.30	7.45	32.04	その他	開水路	I	有				●	
109	0126	松尾河原線	無名橋57	3.40	7.00	23.80	RC橋	開水路	I	有				●	
110	0127	鳥居平線	無名橋58	2.85	3.50	9.98	RC橋	河川	I	有				●	
111	0128	川原徳原線	大橋	2.90	7.60	22.04	RC橋	開水路	I	有				●	
112	0129	上野田線	無名橋59	2.60	7.00	18.20	RC橋	開水路	I	有				●	
113	0131	旧別所橋線	無名橋61	4.40	5.98	26.31	RC橋	開水路	I	有				●	
114	0132	大窪音羽線	無名橋62	3.00	8.70	26.10	その他	開水路	II	有	●			●	
115	0133	北脇仙線	無名橋63	10.50	15.50	162.75	RC橋	開水路	II	有					
116	0135	桜谷水源線	無名橋65	13.70	3.00	41.10	PC橋	宮川	I						
117	0136	しゃくなげ谷線	無名橋66	4.30	11.83	50.87	RC橋	河川	II	有				●	
118	0137	しゃくなげ谷線	石楠花橋	9.50	4.05	38.48	RC橋	耶斧堀川	II	無				●	
119	0138	東山団地3号線	無名橋67	7.60	5.80	44.08	RC橋	町道東山団地2号線	II	有				●	
120	0139	鎌掛字内線	瀬川橋	13.60	3.00	40.80	RC橋	北砂川	II	有					
121	0140	川向線	無名橋68	3.80	5.90	22.42	RC橋	開水路	II	有				●	
122	0141	木津取付線	無名橋69	2.25	7.65	17.21	RC橋	河川	I	有				●	
123	0143	石原鳥居平線	無名橋71	3.00	7.80	23.40	RC橋	開水路	I	有				●	
124	0144	石原鳥居平線	無名橋72	6.20	8.10	50.22	RC橋	道路(未確認)	I	有					
125	0145	石原鳥居平線	無名橋73	3.60	8.50	30.60	RC橋	町道松尾鳥居平線	I	有	●				
126	0146	北山3号線	無名橋74	11.60	4.00	46.40	PC橋	出雲川	I	有					
127	0147	出雲川自転車道線	無名橋75	3.50	2.50	8.75	RC橋	開水路	II	有				●	
128	0148	山本松尾線	無名橋76	2.80	3.00	8.40	RC橋	開水路	II	有				●	
129	0149	東桜谷旧県道線	無名橋77	3.40	4.50	15.30	RC橋	開水路	II	有	●				
130	0150	南比都佐小学校線	無名橋78	5.50	3.00	16.50	PC橋	開水路	II	有					
131	0151	村井奥師線	宮前橋	12.50	5.50	68.75	PC橋	宮川	I	有					
132	0152	旧御代参街道線	無名橋79	4.10	3.00	12.30	RC橋	開水路	I	有				●	
133	0153	横町線	無名橋80	2.50	6.00	15.00	RC橋	開水路	I	有				●	
134	0154	徳谷線	徳谷橋	6.80	6.50	44.20	RC橋	浄光寺川	I	有				●	
135	0155	瀬ヶ谷線	無名橋81	3.20	3.50	11.20	RC橋	追谷川	I					●	
136	0156	北畑野神線	無名橋82	4.10	4.20	17.22	RC橋	開水路	I	有				●	
137	0157	豊田中山線	無名橋83	2.40	7.50	18.00	RC橋	開水路	II	有	●			●	
138	0158	豊田中山線	無名橋84	2.05	8.30	17.02	RC橋	開水路	I	有	●			●	
139	0159	豊田中山線	無名橋85	5.30	4.60	24.38	RC橋	太平川	II	有					
140	0160	鎌掛字内線	無名橋86	2.70	4.10	11.07	RC橋	開水路	I	有				●	
141	0161	蔵王勝手谷線	無名橋87	8.30	5.60	46.48	PC橋	勝手谷川	I	有					
142	0162	鳥居平中央線	前川橋	11.80	6.90	81.42	RC橋	前川	II	有	●				
143	0163	鳥居平中央線	無名橋88	3.90	7.30	28.47	RC橋	開水路	I	有	●				
144	0164	下駒月中央線	日枝橋	9.50	4.40	41.80	鋼橋	砂川	I	有					
145	0165	中山鑄物師線	無名橋89	3.10	3.40	10.54	RC橋	開水路	I	有				●	
146	0166	大窪内池線	無名橋90	2.45	5.50	13.48	RC橋	内池川	I	有				●	
147	0167	牧野野神線	無名橋91(五郎津橋)	9.30	4.50	41.85	鋼橋	西明寺川	I	有					
148	0168	下駒月西出線	西出橋	10.00	3.50	35.00	PC橋	砂川	I	有					
149	0169	下駒月西出線	棒川橋	12.70	5.00	63.50	PC橋	砂川	I	有					
150	0170	城之越線	迫宮前橋	12.00	10.00	120.00	PC橋	追谷川	I	有					
151	0171	工業団地7号線	無名橋92	4.60	9.26	42.60	RC橋	開水路	I	有				●	
152	0172	河原鳥居平線	無名橋93	3.60	6.34	22.82	RC橋	開水路	II	有	●				
153	0173	河原鳥居平線	無名橋94	4.25	5.65	24.01	RC橋	開水路	I	有	●				
154	0174	日野中部1号線	無名橋95	3.00	6.00	18.00	RC橋	開水路	I	有				●	
155	0175	日野中部22号線	無名橋96	2.50	6.00	15.00	RC橋	開水路	I	有				●	
156	0176	小御門線	無名橋97	2.56	10.75	27.52	RC橋	黒道川	I	有				●	



図 2-20 集約化・撤去_検討対象橋梁(1)



図 2-21 集約化・撤去_検討対象橋梁(2)

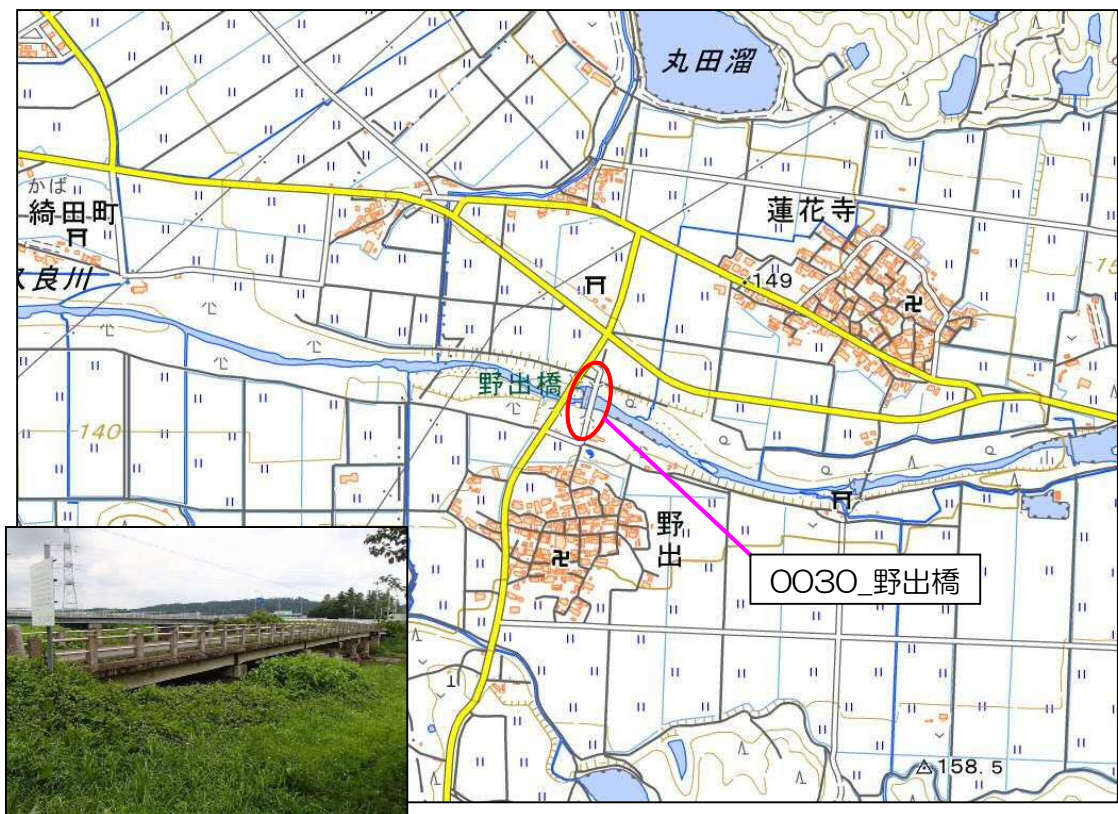


図 2-22 集約化・撤去_検討対象橋梁 (3)



図 2-23 集約化・撤去_検討対象橋梁 (4)

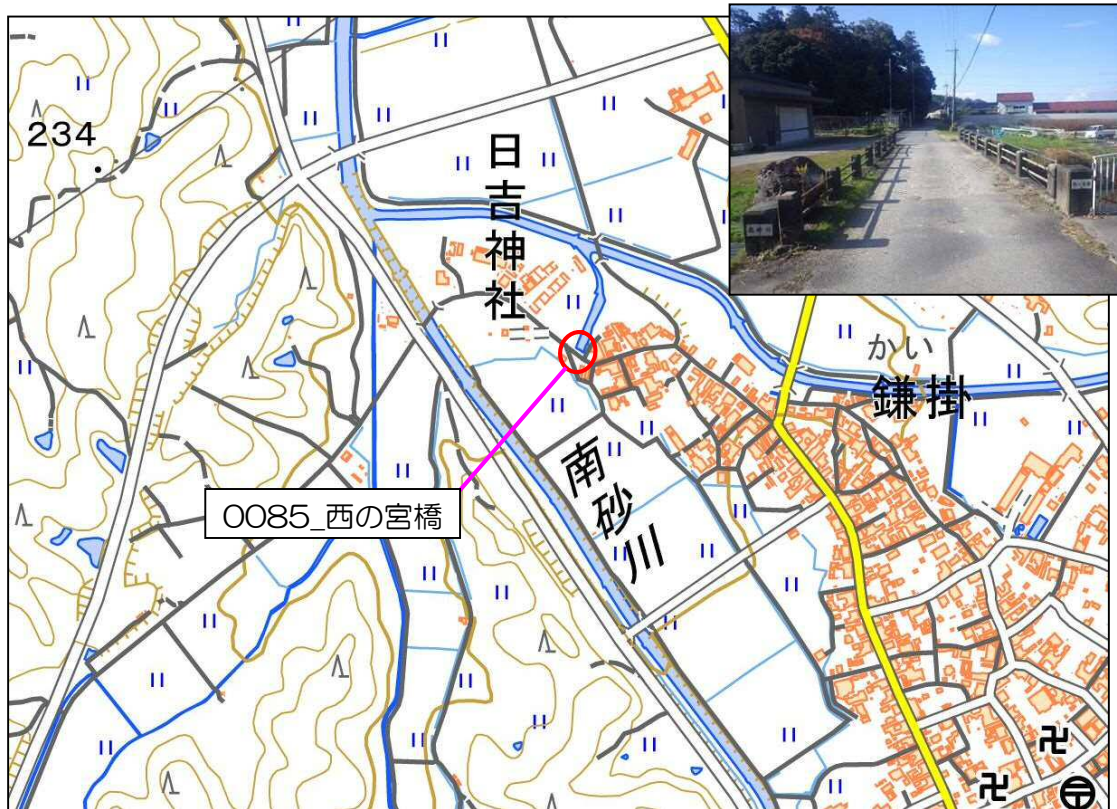


図 2-24 集約化・撤去__検討対象橋梁 (5)

(3) 集約化・撤去による費用の縮減額

前項により抽出した5橋について、集約化・撤去による費用の縮減額を算定した。求める縮減額は、以下2種類の費用の差額とし、ともに概算費用とした。下記1)の維持管理費用の算定期間は、中長期コスト検討期間である「今後50年間」とした。

コスト縮減の対象とした算定費用

- | |
|---------------------------------|
| 1) 維持管理に必要とする費用（点検診断、補修設計、修繕工事） |
| 2) 橋梁撤去に必要とする費用（撤去工事） |

表 2-63 集約化・撤去 コスト縮減額の算定結果

橋梁名	維持管理費 (千円)	撤去費 (千円)	縮減額 (千円)
0012_別所橋	74,310	69,544	4,766
0013_木津橋	95,829	38,640	57,189
0030_野出橋	33,069	44,358	(縮減無)
0046_宮前橋(村井奥師線)	12,978	3,037	9,941
0085_西の宮橋	9,748	4,394	5,354
計			77,250

※算定費用の詳細については、後頁参照

(4) 数値目標

前述(2)(3)の検討結果より、中長期的視点に立ったトータルコストの縮減に関し、本計画で短期的に掲げる数値目標は下記のとおりとする。

令和10年度までに、日野町が管理する橋梁のうち1橋を対象として、施設の撤去に伴う迂回路整備や機能縮小、複数施設の集約化などの検討を、社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路の整備状況、点検・修繕・更新等に係る中長期的な費用等を考慮し実施することを目標とする。

この実施に伴い、中長期（今後50年間）におけるトータルコストを0.2%程度（今後50年間の維持管理費用の総額^{注1}に対して約5.4百万円^{注2}、R6年度～R10年度の5年間換算で約0.5百万円）縮減するものと試算する。

注1) 今後50年間の維持管理費用の総額とは、中長期（策定後50年間）における予防的修繕費用の総額3,139百万円*を指す。

※ 後述（4.予防保全の中長期シミュレーション）を参照

注2) コスト縮減額「約5.4百万円」は、集約化・撤去によるコスト縮減額5,354千円（撤去検討中である西の宮橋を想定）である。

本計画では、前述(2)(3)で5橋を抽出してその縮減効果を検討したが、集約化・撤去の実現に向けては、迂回路整備や周辺住民との合意形成など、様々な課題を慎重にクリアしていくことが必要となるため、短期目標での取り組み対象を「1橋」と設定した。

また、コスト縮減額の目標化については、コスト縮減効果の中長期（50年間）で確認することが妥当であり短期的な目標額の設定が困難であること等から、具体的な短期での目標額の提示は行わないものとした。

撤去・集約化に伴うコスト縮減額算定結果

【橋梁毎(任意抽出 5 橋)における縮減費用】

撤去・集約化に伴うコスト縮減額の試算(50年間)

橋梁番号	0012
施設名称	別所橋
路線名称	旧別所橋線

1) 維持管理費(50年間)の算定

年度	実施措置		実施費用 (千円)	備考
2024	定期点検		704	
2029	定期点検		704	
2034	定期点検		704	
2039	定期点検		704	
2044	定期点検		704	
2049	定期点検		704	
2054	定期点検		704	
2059	定期点検		704	
2064	定期点検		704	
2069	定期点検		704	
2071	補修設計	詳細調査・設計	6,600	委託費算定根拠より
2072	修繕工事	コンクリート補修工	60,670	中長期計画より、50年おき
合計			74,310	:①

注1) 定期点検の費用については、短期計画からの引用である。

注2) 定期的な予防的修繕(補修工事)の時期と費用は、中長期シミュレーションからの引用である。
当橋は2022年度に補修工事を実施したが、シミュレーション上は50年おきの補修を想定しており、上記試算期間での定期的な補修は1回発生するものと考えた。

2) 撤去費の算定

橋種	単価(千円/m ²)	橋面積(m ²)	実施費用:② (千円)	備考
RC橋	128.19	A=81.9m×4.5m=368.6m ²	69,544	税率10% デフレータ1.338 を考慮

注) 撤去費の単価は、「橋梁の架替に関する調査結果(IV)」(H20.4、国土交通省 国土技術政策総合研究所)を基に、2008-2023年のデフレータ考慮のうえで算出した。

コスト縮減 検討結果(50年間)	①-②(千円)	コスト縮減率(%)
	4,766	6.4%

撤去・集約化に伴うコスト縮減額の試算(50年間)

橋梁番号	0013
施設名称	木津橋
路線名称	深山口木津線

1) 維持管理費(50年間)の算定

年度	実施措置		実施費用 (千円)	備考
2024	定期点検		517	
2029	定期点検		517	
2034	定期点検		517	
2039	定期点検		517	
2044	定期点検		517	
2046	補修設計	詳細調査・設計	5,900	委託費算定根拠より
2047	修繕工事	塗装塗替え工	84,759	中長期計画より、30年おき
2049	定期点検		517	
2054	定期点検		517	
2059	定期点検		517	
2064	定期点検		517	
2069	定期点検		517	
合計			95,829	:①

注1) 定期点検の費用については、短期計画からの引用である。

注2) 定期的な予防的修繕(補修工事)の時期と費用は、中長期シミュレーションからの引用である。
当橋は2017年度に補修工事を実施したが、シミュレーション上は30年おきの補修を想定しており、上記試算期間での定期的な補修は1回発生するものと考えた。

2) 撤去費の算定

橋種	単価(千円/m ²)	橋面積(m ²)	実施費用:② (千円)	備考
鋼橋	128.19	A=81.9m×2.5m=204.8m ²	38,640	税率10% デフレータ1.338 を考慮

注) 撤去費の単価は、「橋梁の架替に関する調査結果(IV)」(H20.4、国土交通省 国土技術政策総合研究所)を基に、2008-2023年のデフレータ考慮のうえで算出した。

コスト縮減 検討結果(50年間)	①-②(千円)	コスト縮減率(%)
	57,189	59.7%

撤去・集約化に伴うコスト縮減額の試算(50年間)

橋梁番号	0030
施設名称	野出橋
路線名称	野出旧県道線

1) 維持管理費(50年間)の算定

年度	実施措置		実施費用 (千円)	備考
2024	定期点検		704	
2029	定期点検		704	
2032	補修設計	詳細調査・設計	7,000	短期計画より
2033	補修工事	断面修復、橋面防水、支承防錆	19,029	〃
2034	定期点検		704	
2039	定期点検		704	
2044	定期点検		704	
2049	定期点検		704	
2054	定期点検		704	
2059	定期点検		704	
2064	定期点検		704	
2069	定期点検		704	
合計			33,069	:①

注1) 2029-2030年に行う補修と、定期点検の費用については、短期計画からの引用である。

注2) 定期的な予防的修繕(補修工事)の時期と費用は、中長期シミュレーションからの引用である。
当橋は2033年度に補修工事を実施する計画としている。シミュレーション上は50年おきの補修を想定しており、上記試算期間での定期的な補修は2033年度以降で発生しないと考えた。

2) 撤去費の算定

橋種	単価(千円/m ²)	橋面積(m ²)	実施費用 (千円)	備考
RC橋	128.19	A=54.3m×3.3m=179.2m ²	33,810	税率10% デフレータ1.338 を考慮
PC橋	120.66	A=18.0m×3.3m=59.4m ²	10,549	
合計			44,358	:②

注) 撤去費の単価は、「橋梁の架替に関する調査結果(IV)」(H20.4、国土交通省 国土技術政策総合研究所)を基に、2008-2023年のデフレータ考慮のうえで算出した。

コスト縮減 検討結果(50年間)	①-②(千円)	コスト縮減率(%)
	-11,289	縮減無し

撤去・集約化に伴うコスト削減額の試算(50年間)

橋梁番号	0046
施設名称	宮前橋
路線名称	村井奥師線

1) 維持管理費(50年間)の算定

年度	実施措置		実施費用 (千円)	備考
2024	補修設計	詳細調査・設計	2,800	委託費算定根拠より
2025	補修工事	コンクリート補修工	1,819	中長期計画より、47年おき
2026	定期点検		374	
2031	定期点検		374	
2036	定期点検		374	
2041	定期点検		374	
2046	定期点検		374	
2051	定期点検		374	
2056	定期点検		374	
2061	定期点検		374	
2066	定期点検		374	
2071	定期点検		374	
2071	補修設計	詳細調査・設計	2,800	委託費算定根拠より
2072	補修工事	コンクリート補修工	1,819	中長期計画より、47年おき
合計			12,978	:①

注1) 定期点検の費用については、短期計画からの引用である。

注2) 定期的な予防的修繕(補修工事)の時期と費用は、中長期シミュレーションからの引用である。
シミュレーション上は47年おきの補修を想定しており、上記試算期間での定期的な補修は2回発生するものと考えた。

2) 撤去費の算定

橋種	単価(千円/m ²)	橋面積(m ²)	実施費用:② (千円)	備考
PC橋	55.47	A=6.1m×6.1m=37.2m ²	3,037	税率10% デフレータ1.338 を考慮

注) 撤去費の単価は、「橋梁の架替に関する調査結果(Ⅳ)」(H20.4、国土交通省 国土技術政策総合研究所)を基に、2008-2023年のデフレータ考慮のうえで算出した。

コスト削減 検討結果(50年間)	①-②(千円)	コスト削減率(%)
	9,941	76.6%

撤去・集約化に伴うコスト縮減額の試算(50年間)

橋梁番号	0085
施設名称	西の宮橋
路線名称	鎌掛深山口線

1) 維持管理費(50年間)の算定

年度	実施措置		実施費用 (千円)	備考
2026	定期点検		385	
2031	定期点検		385	
2031	補修設計	詳細調査・設計	2,800	委託費算定根拠より
2032	補修工事	コンクリート補修工	3,098	短期計画より(補修の場合)
2036	定期点検		385	
2041	定期点検		385	
2046	定期点検		385	
2051	定期点検		385	
2056	定期点検		385	
2061	定期点検		385	
2066	定期点検		385	
2071	定期点検		385	
合計			9,748	:①

注1) 定期点検の費用については、短期計画からの引用である。

注2) 2031-2032年に行う補修費用は、点検結果より補修内容を検討した場合の費用である。

注3) 定期的な予防的修繕(補修工事)の時期と費用は、中長期シミュレーションからの引用である。

当橋は2032年度に補修工事を実施する場合、シミュレーション上は47年おきの補修を想定しており、上記試算期間での定期的な補修は2032年度以降で発生しないと考えた。

2) 撤去費の算定

橋種	単価(千円/m ²)	橋面積(m ²)	実施費用:② (千円)	備考
RC橋	65.76	A=12.6m×3.6m=45.4m ²	4,394	税率10% デフレータ1.338 を考慮

注) 撤去費の単価は、「橋梁の架替に関する調査結果(IV)」(H20.4、国土交通省 国土技術政策総合研究所)を基に、2008-2023年のデフレータ考慮のうえで算出した。

コスト縮減 検討結果(50年間)	①-②(千円)	コスト縮減率(%)
	5,354	54.9%

■3、個別の施設毎の事項

3.1 対策費用

(1) 対策費用の算定区分

本計画で算定する対策の概算費用の内訳は、図 3-1 のとおりとする。

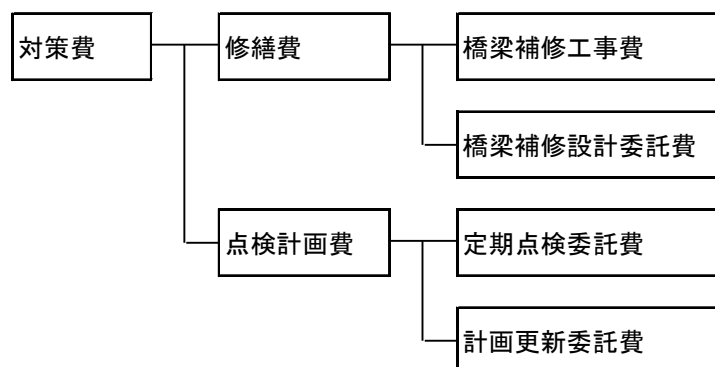


図 3-1 本計画における対策費用の内訳

また、それぞれの対策費用の算定方法は、表 3-1 の方針とする。

表 3-1 本計画における対策費用の算定方針

	費用の算定方針
橋梁補修工事費	・定期点検で目視確認した損傷変状に対し、健全体への回復を図る対策として、工種等を設定 ・定期点検適用基準(国土交通省 橋梁定期点検要領、他)にある主要部材の主要な損傷項目については、変状程度に応じて設定した工法及び概算数量(：別途算定)毎の単価より工事費用を算定 ・主要項目以外の損傷変状に対しても、対策工種毎の単価より工事費用を計上 ・工法及び単価は「国土交通省土木工事積算基準」その他参考資料を基に設定
橋梁補修設計委託費	・見積ベース(任意歩掛)により、1業務あたりの費用を算定
定期点検委託費	・公表歩掛(道路橋定期点検業務積算資料/H31.2/国土交通省道路局、共通歩掛)より、直接人件費を算定 ・機械経費や安全費等といった諸経費については、前回の定期点検実績を基に、直接経費を算定
計画更新委託費	・見積ベース(任意歩掛)により、1業務あたりの費用を算定

(2) 概算工事費（橋梁補修工事費）

○補修工法の設定

本計画における補修工法及び工事単価は、定期点検で損傷程度を判定した基準の1つである「橋梁定期点検要領」（H26.6、国土交通省）に示す主要部材の点検項目を基本として、下記の補修対策①～③を設定する。

- | | |
|-------|---|
| 補修対策① | ： 損傷の有無に係らず、利用性の向上または将来的な長寿命化を目的とした補修工法（例：橋面防水工、舗装工、防護柵補修工 等） |
| 補修対策② | ： 損傷の種類・程度並びに進行度を考慮し、損傷の原因を除去できる適切な補修工法の組み合わせ（塗装塗替工・あて板補修工・ひびわれ補修工・断面修復工・表面被覆工など） |
| 補修対策③ | ： 補修対策①及び補修対策②を施工するために必要とする工種（足場工、他の仮設 等） |

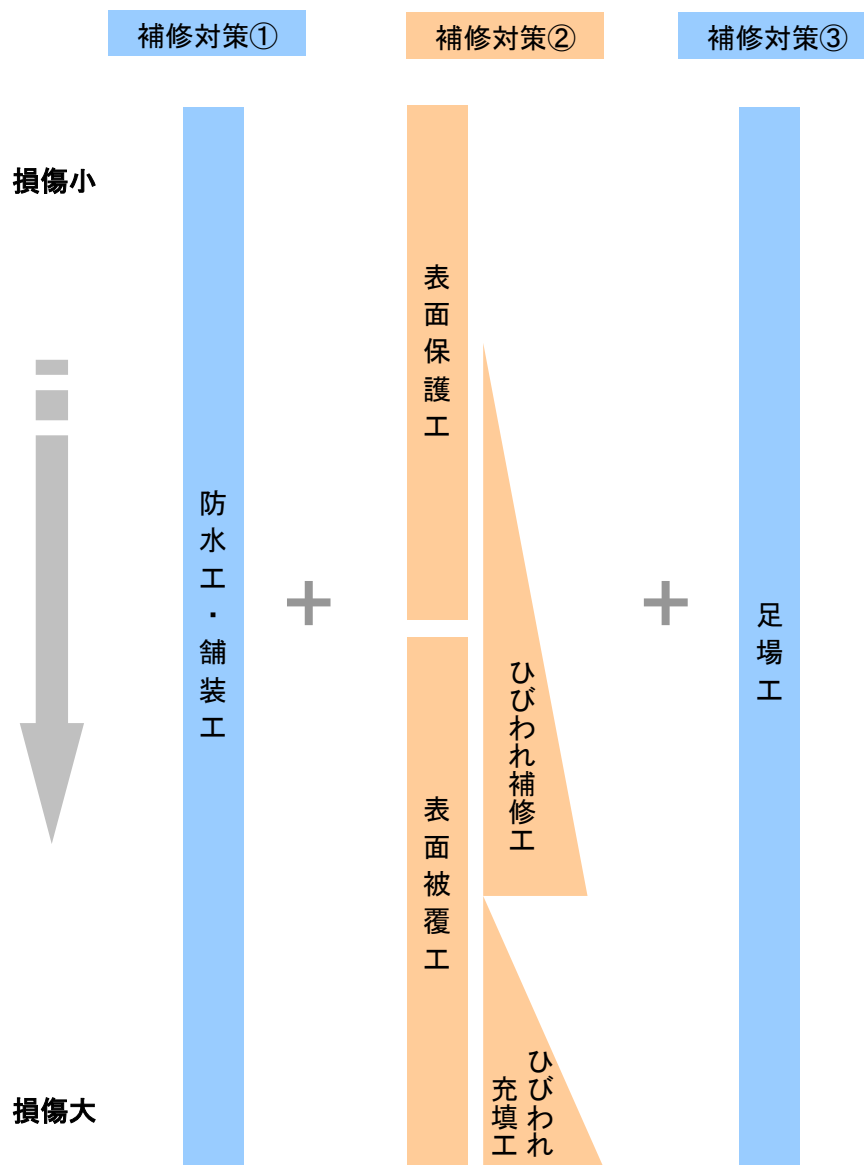


図 3-2 補修対策の組合せ（補修対策②：ひびわれ対策での例）

表 3-2 に、損傷区分毎に設定した補修工法とそれぞれの単価の一覧を示す。点検項目の損傷等級毎に設定する補修工法は当該変状に対して健全体を回復するための対策とした工種として、変状程度相応の工種を段階的に選定した。

概算工事費の単価は、「国土交通省土木工事積算基準」（最新版、国土交通省）や他の技術資料を参考に算定した。損傷程度毎の単価詳細として、コンクリート部材「⑥ひびわれ」の例を次頁の表 3-3 に示すが、他の損傷項目に対する工種・単価詳細、またはこれら以外に対策として必要とする工種（橋面防水、伸縮装置取替え、防護柵補修 等）を含めた他項目の詳細は、報告書巻末資料__添付資料-3「補修工法・単価調査」を参照のこと。

表 3-2 主要損傷項目毎の補修工法と単価

損傷名	損傷区分	補修工法	算定対象数量	単位	単価(円)
① 腐食	b	塗装塗替工	対象面積	m2	5,461
	c	塗装塗替工	"	m2	30,340
	d	塗装塗替工+あて板補修工	"	m2	46,560
	e	塗装塗替工+あて板補修工	"	m2	70,890
	c,d	耐候性鋼材) ショットブラスト工	"	m2	2,786
	e	耐候性鋼材) 塗装工+あて板補修工	"	m2	47,701
② 亀裂	c,e	亀裂補修工	対象箇所	箇所	595,880
③ ゆるみ・脱落	c,e	高力ボルト取替工	対象本数	本	18,284
④ 破断	e	破断補修工	対象箇所	箇所	453,543
⑥ ひびわれ	b	表面保護工(含浸材塗布工)	対象面積	m2	7,646
	c	ひびわれ補修工+表面保護工	"	m2	16,046
	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	"	m2	31,605
	e	ひびわれ充填工+表面被覆工	"	m2	51,155
	—	下部工での加算額(枠組足場)	"	m2	12,351
⑦ 剥離・鉄筋露出	d	断面修復工(t=30mm)	対象面積	m2	113,900
	e	断面修復工(t=60mm)	"	m2	227,200
⑧ 漏水・遊離石灰	e	断面修復工+表面被覆工	対象面積	m2	227,200
⑨ 抜け落ち	e	床版打換工	対象面積	m2	330,777
⑩ 床版ひびわれ	b	表面保護工	対象面積	m2	7,646
	c	ひびわれ補修工+表面保護工	"	m2	16,046
	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	"	m2	31,605
	e	床版打換工	"	m2	91,377
⑫ うき	e	断面修復工	"	m2	227,200
⑭ 路面の凹凸	e	路面補修工	対象面積	m2	3,330
⑯ 支承部の機能障害	e	支承取替工	対象箇所	箇所	1,365,000
	c,e	支承補修工 防錆	"	箇所	185,290
		支承補修工 台座	"	箇所	173,720
⑰ 定着部の異常	c,e	断面修復工(定着部)	対象箇所	箇所	123,060
⑳ 洗掘	e	洗掘防止工 橋台・橋脚	対象幅	m	697,718
	c,e	洗掘防止工 小規模	"	m	16,354
㉑ ひびわれ (ASR有、下部工)	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	対象面積	m2	94,356
	e	ひびわれ充填工+表面被覆工	"	m2	133,550
㉒ 剥離・鉄筋露出 (塩害有)	e	断面修復工(t=60mm)+表面被覆工	対象面積	m2	183,905
その他対策工種		橋面防水工	対象面積	m2	9,122
		高欄取替工 ガードレール	対象延長	m	21,932
		伸縮装置取替工 10m≦橋長<30m	対象幅	m	221,200
		地覆打換工(ガードレール取替え含む)	対象延長	m	57,540
		足場工(吊足場)	対象面積	m2	9,576
		環境対策資機材費(塗装)	対象施設	橋	3,720,000

注) 上記以外の損傷項目に対しては、下記の理由により、工事費算定の対象外とする。

・詳細調査により、発生要因を特定してから対策工を検討する必要がある。

⇒ ⑩補修・補強材の損傷、21:異常な音・振動、22:異常なたわみ、25:沈下・移動・傾斜

・損傷程度が概ね軽微であり、次回点検で状況を確認するか、併発する他の損傷と合わせて修繕を行う。

⇒ ⑤防食機能の劣化、⑨変色・劣化、⑳漏水・滞水、24:土砂詰まり

表 3-3 コンクリート部材「⑥ひびわれ」の対策工における単価設定例

	損傷例	対策工法概要	単価(円/m ²)
b		●表面保護工	
		簡易清掃、下地処理工	1,602
		含浸材塗布工	6,044
		合計	7,646
c		●ひびわれ補修工+表面保護工	
		ひび割れ補修工(注入) 1m/1m ²	8,400
		簡易清掃、下地処理工	1,602
		含浸材塗布工	6,044
		合計	16,046
d		●ひびわれ補修工+表面被覆工	
		ひび割れ補修工(注入) 3m/1m ²	25,200
		コンクリート塗装工	6,405
		合計	31,605
e		●ひびわれ充填工+表面被覆工	
		ひび割れ補修工(充填) 規模小	44,750
		コンクリート塗装工	6,405
		合計	51,155

※足場工は別途計上する。

(3) 概算工事費を算出する上での補修範囲の考え方

a) 効率的・効果的な実施例（国土交通省 HP より）

○予防保全の推進

■長期的視点に立った計画的な維持管理により、構造物の安全性を確保し、維持管理費を抑えるアセットマネジメントの取組みを行います。
■点検データ等から得られた最新の知見を補修対策に反映するなど、戦略的な維持管理を進めるとともに、地方公共団体への技術支援等の取組みを進めます。

- ・現在、50年以上経過の橋梁は8%であるが、20年後には51%に急増。
- ・全国道路橋の長寿命化修繕計画策定率は、54%（H21末時点）。
- ・約4割（H21末時点）の市区町村で、資金不足等により道路橋の定期点検が未実施。

<最新の知見を活用した補修事例>

<地方公共団体への技術支援の例>



<腐食端部の腐食>



<部分塗装による補修>



<鋼材のき裂発生時対応に
関する技術者の派遣>

これまでの全面塗替え塗装に替えて、良質な防食技術として確立した腐食の新しい電位のみの部分塗替え塗装を採用

※道路事業の効率的・効果的な実施(国土交通省・道路局 HP)

b) 日野町長寿命化修繕計画における補修範囲の考え方

定期点検で得た結果を活用し、費用を適正かつ定量的に把握するため、損傷の種類、損傷の進行具合に応じて部分補修・部材補修・全部材補修を選定し、効率的・効果的な修繕計画を実践する。

損傷番号	損傷の種類	部分補修					部材補修					全部材補修				
		a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
①	腐食					e	a				e	a				e
②	亀裂	a				e	a				e	a				e
③	ゆるみ・脱落	a				e	a				e	a				e
④	破断	a				e	a				e	a				e
⑥	ひびわれ	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
⑦	剥離・鉄筋露出	a		c	d	e	a			d	e	a			d	e
⑧	漏水・遊離石灰	a		c	d	e	a		c	d	e	a		c	d	e
⑨	抜け落ち	a				e	a				e	a				e
⑪	床版ひびわれ	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
⑫	うき	a				e	a				e	a				e
⑯	支承部の機能障害	a				e	a				e	a				e
⑳	定着部の異常	a				e	a				e	a				e
26	洗掘	a		c		e	a				e	a				e
⑭	路面の凹凸	a				e	a				e	a				e
	舗装・橋面防水工											床版の防水性低下を確認した時				

部分補修
部材補修
全部材補修

※腐食の損傷程度に関わらず、全部材に対して再塗装を行う。

※「橋梁定期点検要領」(H26.6、国土交通省)による損傷評価

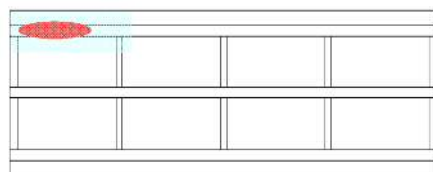
損傷状況
(例: 腐食)



主桁端部に局所的だが板厚減少を伴う錆が発生している

主桁全体に板厚減少を伴う著しい錆が発生している

補修範囲
のイメージ

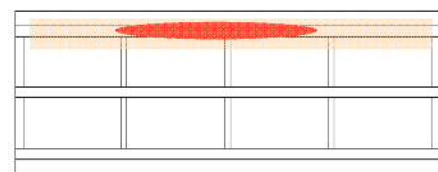


局所的な損傷は部分補修を実施



主桁の一部に表面的な錆が発生している

主桁トラス全体に表面的な錆が発生している



全体的な損傷は
部材補修および全部材補修を実施

図 3-3 損傷程度に応じた補修範囲の考え方

(4) 概算工事費における諸経費の設定

対策費用の適切な把握を行う目的から、直接工事費と別に諸経費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）を別途積み上げる必要がある。

本計画では、概算工事費算定において必要工種分を積み上げた直接工事費の合計費用に対し、その費用規模に応じた割合を乗じて求める考え（下記参照）とした。

諸経費率設定の検討

DID区域:無し(大都市区域外)
一般交通影響:有り
契約保証:考慮無し

概 算 工 費 内 訳 書							
工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
橋梁保全工事							
直接工事費						1,000,000	仮定
間接工事費						1,460,297	
	共通仮設費					382,500	38.25%
	現場管理費					1,077,797	77.96%
一般管理費						579,892	23.57%
合計						3,040,189	

CASE-1 直接工事費100万円

※小作業の工事例有り

2,040,189
 0.3825 0.383 >40%
 0.7796 1.078 >110%
 0.2357 0.580 >60%
 3.040189

概 算 工 費 内 訳 書							
工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
橋梁保全工事							
直接工事費						3,000,000	仮定
間接工事費						4,380,891	
	共通仮設費					1,147,500	38.25%
	現場管理費					3,233,391	77.96%
一般管理費						1,677,676	22.73%
合計						9,058,567	

CASE-2 直接工事費300万円

※中小橋梁で算定実績多い

6,058,567
 0.3825 0.383 >40%
 0.7796 1.078 >110%
 0.2273 0.559 >55%
 3.01952233
 ↓
 採用

概 算 工 費 内 訳 書							
工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
橋梁保全工事							
直接工事費						7,000,000	仮定
間接工事費						9,514,100	
	共通仮設費					2,534,700	36.21%
	現場管理費					6,979,400	73.20%
一般管理費						3,466,309	20.99%
合計						19,980,409	

CASE-3 直接工事費700万円

※伸縮・高欄の取替えによる例が多い

12,980,409
 0.3621 0.362 >40%
 0.7320 0.997 >100%
 0.2099 0.495 >50%
 2.85434414

概 算 工 費 内 訳 書							
工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
橋梁保全工事							
直接工事費						10,000,000	仮定
間接工事費						12,226,469	
	共通仮設費					3,190,000	31.90%
	現場管理費					9,036,469	68.51%
一般管理費						4,523,086	20.35%
合計						26,749,555	

CASE-4 直接工事費1,000万円

※大規模工事の場合、事例少ない

16,749,555
 0.3190 0.319 >35%
 0.6851 0.904 >90%
 0.2035 0.452 >45%
 2.6749555

概 算 工 費 内 訳 書							
工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
橋梁保全工事							
直接工事費						30,000,000	仮定
間接工事費						26,775,428	
	共通仮設費					6,474,000	21.58%
	現場管理費					20,301,428	55.66%
一般管理費						10,401,258	18.32%
合計						67,176,686	

CASE-5 直接工事費3,000万円

※大規模工事の場合、事例少ない

37,176,686
 0.2158 0.216 >25%
 0.5566 0.677 >70%
 0.1832 0.347 >35%
 2.23922287

(5) その他の対策費用（測試費）

メンテナンスサイクルを実行するうえで必要とする対策のうち、橋梁補修工事以外の測試費用（補修設計、定期点検、計画更新）の算定方針は前掲した表 3-1 のとおりであるが、各費用の具体的な算定方法は下記に示す考え方とした。

○橋梁補修設計委託費

- ・直接人件費は、過去の見積依頼実績等を参考とし、任意に歩掛を設定して算定した。
- ・補修設計項目は、概算工事費で算定する補修工種と相対するものとして該当項目を抽出する。
- ・維持工事対応とする橋梁については、費用算定の対象外とする。
- ・人件費単価は、R5 年度単価（R5.2 改定、国交省）を使用する。
- ・直接経費は「仮設費、試験費、印刷費」で構成し、必要分を任意に計上して算定する。

○定期点検委託費

- ・対象全 156 橋に対して、前回点検の実施年度から 5 年毎に行うものとして年度毎に点検する橋梁を抽出する。
- ・直接人件費は、公表歩掛（道路橋定期点検業務積算資料/H31.2/国土交通省道路局、共通歩掛）を参考に算定する。
- ・夜間作業の人件費単価は、共通歩掛の 1.5 倍と仮定して算定する。
- ・人件費単価は、R5 年度単価（R5.2 改定、国交省）を使用する。
- ・直接経費は主に「機械経費、安全費、仮設費、電子成果品作成費」とし、前回点検での実績数量を基に任意に計上する。但し、高所ロープ作業や停電費用等といった共通歩掛項目外作業に係る費用は任意（見積）とする。

○計画更新委託費

- ・対象全 156 橋に対して、本計画の発注年度から 5 年毎に更新を行うものとした。
- ・直接人件費は、過去の見積依頼実績等を参考とし、任意に歩掛を設定して算定した。
- ・直接経費は、電子成果品作成費のみとした。
- ・人件費単価は、R5 年度単価（R5.2 改定、国交省）を使用した。

(6) 対策費用算定の結果

○修繕橋梁の抽出

本計画（第3期計画）では、健全性診断にて「判定Ⅲまたは判定Ⅱ」とした48橋に対し、下記のケースに該当する橋梁を除いた19橋を、何らかの対策を講じる必要がある「修繕橋梁」として抽出した。（次頁の表3-5参照）

修繕の対象外とした橋梁 **： 該当 29 橋**

Case1	管理水準毎に対策必要性が低い橋梁を除外（表3-4参照）	： 23 橋
Case2	定期点検後に補修工事を完了した橋梁を除外	： 6 橋

表 3-4 管理水準毎の修繕橋梁の抽出条件

管理水準	管理目標	修繕橋梁の抽出条件	摘要
Level A	軽微な損傷の発生直後に低コストの予防対策を頻繁に繰り返す。	全ての橋梁を対策する	緊急輸送道路 跨道橋、跨線橋
Level B	劣化した機能の回復を計画的に図る。 軽微な損傷に対して低コストの 予防的対策 を繰り返す。	対策必要性が「大」または「中」である橋梁を対策する	Level A以外の $L \geq 15\text{m}$
Level C	劣化した機能の回復を計画的に図る。 レベル2よりも、大規模な損傷に対して高コストの対策を実施する。	対策必要性が「大」である橋梁を対策する	Level A以外の $5\text{m} \leq L < 15\text{m}$
Level D	更新限界まで放置して、危険になれば更新を実施する。	対策は行わない（観察保全）	Level A以外の $L < 5\text{m}$ 人道橋

表 3-5 本計画（第 3 期）における修繕対象橋梁の抽出状況

No	橋梁番号	路線名称	施設名称	橋長(m)	面積(m2)	架設年	橋梁種別	直近点検年次	同左診断	補修工事年次	管理水準(Level)	健全性再評価	対策必要性	修繕対象	備考
1	0001	西大路鎌掛線	高橋	50.30	150.90	1965	鋼橋	R1	II	(H24)	A	II-2	中	●	
2	0003	村井奥師線	西の口橋	18.70	102.85	1982	PC橋	R1	II	(H27)	B	II-1	小		
3	0004	深山口水口線	迫米橋	27.10	303.52	1987	その他	R1	II	R5	A	II-2	中	△	跨線橋(近江鉄道)
4	0012	旧別所橋線	別所橋	81.90	368.55	1930	RC橋	R1	III	R4	B	III-3	大	△	通行規制5t
5	0013	深山口木津線	木津橋	81.90	204.75	1974	鋼橋	R1	II	(H29)	B	II-1	小		パイルヘント橋脚
6	0014	安土線	安土橋	45.00	135.00	1966	PC橋	R1	II	(H25)	B	II-3	大	●	R5補修設計
7	0016	三十坪駅前線	大正橋	24.30	72.90	1965	鋼橋	R1	II	R5	B	II-3	大	△	鋼床版
8	0017	横町線	松尾橋	15.50	93.00	1973	PC橋	R1	III	R5	A	III-1	小	△	
9	0022	中之郷線	西川原橋	24.70	76.57	1969	鋼橋	R1	III	R2	B	III-3	大	△	
10	0024	音羽蔵王線	多々木橋	19.00	70.30	1930	RC橋	R2	II	(R2)	B	II-2	中	●	通行規制8t、補修後R2点検
11	0028	清田線	前川橋	19.90	79.60	1972	PC橋	R2	II	(R2)	B	II-2	中	●	補修後R2点検
12	0030	野出旧泉道線	野出橋	72.30	238.59	1929	混合橋	R1	II	(H26)	B	II-2	中	●	
13	0032	中在寺野神線	野上橋	30.30	124.23	1934	RC橋	R1	II	(H29)	B	II-2	中	△	P2-A2下流側:鋼桁隠切拡幅有
14	0033	東桜谷旧泉道線	長沢橋	28.20	135.36	1978	その他	R2	III	R3	B	III-3	大	△	上流側拡幅
15	0040	萬徳寺線	原橋	21.60	97.20	1957	鋼橋	R2	II		B	II-2	中	●	R2塗膜調査済、R5補修設計
16	0042	河原島居平線	河原橋	15.80	66.36	—	PC橋	R2	II		B	II-2	中	●	
17	0044	石原島居平線	広域跨線橋(石原橋)	165.00	1,237.50	1974	PC橋	R1	III	R4	A	III-3	大	△	跨線橋(近江鉄道)
18	0058	大窪木津線	山王下橋	2.80	10.08	—	その他	R3	II		D	II-3	大	●	
19	0071	北脇線	無名橋16	7.50	30.00	—	PC橋	R3	II		C	II-2	中		
20	0081	平子熊野線	平能橋	12.00	54.00	1968	PC橋	R3	II		C	II-2	中		
21	0082	蔵王熊野線	無名橋26	5.80	20.30	—	RC橋	R3	II		C	II-2	中		
22	0085	鎌掛深山口線	西の宮橋	12.60	45.36	1963	RC橋	R3	II		A	II-2	中	●	
23	0088	迫谷線	迫橋	14.00	63.00	1968	鋼橋	R3	II		C	II-1	小		R5補修設計
24	0093	御代参線	出雲川橋	6.20	22.94	1960	RC橋	R3	II		C	II-2	中		
25	0097	小御門十禅師線	御門橋	11.00	44.00	1963	PC橋	R3	II		A	II-2	中	●	
26	0110	下出線	菰蒲谷橋	9.20	37.72	1971	その他	R4	II		C	II-2	中		
27	0112	堂之谷墓地線	無名橋46	9.30	30.23	—	鋼橋	R4	II		C	II-2	中		
28	0113	神前谷中畑線	無名橋47	9.10	19.11	—	鋼橋	R4	II		C	II-3	大	●	
29	0114	中道線	無名橋48	10.50	30.45	—	鋼橋	R4	II		C	II-3	大	●	
30	0115	旧水口線	無名橋49	9.60	25.92	—	鋼橋	R4	II		C	II-2	中		
31	0121	深山口木津線	無名橋53	3.50	10.15	—	PC橋	R4	II		D	II-1	小		
32	0122	鎌掛線	薬師前橋	14.30	57.20	1990	PC橋	R4	II		A	II-3	大	●	
33	0123	中在寺線	無名橋54	13.00	39.00	—	PC橋	R4	II		C	II-2	中		
34	0132	大窪音羽線	無名橋62	3.00	26.10	—	その他	R4	II		A	II-3	大	●	
35	0133	北脇仙線	無名橋63	10.50	162.75	—	RC橋	R4	II		C	II-2	中		
36	0136	しゃくなげ谷線	無名橋66	4.30	50.87	—	RC橋	R4	II		D	II-1	小		
37	0137	しゃくなげ谷線	石楠花橋	9.50	38.48	1961	RC橋	R4	II		C	II-2	中		
38	0138	東山団地3号線	無名橋67	7.60	44.08	1976	RC橋	R4	II		A	II-2	中	●	跨道橋
39	0139	鎌掛寺内線	瀬川橋	13.60	40.80	1956	RC橋	R4	II		C	II-3	大	●	
40	0140	川向線	無名橋68	3.80	22.42	—	RC橋	R4	II		D	II-1	小		
41	0147	出雲川自転車道線	無名橋75	3.50	8.75	—	RC橋	R4	II		D	II-2	中		
42	0148	山本松尾線	無名橋76	2.80	8.40	—	RC橋	R4	II		D	II-1	小		
43	0149	東桜谷旧泉道線	無名橋77	3.40	15.30	—	RC橋	R4	II		D	II-2	中		
44	0150	南比都佐小学校線	無名橋78	5.50	16.50	—	PC橋	R4	II		C	II-3	大	●	
45	0157	豊田中山線	無名橋83	2.40	18.00	—	RC橋	R5	II		D	II-2	中		
46	0159	豊田中山線	無名橋85	5.30	24.38	—	RC橋	R5	II		C	II-3	大	●	
47	0162	島居平中央線	前川橋	11.80	81.42	—	RC橋	R5	II		C	II-3	大	●	
48	0172	河原島居平線	無名橋93	3.60	22.82	—	RC橋	R5	II		D	II-2	中		

※1 修繕対象とする橋梁(修繕対象欄:●または△)は、管理水準毎に以下の考えとした。

管理水準 Level A : 全ての橋梁を抽出

管理水準 Level B : 対策必要性が「大または中」である橋梁を抽出

管理水準 Level C : 対策必要性が「大」である橋梁を抽出

管理水準 Level D : 抽出対象無し

※2 上記※1で抽出した橋梁のうち、近年に補修工事を実施した橋梁(修繕対象欄:△)は、本計画の修繕対象から外した。

本項では、表 3-5 により抽出した 19 橋（修繕対象欄「●」）について、短期修繕計画としての概算工事費を算定した。次頁以降に、橋梁毎（・径間毎）に算定した概算工事費（税抜）を示す。

表 3-6 健全性診断の判定Ⅱにおける管理水準毎の対応

橋梁の状態	Level A	Level B	Level C	Level D
構造物の機能に支障が生じていない状態（判定Ⅰ）	5年後に次回点検を計画	同左	同左	同左
構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい状態（判定Ⅱ）	小規模な補修を定期的に行う。 ※対策を優先する ※施設に応じた補修間隔を設定する	小規模な補修を定期的に行う。	小規模な補修を必要に応じて行う。 ※観察保全を行うことで、積極的な予防保全を見送る	5年後に次回点検を計画
修繕対象橋梁とする対策優先度の区分	対策必要性:大・中・小	対策必要性:大・中	対策必要性:大	無し
構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態（判定Ⅲ）	判定Ⅲを解消するための補修を、5年後の次回点検までに行う。 ※対策を最優先する	判定Ⅲを解消するための補修を、5年後の次回点検までに行う。	同左	同左 ※更新及び撤去を合わせて検討する
構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急の措置を講ずべき状態（判定Ⅳ）	点検・診断後、通行止め、架替え、撤去、大規模補修を、緊急に対応する。 ※対策を最優先する	点検・診断後、通行止め、架替え、撤去、大規模補修を、緊急に対応する。	同左	同左

修繕費用算定結果

【 橋梁毎（修繕対象橋梁 19 橋）の対策費用 】

表 3-7 修繕対象橋梁の対策費用一覧（19 橋）

橋長15m以上（予防保全型） 8橋

No	橋梁 番号	橋梁名	橋長 (m)	補修設計 (千円、税込)	工事 (千円、税込)	合計 (千円)	備考
1	0001	高橋(西大路鎌掛線)	50.3	7,700	26,142	33,842	
2	0014	安土橋	45.0	(R5設計済)	20,319	20,319	R5補修設計済
3	0024	多々木橋	19.0	6,300	1,590	7,890	
4	0028	前川橋(清田線)	19.9	3,600	4,405	8,005	
5	0030	野出橋	72.3	7,000	19,029	26,029	
6	0032	野上橋	30.3	8,000	19,315	27,315	
7	0040	原橋	21.6	(R5設計済)	11,105	11,105	(防護柵補修)
					25,474	25,474	(上記工種以外)
8	0042	河原橋	15.8	3,900	9,581	13,481	

注) 赤字費用は、補修設計業務で算定した工事額である。(本計画で経費算定)

橋長15m未満（観察保全型） 11橋

No	橋梁 番号	橋梁名	橋長 (m)	補修設計 (千円、税込)	工事 (千円、税込)	合計 (千円)	備考
1	0085	西の宮橋	12.6	2,800	3,098	5,898	撤去検討中
2	0097	御門橋	11.0	2,900	2,463	5,363	架替え準備中
3	0113	無名橋47	9.1	3,700	15,870	19,570	
4	0114	無名橋48	10.5	3,700	19,448	23,148	
5	0122	薬師前橋	14.3	3,300	2,384	5,684	
6	0132	無名橋62	3.0	2,900	590	3,490	RC橋・鋼橋
7	0138	無名橋67	7.6	2,800	6,216	9,016	函渠、跨道橋
8	0139	瀬川橋	13.6	3,200	12,341	15,541	
9	0150	無名橋78	5.5	2,800	499	3,299	
10	0159	無名橋85	5.3	2,900	6,269	9,169	
11	0162	前川橋(鳥居平中央線)	11.8	3,300	25,641	28,941	

注) 西の宮橋と御門橋ではそれぞれ撤去や架替えを行う予定であるが、本表では補修を行う場合の費用としている。

表 3-7 に示す算定費用のうち、「測 試（：補修設計）」に関わる費用の算定根拠・内訳については、報告書の巻末資料（添付資料-4「委託費に関する検討」）を参照のこと。

次頁以降に、ユニット毎（橋梁毎・径間毎）に算定した概算工事費（税込額）を示す。

橋梁毎・径間毎の費用内訳（橋梁補修工事費）

【修繕対象橋梁 19 橋のうち 17 橋】

（※補修設計済みの2橋を除く）

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																	
0001	高橋(西大路鎌掛線)	1	2019	鋼3径間単純H形鋼																	
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	腐食				3	3	3				3	100	○	d 塗装塗替工+あて板補修工	10	109.6	m2	46,560	510,297		
	防食機能の劣化				3	3	3				3	100	×			109.6	m2				
横桁	腐食	4					4				4	0	×			12.9	m2				
床版	剥離・鉄筋露出					1	1	1			1	100	○	e 断面修復工	1	87.4	m2	227,200	198,572		
	漏水・遊離石灰					1	1			1	1	100	×			87.4	m2				
	床版ひびわれ				1		1			1	1	100	○	d ひびわれ補修工+表面被覆工	10	87.4	m2	31,605	276,227		
	変形・欠損			1			1	1			1	100	×			87.4	m2				
	うき					1	1	1			1	100	×			87.4	m2				
橋台胸壁	うき					1	1	1			1	100	×			3.4	m2				
橋脚壁	うき					1	1	1			1	100	×			40.5	m2				
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														足場工		25	57.1	m2	9,576	136,697	
														環境対策資機材費(塗装)		100		1	橋	3,720,000	3,720,000
諸経費														直接工事費						4,841,793	
														共通仮設費		直人×40%			1,936,717		
														現場管理費		直人×110%			5,325,972		
														一般管理費		直人×55%			2,662,986		
修繕工事費用(税抜)																			14,767,468		
消費税(10%)																			1,476,746		
修繕工事費用(税込)																			16,244,214		

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																	
0001	高橋(西大路鎌掛線)	2	2019	鋼3径間単純H形鋼																	
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	腐食				3		3	3			3	100	○	d 塗装塗替工+あて板補修工	10	108.4	m2	46,560	504,710		
	防食機能の劣化				3		3	3			3	100	×			108.4	m2				
横桁	腐食	4					4				4	0	×			12.7					
床版	剥離・鉄筋露出					1	1	1			1	100	○	e 断面修復工	1	86.8	m2	227,200	197,209		
	漏水・遊離石灰					1	1		1		1	100	×			86.8	m2				
	床版ひびわれ				1		1		1		1	100	○	d ひびわれ補修工+表面被覆工	10	86.8	m2	31,605	274,331		
	うき					1	1	1			1	100	×			86.8	m2				
橋脚壁	ひびわれ			1			1	1			1	100	○	c ひびわれ補修工+表面保護工	10	40.5	m2	28,397	115,007		
	変形・欠損			1			1	1			1	100	×			40.5	m2				
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														地覆打換工(高欄取替無)		25	33.4	m	35,608	297,326	
														足場工		25	58.8	m2	9,576	140,767	
諸経費														直接工事費				1,529,350			
														共通仮設費				直人×40%		611,740	
														現場管理費				直人×110%		1,682,285	
														一般管理費				直人×55%		841,142	
修繕工事費用(税抜)																			4,664,517		
消費税(10%)																			466,451		
修繕工事費用(税込)																			5,130,968		

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																
0001	高橋(西大路鎌掛線)	3	2019	鋼3径間単純H形鋼																
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)	
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体									
主桁	腐食				3		3	3			3	100	○	d 塗装塗替工+あて板補修工	10	109.6	m2	46,560	510,297	
	防食機能の劣化				3		3	3			3	100	×			109.6	m2			
	変形・欠損	1		2			3	2			3	67	×			109.6	m2			
横桁	腐食	4					4				4	0	×			12.9	m2			
床版	剥離・鉄筋露出					1	1	1			1	100	○	e 断面修復工	1	87.4	m2	227,200	198,572	
	漏水・遊離石灰					1	1		1		1	100	×			87.4	m2			
	床版ひびわれ				1		1		1		1	100	○	d ひびわれ補修工+表面被覆工	10	87.4	m2	31,605	276,227	
	うき					1	1	1			1	100	×			87.4	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														地覆打換工(高欄取替無)		25	33.6	m	35,608	299,107
														足場工		25	57.1	m2	9,576	136,697
諸経費														直接工事費				1,420,900		
														共通仮設費		直人×40%		568,360		
														現場管理費		直人×110%		1,562,990		
														一般管理費		直人×55%		781,495		
修繕工事費用(税抜)																			4,333,745	
消費税(10%)																			433,374	
修繕工事費用(税込)																			4,767,119	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式														
0024	多々木橋	1		2020		RC2径間単純T桁														
部材	損傷の種類	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)	
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体									
主桁	その他(植生)	1				2	3	2			3	67	×			39.8	m2			
横桁	漏水・遊離石灰	1			1		2	1			2	50	×			2.4	m2			
床版	剥離・鉄筋露出			1			1		1		1	100	○	c	断面修復工(区分d)	10	28.1	m2	113,900	320,059
	その他(植生)					1	1	1			1	100	×			28.1	m2			
橋台堅壁	ひびわれ				1		1	1			1	100	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	10	3.7	m2	43,956	16,263
	漏水・遊離石灰				1		1	1			1	100	×			3.7	m2			
橋脚梁	ひびわれ			1			1	1			1	100	○	c	ひびわれ補修工+表面保護工	5	6.0	m2	28,397	8,519
	剥離・鉄筋露出				1		1	1			1	100	○	d	断面修復工	1	6.0	m2	113,900	6,834
	うき					1	1		1		1	100	×			6.0	m2			
	漏水・滞水					1	1	1			1	100	×			6.0	m2			
橋脚柱	ひびわれ			1			1	1			1	100	○	c	ひびわれ補修工+表面保護工	1	13.2	m2	28,397	3,748
	剥離・鉄筋露出				1		1	1			1	100	○	d	断面修復工	1	13.2	m2	113,900	15,034
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※取付金具を含めた添架物の全面交換が望ましい。(管理者協議要)														足場工		10	35.1	m2	9,576	33,611
諸経費														直接工事費						404,068
														共通仮設費		直人×40%	161,627			
														現場管理費		直人×110%	444,474			
														一般管理費		直人×55%	222,237			
修繕工事費用(税抜)																			1,232,406	
消費税(10%)																			123,240	
修繕工事費用(税込)																			1,355,646	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式															
0024	多々木橋	2		2020		RC2径間単純T桁															
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全 体										
主桁	その他(植生)	1				2	3	2			3	67	×			39.8	m2				
横桁	ひびわれ	2					2				2	0	×			2.4	m2				
床版	剥離・鉄筋露出			1			1	1			1	100	○	c	断面修復工(区分d)	1	28.1	m2	113,900	32,005	
	その他(植生)					1	1	1			1	100	×			28.1	m2				
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※取付金具を含めた添架物の全面交換が望ましい。(管理者協議要)														足場工		10	39.5	m2	9,576	37,825	
諸経費														直接工事費						69,830	
														共通仮設費		直人×40%		27,932			
														現場管理費		直人×110%		76,813			
														一般管理費		直人×55%		38,406			
修繕工事費用(税抜)																			212,981		
消費税(10%)																			21,298		
修繕工事費用(税込)																			234,279		

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式																
0028	前川橋(清田線)	1		2020		PC単純フレテン中空床版																
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)			
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全 体											
主桁	その他(落書き)	2				5	7				7	0	×			83.6						
床版	漏水・遊離石灰					1	1		1		1	100	×	(下記対策工参照)		10.0						
橋台・壁	漏水・滞水					1	1	1			1	100	×			5.6						
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増) As舗装への打替えが望ましい。														橋面防水工		100	79.6	m2	13,683	1,089,166		
														足場工(全面積20%を想定)		25	93.5	m2	9,576	223,839		
諸経費														直接工事費							1,313,005	
														共通仮設費		直人×40%		525,202				
														現場管理費		直人×110%		1,444,305				
														一般管理費		直人×55%		722,152				
修繕工事費用(税抜)																			4,004,664			
消費税(10%)																			400,466			
修繕工事費用(税込)																			4,405,130			

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																
0030	野出橋	1	2019	RC6径間単純T桁(+PC単純ホーステンT桁)																
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)	
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体									
主桁	ひびわれ	3					3				3	0	×			36.9	m2			
横桁	その他(ジャンカ)	1				1	2	1			2	50	○	e	断面修復工(剥離・鉄筋露出)	10	2.0	m2	227,200	45,440
床版	変形・欠損				1		1	1			1	100	×			22.8	m2			
	その他(番線残置)					1	1	1			1	100	×			22.8	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※足場工不要(桁下2m未満) ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増)														支承補修工(防錆、鋼板)		100	1.8	m2	5,461	9,829
														橋面防水工		100	29.9	m2	13,683	409,121
諸経費														直接工事費						464,390
														共通仮設費		直人×40%			185,756	
														現場管理費		直人×110%			510,829	
														一般管理費		直人×55%			255,414	
修繕工事費用(税抜)																			1,416,389	
消費税(10%)																			141,638	
修繕工事費用(税込)																			1,558,027	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																
0030	野出橋	2	2019	RC6径間単純T桁(+PC単純ホーステンT桁)																
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				算定対象	対策工種	修繕率(%)	概算数量	単位	単価(円)	工費(円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体								対策度数	
主桁	剥離・鉄筋露出	2				1	3		1		3	33	○	e	断面修復工	1	36.9	m2	227,200	83,836
	変形・欠損	2		1			3	1			3	33	×			36.9	m2			
横桁	ひびわれ	2					2				2	0	×			2.0	m2			
床版	剥離・鉄筋露出					1		1	1		1	100	○	d	断面修復工	1	36.9	m2	113,900	42,029
橋脚梁	剥離・鉄筋露出					1		1	1		1	100	○	d	断面修復工	1	7.0	m2	113,900	7,973
	うき						1	1	1			1	100	×			7.0	m2		
	補修・補強材の損傷				1			1	1			1	100	×			7.0	m2		
	変形・欠損				1			1	1			1	100	×			7.0	m2		
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※足場工不要(桁下2m未満) ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増)														支承補修工(防錆、鋼板)		100	1.8	m2	5,461	9,829
														橋面防水工		100	29.9	m2	13,683	409,121
諸経費														直接工事費						552,788
														共通仮設費		直人×40%				221,115
														現場管理費		直人×110%				608,066
														一般管理費		直人×55%				304,033
修繕工事費用(税抜)																			1,686,002	
消費税(10%)																			168,600	
修繕工事費用(税込)																			1,854,602	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式															
0030	野出橋	3		2019		RC6径間単純T桁(+PC単純ホーステン桁)															
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	うき	1				2	3	2			3	67	○	e 断面修復工(剥離・鉄筋露出)	1	36.9	m2	227,200	83,836		
	その他(ジャンカ)	2				1	3	1			3	33	×			36.9	m2				
横桁	ひびわれ	2				2					2	0	×			2.0	m2				
床版	床版ひびわれ	1				1					1	0	×			22.8	m2				
橋脚柱	その他(摩耗)					1	1	1			1	100	×			6.0	m2				
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増)														支承補修工(防錆・銅板)		100	1.8	m2	5,461	9,829	
														橋面防水工		100	29.9	m2	13,683	409,121	
														足場工		10	32.6	m2	9,576	31,217	
諸経費														直接工事費						534,003	
														共通仮設費		直人×40%		213,601			
														現場管理費		直人×110%		587,403			
														一般管理費		直人×55%		293,701			
修繕工事費用(税抜)																		1,628,708			
消費税(10%)																		162,870			
修繕工事費用(税込)																		1,791,578			

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式															
0030	野出橋	4		2019		RC6径間単純T桁(+PC単純ホーステン桁)															
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	漏水・遊離石灰	2				1	3			1		3	33	×			36.9	m2			
	うき	1				2	3	2				3	67	○	e	断面修復工(剥離・鉄筋露出)	1	36.9	m2	227,200	83,836
	その他(ジャンカ)	2				1	3			1		3	33	×		「うき」で算定		36.9	m2		
横桁	ひびわれ	1		1			2	1				2	50	○	c	ひびわれ補修工+表面保護工	25	2.0	m2	16,046	8,023
	漏水・遊離石灰	1			1		2	1				2	50	×				2.0	m2		
	補修・補強材の損傷	1		1			2	1				2	50	×				2.0	m2		
床版	剥離・鉄筋露出					1	1	1				1	100	○	e	断面修復工(剥離・鉄筋露出)	1	22.8	m2	227,200	51,801
	その他(異物痕)					1	1	1				1	100	×				22.8	m2		
橋脚柱	変形・欠損			1			1	1				1	100	×				6.00	m2		
	その他(摩耗)					1	1	1				1	100	×				6.00	m2		
橋脚梁	ひびわれ				1		1	1				1	100	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	1	7.00	m2	43,956	3,076
	剥離・鉄筋露出					1	1	1				1	100	○	e	断面修復工(剥離・鉄筋露出)	10	7.00	m2	227,200	159,040
	漏水・遊離石灰					1	1	1				1	100	×				7.00	m2		
	うき					1	1	1				1	100	×				7.00	m2		
	補修・補強材の損傷			1			1					1	0	×				7.00	m2		
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増)														支承補修工(防錆、銅板)		100	1.8	m2	5,461	9,829	
														橋面防水工		100	29.9	m2	13,683	409,121	
														足場工		25	32.6	m2	9,576	78,044	
諸経費														直接工事費						802,770	
														共通仮設費		直人×40%		321,108			
														現場管理費		直人×110%		883,047			
														一般管理費		直人×55%		441,523			
修繕工事費用(税抜)																			2,448,448		
消費税(10%)																			244,844		
修繕工事費用(税込)																			2,693,292		

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																	
0030	野出橋	5	2019	RC6径間単純T桁(+PC単純ホーステン桁)																	
部材	損傷の種類	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	ひびわれ	2		1			3	1			3	33	○	c	ひびわれ補修工+表面保護工	1	36.9	m2	16,046	5,920	
	漏水・遊離石灰	2		1			3			1	3	33	×				36.9	m2			
	その他(ジャンカ)	2				1	3			1	3	33	○	e	断面修復工(剥離・鉄筋露出)	1	36.9	m2	227,200	83,836	
横桁	その他(ジャンカ)	1				1	2	1			2	50	○	e	断面修復工(剥離・鉄筋露出)	5	2.0	m2	227,200	22,720	
床版	剥離・鉄筋露出					1	1	1			1	100	○	e	断面修復工		22.8	m2	227,200	0	
	漏水・遊離石灰					1	1			1	1	100	×				22.8	m2			
	床版ひびわれ				1		1	1			1	100	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	1	22.8	m2	31,605	7,205	
	その他(ジャンカ)					1	1			1	1	100	×		「剥離・鉄筋露出」で算定		22.8	m2			
橋脚柱	うき					1	1	1			1	100	×				6.00	m2			
	変形・欠損				1		1	1			1	100	×				6.00	m2			
	その他(摩耗)					1	1	1			1	100	×				6.00	m2			
橋脚梁	剥離・鉄筋露出					1	1	1			1	100	○	e	断面修復工	1	7.00	m2	227,200	15,904	
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増)														支承補修工(防錆、銅板)		100	1.8	m2	5,461	9,829	
														橋面防水工		100	29.9	m2	13,683	409,121	
														足場工		25	32.6	m2	9,576	78,044	
諸経費														直接工事費						632,579	
														共通仮設費		直人×40%		253,031			
														現場管理費		直人×110%		695,836			
														一般管理費		直人×55%		347,918			
修繕工事費用(税抜)																		1,929,364			
消費税(10%)																		192,936			
修繕工事費用(税込)																		2,122,300			

概算工事費算定表

橋梁番号		橋梁名		径間番号		調査年		上部構造形式													
0030		野出橋		6		2019		R06径間単純T桁(+PC単純ホーステンT桁)													
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全 体										
主桁	変形・欠損	1		1		1	3	1	1		3	67	○	e	断面修復工(剥離・鉄筋露出)		36.9	m2	227,200	0	
横桁	剥離・鉄筋露出	2				1	3	1			3	33	○	e	断面修復工	5	2.0	m2	227,200	22,720	
	その他(鳥の巣)	2				1	3				3	0	×				2.0	m2			
橋脚壁	うき					1	1	1			1	100	×				15.8	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増)														支承補修工(防錆、銅板)		100	1.8	m2	5,461	9,829	
														橋面防水工		100	29.9	m2	13,683	409,121	
														足場工		10	32.6	m2	9,576	31,217	
諸経費														直接工事費						472,887	
														共通仮設費		直人×40%		189,154			
														現場管理費		直人×110%		520,175			
														一般管理費		直人×55%		260,087			
修繕工事費用(税抜)																			1,442,303		
消費税(10%)																			144,230		
修繕工事費用(税込)																			1,586,533		

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号					調査年	上部構造形式												
0030	野出橋	7					2019	PC単純ボスピン桁(+RC6径間単純T桁)												
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				算定対象	対策工種	修繕率(%)	概算数量	単位	単価(円)	工費(円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体								対策度数	
主桁	剥離・鉄筋露出	1				2	3	2			3	67	○	e 断面修復工	1	131.8	m2	227,200	299,449	
	変形・欠損	2		1			3	1			3	33	×			131.8	m2			
	その他(ジャンカ)	2				1	3	1			3	33	×			131.8	m2			
横桁	漏水・遊離石灰	4			1		5	1			5	20	×			11.0	m2			
	その他(鳥の巣)	3				2	5				5	0	×			11.0	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増)													支承補修工(防錆)		100	6	箇所	185,290	1,111,740	
													橋面防水工		100	54.0	m2	13,683	738,882	
													足場工		10	64.8	m2	9,576	62,052	
諸経費													直接工事費						2,212,123	
													共通仮設費		直人×40%					884,849
													現場管理費		直人×110%					2,433,335
													一般管理費		直人×55%					1,216,667
修繕工事費用(税抜)																	6,746,974			
消費税(10%)																	674,697			
修繕工事費用(税込)																	7,421,671			

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年		上部構造形式																
0032	野上橋	1	2019		RC3径間単純T桁																
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数							対策区分箇所数			対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	剥離・鉄筋露出	2				1	3	1			3	33	○	e 断面修復工	1	39.4	m2	227,200	89,516		
	その他(鳥の巣)	2				1	3				3	0	×								
横桁	ひびわれ	2					2				2	0	×			2.4	m2				
床版	剥離・鉄筋露出					1	1	1			1	100	○	e 断面修復工	1	33.3	m2	227,200	75,657		
橋台胸壁	漏水・遊離石灰					1		1	1		1	100	×								
橋台縦壁	その他(摩耗)					1	1	1			1	100	×			12.2	m2				
橋脚壁	変形・欠損			1			1	1			1	100	×			24.0	m2				
	その他(摩耗)					1	1	1			1	100	×			24.0	m2				
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														足場工		5	45.5	m2	9,576	21,785	
諸経費														直接工事費						186,958	
														共通仮設費		直人×40%		74,783			
														現場管理費		直人×110%		205,653			
														一般管理費		直人×55%		102,826			
修繕工事費用(税抜)																		570,220			
消費税(10%)																		57,022			
修繕工事費用(税込)																		627,242			

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式															
0032	野上橋	2		2019		RC3径間単純T桁															
部材	損傷の種類	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	剥離・鉄筋露出	2				1	3	1				3	33	○	e 断面修復工	1	39.4	m2	227,200	89,516	
	その他(鳥の巣)	1				2	3					3	0	×			39.4	m2			
横桁	ひびわれ	2					2					2	0	×			2.4	m2			
床版	漏水・遊離石灰				1		1	1				1	100	×			33.3	m2			
橋脚壁	その他(摩耗)					1	1	1				1	100	×			23.0	m2			
橋脚梁	うき					1	1	1				1	100	×			8.8	m2			
	変形・欠損			1			1	1				1	100	×			8.8	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														足場工		5	45.5	m2	9,576	21,785	
諸経費														直接工事費				111,301			
														共通仮設費				直人×40%	44,520		
														現場管理費				直人×110%	122,431		
														一般管理費				直人×55%	61,215		
修繕工事費用(税抜)														339,467							
消費税(10%)														33,946							
修繕工事費用(税込)														373,413							

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式														
0032	野上橋	3		2019		RC3径間単純T桁														
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)	
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体									
主桁	腐食			1	1		2	1	1		2	100	○	d 塗装塗替工+あて板補修工	25	43.5	m2	46,560	506,340	
	防食機能の劣化					2	2	1	1		2	100	×			43.5	m2			
	剥離・鉄筋露出	1				2	3	2			3	67	○	e 断面修復工	1	39.4	m2	227,200	89,516	
	漏水・遊離石灰	2			1		3	1			3	33	×			39.4	m2			
	うき	2				1	3	1			3	33	×			39.4	m2			
横桁	腐食				1		1	1			1	100	○	d 塗装塗替工+あて板補修工	50	5.1	m2	46,560	118,728	
	防食機能の劣化					1	1	1			1	100	×			5.1	m2			
床版	剥離・鉄筋露出					1	1	1			1	100	○	e 断面修復工	1	41.9	m2	227,200	95,196	
	その他(鳥の巣)					1	1				1	0	×			41.9	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														支承補修工(防錆)	100	3	箇所	185,290	555,870	
														支承補修工(台座)	100	2	箇所	173,720	347,440	
														足場工	5	54.00	m2	9,576	25,855	
														環境対策資機材費(塗装)	100	1	橋	3,720,000	3,720,000	
諸経費														直接工事費					5,458,945	
														共通仮設費					直人×40%	2,183,578
														現場管理費					直人×110%	6,004,839
														一般管理費					直人×55%	3,002,419
修繕工事費用(税抜)																			16,649,781	
消費税(10%)																			1,664,978	
修繕工事費用(税込)																			18,314,759	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号			調査年		上部構造形式												
0042	河原橋	1			2020		PC単純プレテン中空床版												
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全 体								
主桁	その他(落書き)	2				5	7				7	0	×			71.9	m2		
床版	漏水・遊離石灰					1	1		1		1	100	×	(下記対策工参照)		7.1	m2		
橋台縦壁	漏水・滞水					2	2	2			2	100	×			1.0	m2		
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※足場工不要(上部構造での対策無し)														路面補修工	100	8.4	m2	3,330	27,972
														橋面防水工	100	66.4	m2	9,122	605,700
														高欄補修工(塗装)	100	31.6	m	11,514	363,842
														伸縮装置取替工	100	8.4	m	221,200	1,858,080
諸経費														直接工事費				2,855,594	
														共通仮設費		直人×40%	1,142,237		
														現場管理費		直人×110%	3,141,153		
														一般管理費		直人×55%	1,570,576		
修繕工事費用(税抜)																		8,709,560	
消費税(10%)																		870,956	
修繕工事費用(税込)																		9,580,516	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式															
0085	西の宮橋	1		2021		RC単純T桁															
部材	損傷の種類	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				算定対象	対策工種	修繕率(%)	概算数量	単位	単価(円)	工費(円)			
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体								度数		
主桁	ひびわれ	1		1			2	1			2	50	○	c	ひびわれ補修工+表面保護工	5	52.9	m2	16,046	42,441	
	剥離・鉄筋露出	1		1			2	1			2	50	×				52.9	m2			
	うき					2	2				2	2	100	○	e	断面修復工(t=60mm)	1	52.9	m2	227,200	120,188
横桁	(損傷無し)						0										5.3	m2			
床版	剥離・鉄筋露出	2			1		3		1		3	33	○	d	断面修復工(t=30mm)	1	40.3	m2	113,900	45,901	
橋台胸壁	漏水・滞水					2	2	2			2	100	×				10.0	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装の表層打換えを想定(単価～50%増)															支承補修工(防錆、鋼板)	100	0.3	m2	5,461	1,638	
															桁端止水工	100	7.2	m2	50,000	360,000	
															舗装打換え工(コン、表層)	100	45.4	m2	4,995	226,573	
															足場工	25	52.9	m2	9,576	126,690	
諸経費														直接工事費				923,431			
														共通仮設費		直人×40%	369,372				
														現場管理費		直人×110%	1,015,774				
														一般管理費		直人×55%	507,887				
修繕工事費用(税抜)																		2,816,464			
消費税(10%)																		281,646			
修繕工事費用(税込)																		3,098,110			

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式														
0097	御門橋	1		2021		PC単純プレテン床版														
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)	
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全 体									
主桁	剥離・鉄筋露出	12		1			13	1			13	8	○	c	断面修復工 (t=30mm)	1	45.8	m2	113,900	52,166
床版	漏水・遊離石灰					12	12		12		12	100	○	e	(橋面補修で対応)		2.6	m2		
橋台胸壁	変形・欠損	1				1	2		1		2	50	○	e	断面修復工 (t=30mm)	5	5.5	m2	113,900	31,322
橋台堅壁	漏水・遊離石灰	1			1		2	1			2	50	×				13.8	m2		
	漏水・滞水					2	2	2			2	100	×				13.8	m2		
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※コンクリート舗装で補修跡有り。(単価～50%増) As舗装への打替えが望ましい。														橋面防水工		100	44.0	m2	13,683	602,052
														足場工		10	50.6	m2	9,576	48,454
諸経費														直接工事費						733,994
														共通仮設費		直人×40%	293,597			
														現場管理費		直人×110%	807,393			
														一般管理費		直人×55%	403,696			
修繕工事費用(税抜)																				2,238,680
消費税(10%)																				223,868
修繕工事費用(税込)																				2,462,548

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式															
0114	無名橋48	1		2022		鋼単純鈑桁															
部材	損傷の種類	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工程	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体										
主桁	腐食			2			2		2		2	100	○	c	塗装塗替工	100	37.6	m2	30,340	1,140,784	
	防食機能の劣化						2	2		2		2	100	×			37.6	m2			
横桁	腐食				3			3		3		3	100	○	c	塗装塗替工	100	6.5	m2	30,340	197,210
	防食機能の劣化						3	3		3		3	100	×			6.5	m2			
床版	剥離・鉄筋露出	2				1		3	1			3	33	○	d	断面修復工(t=30mm)	1	30.3	m2	113,900	34,511
	漏水・遊離石灰	2				1		3				3	0	×			30.3	m2			
	床版ひびわれ	2				1		3		1		3	33	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	25	30.3	m2	31,605	239,407
橋台	(損傷無し)							0									11.9	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工程														高欄取替工(鋼製)		100	2.0	m	57,328	114,656	
														足場工		100	36.6	m2	9,576	350,242	
														環境対策資機材費(塗装)		100	1	橋	3,720,000	3,720,000	
諸経費														直接工事費				5,796,810			
														共通仮設費				直人×40%	2,318,724		
														現場管理費				直人×110%	6,376,491		
														一般管理費				直人×55%	3,188,245		
修繕工事費用(税抜)																			17,680,270		
消費税(10%)																			1,768,027		
修繕工事費用(税込)																			19,448,297		

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																
0122	薬師前橋	1	2022	PC単純プレテンT桁																
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)	
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体									
主桁	剥離・鉄筋露出	4		1			5	1			5	20	×			148.7	m2			
横桁	漏水・遊離石灰	2				1	3		1		3	33	×			7.8	m2			
	定着部の異常	2		1			3		1		3	33	○	c	断面修復工(定着部)	100	1.0	箇所	123,060	123,060
床版	漏水・遊離石灰	4			1		5	1			5	20	×			8.6	m2			
橋台堅壁	漏水・滞水					2	2	2			2	100	×			19.2	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														橋面防水工		100	57.2	m2	9,122	521,778
														足場工		10	68.6	m2	9,576	65,729
諸経費														直接工事費				710,567		
														共通仮設費		直人×40%		284,226		
														現場管理費		直人×110%		781,623		
														一般管理費		直人×55%		390,811		
修繕工事費用(税抜)																			2,167,227	
消費税(10%)																			216,722	
修繕工事費用(税込)																			2,383,949	

概算工事費算定表

橋梁番号		橋梁名		径間番号		調査年		上部構造形式											
0132		無名橋62		1		2022		溝形鋼桁、RC床版、RCI桁											
部材	損傷の種別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体								
主桁-Mt	腐食				2		2		2		2	100	○	d 塗装塗替え工 (b相応)	100	4.8	m2	5,461	26,212
	防食機能の劣化					2	2		2		2	100	×			4.8	m2		
主桁-Co	剥離・鉄筋露出	5			12		17		12		17	71	○	d 断面修復工 (t=30mm)	5	26.3	m2	113,900	149,778
橋台	(損傷無し)						0									28.1	m2		
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※足場工不要 (桁下2m未満) ※主桁塗装は小規模であり、3種ケレンで対応																			
諸経費														直接工事費				175,990	
														共通仮設費				直人×40%	70,396
														現場管理費				直人×110%	193,589
														一般管理費				直人×55%	96,794
修繕工事費用(税抜)																			536,769
消費税(10%)																			53,676
修繕工事費用(税込)																			590,445

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式															
0138	無名橋67	1		2022		RC現場打ボックスカルバート															
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				算定対象	対策工種	修繕率(%)	概算数量	単位	単価(円)	工費(円)			
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体								対策度数		
頂版	ひびわれ					1	1				1	0	○	e	ひびわれ充填工+表面被覆工	25	76.8	m2	51,155	982,176	
	漏水・遊離石灰				1		1				1	0	×				76.8	m2			
側壁	ひびわれ				2		2				2	0	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	25	71.1	m2	31,605	561,778	
	剥離・鉄筋露出	1		1			2				2	0	×				71.1	m2			
	漏水・遊離石灰				2		2				2	0	×				71.1	m2			
	その他(落書き)					2	2				2	0	×				71.1	m2			
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種 ※ 足場工～安全対策(交通誘導員1名)を含む														路面補修工(橋面)		100	44.1	m2	3,330	146,786	
														足場工(移動足場)		100	5	日	32,400	162,000	
諸経費														直接工事費						1,852,740	
														共通仮設費		直人×40%		741,096			
														現場管理費		直人×110%		2,038,014			
														一般管理費		直人×55%		1,019,007			
修繕工事費用(税抜)																				5,650,857	
消費税(10%)																				565,085	
修繕工事費用(税込)																				6,215,942	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式																		
0139	瀬川橋	1		2022		RC単純T桁																		
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)					
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体													
主桁	ひびわれ				2		2		2		2	100	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	25	72.0	m2	31,605	568,890				
	剥離・鉄筋露出				2		2		2		2	100	○	d	断面修復工 (t=30mm)	5	72.0	m2	113,900	410,040				
	漏水・遊離石灰	1			1		2	1			2	50	×				72.0	m2						
横桁	剥離・鉄筋露出	2			1		3	1			3	33	○	d	断面修復工 (t=30mm)	1	6.2	m2	113,900	7,061				
	漏水・遊離石灰	2			1		3	1			3	33	×				6.2	m2						
	その他(鳥の巣)	2				1	3	1			3	33	×				6.2	m2						
床版	剥離・鉄筋露出	1			2		3		2		3	67	○	d	断面修復工 (t=30mm)	10	57.0	m2	113,900	649,230				
	床版ひびわれ	2			1		3		1		3	33	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	25	57.0	m2	31,605	450,371				
橋台胸壁	漏水・滞水					2	2	2			2	100	×				10.8	m2						
	変形・欠損	1		1			2	1			2	50	×				10.8	m2						
橋台堅壁	漏水・滞水					2	2	2			2	100	×				28.8	m2						
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														支承補修工(防錆、銅板)		100	1.2	m2	5,461	6,553				
														足場工		100	49.0	m2	32,400	1,586,304				
諸経費														直接工事費								3,678,449		
														共通仮設費		直人×40%								1,471,379
														現場管理費		直人×110%								4,046,293
														一般管理費		直人×55%								2,023,146
修繕工事費用(税抜)																			11,219,267					
消費税(10%)																			1,121,926					
修繕工事費用(税込)																			12,341,193					

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式																			
0150	無名橋78	1		2022		PC単純プレキャスト床版																			
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)						
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全 体														
主桁	漏水・滯水					5	5	5			5	100	×			27.5	m2								
橋台・縦壁	漏水・滯水					2	2	2			2	100	×			4.5	m2								
橋台基礎	洗掘	1				1	2			1	2	50	○	e	洗掘対策工	100	3.0	m	16,354	49,062					
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種															護岸復旧工	100	6.0	m2	16,610	99,660					
諸経費														直接工事費				148,722							
														共通仮設費				直人×40%		59,488					
														現場管理費				直人×110%		163,594					
														一般管理費				直人×55%		81,797					
修繕工事費用(税抜)																			453,601						
消費税(10%)																			45,360						
修繕工事費用(税込)																			498,961						

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号		調査年		上部構造形式														
0159	無名橋85	1		2023		RC単純中実床版														
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)	
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全体									
主桁	ひびわれ		1				1	1			1	100	○	b	表面保護工(含浸材塗布工)	25	32.9	m2	7,646	62,888
	剥離・鉄筋露出					1	1		1		1	100	○	e	断面修復工(t=60mm)	10	32.9	m2	227,200	747,488
	漏水・遊離石灰					1	1		1		1	100	×				32.9	m2		
	うき					1	1		1		1	100	×				32.9	m2		
	変色・劣化					1	1	1			1	100	×				32.9	m2		
橋台・堅壁	漏水・滞水					2	2	2			2	100	×				39.6	m2		
	変形・欠損	1		1			2	1			2	50	×				39.6	m2		
	その他(型枠残存)	1				1	2	1			2	50	×				39.6	m2		
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														橋面防水工		100	24.4	m2	9,122	222,394
														桁端止水工		100	9.2	m	50,000	460,000
														防護柵補修工		100	10.6	m	11,514	122,048
														足場工		100	26.5	m2	9,576	253,764
諸経費														直接工事費				1,868,582		
														共通仮設費		直人×40%		747,432		
														現場管理費		直人×110%		2,055,440		
														一般管理費		直人×55%		1,027,720		
修繕工事費用(税抜)																			5,699,174	
消費税(10%)																			569,917	
修繕工事費用(税込)																			6,269,091	

概算工事費算定表

橋梁番号	橋梁名	径間番号	調査年	上部構造形式																	
0162	前川橋(鳥居平中央線)	1	2023	RC単純T桁																	
部材	損傷の種類別	部材毎の損傷度数						対策区分箇所数				対策 度数	算定 対象	対策工種	修繕率 (%)	概算数量	単位	単価 (円)	工費 (円)		
		a	b	c	d	e	Σ	B	C1	C2	全 体										
主桁	ひびわれ	1			4		5			4		5	80	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	25	112.1	m2	31,605	885,730
	剥離・鉄筋露出	1			3	1	5	1	3			5	80	○	e	断面修復工(t=60mm)	10	112.1	m2	227,200	2,546,912
	漏水・遊離石灰			1	1		2	2				2	100	×			112.1	m2			
	うき	2				3	5			3		5	60	×			112.1	m2			
	変色・劣化	3				2	5	2				5	40	×			112.1	m2			
	漏水・滞水	4				1	5	1				5	20	×			112.1	m2			
横桁	漏水・遊離石灰				2		2	2				2	100	×				7.3	m2		
	変色・劣化					2	2	2				2	100	×				7.3	m2		
床版	剥離・鉄筋露出	2		1	3		6	4				6	67	○	d	断面修復工(t=30mm)	1	59.8	m2	113,900	68,112
	漏水・遊離石灰	5			1		6	1				6	17	×				59.8	m2		
	変色・劣化	5				1	6	1				6	17	×				59.8	m2		
	漏水・滞水	5				1	6	1				6	17	×				59.8	m2		
橋台胸壁	漏水・遊離石灰			1	1		2					2	0	×				23.2	m2		
橋台堅壁	ひびわれ	1			1		2			1		2	50	○	d	ひびわれ補修工+表面被覆工	10	91.3	m2	43,956	401,318
	剥離・鉄筋露出	1		1			2	1				2	50	○	c	断面修復工(t=30mm)	1	91.3	m2	113,900	103,990
	漏水・遊離石灰				2		2	2				2	100	×				91.3	m2		
	うき	1				1	2			1		2	50	×				91.3	m2		
	変色・劣化	1				1	2	1				2	50	×				91.3	m2		
橋台その他	漏水・滞水				2		2	2				2	100	×				91.3	m2		
	変形・欠損	1		1			2	1				2	50	×				23.2	m2		
主要部材以外のその他部材 対策工 仮設工、他必要工種														橋面防水工		100	81.4	m2	9,122	742,713	
														支承補修工(防錆、鋼板)		100	1.8	m2	5,461	9,829	
														桁端止水工		100	13.8	m	50,000	690,000	
														地覆打換工(Gr取付)		100	23.6	m	57,540	1,357,944	
														足場工		100	87.3	m2	9,576	836,176	
諸経費														直接工事費				7,642,724			
														共通仮設費		直人×40%		3,057,089			
														現場管理費		直人×110%		8,406,996			
														一般管理費		直人×55%		4,203,498			
修繕工事費用(税抜)														23,310,307							
消費税(10%)														2,331,030							
修繕工事費用(税込)														25,641,337							

(7) その他測試費の算定結果

前述(5)の考え方に基づき、本計画で算定した測試費のうち「定期点検委託費」と「計画更新委託費」の算定結果は、表 3-8 のとおり。これら費用の算定根拠・内訳については、巻末資料（添付資料-4「委託費に関する検討」）を参照のこと。

なお、点検費用については「道路橋定期点検要領」（H31.2、国土交通省道路局）に基づいた「公表歩掛（道路橋定期点検業務積算資料/H31.2/国土交通省道路局、共通歩掛）」によるものであるため、点検要領が改定した場合には費用の見直しを行う必要がある。

表 3-8 定期点検及び長寿命化修繕計画更新に係る費用 一覧

	実施予定年度	事業対象橋梁	対策費用 (千円、税込)
定期点検-1	令和 6 年度 (以降 5 年毎)	橋長 15m 超 24 橋 ※令和元年度での実績より	11,319 千円
定期点検-2	(同上)	橋長 15m 超 2 橋 (跨線橋) ※令和元年度での実績より	6,446 千円
定期点検-3	令和 7 年度 (以降 5 年毎)	橋長 15m 以下 1 橋 橋長 15m 超 18 橋 ※令和 2 年度での実績より	7,458 千円
定期点検-4	令和 8 年度 (以降 5 年毎)	橋長 15m 以下 43 橋 ※令和 3 年度での実績より	12,243 千円
定期点検-5	令和 9 年度 (以降 5 年毎)	橋長 15m 以下 43 橋 ※令和 4 年度での実績より	12,782 千円
定期点検-6	令和 10 年度 (以降 5 年毎)	橋長 15m 以下 25 橋 ※令和 5 年度での実績より	7,469 千円
長寿命化修繕 計画策定	令和 10 年度 (以降 5 年毎)	計画対象の全 156 橋	7,370 千円

3.2 対策内容と実施時期

(1) 個々の橋梁の修繕・架替え等に関する計画

今後 10 年間ににおける短期の維持管理計画として、橋梁毎の修繕及び架替え・定期点検・計画策定等を実施する予定時期について、次頁以降の表 3-9～3-12 の工程表に示すとおりである。

表 3-9 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は、架替時期（橋長 15m 以上）

No	橋梁番号	橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	橋種	健全性の診断	対策の内容・時期											補修の主要工種		橋梁毎の概算事業費(千円)
												2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)	2033(R15)			
1	0001	高橋	1級	西大路鎌掛線	50.3	1965	59	2019	2024	鋼橋	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検	調査・設計	補修		計画策定	塗装塗替工	断面修復工	33,842
2	0002	内池橋	1級	内池水口線	84.0	2004	20	2019	2024	その他	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
3	0003	西の口橋	1級	村井奥師線	18.7	1982	42	2019	2024	PC橋	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
4	0004	迫栄橋	1級	深山口水口線	27.1	1987	37	2019	2024	その他	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
5	0005	宮前橋	1級	日野南部線	19.7	1985	39	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
6	0006	牛飼道橋	2級	北脇野出線	51.0	1966	58	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
7	0007	上野田橋	2級	上野田線	20.2	1973	51	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
8	0008	高橋	2級	内池山本線	15.3	1971	53	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
9	0009	前垣外橋	2級	鎌掛字内線	15.2	1969	55	2020	2025	鋼橋	Ⅰ	計画策定		定期点検			計画策定		定期点検			計画策定			
10	0010	藤切橋	2級	蔵王熊野線	30.0	1984	40	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
11	0011	原古野橋	2級	原古野線	17.0	1983	41	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
12	0012	別所橋	その他	旧別所橋線	81.9	1930	94	2019	2024	RC橋	Ⅲ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
13	0013	木津橋	その他	深山口木津線	81.9	1974	50	2019	2024	鋼橋	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
14	0014	安土橋	その他	安土線	45.0	1966	58	2019	2024	PC橋	Ⅱ	計画策定	補修(点検)				計画策定	定期点検				計画策定	断面修復工	橋面防水工	20,319
15	0015	南橋	その他	南蔵王線	28.6	1985	39	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
16	0016	大正橋	その他	三十坪駅前線	24.3	1965	59	2019	2024	鋼橋	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
17	0017	松尾橋	その他	横町線	15.5	1973	51	2019	2024	PC橋	Ⅲ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
18	0018	大谷橋	その他	大谷線	19.3	1990	34	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
19	0019	六枚橋	その他	松尾河原線	16.8	1973	51	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
20	0020	浄光寺橋	その他	御舎利町線	17.0	1973	51	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
21	0021	宮前橋	その他	北脇中在寺線	37.5	2013	11	2019	2024	鋼橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
22	0022	西川原橋	その他	中之郷線	24.7	1969	55	2019	2024	鋼橋	Ⅲ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
23	0023	五左衛門橋	その他	杣線	20.8	1977	47	2019	2024	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
24	0024	多々木橋	その他	音羽蔵王線	19.0	1930	94	2020	2025	RC橋	Ⅱ	計画策定		定期点検			計画策定		調査・設計	補修		計画策定	断面修復工	ひびわれ補修工	7,890
25	0025	本宮橋	その他	西蔵王線	17.4	1971	53	2020	2025	鋼橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
26	0026	毛止野橋	その他	北畑蔵王線	18.7	1971	53	2020	2025	鋼橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
27	0027	伊佐目橋	その他	原線	17.0	1972	52	2020	2025	鋼橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
28	0028	前川橋	その他	清田線	19.9	1972	52	2020	2025	PC橋	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検			調査・設計	補修(計画)	橋面防水工		8,005
29	0029	野川橋	その他	中在寺野出線	15.6	1980	44	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
30	0030	野出橋	その他	野出旧県道線	72.3	1929	95	2019	2024	混合橋	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検		調査・設計	補修(計画)	断面修復工	橋面防水工	26,029	
31	0031	杣橋	その他	杣半川原線	22.7	1986	38	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定		定期点検			計画策定		定期点検			計画策定			
32	0032	野上橋	その他	中在寺野神線	30.3	1934	90	2019	2024	RC橋	Ⅱ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検		調査・設計		計画策定	断面修復工	支承補修工	8,000
33	0033	長沢橋	その他	東桜谷旧県道線	28.2	1978	46	2020	2025	その他	Ⅲ	計画策定		定期点検			計画策定		定期点検			計画策定			
34	0034	小綿向橋	その他	杣川原線	21.2	1984	40	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
35	0035	宮田橋	その他	南比都佐小学校線	16.9	1985	39	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
36	0036	新里之内橋	その他	里之内線	19.0	1995	29	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
37	0037	須原橋	その他	旧御代参街道線	19.7	—	—	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
38	0038	小嶽橋	その他	鎌掛深山口線	17.3	1987	37	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
39	0039	坪江橋	その他	萬徳寺線	29.4	1999	25	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
40	0040	原橋	その他	萬徳寺線	21.6	1957	67	2020	2025	鋼橋	Ⅱ	計画策定	補修(点検)				計画策定	定期点検	補修(点検)			計画策定	塗装塗替工	防護欄補修工	36,579
41	0041	青木ヶ原橋	その他	平代線	21.7	1985	39	2020	2025	PC橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
42	0042	河原橋	その他	河原鳥居平線	15.8	—	—	2020	2025	PC橋	Ⅱ	計画策定		定期点検			計画策定		定期点検		調査・設計	計画策定	橋面補修工		3,900
43	0043	無名橋1	その他	婆婆谷線	36.2	1994	30	2019	2024	鋼橋	Ⅰ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
44	0044	広域跨線橋(石原橋)	その他	石原鳥居平線	165.0	1974	50	2019	2024	PC橋	Ⅲ	計画策定	定期点検				計画策定	定期点検				計画策定			
今後の修繕・架替え事業費(千円)													20,319	25,474	0	0	0	0	25,105	27,732	22,500	23,434			
対象橋梁全ての合計													38,084	39,532	41,303	41,323	40,062	40,013	38,779	39,975	35,282	38,273			

表 3-10 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は、架替時期（橋長 15m 未満 1/3）

No	橋梁番号	橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年	供用年数	最新点検年次	次回点検年次	橋種	健全性の診断	対策の内容・時期										補修の主要工種	橋梁毎の概算事業費(千円)
												2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)	2033(R15)	
1	0045	無名橋2(出雲川橋)	1級	村井奥師線	13.6	1978	46	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
2	0046	宮前橋	1級	村井奥師線	6.1	1978	46	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
3	0049	無名橋5	その他	山本松尾線	7.4	—	—	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
4	0050	無名橋6	その他	大谷線	4.5	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
5	0051	無名橋7	その他	里之内線	3.2	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
6	0055	無名橋10	その他	御舎利町線	3.4	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
7	0056	無名橋11	その他	上大窪這上り線	2.5	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
8	0057	無名橋12	その他	大窪木津線	2.5	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
9	0058	山下下橋	その他	大窪木津線	2.8	—	—	2021	2026	その他	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
10	0059	野田川橋	その他	木津日田線	3.6	1950	74	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
11	0061	無名橋13	その他	善光寺線	2.0	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
12	0063	下出橋	その他	杉線	4.3	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
13	0064	上出橋	その他	杉線	4.4	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
14	0065	昭和橋	2級	奥之池線	12.5	1984	40	2021	2026	鋼橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
15	0066	坂口橋	2級	奥之池野村線	11.6	—	—	2022	2027	鋼橋	I	計画策定				定期点検	計画策定				定期点検	計画策定	
16	0067	無名橋14	1級	北脇仙線	4.8	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
17	0068	無名橋15	その他	奥之池野村線	2.2	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
18	0069	仁之切橋	2級	奥之池野村線	4.0	1963	61	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
19	0070	逆川橋	その他	奥之池野村線	6.0	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
20	0071	無名橋16	その他	北脇線	7.5	—	—	2021	2026	PC橋	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
21	0072	無名橋17	その他	北脇線	9.3	—	—	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
22	0073	無名橋18	その他	北脇線	9.3	—	—	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
23	0074	無名橋19	1級	中在寺石原線	12.4	—	—	2021	2026	鋼橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
24	0075	無名橋20	1級	中在寺石原線	6.8	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
25	0077	無名橋22	その他	中在寺野出線	7.0	—	—	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
26	0078	無名橋23	2級	北脇野出線	13.0	—	—	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
27	0079	無名橋24	2級	北脇野出線	3.1	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
28	0080	無名橋25	2級	北脇野出線	6.0	—	—	2021	2026	その他	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
29	0081	平熊橋	その他	平子熊野線	12.0	1968	56	2021	2026	PC橋	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
30	0082	無名橋26	2級	蔵王熊野線	5.8	—	—	2021	2026	RC橋	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
31	0084	無名橋28	1級	西大路鎌掛線	3.5	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
32	0085	西の宮橋	その他	鎌掛深山口線	12.6	1963	61	2021	2026	RC橋	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			撤去検討
33	0087	落合橋	その他	上駒月大野線	8.0	—	—	2022	2027	PC橋	I	計画策定				定期点検	計画策定				定期点検	計画策定	
34	0088	迫橋	2級	迫谷線	14.0	1968	56	2021	2026	鋼橋	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
35	0090	茶屋の橋	1級	深山口水口線	8.9	1969	55	2021	2026	PC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
36	0091	無名橋31	1級	内池水口線	2.9	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
37	0093	出雲川橋	その他	御代参線	6.2	1960	64	2021	2026	RC橋	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
38	0094	無名橋33	2級	必佐小学校十禅師線	3.6	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
39	0095	無名橋34	2級	必佐小学校十禅師線	2.1	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
40	0097	御門橋	その他	小御門十禅師線	11.0	1963	61	2021	2026	PC橋	II	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			架替え検討
41	0098	播原橋	その他	小御門十禅師線	2.5	1949	75	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
42	0101	無名橋38	その他	三十坪駅前線	2.0	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定			定期点検		計画策定			定期点検			
43	0102	無名橋39	その他	朝日野駅線	2.4	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定				定期点検	計画策定				定期点検	計画策定	
44	0103	雁掛橋	その他	猿橋線	10.5	1991	33	2022	2027	PC橋	I	計画策定				定期点検	計画策定				定期点検	計画策定	
45	0104	無名橋40	その他	杣小野線	7.3	—	—	2022	2027	PC橋	I	計画策定				定期点検	計画策定				定期点検	計画策定	

表 3-11 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は、架替時期（橋長 15m 未満 2/3）

No	橋梁 番号	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設年	供用 年数	最新 点検 年次	次回 点検 年次	橋種	健全性 の診断	対策の内容・時期										補修の主要工種		橋梁毎の 概算事業費 (千円)						
												2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)				2033 (R15)					
46	0105	無名橋41	その他	鳥居平安部居線	12.0	—	—	2020	2025	PC橋	I	計画策定			定期点検			計画策定			定期点検									
47	0107	無名橋43	その他	野出綺田線	3.1	—	—	2021	2026	RC橋	I	計画策定				定期点検		計画策定				定期点検								
48	0108	無名橋44	その他	野出山本線	7.0	2007	17	2021	2026	鋼橋	I	計画策定				定期点検		計画策定				定期点検								
49	0109	無名橋45	その他	鎌掛塗瀬線	3.6	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検							
50	0110	菖蒲谷橋	その他	下出線	9.2	1971	53	2022	2027	その他	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検							
51	0111	馬場橋	その他	下出線	9.2	1986	38	2022	2027	PC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定						定期点検						
52	0112	無名橋46	その他	堂之谷墓地線	9.3	—	—	2022	2027	鋼橋	II	計画策定					定期点検	計画策定						定期点検						
53	0113	無名橋47	その他	神前谷中畑線	9.1	—	—	2022	2027	鋼橋	II	計画策定			調査・設計	補修	定期点検	計画策定					定期点検	計画策定	塗装塗替工	ひびわれ補修工				19,570
54	0114	無名橋48	その他	中道線	10.5	—	—	2022	2027	鋼橋	II	計画策定					定期点検	調査・設計(R10)	補修				定期点検	計画策定	塗装塗替工	ひびわれ補修工				23,148
55	0115	無名橋49	その他	旧水口線	9.6	—	—	2022	2027	鋼橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
56	0117	無名橋51	その他	頓宮線	2.8	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
57	0118	無名橋52	その他	石小野線	13.0	—	—	2022	2027	PC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
58	0119	市の瀬川橋(坊出橋)	その他	中禅寺線	13.8	—	—	2022	2027	PC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
59	0120	小竹橋	その他	鎌掛深山口線	11.8	1964	60	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
60	0121	無名橋53	その他	深山口木津線	3.5	—	—	2022	2027	PC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
61	0122	薬師前橋	その他	鎌掛線	14.3	1990	34	2022	2027	PC橋	II	計画策定			調査・設計		定期点検	補修(計画)					定期点検	計画策定	断面修復工	橋面防水工				5,684
62	0123	無名橋54	その他	中在寺線	13.0	—	—	2022	2027	PC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
63	0124	無名橋55	その他	西明寺原線	5.2	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
64	0125	無名橋56	その他	松尾河原線	4.3	—	—	2022	2027	その他	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
65	0126	無名橋57	その他	松尾河原線	3.4	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
66	0127	無名橋58	その他	鳥居平線	2.9	1994	30	2021	2026	RC橋	I	計画策定				定期点検		計画策定				定期点検		計画策定						
67	0128	大橋	その他	川原徳原線	2.9	1980	44	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
68	0129	無名橋59	その他	上野田線	2.6	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
69	0131	無名橋61	その他	旧別所橋線	4.4	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
70	0132	無名橋62	その他	大窪音羽線	3.0	—	—	2022	2027	その他	II	計画策定			調査・設計	補修	定期点検	計画策定					定期点検	計画策定	塗装塗替工	断面修復工				3,490
71	0133	無名橋63	その他	北脇柚線	10.5	—	—	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
72	0135	無名橋65	その他	桜谷水源線	13.7	—	—	2022	2027	PC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
73	0136	無名橋66	その他	しゃくなげ谷線	4.3	—	—	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
74	0137	石楠花橋	その他	しゃくなげ谷線	9.5	1961	63	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
75	0138	無名橋67	その他	東山団地3号線	7.6	1976	48	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定	調査・設計	補修			定期点検	計画策定	ひびわれ補修工	路肩補修工				9,016
76	0139	瀬川橋	その他	鎌掛宇内線	13.6	1956	68	2022	2027	RC橋	II	計画策定			調査・設計		定期点検	補修(計画)					定期点検	計画策定	ひびわれ補修工	断面修復工				15,541
77	0140	無名橋68	その他	川向線	3.8	—	—	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
78	0141	無名橋69	その他	木津取付線	2.3	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
79	0143	無名橋71	その他	石原鳥居平線	3.0	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
80	0144	無名橋72	その他	石原鳥居平線	6.2	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
81	0145	無名橋73	その他	石原鳥居平線	3.6	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
82	0146	無名橋74	その他	北山3号線	11.6	—	—	2022	2027	PC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
83	0147	無名橋75	その他	出雲川自転車道線	3.5	—	—	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
84	0148	無名橋76	その他	山本松尾線	2.8	—	—	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
85	0149	無名橋77	その他	東桜谷旧県道線	3.4	—	—	2022	2027	RC橋	II	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
86	0150	無名橋78	その他	南比都佐小学校線	5.5	—	—	2022	2027	PC橋	II	計画策定			調査・設計		定期点検	補修(計画)					定期点検	計画策定	洗掘対策工					3,299
87	0151	宮前橋	1級	村井奥師線	12.5	1996	28	2023	2028	PC橋	I	計画策定					定期点検(計画)						定期点検(計画)							
88	0152	無名橋79	その他	旧御代参街道線	4.1	—	—	2022	2027	RC橋	I	計画策定					定期点検	計画策定					定期点検	計画策定						
89	0153	無名橋80	その他	横町線	2.5	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定						定期点検(計画)						定期点検(計画)						
90	0154	徳谷橋	その他	徳谷線	6.8	1986	38	2023	2028	RC橋	I	計画策定						定期点検(計画)						定期点検(計画)						

表 3-12 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は、架替時期（橋長 15m 未満 3/3）

No	橋梁 番号	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設年	供用 年数	最新 点検 年次	次回 点検 年次	橋種	健全性 の 診断	対策の内容・時期										補修の主要工種		橋梁毎の 概算事業費 (千円)		
												2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)				2033 (R15)	
91	0155	無名橋81	その他	瀬ヶ谷線	3.2	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
92	0156	無名橋82	その他	北畑野神線	4.1	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
93	0157	無名橋83	2級	豊田中山線	2.4	—	—	2023	2028	RC橋	Ⅱ	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
94	0158	無名橋84	2級	豊田中山線	2.1	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
95	0159	無名橋85	2級	豊田中山線	5.3	—	—	2023	2028	RC橋	Ⅱ	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)	断面修復工	橋面補修工		
96	0160	無名橋86	2級	鎌掛字内線	2.7	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
97	0161	無名橋87	その他	蔵王勝手谷線	8.3	—	—	2023	2028	PC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
98	0162	前川橋	その他	鳥居平中央線	11.8	—	—	2023	2028	RC橋	Ⅱ	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)	断面修復工	橋面補修工		
99	0163	無名橋88	その他	鳥居平中央線	3.9	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
100	0164	日枝橋	その他	下駒月中央線	9.5	1938	86	2023	2028	鋼橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
101	0165	無名橋89	その他	中山鑄物師線	3.1	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
102	0166	無名橋90	1級	大窪内池線	2.5	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
103	0167	無名橋91(五郎津橋)	その他	牧野野神線	9.3	1938	86	2023	2028	鋼橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
104	0168	西出橋	その他	下駒月西出線	10.0	1978	46	2023	2028	PC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
105	0169	棒川橋	その他	下駒月西出線	12.7	2000	24	2023	2028	PC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
106	0170	迫宮前橋	その他	城之越線	12.0	1992	32	2023	2028	PC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
107	0171	無名橋92	その他	工業団地7号線	4.6	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
108	0172	無名橋93	その他	河原鳥居平線	3.6	—	—	2023	2028	RC橋	Ⅱ	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
109	0173	無名橋94	その他	河原鳥居平線	4.3	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
110	0174	無名橋95	その他	日野中部1号線	3.0	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
111	0175	無名橋96	その他	日野中部22号線	2.5	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
112	0176	無名橋97	その他	小御門線	2.6	—	—	2023	2028	RC橋	I	計画策定					定期点検(計画)					定期点検(計画)				
今後の修繕・架替え事業費(千円)															0	6,600	29,060	28,541	25,223	22,248	6,216	0	0	0		
定期点検・修繕計画の小計															17,765	7,458	12,243	12,782	14,839	17,765	7,458	12,243	12,782	14,839		
対象橋梁全ての合計															38,084	39,532	41,303	41,323	40,062	40,013	38,779	39,975	35,282	38,273		

■ R5 日野町橋梁個別施設計画における年次計画の考え方

対策を行う橋梁毎の順番については、前述の2.1.5で検討した「対策優先順位」（表2-45）を適用した。この優先順位は、橋梁の状態の他に、橋梁が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等を考慮したものであり、通行に支障が出た場合における社会的損失に見合う程度となっている。

本計画では、検討した優先順位（：主として健全性の悪い橋梁から優先とした順番）に基本的に従うものとした。修繕の規模により年度予算内での対応が難しい場合は、**予算の平準化**を行い、次年度以降への先送り、または前年度への前倒しを行う考えとした。

■ 調査設計委託費の考慮について

各橋梁の修繕工事の実施にあたっては、設計図書（発注用図面・数量）を必要とするため、修繕費とは別に調査設計委託費（巻末資料「添付資料-4」参照）を年度計画に考慮する。

施設規模や修繕内容に見合った内容で、必要とする調査設計委託の概算費用を施設毎に算定する。

主な想定基本工種：計画準備、現地調査（外観変状調査、形状寸法調査）、打合せ協議
補修設計（コンクリート補修工設計（上・下部工）、橋面防水工設計（必要時）、
鋼橋塗装設計（鋼橋の場合）、施工計画、概算工事費算定）
※現地調査は架橋規模（径間数、橋面積）により、割増を行う。
※施設毎の修繕内容に合わせ、付属物の補修設計工種を追加する。
※架橋条件に合わせた仮設費と、材料種別に合わせた試験費をそれぞれ考慮する。

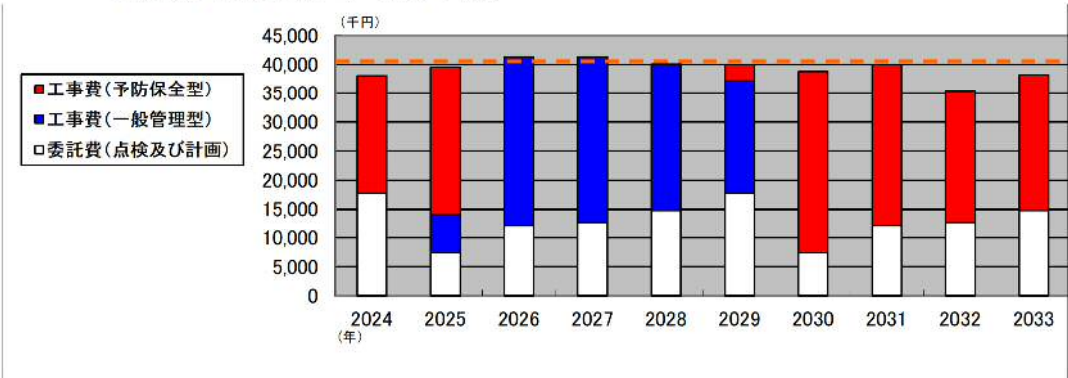
表 3-13 調査設計委託費

No	橋梁 番号	対象施設名	判 定	使用 材料	橋長 (m)	径間 数	BT 使用	橋面 防水	伸縮 取替	支承 防錆	塗膜 調査	備考他	調査設計費 (千円、税込)
1	0001	高橋(西大路鎌掛線)	Ⅱ	鋼橋	50.3	3	○				○		7,700
2	0014	安土橋	Ⅱ	PC橋	45.0	2	○	○				試験費:高	設計済
3	0024	多々木橋	Ⅱ	RC橋	19.0	2	○						6,300
4	0028	前川橋(清田線)	Ⅱ	PC橋	19.9	1		○				橋面補修のみ	3,600
5	0030	野出橋	Ⅱ	混合橋	72.3	7	○	○		○			7,000
6	0032	野上橋	Ⅱ	RC橋	30.3	3	○			○	○	P2-A2拡幅: Mt	8,000
7	0040	原橋	Ⅱ	鋼橋	21.6	1	○	○	○	○	○		設計済
8	0042	河原橋	Ⅱ	PC橋	15.8	1		○	○			橋面補修のみ	3,900
9	0085	西の宮橋	Ⅱ	RC橋	12.6	1				※		※鋼板支承:設計無	2,800
10	0097	御門橋	Ⅱ	PC橋	11.0	1		○					2,900
11	0113	無名橋47	Ⅱ	鋼橋	9.1	1					○		3,700
12	0114	無名橋48	Ⅱ	鋼橋	10.5	1					○		3,700
13	0122	薬師前橋	Ⅱ	PC橋	14.3	1	○	○					3,300
14	0132	無名橋62	Ⅱ	RC橋・鋼橋	3.0	1					※	※小規模塗替え	2,900
15	0138	無名橋67	Ⅱ	RC橋	7.6	1							2,800
16	0139	瀬川橋	Ⅱ	RC橋	13.6	1	○			※		※鋼板支承:設計無	3,200
17	0150	無名橋78	Ⅱ	PC橋	5.5	1							2,800
18	0159	無名橋85	Ⅱ	RC橋	5.3	1		○					2,900
19	0162	前川橋(鳥居平中央線)	Ⅱ	RC橋	11.8	1	○	○		※		※鋼板支承:設計無	3,300

注)補修設計完了(見込含)の橋梁は、委託費用算定の対象外とする。

平準化グラフ

対策費用 予算設定額: 4,000万円/年程度



			R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
		実施年度	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
工事費(予防保全型)	合計		20,319	25,474	0	0	0	2,800	31,321	27,732	22,500	23,434
工事費(観察保全型)	合計		0	6,600	29,060	28,541	25,223	19,448	0	0	0	0
委託費(点検及び計画)	合計		17,765	7,458	12,243	12,782	14,839	17,765	7,458	12,243	12,782	14,839

後送り凡例:

1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年

橋梁管理番号	点検年	橋梁名	路線名	健全性診断	事業優先順位	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)
0113	2022	無名橋47	神前谷中畑線	Ⅱ	1		3,700	15,870							
0132	2022	無名橋62	大窪音羽線	Ⅱ	1		2,900	590							
0014	2019	安土橋	安土線	Ⅱ	5	20,319									
0122	2022	薬師前橋	鎌掛線	Ⅱ	5			3,300		2,384					
0139	2022	瀬川橋	鎌掛字内線	Ⅱ	5			3,200		12,341					
0162	2023	前川橋	鳥居平中央線	Ⅱ	5			3,300	25,641						
0114	2022	無名橋48	中道線	Ⅱ	12					3,700	19,448				
0150	2022	無名橋78	南比都佐小学校線	Ⅱ	12			2,800		499					
0159	2023	無名橋85	豊田中山線	Ⅱ	12				2,900	6,299					
0097	2021	御門橋	小御門十禅師線	Ⅱ	16	架替え検討中									
0138	2022	無名橋67	東山団地3号線	Ⅱ	16						2,800	6,216			
0001	2019	高橋	西大路鎌掛線	Ⅱ	23							7,700	26,142		
0024	2020	多々木橋	音羽蔵王線	Ⅱ	23							6,300	1,590		
0028	2020	前川橋	清田線	Ⅱ	23									3,600	4,405
0030	2019	野出橋	野出旧県道線	Ⅱ	23									7,000	19,029
0032	2019	野上橋	中在寺野神線	Ⅱ	23									8,000	
0040	2020	原橋	萬徳寺線	Ⅱ	23		25,474					11,105			
0042	2020	河原橋	河原鳥居平線	Ⅱ	23									3,900	
0085	2021	西の宮橋	鎌掛深山口線	Ⅱ	34	撤去検討中									
修繕事業の5年毎累計金額						135,217						127,235			
【定期点検】						17,765	7,458	12,243	12,782	7,469	17,765	7,458	12,243	12,782	7,469
【修繕計画】										7,370					7,370
年次毎の合計金額						20,319	32,074	29,060	28,541	25,223	22,248	31,321	27,732	22,500	23,434

※本表は、予算平準化検討における、維持管理事業予算の配分状況である。
※年次項目の下にある数値の単位は、全て「千円(税込)」の費用額である。
※「1年目:調査設計委託(細字数値)、2年目:補修工事(太字色掛数値)」を基本スケジュールとした。
※野上橋と河原橋は、期間内では補修設計迄の実施とし、2034年度以降に補修工事を行う方針とする。

※施設名・路線名が赤字の橋梁は、予防保全型維持管理(Level A、Level B)の橋梁である。
※施設名・路線名が薄青色掛けマス内にある橋梁は、上部工の材料形式が鋼構造である。(野上橋は
拡幅部補修箇所が鋼構造となっている。)

色掛太字: 補修工事費、細字: 調査設計委託費

図 3-4 予算の平準化検討結果 (2024 年度～2033 年度、10 年間)

(2) 修繕及び架替えに係る費用の縮減

計画対象全 156 橋に対するコスト縮減効果は、図 3-5 に示すとおりである。日野町では、2012 年から着手している計画的な予防的修繕を、今後も継続して実施することで、従来の対症療法的修繕費用を下回るコスト縮減が実現するものと予測出来る。(詳細は後述 4. を参照)

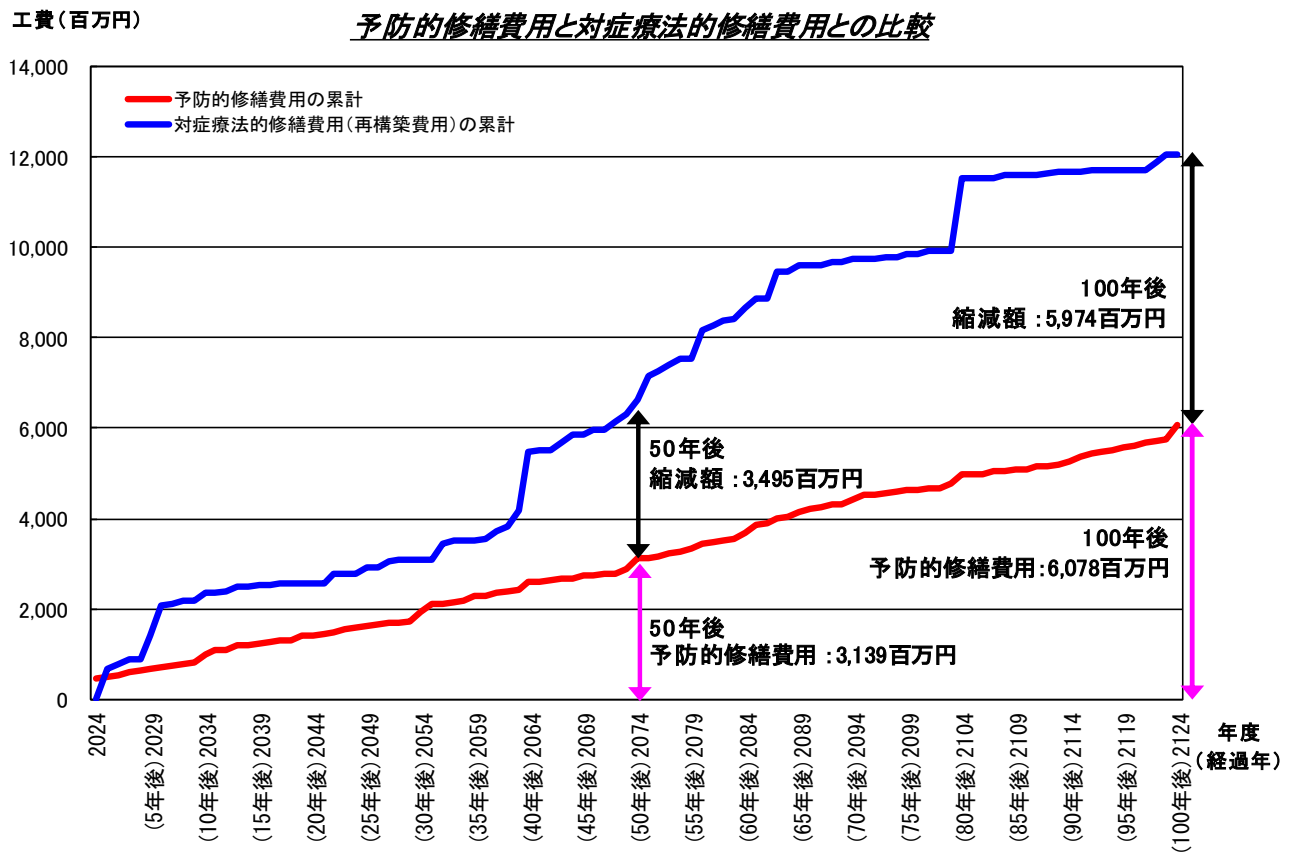


図 3-5 予防的修繕と対症療法的修繕における累計費用の推移 (計画対象全 156 橋)

(3) 安全性・信頼性の確保

前述(1)の修繕計画（表 3-9～3-12）に沿って補修を行うことにより、当事業対策の着手率（着手：補修設計への着手を指す）及び完了率（完了：補修工事の完了を指す）は、今後 10 年間で図 3-6 のように推移する。

着手率と完了率は、直近に実施した定期点検後に何らかの修繕等を必要とすると判断した 17 橋（撤去または架替えを検討中の 2 橋を除く）に対する比率としている。

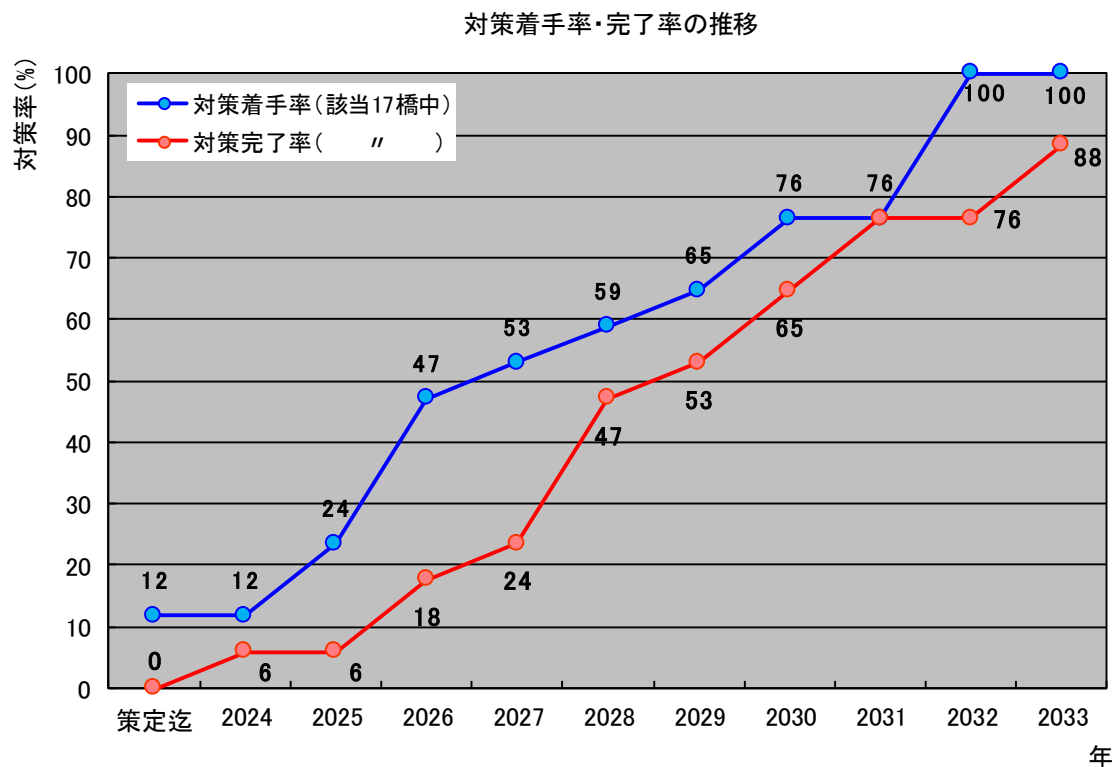


図 3-6 短期修繕計画を実行した場合での健全性の推移

■4、予防保全型維持管理の中長期シミュレーション

LCC 評価分析の考え方

LCC 推計による、予防的修繕費用（：予防保全型維持管理）に係る費用と対症療法的修繕費用（：再構築価格（架け替え費））との比較を行い、維持管理手法の効果を評価する。図 4-1 に評価分析イメージを示す。

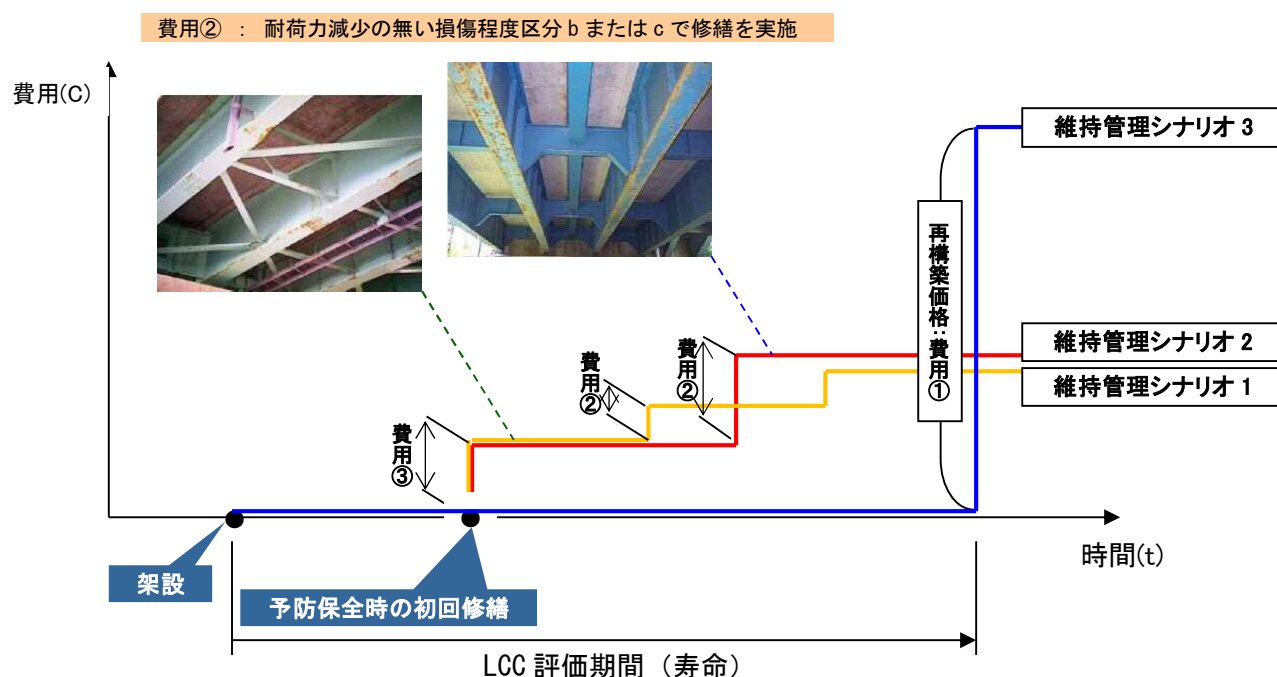


図 4-1 LCC 評価分析イメージ

費用①：評価期間最終年で発生する再構築価格に該当する。

費用②：予防保全型維持管理における発生費用の 1 つであり、耐荷力減少の無い補修シナリオ（例：損傷程度区分 b, c を区分 a に直す修繕）の運用内で設定する。

費用③：予防保全型維持管理における発生費用の 1 つである。修繕計画後に初回で実施する事後保全的補修を指す。

また、LCC の検討で適用するシナリオは、大別して下記の 3 種類を設定した。

シナリオ 1：予防保全の対策シナリオである。修繕計画後に初回補修を実施し、残る期間で耐荷力減少のない補修を繰り返す。損傷程度が浅い時期（損傷程度区分：b 相応）に補修を行うものとして検討する。

シナリオ 2：予防保全の対策シナリオである。修繕計画後に初回補修を実施し、残る期間で耐荷力減少のない補修を繰り返す。損傷程度が広範囲に拡大した時期（損傷程度区分：c 相応）に補修を行うものとして検討する。

シナリオ 3：評価期間中の修繕対策を行わないシナリオであり、期間最終年で再構築（架け替え）を実施する。

架設年から設定した寿命までの期間を LCC 評価期間とし、その間に繰り返される上記 3 種類の補修費用の総額を算出する。図 4-1 におけるシナリオ 1 またはシナリオ 2 で、「費用②」が繰り返す具体的な期間は、各部材の劣化曲線が持つ劣化速度に拠るものとした。

中長期シミュレーションにおける検討条件を、以下に整理する。

(1) ライフサイクルコストの評価期間（寿命）

：求めた当町橋梁データからの劣化曲線より、健全度 A→E までの期間を対症的修繕費用の発生時期とする。

表 4-1 LCC 評価期間（建設後から更新までの期間）

		(健全度 A→E)	
		橋長 15m 以上の橋梁	橋長 15m 未満の橋梁
鋼橋		55 年	62 年
コンクリート橋	PC 橋	90 年	97 年
	RC 橋	100 年	76 年

注) 劣化曲線：2.1.4_4) 参照

(2) 予防的修繕の実施間隔（補修期間）

：求めた当町橋梁データからの劣化曲線より、健全度 A→B までの期間を予防的修繕費用の発生時期とする。ただし、補修後の健全度が A となることを仮定する。

表 4-2 予防的修繕の実施期間（補修間隔）

		(健全度 A→B)	
		橋長 15m 以上の橋梁	橋長 15m 未満の橋梁
鋼橋		30 年	40 年
コンクリート橋 (PC、RC)		50 年	47 年

注) 劣化曲線：2.1.4_4) 参照

(3) 各費用における算定対象項目

：予防的修繕費用と対症的修繕費用の比較において、各費用の算定対象は以下のとおりとする。

1) 予防的修繕費用

- ・2023 年度迄に実施した補修の工事及び調査設計に係る費用
- ・本計画での補修計画に基づく補修の工事及び調査設計に係る費用（2024～2033 年度）
- ・2034 年度以降に発生すると見込む補修に係る費用 ※上記(2)の発生時期で計上
- ・定期点検及び修繕計画策定に係る費用 ※5 年毎に計上

2) 対症的修繕費用

- ・LCC 評価期間を経て発生する更新費用（再構築費用）
※上記(1)の発生時期で計上
※2023 年度迄に発生する費用のうち補修履歴の無い橋梁の分は総費用から除外する
- ・他の維持管理費用（補修、点検等）は計上しない

(4) シミュレーション検討期間

：道路橋示方書（平成 29 年 11 月）における「橋に求められる耐久期間」として 100 年を目安に設定していること等を考慮し、シミュレーション検討期間を 2024 年から 100 年間とする。

検討結果 策定対象全 156 橋に対する検討結果

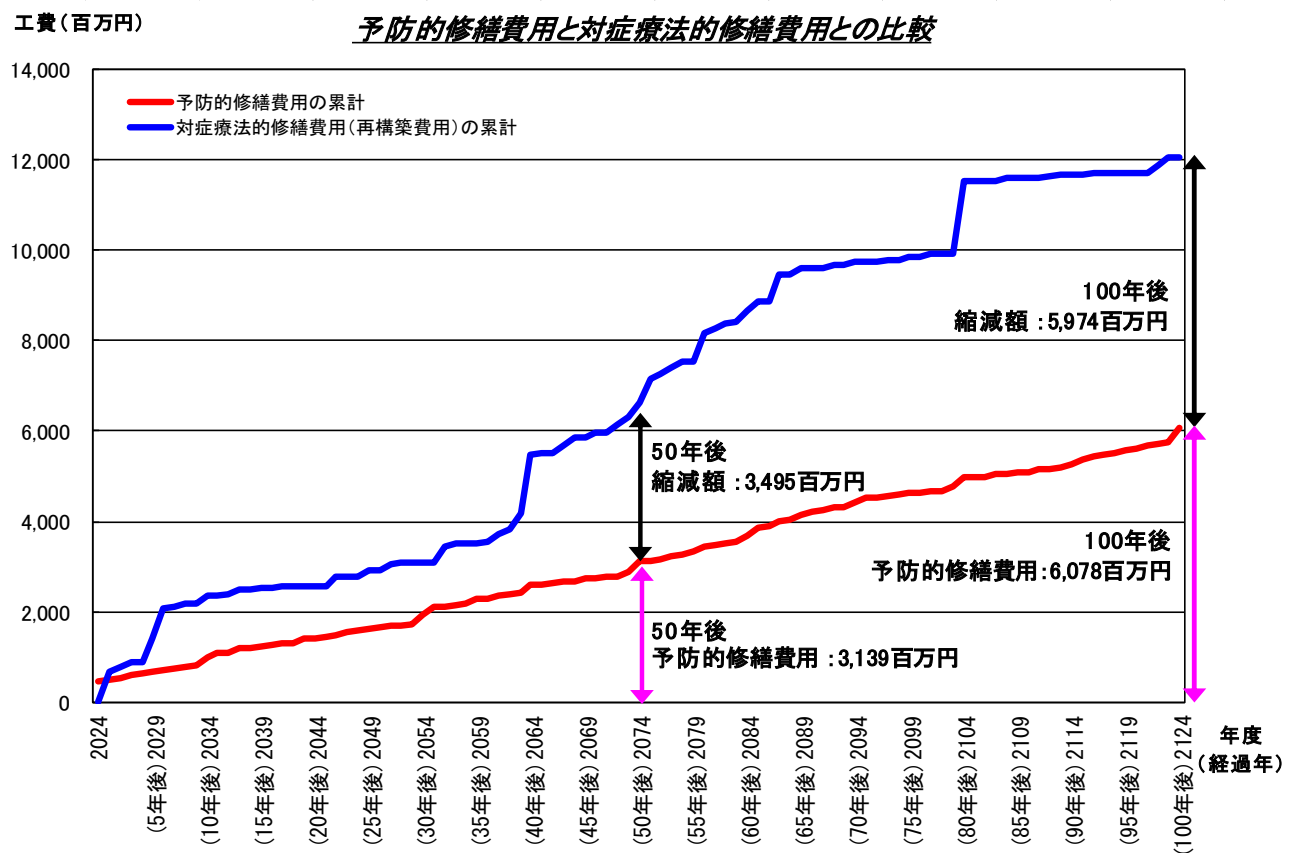


図 4-4 中長期シミュレーションの結果 (計画対象全 156 橋、図 3-5 と同じ)

次頁以降に、図 4-4 で示した予防的修繕費用と対症療法的修繕費用の算定根拠を示す。

■計画対象 156 橋の中長期シミュレーション 計算表

表4-3 中長期シミュレーション結果(年次毎の算定費用)(1/2)

対策 実施 年次	再構築費用(千円)			事後保全型費用 (更新費用)		予防的修繕費用(千円)						短期計画での 対策費用 (千円)	予防保全型費用	
	1回目	2回目	合計	累計 (千円)	累計 (百万円)	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	合計		累計 (千円)	累計 (百万円)
2012	0	0	0	0	0	2,003	0	0	0	0	2,003	4,066	4,066	4
2013	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,645	31,711	32
2014	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,203	54,914	55
2015	0	0	0	0	0	62,164	0	0	0	0	62,164	26,782	81,696	82
2016	0	0	0	0	0	41,706	0	0	0	0	41,706	0	81,696	82
2017	0	0	0	0	0	40,743	43,163	0	0	0	83,906	39,821	121,517	122
2018	0	0	0	0	0	6,209	37,146	0	0	0	43,355	22,625	144,142	144
2019	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,978	196,120	196
2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82,562	278,682	279
2021	0	0	0	0	0	3,701	0	0	0	0	3,701	46,350	325,032	325
2022	0	0	0	0	0	34,635	13,403	0	0	0	48,038	66,732	391,764	392
2023	0	0	0	0	0	24,422	0	0	0	0	24,422	39,046	430,810	431
2024	0	0	0	0	0	290,508	1,963	0	0	0	292,471	38,084	468,894	469
2025	678,108	0	678,108	678,108	678	3,583	97,187	0	0	0	100,770	39,532	508,426	508
2026	109,736	0	109,736	787,844	788	0	0	0	0	0	0	41,303	549,729	550
2027	84,285	0	84,285	872,129	872	26,407	0	0	0	0	26,407	41,323	591,052	591
2028	0	0	0	872,129	872	32,345	0	0	0	0	32,345	40,062	631,114	631
2029	540,737	0	540,737	1,412,866	1,413	0	104,690	0	0	0	104,690	40,013	671,127	671
2030	679,688	0	679,688	2,092,554	2,093	10,492	72,243	0	0	0	82,735	38,779	709,906	710
2031	9,592	0	9,592	2,102,146	2,102	0	41,230	0	0	0	41,230	39,975	749,881	750
2032	82,645	0	82,645	2,184,791	2,185	28,609	31,668	0	0	0	60,277	35,282	785,163	785
2033	0	0	0	2,184,791	2,185	33,370	0	0	0	0	33,370	38,273	823,436	823
2034	181,716	0	181,716	2,366,507	2,367	58,882	105,210	0	0	0	164,092	17,765	1,005,293	1,005
2035	0	0	0	2,366,507	2,367	70,902	0	0	0	0	70,902	7,468	1,083,663	1,084
2036	34,875	0	34,875	2,401,382	2,401	15,321	0	0	0	0	15,321	12,243	1,111,227	1,111
2037	96,232	0	96,232	2,497,614	2,498	68,646	0	0	0	0	68,646	12,782	1,192,655	1,193
2038	0	0	0	2,497,614	2,498	5,650	0	0	0	0	5,650	14,839	1,213,144	1,213
2039	25,213	0	25,213	2,522,827	2,523	9,870	0	0	0	0	9,870	17,765	1,240,779	1,241
2040	20,072	0	20,072	2,542,899	2,543	15,886	17,514	0	0	0	33,400	7,468	1,281,647	1,282
2041	8,543	0	8,543	2,551,442	2,551	488	0	0	0	0	488	12,243	1,294,378	1,294
2042	0	0	0	2,551,442	2,551	9,811	0	0	0	0	9,811	12,782	1,316,971	1,317
2043	0	0	0	2,551,442	2,551	72,144	770	0	0	0	72,914	14,839	1,404,724	1,405
2044	0	0	0	2,551,442	2,551	842	2,132	0	0	0	2,974	17,765	1,425,463	1,425
2045	0	0	0	2,551,442	2,551	31,937	0	0	0	0	31,937	7,468	1,464,868	1,465
2046	218,537	0	218,537	2,769,979	2,770	0	0	0	0	0	0	12,243	1,477,111	1,477
2047	23,896	0	23,896	2,793,875	2,794	15,118	0	43,163	0	0	58,281	12,782	1,548,174	1,548
2048	0	0	0	2,793,875	2,794	0	27,976	0	0	0	27,976	14,839	1,590,989	1,591
2049	139,594	0	139,594	2,933,469	2,933	7,100	1,023	0	0	0	8,123	17,765	1,616,877	1,617
2050	0	0	0	2,933,469	2,933	0	49,248	0	0	0	49,248	7,468	1,673,593	1,674
2051	139,677	0	139,677	3,073,146	3,073	0	0	0	0	0	0	12,243	1,685,836	1,686
2052	20,828	0	20,828	3,093,974	3,094	0	0	0	0	0	0	12,782	1,698,618	1,699
2053	0	0	0	3,093,974	3,094	0	0	0	0	0	0	14,839	1,713,457	1,713
2054	0	0	0	3,093,974	3,094	148,651	62,526	0	0	0	211,177	17,765	1,942,399	1,942
2055	0	0	0	3,093,974	3,094	0	61,777	97,187	0	0	158,964	7,468	2,108,831	2,109
2056	354,752	0	354,752	3,448,726	3,449	0	0	0	0	0	0	12,243	2,121,074	2,121
2057	70,037	0	70,037	3,518,763	3,519	0	8,963	0	0	0	8,963	12,782	2,142,819	2,143
2058	0	0	0	3,518,763	3,519	0	5,714	37,146	0	0	42,860	14,839	2,200,518	2,201
2059	0	0	0	3,518,763	3,519	0	2,003	72,596	0	0	74,599	17,765	2,292,882	2,293
2060	14,535	0	14,535	3,533,298	3,533	0	0	0	0	0	0	7,468	2,300,350	2,300
2061	191,774	0	191,774	3,725,072	3,725	0	0	41,230	0	0	41,230	12,243	2,353,823	2,354
2062	112,230	0	112,230	3,837,302	3,837	0	4,347	31,668	0	0	36,015	12,782	2,402,620	2,403
2063	342,515	0	342,515	4,179,817	4,180	0	2,691	0	0	0	2,691	14,839	2,420,150	2,420
2064	1,306,079	0	1,306,079	5,485,896	5,486	0	65,930	84,759	0	0	150,689	17,765	2,588,604	2,589
2065	17,838	0	17,838	5,503,734	5,504	0	6,209	0	0	0	6,209	7,468	2,602,281	2,602
2066	22,620	0	22,620	5,526,354	5,526	0	39,015	0	0	0	39,015	12,243	2,653,539	2,654
2067	160,799	0	160,799	5,687,153	5,687	0	5,342	0	0	0	5,342	12,782	2,671,663	2,672
2068	170,558	0	170,558	5,857,711	5,858	0	0	0	0	0	0	14,839	2,686,502	2,687
2069	13,428	0	13,428	5,871,139	5,871	0	30,624	13,403	0	0	44,027	17,765	2,748,294	2,748
2070	87,036	0	87,036	5,958,175	5,958	0	2,155	0	0	0	2,155	7,468	2,757,917	2,758
2071	20,127	0	20,127	5,978,302	5,978	0	3,701	1,963	0	0	5,664	12,243	2,775,824	2,776
2072	168,736	0	168,736	6,147,038	6,147	0	7,594	0	0	0	7,594	12,782	2,796,200	2,796
2073	169,193	0	169,193	6,316,231	6,316	0	88,877	0	0	0	88,877	14,839	2,899,916	2,900
2074	317,504	0	317,504	6,633,735	6,634	0	220,914	0	0	0	220,914	17,765	3,138,595	3,139
2075	537,128	0	537,128	7,170,863	7,171	0	0	0	0	0	0	7,468	3,146,063	3,146
2076	105,316	0	105,316	7,276,179	7,276	0	0	0	0	0	0	12,243	3,158,306	3,158
2077	114,670	0	114,670	7,390,849	7,391	0	9,209	0	43,163	0	52,372	12,782	3,223,460	3,223
2078	142,861	0	142,861	7,533,710	7,534	0	32,345	0	0	0	32,345	14,839	3,270,644	3,271
2079	0	0	0	7,533,710	7,534	0	14,774	32,094	0	0	46,868	17,765	3,335,277	3,335
2080	101,848	546,886	648,734	8,182,444	8,182	0	18,741	89,757	0	0	108,498	7,468	3,451,243	3,451
2081	0	109,736	109,736	8,292,180	8,292	0	10,352	0	0	0	10,352	12,243	3,473,838	3,474
2082	15,354	84,285	99,639	8,391,819	8,392	0	13,835	0	0	0	13,835	12,782	3,500,455	3,500
2083	12,217	0	12,217	8,404,036	8,404	0	25,121	0	0	0	25,121	14,839	3,540,415	3,540
2084	26,840	225,588	252,428	8,656,464	8,656	0	56,739	76,714	0	0	133,453	17,765	3,691,633	3,692
2085	200,529	0	200,529	8,856,993	8,857	0	76,552	0	97,187	0	173,739	7,468	3,872,840	3,873
2086	0	0	0	8,856,993	8,857	0	25,191	0	0	0	25,191	12,243	3,910,274	3,910
2087	518,045	73,789	591,834	9,448,827	9,449	0	69,710	0	0	0	69,710	12,782	3,992,766	3,993
2088	13,874	0	13,874	9,462,701	9,463	0	488	27,976	0	0	28,464	14,839	4,036,069	4,036
2089	132,729	0	132,729	9,595,430	9,595	0	9,811	0	72,596	0	82,407	17,765	4,136,241	4,136
2090	0	0	0	9,595,430	9,595	0	21,420	44,530	0	0	65,950	7,468	4,209,659	4,210
2091	0	0	0	9,595,430	9,595	0	842	2,132	41,230	0	44,204	12,243	4,266,106	4,266
2092	31,713	37,767	69,480	9,664,910	9,665	0	659	0	31,668	0	32,327	12,782	4,311,215	4,311
2093	22,711	0	22,711	9,687,621	9,688	0	0	0	0	0	0	14,839	4,326,054	4,326
2094	0	63,367	63,367	9,750,988	9,751	0	5,845	0	84,759	0	90,604	17,765	4,434,423	4,434
2095	0	0	0	9,750,988	9,751	0	31,278	57,817	0	0	89,095	7,468	4,530,986	4,531
2096	0	0	0	9,750,988	9,751	0	0	1,023	0	0	1,023	12,243	4,544,252	4,544

表4-4 中長期シミュレーション結果(年次毎の算定費用)(2/2)

対策 実施 年次	再構築費用(千円)			事後保全型費用 (更新費用)		予防的修繕費用(千円)						短期計画での 対策費用 (千円)	予防保全型費用	
	1回目	2回目	合計	累計 (千円)	累計 (百万円)	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	合計		累計 (千円)	累計 (百万円)
2097	20,977	0	20,977	9,771,965	9,772	0	0	5,488	0	0	5,488	12,782	4,562,522	4,563
2098	0	0	0	9,771,965	9,772	0	0	0	37,146	0	37,146	14,839	4,614,507	4,615
2099	0	78,052	78,052	9,850,017	9,850	0	7,100	0	0	0	7,100	17,765	4,639,372	4,639
2100	0	0	0	9,850,017	9,850	0	0	0	0	0	0	7,468	4,646,840	4,647
2101	0	57,433	57,433	9,907,450	9,907	0	0	6,263	0	0	6,263	12,243	4,665,346	4,665
2102	0	0	0	9,907,450	9,907	0	0	3,960	0	0	3,960	12,782	4,682,088	4,682
2103	0	0	0	9,907,450	9,907	0	0	66,610	0	0	66,610	14,839	4,763,537	4,764
2104	1,485,013	139,594	1,624,607	11,532,057	11,532	0	148,651	39,492	0	0	188,143	17,765	4,969,445	4,969
2105	0	0	0	11,532,057	11,532	0	0	5,714	0	0	5,714	7,468	4,982,627	4,983
2106	0	0	0	11,532,057	11,532	0	0	2,003	0	0	2,003	12,243	4,996,873	4,997
2107	0	9,592	9,592	11,541,649	11,542	0	0	0	0	43,163	43,163	12,782	5,052,818	5,053
2108	0	60,492	60,492	11,602,141	11,602	0	0	0	0	0	0	14,839	5,067,657	5,068
2109	0	0	0	11,602,141	11,602	0	0	4,347	0	0	4,347	17,765	5,089,769	5,090
2110	0	0	0	11,602,141	11,602	0	0	2,691	0	0	2,691	7,468	5,099,928	5,100
2111	0	0	0	11,602,141	11,602	0	0	35,401	0	0	35,401	12,243	5,147,572	5,148
2112	0	34,875	34,875	11,637,016	11,637	0	0	6,209	0	0	6,209	12,782	5,166,563	5,167
2113	0	18,180	18,180	11,655,196	11,655	0	0	0	0	0	0	14,839	5,181,402	5,181
2114	0	0	0	11,655,196	11,655	0	0	0	56,263	0	56,263	17,765	5,255,430	5,255
2115	0	25,213	25,213	11,680,409	11,680	0	0	0	0	97,187	97,187	7,468	5,360,085	5,360
2116	0	20,072	20,072	11,700,481	11,700	0	0	69,639	13,403	0	83,042	12,243	5,455,370	5,455
2117	0	8,543	8,543	11,709,024	11,709	0	0	7,497	0	0	7,497	12,782	5,475,649	5,476
2118	0	0	0	11,709,024	11,709	0	0	0	1,963	0	1,963	14,839	5,492,451	5,492
2119	0	0	0	11,709,024	11,709	0	0	3,583	0	72,596	76,179	17,765	5,586,395	5,586
2120	0	0	0	11,709,024	11,709	0	0	0	17,514	0	17,514	7,468	5,611,377	5,611
2121	0	0	0	11,709,024	11,709	0	0	20,899	0	41,230	62,129	12,243	5,685,749	5,686
2122	0	177,323	177,323	11,886,347	11,886	0	0	4,011	0	31,668	35,679	12,782	5,734,210	5,734
2123	0	165,266	165,266	12,051,613	12,052	0	0	22,267	0	0	22,267	14,839	5,771,316	5,771
2124	0	0	0	12,051,613	12,052	0	0	203,716	0	84,759	288,475	17,765	6,077,556	6,078

※1) 金額は税込(税率10%を仮定)とする。

※2) 事後保全型費用は再構築(架替え)費用のみを計上する。定期点検の費用は見込まない。

※3) 予防保全型費用の計上方法は、以下のとおりとする。(カッコ内色表示は上表「短期計画での対策費用」の該当範囲を示す。)

- ・ 補修費用の実績は、2012～2023年度のを計上する。(■)
- ・ 2024～2023年度では、本計画の短期修繕計画(予算平準化検討)の結果を計上する。
(■及び■)
- ・ 2012～2023年度では実績及び短期計画費用を計上するので算定費用は計上しない。(■)
- ・ 定期点検及び計画更新の費用は、2024年以降において5年頻度で計上する。(■)

日野町橋梁長寿命化計画対象橋梁(156橋) 再構築価格の算出

※既往資料等で架設年が不明である橋梁については、推定架設年(赤字)を適用する。
 ※算定する再構築価格は税込(税率10%)

橋梁 番号	橋梁名	橋種	架設年	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁面積 (m2)	再構築単価 (千円/m2)	再構築価格 (千円) ※注	架替年 1回目	架替年 2回目	備考
0001	高橋(西大路鎌掛線)	鋼橋	1965	50.30	3.00	150.90	1,001.61	166,257	2025	2080	
0002	内池橋	特殊橋	2004	84.00	10.75	903.00	1,495.03	1,485,013	2104	2204	プレビュー: 特殊橋とする
0003	西の口橋	PC橋	1982	18.70	5.50	102.85	959.47	108,550	2072	2162	
0004	迫栄橋	特殊橋	1987	27.10	11.20	303.52	1,495.03	499,149	2087	2187	プレビュー: 特殊橋とする
0005	宮前橋(日野南部線)	PC橋	1985	19.70	7.30	143.81	959.47	151,780	2075	2165	
0006	牛飼道橋	PC橋	1966	51.00	2.00	102.00	959.47	107,653	2056	2146	
0007	上野田橋	PC橋	1973	20.20	6.00	121.20	959.47	127,917	2063	2153	
0008	高橋(内池山本線)	PC橋	1971	15.30	4.80	73.44	959.47	77,510	2061	2151	
0009	前垣外橋	鋼橋	1969	15.20	6.50	98.80	1,001.61	108,855	2025	2080	
0010	藤切橋	PC橋	1984	30.00	7.00	210.00	959.47	221,638	2074	2164	
0011	原古野橋	PC橋	1983	17.00	5.50	93.50	959.47	98,681	2073	2163	
0012	別所橋	RC橋	1930	81.90	4.50	368.55	1,329.76	539,091	2030	2130	
0013	木津橋	鋼橋	1974	81.90	2.50	204.75	1,001.61	225,588	2029	2084	
0014	安土橋	PC橋	1966	45.00	3.00	135.00	959.47	142,481	2056	2146	
0015	南橋	PC橋	1985	28.60	5.00	143.00	959.47	150,925	2075	2165	
0016	大正橋	鋼橋	1965	24.30	3.00	72.90	1,001.61	80,319	2025	2080	
0017	松尾橋	PC橋	1973	15.50	6.00	93.00	959.47	98,154	2063	2153	
0018	大谷橋	PC橋	1990	19.30	5.00	96.50	959.47	101,848	2080	2170	
0019	六枚橋	PC橋	1973	16.80	2.90	48.72	959.47	51,420	2063	2153	
0020	浄光寺橋	PC橋	1973	17.00	3.00	51.00	959.47	53,826	2063	2153	
0021	宮前橋(北脇中在寺線)	鋼橋	2013	37.50	4.00	150.00	1,001.61	165,266	2068	2123	
0022	西川原橋	鋼橋	1969	24.70	3.10	76.57	1,001.61	84,363	2025	2080	
0023	五左衛門橋	PC橋	1977	20.80	5.50	114.40	959.47	120,740	2067	2157	
0024	多々木橋	RC橋	1930	19.00	3.70	70.30	1,329.76	102,830	2030	2130	
0025	本宮橋	鋼橋	1971	17.40	2.50	43.50	1,001.61	47,927	2026	2081	
0026	毛止野橋	鋼橋	1971	18.70	3.00	56.10	1,001.61	61,809	2026	2081	
0027	伊佐目橋	鋼橋	1972	17.00	4.50	76.50	1,001.61	84,285	2027	2082	
0028	前川橋(清田線)	PC橋	1972	19.90	4.00	79.60	959.47	84,011	2062	2152	
0029	野川橋	PC橋	1980	15.60	5.00	78.00	959.47	82,323	2070	2160	
0030	野出橋	混合橋	1929	72.30	3.30	238.59	1,200.80	315,149	2029	2129	
0031	杣橋	PC橋	1986	22.70	4.10	93.07	959.47	98,228	2076	2166	
0032	野上橋	RC橋	1934	30.30	4.10	124.23	1,329.76	181,716	2034	2134	
0033	長沢橋	その他	1978	28.20	4.80	135.36	959.47	142,861	2078	2168	100年後、PC橋で架替え
0034	小綿向橋	PC橋	1984	21.20	4.00	84.80	959.47	89,499	2074	2164	
0035	宮田橋	PC橋	1985	16.90	4.00	67.60	959.47	71,346	2075	2165	
0036	新里之内橋	PC橋	1995	19.00	10.00	190.00	959.47	200,529	2085	2175	
0037	須原橋	PC橋	1983	19.70	3.00	59.10	959.47	62,375	2073	2163	
0038	小嶽橋	PC橋	1987	17.30	4.50	77.85	959.47	82,164	2077	2167	
0039	坪江橋	PC橋	1999	29.40	3.00	88.20	959.47	93,088	2089	2179	
0040	原橋	鋼橋	1957	21.60	4.50	97.20	1,001.61	107,092	2025	2080	
0041	青木ヶ原橋	PC橋	1985	21.70	5.00	108.50	959.47	114,513	2075	2165	
0042	河原橋	PC橋	1967	15.80	4.20	66.36	959.47	70,037	2057	2147	
0043	無名橋1	鋼橋	1994	36.20	3.50	126.70	1,001.61	139,594	2049	2104	
0044	広域跨線橋(石原橋)	PC橋	1974	165.00	7.50	1237.50	959.47	1,306,079	2064	2154	
0045	無名橋2(出雲川橋)	PC橋	1978	13.60	5.50	74.80	300.31	24,710	2075	2172	
0046	宮前橋	PC橋	1978	6.10	6.10	37.21	300.31	12,292	2075	2172	
0049	無名橋5	PC橋	1965	7.40	3.00	22.20	300.31	7,334	2062	2159	
0050	無名橋6	RC橋	1985	4.50	4.60	20.70	429.55	9,781	2061	2137	
0051	無名橋7	RC橋	1985	3.20	9.70	31.04	429.55	14,667	2061	2137	
0055	無名橋10	RC橋	1985	3.40	3.00	10.20	429.55	4,820	2061	2137	
0056	無名橋11	RC橋	1985	2.50	5.80	14.50	429.55	6,851	2061	2137	
0057	無名橋12	RC橋	1975	2.50	5.60	14.00	429.55	6,615	2051	2127	
0058	山王下橋	その他	1965	2.80	3.60	10.08	429.55	4,763	2041	2117	100年後、RC橋で架替え
0059	野田川橋	PC橋	1950	3.60	2.95	10.62	300.31	3,508	2047	2144	
0061	無名橋13	RC橋	1975	2.00	5.00	10.00	429.55	4,725	2051	2127	
0063	下出橋	RC橋	1975	4.30	3.00	12.90	429.55	6,095	2051	2127	
0064	上出橋	RC橋	1975	4.40	3.00	13.20	429.55	6,237	2051	2127	
0065	昭和橋	鋼橋	1984	12.50	5.50	68.75	544.98	41,214	2046	2108	
0066	坂口橋	鋼橋	1960	11.60	3.40	39.44	544.98	23,643	2025	2087	
0067	無名橋14	RC橋	1975	4.80	7.10	34.08	429.55	16,103	2051	2127	
0068	無名橋15	RC橋	1975	2.20	4.10	9.02	429.55	4,262	2051	2127	
0069	仁之切橋	RC橋	1963	4.00	2.00	8.00	429.55	3,780	2039	2115	
0070	逆川橋	RC橋	1975	6.00	2.60	15.60	429.55	7,371	2051	2127	
0071	無名橋16	PC橋	1975	7.50	4.00	30.00	300.31	9,910	2072	2169	
0072	無名橋17	PC橋	1975	9.30	3.41	31.71	300.31	10,476	2072	2169	
0073	無名橋18	PC橋	1975	9.30	3.60	33.48	300.31	11,060	2072	2169	
0074	無名橋19	鋼橋	1975	12.40	10.50	130.20	544.98	78,052	2037	2099	
0075	無名橋20	RC橋	1975	6.80	10.52	71.54	429.55	33,801	2051	2127	
0077	無名橋22	PC橋	1975	7.00	5.00	35.00	300.31	11,562	2072	2169	
0078	無名橋23	PC橋	1975	13.00	4.00	52.00	300.31	17,178	2072	2169	
0079	無名橋24	PC橋	1975	3.10	3.30	10.23	429.55	4,834	2051	2127	
0080	無名橋25	その他	1985	6.00	5.55	33.30	429.55	15,734	2061	2137	100年後、RC橋で架替え

日野町橋梁長寿命化計画対象橋梁(156橋) 再構築価格の算出

※既往資料等で架設年が不明である橋梁については、推定架設年(赤字)を適用する。
※算定する再構築価格費は税込(税率10%)

橋梁 番号	橋梁名	橋種	架設年	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁面積 (m ²)	再構築単価 (千円/m ²)	再構築価格 (千円) ※注	架替年 1回目	架替年 2回目	備考
0081	平熊橋	PC橋	1968	12.00	4.50	54.00	300.31	17,838	2065	2162	
0082	無名橋26	RC橋	1955	5.80	3.50	20.30	429.55	9,592	2031	2107	
0084	無名橋28	RC橋	1975	3.50	3.00	10.50	429.55	4,961	2051	2127	
0085	西の宮橋	RC橋	1963	12.60	3.60	45.36	429.55	21,433	2039	2115	
0087	落合橋	PC橋	1950	8.00	3.00	24.00	300.31	7,928	2047	2144	
0088	迫橋	鋼橋	1968	14.00	4.50	63.00	544.98	37,767	2030	2092	
0090	茶屋の橋	PC橋	1969	8.90	6.00	53.40	300.31	17,640	2066	2163	
0091	無名橋31	RC橋	1985	2.90	10.64	30.86	429.55	14,580	2061	2137	
0093	出雲川橋	RC橋	1960	6.20	3.70	22.94	429.55	10,839	2036	2112	
0094	無名橋33	RC橋	1985	3.64	13.98	50.89	429.55	24,044	2061	2137	
0095	無名橋34	RC橋	1975	2.10	4.60	9.66	429.55	4,564	2051	2127	
0097	御門橋	PC橋	1963	11.00	4.00	44.00	300.31	14,535	2060	2157	
0098	播原橋	RC橋	1949	2.50	6.30	15.75	429.55	7,442	2025	2101	
0101	無名橋38	RC橋	1965	2.00	4.00	8.00	429.55	3,780	2041	2117	
0102	無名橋39	RC橋	1970	2.40	5.80	13.92	429.55	6,577	2046	2122	
0103	雁掛橋	PC橋	1991	10.50	4.00	42.00	300.31	13,874	2088	2185	
0104	無名橋40	PC橋	1987	7.30	5.50	40.15	300.31	13,263	2084	2181	
0105	無名橋41	PC橋	1995	12.00	8.00	96.00	300.31	31,713	2092	2189	
0107	無名橋43	RC橋	1975	3.10	4.30	13.33	429.55	6,298	2051	2127	
0108	無名橋44	鋼橋	2007	7.00	3.20	22.40	544.98	13,428	2069	2131	
0109	無名橋45	RC橋	1980	3.60	4.30	15.48	429.55	7,314	2056	2132	
0110	菖蒲谷橋	その他	1971	9.20	4.10	37.72	300.31	12,460	2047	2144	100年後、PC橋で架替え
0111	馬場橋	PC橋	1986	9.20	4.02	36.98	300.31	12,217	2083	2180	
0112	無名橋46	鋼橋	1970	9.30	3.25	30.23	544.98	18,119	2032	2094	
0113	無名橋47	鋼橋	1970	9.10	2.10	19.11	544.98	11,456	2032	2094	
0114	無名橋48	鋼橋	1970	10.50	2.90	30.45	544.98	18,254	2032	2094	
0115	無名橋49	鋼橋	1970	9.60	2.70	25.92	544.98	15,538	2032	2094	
0117	無名橋51	RC橋	1970	2.80	3.60	10.08	429.55	4,763	2046	2122	
0118	無名橋52	PC橋	1980	13.00	4.00	52.00	300.31	17,178	2077	2174	
0119	市の瀬川橋(坊出橋)	PC橋	1970	13.80	4.03	55.61	300.31	18,372	2067	2164	
0120	小竹橋	RC橋	1964	11.80	3.60	42.48	429.55	20,072	2040	2116	
0121	無名橋53	PC橋	1970	3.50	2.90	10.15	300.31	3,353	2067	2164	
0122	薬師前橋	PC橋	1990	14.30	4.00	57.20	300.31	18,896	2087	2184	
0123	無名橋54	PC橋	1970	13.00	3.00	39.00	300.31	12,883	2067	2164	
0124	無名橋55	RC橋	1970	5.20	4.05	21.06	429.55	9,951	2046	2122	
0125	無名橋56	その他	1970	4.30	7.45	32.04	429.55	15,137	2046	2122	100年後、RC橋で架替え
0126	無名橋57	RC橋	1970	3.40	7.00	23.80	429.55	11,246	2046	2122	
0127	無名橋58	RC橋	1994	2.85	3.50	9.98	429.55	4,713	2070	2146	
0128	大橋	RC橋	1980	2.90	7.60	22.04	429.55	10,414	2056	2132	
0129	無名橋59	RC橋	1980	2.60	7.00	18.20	429.55	8,600	2056	2132	
0131	無名橋61	RC橋	1970	4.40	5.98	26.31	429.55	12,433	2046	2122	
0132	無名橋62	その他	1970	3.00	8.70	26.10	429.55	12,332	2046	2122	100年後、RC橋で架替え
0133	無名橋63	RC橋	1970	10.50	15.50	162.75	429.55	76,900	2046	2122	
0135	無名橋65	PC橋	1987	13.70	3.00	41.10	300.31	13,577	2084	2181	
0136	無名橋66	RC橋	1960	4.30	11.83	50.87	429.55	24,036	2036	2112	
0137	石楠花橋	RC橋	1961	9.50	4.05	38.48	429.55	18,180	2037	2113	
0138	無名橋67	RC橋	1976	7.60	5.80	44.08	429.55	20,828	2052	2128	
0139	瀬川橋	RC橋	1956	13.60	3.00	40.80	429.55	19,278	2032	2108	
0140	無名橋68	RC橋	1980	3.80	5.90	22.42	429.55	10,594	2056	2132	
0141	無名橋69	RC橋	1970	2.25	7.65	17.21	429.55	8,133	2046	2122	
0143	無名橋71	RC橋	1980	3.00	7.80	23.40	429.55	11,057	2056	2132	
0144	無名橋72	RC橋	1980	6.20	8.10	50.22	429.55	23,729	2056	2132	
0145	無名橋73	RC橋	1980	3.60	8.50	30.60	429.55	14,459	2056	2132	
0146	無名橋74	PC橋	1980	11.60	4.00	46.40	300.31	15,328	2077	2174	
0147	無名橋75	RC橋	1980	3.50	2.50	8.75	429.55	4,134	2056	2132	
0148	無名橋76	RC橋	1987	2.80	3.00	8.40	429.55	3,969	2063	2139	
0149	無名橋77	RC橋	1987	3.40	4.50	15.30	429.55	7,229	2063	2139	
0150	無名橋78	PC橋	1970	5.50	3.00	16.50	300.31	5,451	2067	2164	
0151	宮前橋(村井奥師線)	PC橋	1996	12.50	5.50	68.75	300.31	22,711	2093	2190	
0152	無名橋79	RC橋	1980	4.10	3.00	12.30	429.55	5,812	2056	2132	
0153	無名橋80	RC橋	1975	2.50	6.00	15.00	429.55	7,088	2051	2127	
0154	徳谷橋	RC橋	1986	6.80	6.50	44.20	429.55	20,885	2062	2138	
0155	無名橋81	RC橋	1992	3.20	3.50	11.20	429.55	5,292	2068	2144	
0156	無名橋82	RC橋	1997	4.10	4.20	17.22	429.55	8,137	2073	2149	
0157	無名橋83	RC橋	1970	2.40	7.50	18.00	429.55	8,505	2046	2122	
0158	無名橋84	RC橋	1975	2.05	8.30	17.02	429.55	8,040	2051	2127	
0159	無名橋85	RC橋	1930	5.30	4.60	24.38	429.55	11,520	2025	2101	
0160	無名橋86	RC橋	1975	2.70	4.10	11.07	429.55	5,231	2051	2127	
0161	無名橋87	PC橋	1985	8.30	5.60	46.48	300.31	15,354	2082	2179	
0162	前川橋(鳥居平中央線)	RC橋	1928	11.80	6.90	81.42	429.55	38,471	2025	2101	
0163	無名橋88	RC橋	1975	3.90	7.30	28.47	429.55	13,452	2051	2127	
0164	日枝橋	鋼橋	1938	9.50	4.40	41.80	544.98	25,058	2025	2087	

日野町橋梁長寿命化計画対象橋梁(156橋) 再構築価格の算出

※既往資料等で架設年が不明である橋梁については、推定架設年(赤字)を適用する。
 ※算定する再構築価格費は税込(税率10%)

橋梁 番号	橋梁名	橋種	架設年	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁面積 (m2)	再構築単価 (千円/m2)	再構築価格 (千円) ※注	架替年 1回目	架替年 2回目	備考
0165	無名橋89	RC橋	1990	3.10	3.40	10.54	429.55	4,980	2066	2142	
0166	無名橋90	RC橋	1998	2.45	5.50	13.48	429.55	6,367	2074	2150	
0167	無名橋91(五郎津橋)	鋼橋	1938	9.30	4.50	41.85	544.98	25,088	2025	2087	
0168	西出橋	PC橋	1978	10.00	3.50	35.00	300.31	11,562	2075	2172	
0169	棒川橋	PC橋	2000	12.70	5.00	63.50	300.31	20,977	2097	2194	
0170	迫宮前橋	PC橋	1992	12.00	10.00	120.00	300.31	39,641	2089	2186	
0171	無名橋92	RC橋	1995	4.60	9.26	42.60	429.55	20,127	2071	2147	
0172	無名橋93	RC橋	1985	3.60	6.34	22.82	429.55	10,784	2061	2137	
0173	無名橋94	RC橋	1970	4.25	5.65	24.01	429.55	11,346	2046	2122	
0174	無名橋95	RC橋	1980	3.00	6.00	18.00	429.55	8,505	2056	2132	
0175	無名橋96	RC橋	2000	2.50	6.00	15.00	429.55	7,088	2076	2152	
0176	無名橋97	RC橋	1985	2.56	10.75	27.52	429.55	13,003	2061	2137	

※1 架替年の設定方法は、劣化予測の検討結果より、以下のとおりとした。

橋長15m以上の橋梁

1. RC橋 : 架設年に100年を足した年
2. PC橋 : 架設年に90年を足した年
3. 鋼橋 : 架設年に55年を足した年
4. その他 : 分割構造や径間による混合構造の場合、主たる構造や径間長を考慮し、適した構造形式に代える。

橋長15m未満の橋梁

1. RC橋 : 架設年に76年を足した年
2. PC橋 : 架設年に97年を足した年
3. 鋼橋 : 架設年に62年を足した年
4. その他 : 分割構造や径間による混合構造の場合、主たる構造や径間長を考慮し、適した構造形式に代える。

※2 橋種が「その他」の場合、「鋼橋、PC橋、RC橋」から橋長に見合った構造で1回目の架替えを行う。(赤字)

※3 1回目架設年が策定年以前である場合、策定後に架替えが発生する想定として、一律「2025年」に補正する。(赤字)

橋 種	再構築価格単価（千円/㎡）						備 考
	撤去費	新設費	仮設費	小計	割増額	合計	
鋼橋	128.19	504.59	115.87	748.65	252.96	1,001.61	
RC橋	128.19	676.22	189.51	993.92	335.84	1,329.76	
PC橋	120.66	485.85	110.64	717.15	242.32	959.47	
混合橋	204.46	535.65	157.42	897.53	303.27	1,200.80	
特殊橋	205.46	773.73	138.26	1,117.45	377.58	1,495.03	アーチ、トラス等
跨線橋	507.80	1,089.49	636.00	2,233.29	754.62	2,987.91	
建設工事費デフレーター（2008年～2023年）:					133.79		

橋 種	橋長15m未満 再構築価格単価（千円/㎡）						備 考
	撤去費	新設費	仮設費	小計	割増額	合計	
鋼橋	93.34	314.00	0.00	407.34	137.64	544.98	
RC橋	65.76	255.31	0.00	321.07	108.48	429.55	
PC橋	55.47	169.00	0.00	224.47	75.84	300.31	
混合橋	40.00	250.00	0.00	290.00	97.99	387.99	
特殊橋	—	—	—	—	—	—	アーチ、トラス等
跨線橋	186.92	739.62	386.00	1,312.54	443.50	1,756.04	
建設工事費デフレーター（2008年～2023年）:					133.79		

※上表による再構築価格は、「橋梁の架替に関する調査結果Ⅴ」(ISSN1346-7328・国総研資料第444号:平成20年4月)を出典としており、本計画への適用にあたり、デフレーターによる価格補正を行うものとする。

建設工事費デフレーター（年度別、2015年度基準）

工事種別	建設総合								
		土木総合							
		公共事業							
		土木1(除く災害復旧)							
		道路総合		一般道路		道路1			
年度							道路橋梁	道路補修	
2008年度	96.8	96.5	95.9	95.8	95.9	95.6	95.4	94.1	95.4
2009年度	93.4	93.1	92.7	92.7	92.7	92.6	92.6	88.6	92.8
2010年度	93.5	93.4	93.1	92.8	93.0	92.9	92.9	89.0	93.1
2011年度	94.7	94.7	94.4	94.4	94.6	94.3	94.3	90.4	94.6
2012年度	94.1	94.2	94.1	94.1	94.1	94.0	93.9	89.7	94.2
2013年度	96.5	96.4	96.3	96.3	96.5	96.2	96.1	93.2	96.0
2014年度	99.8	99.7	99.7	99.7	99.9	99.5	99.5	98.4	98.8
2015年度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2016年度	100.3	100.3	100.4	100.4	100.4	100.4	100.5	100.5	100.5
2017年度	102.3	102.4	102.6	102.6	102.6	102.6	102.6	103.2	102.3
2018年度	105.6	106.0	106.3	106.3	106.6	106.4	106.4	107.6	106.1
2019年度	108.0	108.5	108.8	108.9	109.2	109.0	109.1	110.1	108.8
2020年度	108.0	108.4	108.7	108.8	108.8	108.7	108.7	109.7	108.3
2021年度(暫定)	113.2	112.8	112.7	112.9	113.1	112.6	112.6	114.8	111.6
2022年度(暫定)	120.2	119.2	118.9	119.1	119.7	118.7	118.7	122.9	116.9
2023年度(9月)	121.6	120.9	120.9	121.0	121.6	120.4	120.4	125.9	117.4

125.9/94.1 = 1.3379

(注)

- * 2021年4月分の公表から、基準年を2015年度基準に改定しています。(2021年6月30日付け)
- * 2019年度までの数値については、当該年度の実績を基に算出した建設投資のウエイトを用いています。また、2021年度以降は2018～2020年度の平均値を暫定的に用いています。
- * 「道路1」は「道路改良」、「道路舗装」、「道路橋梁」、「道路補修」を総合したものです。
- * 建設工事費デフレーターは、営業余剰や間接税(消費税を含む)等をウエイト項目に含めていないため、それらを含みません。
- * 建設工事費とは、「本工事費」、「付帯工事費」、「測量及び試験費」、「機械器具費」、「営繕費」からなり、「用地費」と「償還費」は含みません。
- * 企業向けサービス価格指数の基準年は2015年、毎月労働統計調査、消費者物価指数、企業物価指数の基準年は2020年に移行していますが、2015年度基準に換算して建設工事費デフレーターの算出に使用しています。

注) 国土交通省HP(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/jouhouka/sosei_jouhouka_tk4_000112.html)を加筆使用

予防保全によるライフサイクルコスト算出表 (1/4)

材料区分	使用材料	単価①床版部材 剝離・鉄筋露出d (円/㎡)	単価②桁部材 腐食c、ひびわれc (円/㎡)	単価③橋面 【床版防水工】 (円/㎡)
I	鋼橋	17,085	119,748	27,366
II	コンクリート橋(PC橋)		40,763	
III	コンクリート橋(RC橋)	45,813		

※補修面積は、材料形式毎に以下を設定

鋼橋：桁表面積の100%【塗装塗替え】

PC橋：桁表面積の25%【ひびわれ補修】

RC橋：桁表面積の5%【断面修復】

※上記単価(鋼橋の床版補修を除く)には足場工9,576円/㎡を、全単価に諸経費率(直接費×3.0)をそれぞれ考慮

※算定補修費は税込(税率10%)

割り増し係数 (橋面/桁表面)	3.0	:主桁、横桁【構造区分:MG】
	1.0	:床版、舗装【構造区分:DS】

経年劣化年		
	15m以上	15m未満
鋼橋	30	40
コンクリート橋、他	50	47

架設年 判明+推定 橋梁数	平均 経過年
156	50

※既往資料等で架設年が不明である橋梁については、推定架設年(赤字)を適用する。

	年
最小	1975
最大	2254

49 年前
230 年後

整理番号	橋梁名称(漢字)	架設年	橋長(m)	道路部幅員(m)	面積(㎡)	使用材料	構造形式	材料区分	構造区分	橋面防水	足場	単価①	単価②	初回補修年次	補修費(千円)	2回目補修年次	補修費(千円)	3回目補修年次	補修費(千円)	4回目補修年次	補修費(千円)	5回目補修年次	補修費(千円)	備考
0001	高橋(西大路鎌掛線)	1965	50.30	3.00	150.90	鋼橋	桁橋	I	MG	○	○	17,085	119,748	1995	67,009	2025	67,009	2055	67,009	2085	67,009	2115	67,009	
0002	内池橋	2004	84.00	10.75	903.00	その他	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2054	148,651	2104	148,651	2154	148,651	2204	148,651	2254	148,651	
0003	西の口橋	1982	18.70	5.50	102.85	PC橋	桁橋	II	MG		○	0	40,763	2032	13,835	2082	13,835	2132	13,835	2182	13,835	2232	13,835	
0004	追米橋	1987	27.10	11.20	303.52	その他	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2037	49,965	2087	49,965	2137	49,965	2187	49,965	2237	49,965	
0005	宮前橋(日野南部線)	1985	19.70	7.30	143.81	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2035	23,674	2085	23,674	2135	23,674	2185	23,674	2235	23,674	
0006	牛飼道橋	1966	51.00	2.00	102.00	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2016	16,791	2066	16,791	2116	16,791	2166	16,791	2216	16,791	
0007	上野田橋	1973	20.20	6.00	121.20	PC橋	床版橋	III	DS	○	○	45,813	0	2023	9,756	2073	9,756	2123	9,756	2173	9,756	2223	9,756	
0008	高橋(内池山本線)	1971	15.30	4.80	73.44	PC橋	床版橋	III	DS		○	45,813	0	2021	3,701	2071	3,701	2121	3,701	2171	3,701	2221	3,701	
0009	前垣外橋	1969	15.20	6.50	98.80	鋼橋	桁橋	I	MG		○	17,085	119,748	1999	40,899	2029	40,899	2059	40,899	2089	40,899	2119	40,899	
0010	藤切橋	1984	30.00	7.00	210.00	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2034	34,570	2084	34,570	2134	34,570	2184	34,570	2234	34,570	
0011	原古野橋	1983	17.00	5.50	93.50	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2033	15,392	2083	15,392	2133	15,392	2183	15,392	2233	15,392	
0012	別所橋	1930	81.90	4.50	368.55	RC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	1980	60,670	2030	60,670	2080	60,670	2130	60,670	2180	60,670	
0013	木津橋	1974	81.90	2.50	204.75	鋼橋	桁橋	I	MG		○	17,085	119,748	2004	84,759	2034	84,759	2064	84,759	2094	84,759	2124	84,759	
0014	安土橋	1966	45.00	3.00	135.00	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2016	22,224	2066	22,224	2116	22,224	2166	22,224	2216	22,224	
0015	南橋	1985	28.60	5.00	143.00	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2035	23,540	2085	23,540	2135	23,540	2185	23,540	2235	23,540	
0016	大正橋	1965	24.30	3.00	72.90	鋼橋	桁橋	I	MG		○	17,085	119,748	1995	30,178	2025	30,178	2055	30,178	2085	30,178	2115	30,178	
0017	松尾橋	1973	15.50	6.00	93.00	PC橋	床版橋	III	DS	○	○	45,813	0	2023	7,486	2073	7,486	2123	7,486	2173	7,486	2223	7,486	
0018	大谷橋	1990	19.30	5.00	96.50	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2040	15,886	2090	15,886	2140	15,886	2190	15,886	2240	15,886	
0019	六枚橋	1973	16.80	2.90	48.72	PC橋	床版橋	III	DS		○	45,813	0	2023	2,455	2073	2,455	2123	2,455	2173	2,455	2223	2,455	
0020	浄光寺橋	1973	17.00	3.00	51.00	PC橋	床版橋	III	DS		○	45,813	0	2023	2,570	2073	2,570	2123	2,570	2173	2,570	2223	2,570	
0021	宮前橋(北脇中在寺線)	2013	37.50	4.00	150.00	鋼橋	桁橋	I	MG	○	○	17,085	119,748	2043	66,610	2073	66,610	2103	66,610	2133	66,610	2163	66,610	
0022	西川原橋	1969	24.70	3.10	76.57	鋼橋	桁橋	I	MG		○	17,085	119,748	1999	31,697	2029	31,697	2059	31,697	2089	31,697	2119	31,697	
0023	五左衛門橋	1977	20.80	5.50	114.40	PC橋	床版橋	III	DS	○	○	45,813	0	2027	9,209	2077	9,209	2127	9,209	2177	9,209	2227	9,209	
0024	多々木橋	1930	19.00	3.70	70.30	RC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	1980	11,573	2030	11,573	2080	11,573	2130	11,573	2180	11,573	
0025	本宮橋	1971	17.40	2.50	43.50	鋼橋	桁橋	I	MG		○	17,085	119,748	2001	18,007	2031	18,007	2061	18,007	2091	18,007	2121	18,007	
0026	毛止野橋	1971	18.70	3.00	56.10	鋼橋	桁橋	I	MG		○	17,085	119,748	2001	23,223	2031	23,223	2061	23,223	2091	23,223	2121	23,223	
0027	伊佐目橋	1972	17.00	4.50	76.50	鋼橋	桁橋	I	MG		○	17,085	119,748	2002	31,668	2032	31,668	2062	31,668	2092	31,668	2122	31,668	
0028	前川橋(清田線)	1972	19.90	4.00	79.60	PC橋	床版橋	III	DS		○	45,813	0	2022	4,011	2072	4,011	2122	4,011	2172	4,011	2222	4,011	
0029	野川橋	1980	15.60	5.00	78.00	PC橋	桁橋	II	MG		○	0	40,763	2030	10,492	2080	10,492	2130	10,492	2180	10,492	2230	10,492	
0030	野出橋	1929	72.30	3.30	238.59	混合橋	桁橋	II	MG		○	0	40,763	1979	32,094	2029	32,094	2079	32,094	2129	32,094	2179	32,094	
0031	杣橋	1986	22.70	4.10	93.07	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2036	15,321	2086	15,321	2136	15,321	2186	15,321	2236	15,321	
0032	野上橋	1934	30.30	4.10	124.23	RC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	1984	20,451	2034	20,451	2084	20,451	2134	20,451	2184	20,451	
0033	長沢橋	1978	28.20	4.80	135.36	その他	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2028	22,283	2078	22,283	2128	22,283	2178	22,283	2228	22,283	
0034	小綿向橋	1984	21.20	4.00	84.80	PC橋	桁橋	II	MG	○	○	0	40,763	2034	13,960	2084	13,960	2134	13,960	2184	13,960	2234	13,960	
0035	宮田橋	1985	16.90	4.00	67.60	PC橋	桁橋	II	MG		○	0	40,763	2035	9,093	2085	9,093	2135	9,093	2185	9,093	2235	9,093	

予防保全によるライフサイクルコスト算出表(2/4)

整理番号	橋梁名称(漢字)	架設年	橋長(m)	道路部幅員(m)	面積(m2)	使用材料	構造形式	材料区分	構造区分	橋面防水	足場	単価①	単価②	初回補修年次	補修費(千円)	2回目補修年次	補修費(千円)	3回目補修年次	補修費(千円)	4回目補修年次	補修費(千円)	5回目補修年次	補修費(千円)	備考
0036	新里之内橋	1995	19.00	10.00	190.00	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG	○	○	0	40,763	2045	31,278	2095	31,278	2145	31,278	2195	31,278	2245	31,278	
0037	須原橋	1983	19.70	3.00	59.10	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG	○	○	0	40,763	2033	9,729	2083	9,729	2133	9,729	2183	9,729	2233	9,729	
0038	小嶺橋	1987	17.30	4.50	77.85	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2037	10,472	2087	10,472	2137	10,472	2187	10,472	2237	10,472	
0039	坪江橋	1999	29.40	3.00	88.20	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2049	7,100	2099	7,100	2149	7,100	2199	7,100	2249	7,100	
0040	原橋	1957	21.60	4.50	97.20	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	1987	43,163	2017	43,163	2047	43,163	2077	43,163	2107	43,163	
0041	青木ヶ原橋	1985	21.70	5.00	108.50	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2035	14,595	2085	14,595	2135	14,595	2185	14,595	2235	14,595	
0042	河原橋	1967	15.80	4.20	66.36	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2017	5,342	2067	5,342	2117	5,342	2167	5,342	2217	5,342	
0043	無名橋1	1994	36.20	3.50	126.70	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	2024	56,263	2054	56,263	2084	56,263	2114	56,263	2144	56,263	
0044	広域路線橋(石原橋)	1974	165.00	7.50	1237.50	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG	○	○	0	40,763	2024	203,716	2074	203,716	2124	203,716	2174	203,716	2224	203,716	
0045	無名橋2(出雲川橋)	1978	13.60	5.50	74.80	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2028	10,062	2078	10,062	2128	10,062	2178	10,062	2228	10,062	
0046	宮前橋	1978	6.10	6.10	37.21	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2025	1,819	2072	1,819	2119	1,819	2166	1,819	2213	1,819	
0049	無名橋5	1965	7.40	3.00	22.20	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2012	1,119	2059	1,119	2106	1,119	2153	1,119	2200	1,119	
0050	無名橋6	1985	4.50	4.60	20.70	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2032	1,012	2079	1,012	2126	1,012	2173	1,012	2220	1,012	
0051	無名橋7	1985	3.20	9.70	31.04	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2032	1,518	2079	1,518	2126	1,518	2173	1,518	2220	1,518	
0055	無名橋10	1985	3.40	3.00	10.20	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2032	821	2079	821	2126	821	2173	821	2220	821	
0056	無名橋11	1985	2.50	5.80	14.50	RC橋	BOX	Ⅲ	DS			45,813	0	2032	273	2079	273	2126	273	2173	273	2220	273	
0057	無名橋12	1975	2.50	5.60	14.00	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	685	2069	685	2116	685	2163	685	2210	685	
0058	山王下橋	1965	2.80	3.60	10.08	その他	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2012	493	2059	493	2106	493	2153	493	2200	493	
0059	野田川橋	1950	3.60	2.95	10.62	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	×		45,813	0	1997	200	2044	200	2091	200	2138	200	2185	200	
0061	無名橋13	1975	2.00	5.00	10.00	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	489	2069	489	2116	489	2163	489	2210	489	
0063	下出橋	1975	4.30	3.00	12.90	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2022	650	2069	650	2116	650	2163	650	2210	650	
0064	上出橋	1975	4.40	3.00	13.20	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2022	665	2069	665	2116	665	2163	665	2210	665	
0065	昭和橋	1984	12.50	5.50	68.75	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	2024	30,529	2064	30,529	2104	30,529	2144	30,529	2184	30,529	
0066	坂口橋	1960	11.60	3.40	39.44	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	2000	17,514	2040	17,514	2080	17,514	2120	17,514	2160	17,514	
0067	無名橋14	1975	4.80	7.10	34.08	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2022	2,743	2069	2,743	2116	2,743	2163	2,743	2210	2,743	
0068	無名橋15	1975	2.20	4.10	9.02	RC橋	BOX	Ⅲ	DS			45,813	0	2022	170	2069	170	2116	170	2163	170	2210	170	
0069	仁之切橋	1963	4.00	2.00	8.00	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2010	644	2057	644	2104	644	2151	644	2198	644	
0070	逆川橋	1975	6.00	2.60	15.60	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2022	786	2069	786	2116	786	2163	786	2210	786	
0071	無名橋16	1975	7.50	4.00	30.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2022	1,512	2069	1,512	2116	1,512	2163	1,512	2210	1,512	
0072	無名橋17	1975	9.30	3.41	31.71	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	1,598	2069	1,598	2116	1,598	2163	1,598	2210	1,598	
0073	無名橋18	1975	9.30	3.60	33.48	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2022	1,687	2069	1,687	2116	1,687	2163	1,687	2210	1,687	
0074	無名橋19	1975	12.40	10.50	130.20	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	2015	57,817	2055	57,817	2095	57,817	2135	57,817	2175	57,817	
0075	無名橋20	1975	6.80	10.52	71.54	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2022	5,759	2069	5,759	2116	5,759	2163	5,759	2210	5,759	
0077	無名橋22	1975	7.00	5.00	35.00	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2022	4,708	2069	4,708	2116	4,708	2163	4,708	2210	4,708	
0078	無名橋23	1975	13.00	4.00	52.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2022	2,621	2069	2,621	2116	2,621	2163	2,621	2210	2,621	
0079	無名橋24	1975	3.10	3.30	10.23	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	500	2069	500	2116	500	2163	500	2210	500	
0080	無名橋25	1985	6.00	5.55	33.30	その他	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2032	1,628	2079	1,628	2126	1,628	2173	1,628	2220	1,628	
0081	平熊橋	1968	12.00	4.50	54.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2015	4,347	2062	4,347	2109	4,347	2156	4,347	2203	4,347	
0082	無名橋26	1955	5.80	3.50	20.30	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2002	1,023	2049	1,023	2096	1,023	2143	1,023	2190	1,023	
0084	無名橋28	1975	3.50	3.00	10.50	RC橋	BOX	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2022	529	2069	529	2116	529	2163	529	2210	529	
0085	西の宮橋	1963	12.60	3.60	45.36	RC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2010	6,102	2057	6,102	2104	6,102	2151	6,102	2198	6,102	
0087	落合橋	1950	8.00	3.00	24.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	1997	1,932	2044	1,932	2091	1,932	2138	1,932	2185	1,932	
0088	迫橋	1968	14.00	4.50	63.00	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	2008	27,976	2048	27,976	2088	27,976	2128	27,976	2168	27,976	
0090	茶屋の橋	1969	8.90	6.00	53.40	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2016	2,691	2063	2,691	2110	2,691	2157	2,691	2204	2,691	
0091	無名橋31	1985	2.90	10.64	30.86	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2032	1,509	2079	1,509	2126	1,509	2173	1,509	2220	1,509	
0093	出雲川橋	1960	6.20	3.70	22.94	RC橋	桁橋	Ⅱ	MG	○	○	0	40,763	2007	3,776	2054	3,776	2101	3,776	2148	3,776	2195	3,776	
0094	無名橋33	1985	3.64	13.98	50.89	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2032	2,488	2079	2,488	2126	2,488	2173	2,488	2220	2,488	
0095	無名橋34	1975	2.10	4.60	9.66	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	472	2069	472	2116	472	2163	472	2210	472	
0097	御門橋	1963	11.00	4.00	44.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2010	2,217	2057	2,217	2104	2,217	2151	2,217	2198	2,217	
0098	播原橋	1949	2.50	6.30	15.75	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	1996	770	2043	770	2090	770	2137	770	2184	770	
0101	無名橋38	1965	2.00	4.00	8.00	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2012	391	2059	391	2106	391	2153	391	2200	391	
0102	無名橋39	1970	2.40	5.80	13.92	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2017	681	2064	681	2111	681	2158	681	2205	681	
0103	雁掛橋	1991	10.50	4.00	42.00	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2038	5,650	2085	5,650	2132	5,650	2179	5,650	2226	5,650	

予防保全によるライフサイクルコスト算出表(3/4)

整理番号	橋梁名称(漢字)	架設年	橋長(m)	道路部幅員(m)	面積(m2)	使用材料	構造形式	材料区分	構造区分	橋面防水	足場	単価①	単価②	初回補修年次	補修費(千円)	2回目補修年次	補修費(千円)	3回目補修年次	補修費(千円)	4回目補修年次	補修費(千円)	5回目補修年次	補修費(千円)	備考
0104	無名橋40	1987	7.30	5.50	40.15	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2034	5,401	2081	5,401	2128	5,401	2175	5,401	2222	5,401	
0105	無名橋41	1995	12.00	8.00	96.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2042	7,728	2089	7,728	2136	7,728	2183	7,728	2230	7,728	
0107	無名橋43	1975	3.10	4.30	13.33	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	652	2069	652	2116	652	2163	652	2210	652	
0108	無名橋44	2007	7.00	3.20	22.40	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG		○	17,085	119,748	2047	9,273	2087	9,273	2127	9,273	2167	9,273	2207	9,273	
0109	無名橋45	1980	3.60	4.30	15.48	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS			45,813	0	2027	291	2074	291	2121	291	2168	291	2215	291	
0110	菖蒲谷橋	1971	9.20	4.10	37.72	その他	桁橋	Ⅱ	MG	○	○	0	40,763	2018	6,209	2065	6,209	2112	6,209	2159	6,209	2206	6,209	
0111	馬場橋	1986	9.20	4.02	36.98	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG	○	○	0	40,763	2033	6,088	2080	6,088	2127	6,088	2174	6,088	2221	6,088	
0112	無名橋46	1970	9.30	3.25	30.23	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG		○	17,085	119,748	2010	12,514	2050	12,514	2090	12,514	2130	12,514	2170	12,514	
0113	無名橋47	1970	9.10	2.10	19.11	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG		○	17,085	119,748	2010	7,911	2050	7,911	2090	7,911	2130	7,911	2170	7,911	
0114	無名橋48	1970	10.50	2.90	30.45	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG		○	17,085	119,748	2010	12,605	2050	12,605	2090	12,605	2130	12,605	2170	12,605	
0115	無名橋49	1970	9.60	2.70	25.92	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG		○	17,085	119,748	2010	10,730	2050	10,730	2090	10,730	2130	10,730	2170	10,730	
0117	無名橋51	1970	2.80	3.60	10.08	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2017	508	2064	508	2111	508	2158	508	2205	508	
0118	無名橋52	1980	13.00	4.00	52.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2027	2,621	2074	2,621	2121	2,621	2168	2,621	2215	2,621	
0119	市の瀬川橋(坊出橋)	1970	13.80	4.03	55.61	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2017	7,480	2064	7,480	2111	7,480	2158	7,480	2205	7,480	
0120	小竹橋	1964	11.80	3.60	42.48	RC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2011	5,714	2058	5,714	2105	5,714	2152	5,714	2199	5,714	
0121	無名橋53	1970	3.50	2.90	10.15	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS			45,813	0	2017	191	2064	191	2111	191	2158	191	2205	191	
0122	薬師前橋	1990	14.30	4.00	57.20	PC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2037	7,694	2084	7,694	2131	7,694	2178	7,694	2225	7,694	
0123	無名橋54	1970	13.00	3.00	39.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS			45,813	0	2017	1,965	2064	1,965	2111	1,965	2158	1,965	2205	1,965	
0124	無名橋55	1970	5.20	4.05	21.06	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2017	1,695	2064	1,695	2111	1,695	2158	1,695	2205	1,695	
0125	無名橋56	1970	4.30	7.45	32.04	その他	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2017	1,567	2064	1,567	2111	1,567	2158	1,567	2205	1,567	
0126	無名橋57	1970	3.40	7.00	23.80	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2017	1,164	2064	1,164	2111	1,164	2158	1,164	2205	1,164	
0127	無名橋58	1994	2.85	3.50	9.98	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2041	488	2088	488	2135	488	2182	488	2229	488	
0128	大橋	1980	2.90	7.60	22.04	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2027	1,078	2074	1,078	2121	1,078	2168	1,078	2215	1,078	
0129	無名橋59	1980	2.60	7.00	18.20	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2027	890	2074	890	2121	890	2168	890	2215	890	
0131	無名橋61	1970	4.40	5.98	26.31	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2017	1,286	2064	1,286	2111	1,286	2158	1,286	2205	1,286	
0132	無名橋62	1970	3.00	8.70	26.10	その他	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2017	1,276	2064	1,276	2111	1,276	2158	1,276	2205	1,276	
0133	無名橋63	1970	10.50	15.50	162.75	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2017	13,101	2064	13,101	2111	13,101	2158	13,101	2205	13,101	
0135	無名橋65	1987	13.70	3.00	41.10	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2034	3,308	2081	3,308	2128	3,308	2175	3,308	2222	3,308	
0136	無名橋66	1960	4.30	11.83	50.87	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2007	2,487	2054	2,487	2101	2,487	2148	2,487	2195	2,487	
0137	石楠花橋	1961	9.50	4.05	38.48	RC橋	桁橋	Ⅱ	MG			0	40,763	2008	3,960	2055	3,960	2102	3,960	2149	3,960	2196	3,960	
0138	無名橋67	1976	7.60	5.80	44.08	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2023	2,155	2070	2,155	2117	2,155	2164	2,155	2211	2,155	
0139	瀬川橋	1956	13.60	3.00	40.80	RC橋	桁橋	Ⅱ	MG		○	0	40,763	2003	5,488	2050	5,488	2097	5,488	2144	5,488	2191	5,488	
0140	無名橋68	1980	3.80	5.90	22.42	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS			45,813	0	2027	421	2074	421	2121	421	2168	421	2215	421	
0141	無名橋69	1970	2.25	7.65	17.21	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2017	842	2064	842	2111	842	2158	842	2205	842	
0143	無名橋71	1980	3.00	7.80	23.40	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2027	1,144	2074	1,144	2121	1,144	2168	1,144	2215	1,144	
0144	無名橋72	1980	6.20	8.10	50.22	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2027	4,043	2074	4,043	2121	4,043	2168	4,043	2215	4,043	
0145	無名橋73	1980	3.60	8.50	30.60	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2027	2,463	2074	2,463	2121	2,463	2168	2,463	2215	2,463	
0146	無名橋74	1980	11.60	4.00	46.40	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2027	2,338	2074	2,338	2121	2,338	2168	2,338	2215	2,338	
0147	無名橋75	1980	3.50	2.50	8.75	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2027	428	2074	428	2121	428	2168	428	2215	428	
0148	無名橋76	1987	2.80	3.00	8.40	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2034	411	2081	411	2128	411	2175	411	2222	411	
0149	無名橋77	1987	3.40	4.50	15.30	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2034	1,232	2081	1,232	2128	1,232	2175	1,232	2222	1,232	
0150	無名橋78	1970	5.50	3.00	16.50	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2017	832	2064	832	2111	832	2158	832	2205	832	
0151	宮前橋(村井奥師線)	1996	12.50	5.50	68.75	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2043	5,534	2090	5,534	2137	5,534	2184	5,534	2231	5,534	
0152	無名橋79	1980	4.10	3.00	12.30	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2027	601	2074	601	2121	601	2168	601	2215	601	
0153	無名橋80	1975	2.50	6.00	15.00	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	733	2069	733	2116	733	2163	733	2210	733	
0154	徳谷橋	1986	6.80	6.50	44.20	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2033	2,161	2080	2,161	2127	2,161	2174	2,161	2221	2,161	
0155	無名橋81	1992	3.20	3.50	11.20	RC橋	BOX	Ⅲ	DS			45,813	0	2039	210	2086	210	2133	210	2180	210	2227	210	
0156	無名橋82	1997	4.10	4.20	17.22	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2044	842	2091	842	2138	842	2185	842	2232	842	
0157	無名橋83	1970	2.40	7.50	18.00	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2017	880	2064	880	2111	880	2158	880	2205	880	
0158	無名橋84	1975	2.05	8.30	17.02	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	832	2069	832	2116	832	2163	832	2210	832	
0159	無名橋85	1930	5.30	4.60	24.38	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	1977	1,963	2024	1,963	2071	1,963	2118	1,963	2165	1,963	
0160	無名橋86	1975	2.70	4.10	11.07	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2022	541	2069	541	2116	541	2163	541	2210	541	
0161	無名橋87	1985	8.30	5.60	46.48	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2032	2,342	2079	2,342	2126	2,342	2173	2,342	2220	2,342	

予防保全によるライフサイクルコスト算出表(4/4)

整理番号	橋梁名称(漢字)	架設年	橋長(m)	道路部幅員(m)	面積(m2)	使用材料	構造形式	材料区分	構造区分	橋面防水	足場	単価①	単価②	初回補修年次	補修費(千円)	2回目補修年次	補修費(千円)	3回目補修年次	補修費(千円)	4回目補修年次	補修費(千円)	5回目補修年次	補修費(千円)	備考
0162	前川橋(鳥居平中央線)	1928	11.80	6.90	81.42	RC橋	桁橋	Ⅱ	MG	○	○	0	40,763	1975	13,403	2022	13,403	2069	13,403	2116	13,403	2163	13,403	
0163	無名橋88	1975	3.90	7.30	28.47	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2022	2,292	2069	2,292	2116	2,292	2163	2,292	2210	2,292	
0164	日枝橋	1938	9.50	4.40	41.80	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	1978	18,562	2018	18,562	2058	18,562	2098	18,562	2138	18,562	
0165	無名橋89	1990	3.10	3.40	10.54	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2037	515	2084	515	2131	515	2178	515	2225	515	
0166	無名橋90	1998	2.45	5.50	13.48	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2045	659	2092	659	2139	659	2186	659	2233	659	
0167	無名橋91(五郎津橋)	1938	9.30	4.50	41.85	鋼橋	桁橋	Ⅰ	MG	○	○	17,085	119,748	1978	18,584	2018	18,584	2058	18,584	2098	18,584	2138	18,584	
0168	西出橋	1978	10.00	3.50	35.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS		○	45,813	0	2025	1,764	2072	1,764	2119	1,764	2166	1,764	2213	1,764	
0169	棒川橋	2000	12.70	5.00	63.50	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2047	5,112	2094	5,112	2141	5,112	2188	5,112	2235	5,112	
0170	追宮前橋	1992	12.00	10.00	120.00	PC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2039	9,660	2086	9,660	2133	9,660	2180	9,660	2227	9,660	
0171	無名橋92	1995	4.60	9.26	42.60	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2042	2,083	2089	2,083	2136	2,083	2183	2,083	2230	2,083	
0172	無名橋93	1985	3.60	6.34	22.82	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2032	1,837	2079	1,837	2126	1,837	2173	1,837	2220	1,837	
0173	無名橋94	1970	4.25	5.65	24.01	RC橋	床版橋	Ⅲ	DS	○	○	45,813	0	2017	1,933	2064	1,933	2111	1,933	2158	1,933	2205	1,933	
0174	無名橋95	1980	3.00	6.00	18.00	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2027	880	2074	880	2121	880	2168	880	2215	880	
0175	無名橋96	2000	2.50	6.00	15.00	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2047	733	2094	733	2141	733	2188	733	2235	733	
0176	無名橋97	1985	2.56	10.75	27.52	RC橋	BOX	Ⅲ	DS	○		45,813	0	2032	1,346	2079	1,346	2126	1,346	2173	1,346	2220	1,346	